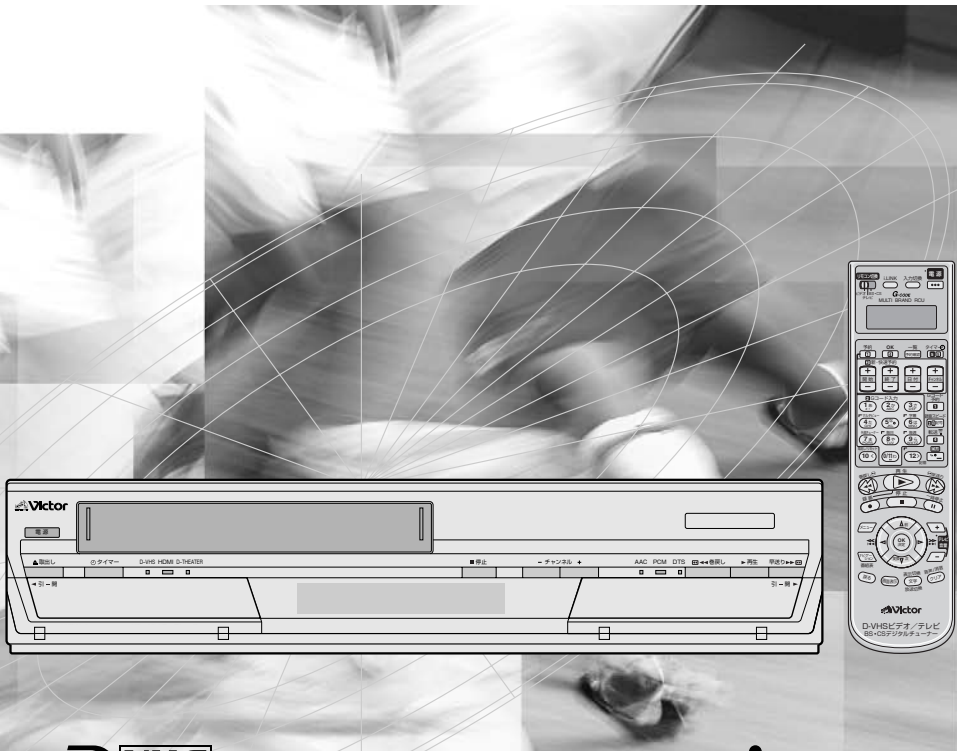
Victor
"HIS MASTER'S VOICE"

取扱説明書

デジタルハイビジョンビデオ

型名 HM-DHX2

はじめに
設置と準備
見る・録画・予約
ビデオナビゲーション
便利な機能
その他

D-VHS MTP NTSC
D-THEATER
HDMI
i.
dts DIGITAL OUT
DOLBY DIGITAL
PCM
S-VHS
Super VHS ET
Hi-Fi
Gコード®

このたびはビクター製品をお買い上げいただき、ありがとうございます

- ご使用の前にこの「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。**特に「安全上のご注意」(8～11ページ)は、必ずお読みいただき、安全にお使いください。**そしてお読みになったあとは、後日役に立つこともありますので、保証書と一緒に大切に保管してください。
- アンケートおよびユーザー登録のご案内については、裏表紙をご覧ください。

LPT0961-001A

もくじ

はじめに

設置と準備

見る・録画・予約

ビデオナビゲーション

便利な機能

その他

主な特長

＊Gコード（またはG-CODE）は、ジェムスター社の登録商標です。
Gコードシステムは、ジェムスター社のライセンスに基づいて生産しております。

付属品を確かめる

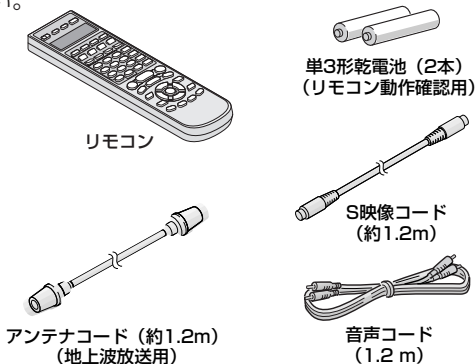
箱を開けたら､次の付属品がそろっているか確認してください。

リモコン

単3形乾電池（2本）
（リモコン動作確認用）

S映像コード
（約1.2m）

アンテナコード（約1.2m）
（地上波放送用）

音声コード
（1.2 m）

本機の性能を十分に発揮させるため、別売コードをお買い求めください。（☞**128**ページ）

大切な録画の前に

■ テレビ放送や録画物などから録画したものは､個人として楽しむなどのほかは､著作権法上､権利者に無断で使用できません。
■ 大切な録画の場合は､必ず事前に試し撮りをし､正常に録画･録音されていることを確かめてください。
■ 録画のしかたは､本体とリモコンで異なります。ご注意ください。
■ 万一､本機およびビデオカセットテープ等の不具合により､正常に録画･録音や再生できなかった場合の内容の補償についてはご容赦ください。

取扱説明書の見かた

※イラストや画面表示は説明上､強調や省略をされていることがありますので､実際とは多少異なります。

■ **操作手順の中のボタン名称については[ ]で囲って表示しています。**
例　メニューボタン→[メニュー]

■ **「D-VHS記録」または「S-VHS/VHS記録」のどちらのテープで操作できるかイラストでお知らせしています。**

D-VHS　**D-VHS記録したテープで操作できます。**

VHS　**S-VHS/VHS記録したテープで操作できます。**

■ **本文中の記号の見方**

ご注意　操作上の注意などが書かれています。

☞　参照ページや参照項目を示しています。

メモ　機能や使用上の制限など、参考になる内容が書かれています。

キーポイントやテクニックをまとめて説明しています。

D-VHSとは

D-VHSの特長

1. 他のデジタルメディアとは桁違いの大容量
   テープメディアの特性を活かし、44GBから50GBと、CD-ROM約80枚分、DVD約10枚分もの容量を低コストで実現。
2. 先端IT技術を活かしての高画質HSモード
   DVDの3～4倍の高ビットレート=28.2Mbpsで最大3.5～4時間記録可能。
3. 高密度記録を活かしての高画質長時間STDモード
   DVDの1.5～2倍の高ビットレート=14.1Mbpsで最大7～8時間記録可能。
4. 大容量を活かしての長時間LS3モード
   S-VHS程度の高画質のビットレート=4.7Mbpsなら、最大21～24時間記録可能。
5. 現行VHS、S-VHSとの上位互換性
   高性能S-VHSとして従来のソフト資産を再生、アナログソースをS-VHS/VHSテープに記録可能。
6. ビットストリーム記録方式
   デジタル放送のビットストリームを、HD映像・マルチ映像・マルチチャンネル音声・付加データまで、そのまま記録可能。MPEG2エンコーダー／デコーダー内蔵により、SDのアナログ放送・ソフトもデジタル化してビットストリーム記録。

著作権保護技術について

この製品には、米国特許その他の知的財産権で保護されている著作権保護のための技術が搭載されています。
この著作権保護のための技術の使用に関しては、マクロビジョンコーポレーションの許可が必要ですが、家庭およびその他の限定された視聴に限っては、許可を受けています。

D-Theater技術について

D-Theater(ディーシアター)は、高画質のハイビジョン映像と高音質サラウンド音声を備えた映像作品のパッケージソフトを実現する、著作権保護を中心とした新しい技術規格です。
この製品は国内向けD-Theater映画ソフト発売に対応した各種機能を搭載しています。

注記：この製品は「Region(リージョン) 2」仕様です。「Region-2」または「All Region」と表示されたD-Theaterソフトの再生が可能です。

この商品の価格には、「私的録画補償金」が含まれております。補償金は、著作権法で権利保護のため権利者に支払われることが定められています。

私的録画補償金の問い合わせ先
〒107-0052
東京都港区赤坂5丁目3番6号　赤坂メディアビル
社団法人　私的録画補償金管理協会
TEL 03-3560-3107（代）
FAX 03-5570-2560

なお、あなたが録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。

地上・BS・110度CSデジタル放送について

BS・110度CSデジタル放送の録画のしくみ

本機は、BS/CSデジタル放送をD-VHSテープにデジタルで録画することができます。

衛星デジタル放送の録画システム図

BSデジタル放送衛星
または
BS・CSデジタル通信衛星

アナログ信号
デジタル信号

BS・110度CSデジタルチューナー内蔵テレビ
（またはBS・110度CSデジタルチューナー）

MPEG2デコーダ

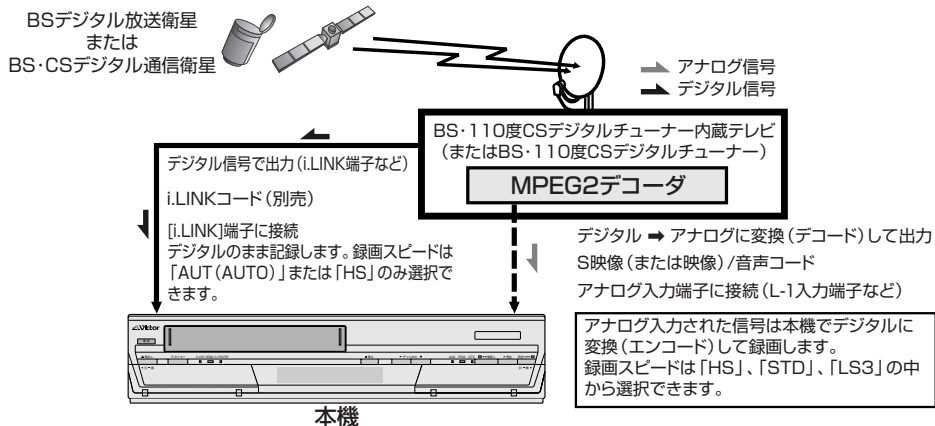
デジタル信号で出力（i.LINK端子など）

i.LINKコード（別売）

[i.LINK]端子に接続
デジタルのまま記録します。録画スピードは「AUT（AUTO）」または「HS」のみ選択できます。

デジタル ➡ アナログに変換（デコード）して出力
S映像（または映像）/音声コード
アナログ入力端子に接続（L-1入力端子など）

アナログ入力された信号は本機でデジタルに変換（エンコード）して録画します。
録画スピードは「HS」、「STD」、「LS3」の中から選択できます。

本機

BSデジタル放送とは

BSデジタル放送にはいくつかのバリエーションがあります。
BSデジタル放送の詳細については、接続するBSデジタルチューナー内蔵テレビ（またはBSデジタルチューナー）の取扱説明書をご覧ください。

マルチプログラム

BSデジタル放送でチャンネルを複数に分割して、独立した標準テレビ放送（SD）として放送するサービスです。
本機では、D-VHSモードで再生時、テレビ画面にマルチプログラムアイコンが表示されてリモコンの[チャンネル＋／－]ボタンで番組を切り換えることができます。

	A放送局		
	○○○ ch	□□□ ch	○△□ ch
7時	サッカー中継（デジタルハイビジョン放送）		
8時	サッカー中継（標準テレビ放送）	ニュース（標準テレビ放送）	アニメ（標準テレビ放送）
9時	ドラマ（デジタルハイビジョン放送）		

マルチビュー

BSデジタル放送で複数の画面（ビュー）を標準テレビ放送（SD）として同時に放送するサービスです。
特に、スポーツ中継などアングルを変えて見たいときに便利です。
本機では、D-VHSモードで再生時、テレビ画面にマルチビューアイコンが表示されて、リモコンのマルチビュー[4]ボタンで番組を切り換えることができます。

	A放送局（○○○ ch）		
7時	ニュース（デジタルハイビジョン放送）		
8時	主番組 ゴルフ選手権（標準テレビ放送）	副番組 12番ホール中継（標準テレビ放送）	副番組 13番ホール中継（標準テレビ放送）
9時	ドラマ（デジタルハイビジョン放送）		

映像を切りかえる

（降雨対応放送）

激しい雨による映像・音声の遮断を軽減するために、通常の放送に加えて、降雨に強い方式で同じ番組を並行して送ります。BSデジタルチューナーは受信状態を判断して自動（または手動）で降雨対応画面（静止画や粗い動画）への切り換えを行ないます。
また、降雨時用信号を「マルチビュー」の一画面を用いて送られることがあれば、「AUTO」モードなら通常放送と同時に「STD」モードで記録し、再生時に状態の良い方を選ぶことも可能です。
ハイビジョンテレビやチューナーの機能メニューで「主画面だけ記録」を選べるものもあります。

臨時編成サービス

野球中継などが延長になったときに、引き続き標準テレビ放送（SD）で放送するサービスです。
野球の後に放送される映画等もデジタルハイビジョン（低レート）で定刻に見ることができます。臨時編成チャンネルへは、視聴者が切り換えます。
野球中継が終わると、自動的に元のチャンネルに戻ります。

	A放送局（○○○ ch）	臨時ch
8時	野球中継（デジタルハイビジョン放送）	
9時	映画（デジタルハイビジョン放送）	放送延長（標準テレビ放送）

視聴者が切りかえる
自動的に戻る

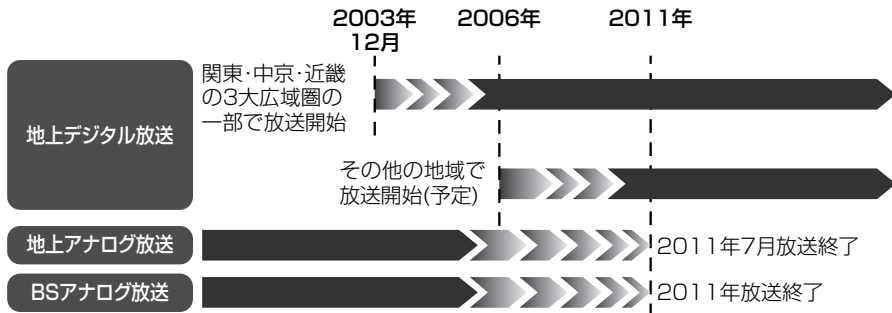
地上デジタル放送について

地上アナログ放送から地上デジタル放送への移行と、地上デジタル放送をご覧になる場合についてご案内いたします。

地上デジタル放送への移行スケジュール

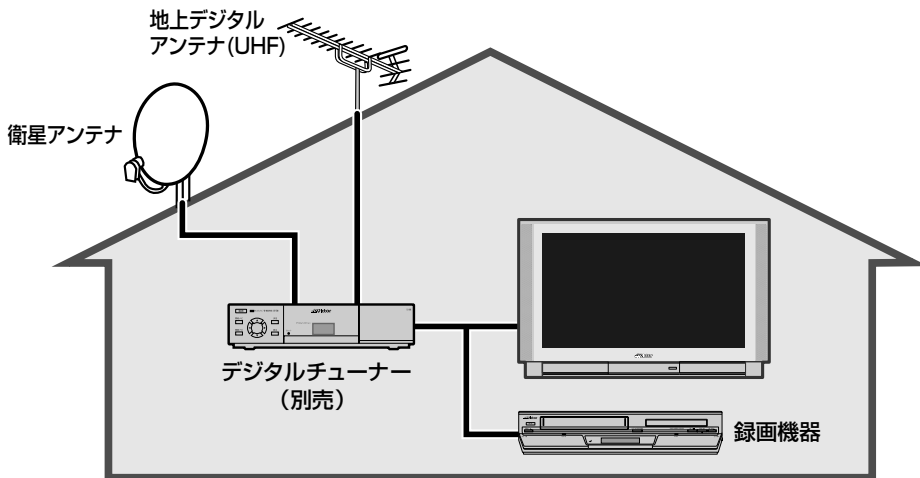
地上アナログ放送から地上デジタル放送への移行について

地上デジタル放送は、関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で2003年12月から開始され、その他の地域でも、2006年末までに放送が開始される予定です。該当地域における受信可能エリアは、当初限定されていますが、順次拡大される予定です。地上アナログ放送は2011年7月に、BSアナログ放送は2011年までに終了することが、国の方針として決定されています。

2003年12月
2006年
2011年
地上デジタル放送
関東･中京･近畿の3大広域圏の一部で放送開始
その他の地域で放送開始(予定)
地上アナログ放送
2011年7月放送終了
BSアナログ放送
2011年放送終了

地上デジタル放送をご覧になるには

地上アナログ放送受信チューナー内蔵の録画機器で地上デジタル放送を録画するには

別売りのデジタルチューナー又はデジタルチューナー内蔵テレビと、お手元の録画機器を接続することにより、地上デジタル放送を録画いただけます。ただし、録画機器の種類により、接続方法は異なります。また、録画機器により録画画質は異なります。番組によっては、著作権保護の目的により、録画や一度録画した番組のダビングができない場合があります。

地上デジタルアンテナ(UHF)
衛星アンテナ
デジタルチューナー（別売）
録画機器

安全上のご注意

ご使用の前にお読みください。

絵表示について

この取扱説明書と製品には、いろいろな絵表示が記載されています。
これらは、製品を安全に正しくお使いいただき、人への危害や財産への損害を未然に防止するための表示です。
絵表示の意味をよく理解して本文をお読みください。

⚠警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、傷害を負ったり物的損害が想定される内容を示しています。

絵表示の説明

● 注意(警告を含む)が必要なことを示す記号

一般的注意　手がはさまれる

● してはいけない行為(禁止行為)を示す記号

禁止　水場での使用禁止　接触禁止
分解禁止　ぬれ手禁止　水ぬれ禁止

● 必ずしてほしい行為(強制、指示行為)を示す記号

一般的指示　プラグをコンセントから抜く

⚠警告

お断り

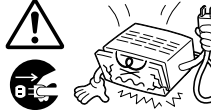
● この「安全上のご注意」には、本製品に該当しない内容も記載されています。

万一、次のような異常が発生したときは、そのまま使用しない

■ 火災や感電の原因となります。

● 煙が出ている、へんなにおいがするなどの異常のとき。

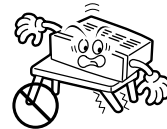
● 内部に水や物が入ってしまったとき。

● 落としたり、キャビネットが破損したとき。

● 電源コードが傷んだとき(芯線の露出、断線など)。

■ このようなときは、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いたあと、販売店に修理を依頼してください。

■ お客様ご自身が修理することは危険です。絶対にやめてください。

不安定な場所に置かない

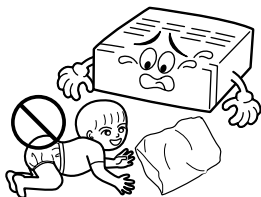
■ ぐらついた台の上や傾いた所には置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。

表示された電源電圧(交流 100V)以外で使用しない

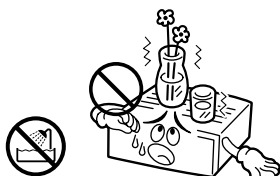
■ 火災や感電の原因となります。

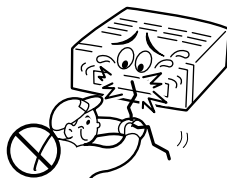
AC200V

⚠警告

この機器の包装に使用しているポリ袋は、小さなお子様の手の届くところに置かない

■ 頭からかぶると窒息の原因となります。

この機器の上に水の入ったもの（花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品など）を置かない

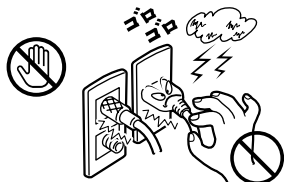
■ 機器の内部に水が入ると、火災や感電の原因となります。

内部に物を入れない

■ 通風孔などから、金属類や燃えやすいものなどが入ると、火災や感電の原因となります。
特に小さいお子様のいるご家庭では注意してください。

ぬらさない

■ 火災や感電の原因となります。

■ 風呂場では使用しないでください。

雷が鳴りだしたら、アンテナ線や電源プラグにはふれない

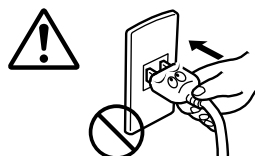
■ 感電の原因となります。

電源プラグは、すぐに抜ける場所にあるコンセントに差しこむ

■ 本機に異常が発生したときに、電源プラグをコンセントからすぐ抜けるようにしてください。

この機器のカバー（キャビネット）は外したり、改造しない

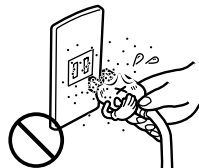
■ 内部には電圧の高い部分があり、火災や感電の原因となります。内部の点検・修理は販売店に依頼してください。

電源プラグは、コンセントの奥まで確実に差し込む

■ ショートや発熱により、火災や感電の原因となります。
また、たこ足配線はしないでください。

電源コードを傷つけない

■ 電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。
・電源コードを加工しない。
・無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしない。
・電源コードの上に機器本体や重いものをのせない。
・電源コードを熱器具に近づけない。

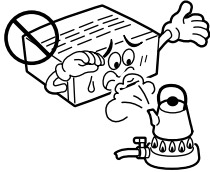
電源プラグの電極、およびコンセントにほこりや金属を付着したまま使用しない

■ ショートや発熱により、火災や感電の原因となります。半年に一度はプラグを抜いて乾いた布で拭いてください。

この機器の電源コンセント(ACアウトレット)に、ヒーター、ドライヤーや電磁調理器などの消費電力の大きい機器をつながない
[電源コンセント(ACアウトレット)付機種]

■ 接続する機器の消費電力が、本体の電源コンセントに表示されている電力を超えないようにしてください。火災の原因となります。

⚠注意

次のような所には置かない

■ 火災や感電の原因となることがあります。
- 湿気やほこりの多いところ
- 調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気の当たるところ
- 熱器具の近くなど
- 窓ぎわなど水滴の発生しやすいところ

他の機器と接続するときは、接続する機器の電源を切り、それぞれの取扱説明書に従う

■ 指定以外のコードを使用したり、延長したりすると発熱し、火災、やけどの原因となることがあります。

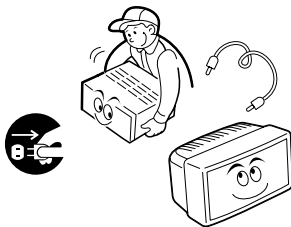
通風孔をふさがない

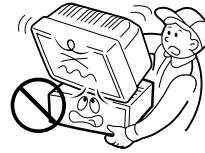
■ 通風孔をふさぐと、内部の熱が逃げないので、火災の原因となることがあります。

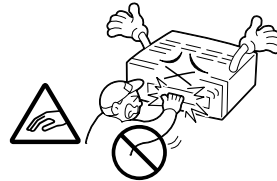
次のことに注意してください。
- 押し入れ、本箱など狭いところに入れない。
- じゅうたんや布団などの上に置かない。
- テーブルクロスなどを掛けない。
- 横倒し、逆さま(あおむけ)にしない。

■ ファンの通風孔を塞いだり、すき間から異物を差し込まないでください。故障の原因となることがあります。

移動するときは、電源プラグや接続コード類をはずす

■ 接続したまま移動すると、コードに傷がつき、火災や感電の原因となることがあります。
■ カセットテープも取り出しておいてください。

この機器の上に他の機器を載せたまま移動しない

■ 倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。

カセットの出し入れ口に手を入れない

■ 手をはさまれて、けがの原因となることがあります。
特に小さいお子様のいるご家庭では注意してください。

この機器の上に重い物を置いたり、乗ったりしない

■ テレビなどの重いものや本体からはみ出るような大きな物を置くと、バランスがくずれて倒れたり、落ちたりして、けがの原因となることがあります。また、重みでカバー(キャビネット)が変形して、内部の部品が破損・故障し、火災や感電の原因となることがあります。

電気機器の上や下に重ねて置かない

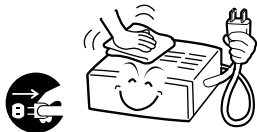
■ お互いの熱やノイズの影響で誤動作したり故障したりして、火災の原因となることがあります。

長期間使用しないときは、電源プラグを抜く

■ 電源が「切」でも機器に電気が流れていますので、安全および節電のため、電源プラグを抜いてください。

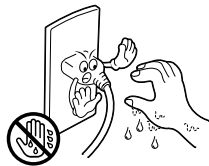
⚠注意

お手入れをするときは、電源プラグを抜く

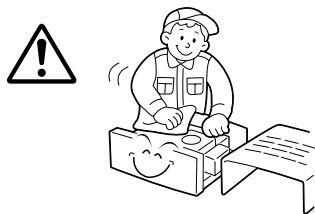
■ 電源が「切」でも機器に電気が流れていますので、感電の原因となることがあります。

電源プラグはコードの部分を持って抜かない

■ 電源コードを引っ張ると、コードに傷がつき、火災・感電の原因となることがあります。プラグの部分を持って抜いてください。

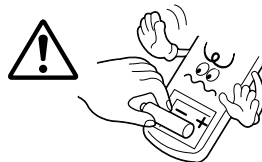
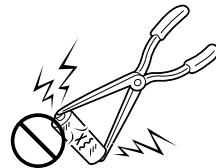
ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

■ 感電の原因となることがあります。

1年に一度は内部の点検を販売店に依頼する

■ 内部にホコリがたまったまま使用すると、火災の原因となることがあります。

■ 特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。

電池の安全上のご注意

取り扱いを誤ると、電池が破裂したり、液もれして、火災、けがや周囲を汚す原因となりますので、次のことをお守りください。

- 電池はプラス(＋)とマイナス(—)の表示通り入れる。
- 指定以外の電池を使用しない。
- 種類の異なる電池や新しい電池と一度使用した電池を混ぜて使わない。

- 電池(電池ケース)のプラス(＋)、マイナス(—)をショートさせない
- 加熱したり、分解したり、火や水の中に入れない
- 長期間使用しないときは、電池を取り出しておく

■ **もし、液がもれた場合は、電池ケースについた液をよくふき取ってください。万一、もれた液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。**

使用上のご注意

きれいな画面でご覧いただくために

長い間ご使用になるうちにビデオヘッドが汚れて、再生しても映像や音声が出なくなることがあります。
このようなときは、別売のクリーニングテープでビデオヘッドをクリーニングしてください。

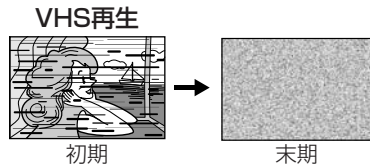
■ ビデオヘッドが汚れるとこんな症状になります

- 映像が不鮮明または映らない、音声が出ない。
- 映像がモザイク画(ブロック状のノイズ)になる。
- 映像に黒色やモザイク画の横しまが出る。
- 映像が止まる。(静止画になる)
- 灰色の画面になる。
- ザラザラした画面になる。(ＶＨＳ再生)

VHS再生

初期　末期

D-VHS再生

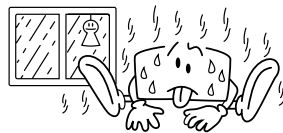
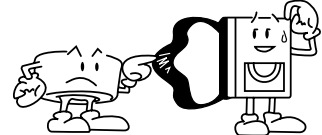
ブロックノイズ　静止画　灰色の画面

■ D-VHS専用のクリーニングテープ(ビクターD-VHSビデオヘッドクリーナー TCL-DVS)を使ってビデオヘッドをクリーニングしてください

- 誤動作を防ぐために、ビデオナビゲーション機能を「切」にしてください。(☞85 ページ参照)
- お使いになるときは、クリーニングテープの説明書をお読みください。

本機には、D-VHS専用のクリーニングテープ以外は使用しないでください。

■ ビデオヘッドが汚れる原因は

- 高温、多湿なところで使う
- ほこりの多いところで使う
- 長時間使う
- 傷や汚れのあるテープを使う
- カビの生えたテープを使う
- 何度も使ったテープを使う

……などです。

- 高温·多湿(梅雨時期など)
- 空気中のほこり
- 長時間の使用など
- テープの傷、汚れなど

■ クリーニングテープを使っても鮮明な映像にならないときは

- ヘッドが磨耗している場合があります。お買い上げの販売店または、ビクターサービス窓口にご相談ください。
- ＶＨＳ再生では、トラッキングがずれているときでもザラザラした画面になることがあります。 こんなときは、トラッキングを手動で調節してください。

■ 定期点検を行なってください

- 長い間ご使用になるうちに、機械部分が汚れたり磨耗したりします。

  性能を維持し、いつも美しい画面をご覧いただくために、およそ1000時間の使用をめどに点検整備をされることをおすすめいたします。

大切な録画の前に

■ テレビ放送や録画物などから録画したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
■ 大切な録画の場合は、必ず事前に試し撮りをし、正常に録画･録音されていることを確かめてください。
■ 万一、本機およびビデオカセットテープ等の不具合により、正常に録画・録音や再生できなかった場合の内容の補償についてはご容赦ください。

大切な記録を消さないために

■ 大切な録画済みテープは、誤消去を防ぐため、つめ(誤消去防止用)を折って取り除いてください。
■ ふたたび録画するときは、セロハンテープを二重に貼ってください。

つゆつきにご注意

■ **つゆつきとは**
よく冷えたビールをコップにつぐと、コップのまわりに水滴が付きます。この状態を「つゆつき」(または結露)といいます。
■ **つゆつきが発生すると**
ビデオ内部のヘッドドラムに水滴が付き、それにテープが貼り付いて、テープやビデオを傷めてしまいます。
■ **次のようなときにつゆつきになりやすい**ので、ご注意ください。
- ビデオを、寒いところから暖かい部屋に移動したとき
- 急に部屋を暖房したとき
- エアコンなどの冷風が直接当たるところ
- 湿気の多いところ

■ **つゆつきになりそうなときは、**あらかじめビデオの電源を入れておくと、内部の熱で発生しにくくなります。
■ 再生ができないなどの症状が出たら、つゆつきの可能性があります。ビデオの電源を入れて数時間待ってからご使用ください。

ビデオ使用中は

強い磁気を持っているものや、強い電磁波を出すもの(携帯電話など)を近付けないでください。映像･音声に悪影響を与えたり、記録が損なわれたりするおそれがあります。

長期間ご使用にならないときは

長期間使用しないと機能に支障をきたす場合がありますので、ときどき電源を入れて、動作させてください。

大切な録画の前に

■ キャビネットや操作パネルの汚れは、柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れのひどいときは、水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふき取り、かわいた布で仕上げてください。ご使用の際は、その注意書にしたがってください。
■ シンナー、ベンジンなどは使用しないでください。傷んだり、塗料がはがれたりすることがあります。
■ 殺虫剤などの揮発性のものをかけないでください。

アンテナは

■ 妨害電波をさけるために、電線や道路などからなるべく離してください。
■ 風雨にさらされているので、定期的に点検・交換することをおすすめします。
■ アンテナ線には、良好な映像を得るために、同軸ケーブルを使用することをおすすめします。
■ アンテナ工事には、技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。

ビデオカセットテープは

■ ビデオカセットはD VHS 、S VHS、VHSタイプをお使いください。
■ 録画済みテープに新しく録画するときは、前に録画されたものは消されます。
■ ビデオカセットテープは、裏返しでは使えません。
■ ビデオカセットテープのふたを開けたり、分解したり、テープに直接触れることはしないでください。
■ テープを走行させないで、何度も出し入れしないでください。テープに傷を付けることがあります。
■ 使用後は、テープを始めまで巻き戻しておいてください。

ビデオカセットテープの保管は

■ 次のような所はさけて保管してください。
- 湿気やほこりの多いところ、カビの発生しやすいところ
- 直射日光が当たるところやストーブの近く
- 磁気の発生するところ

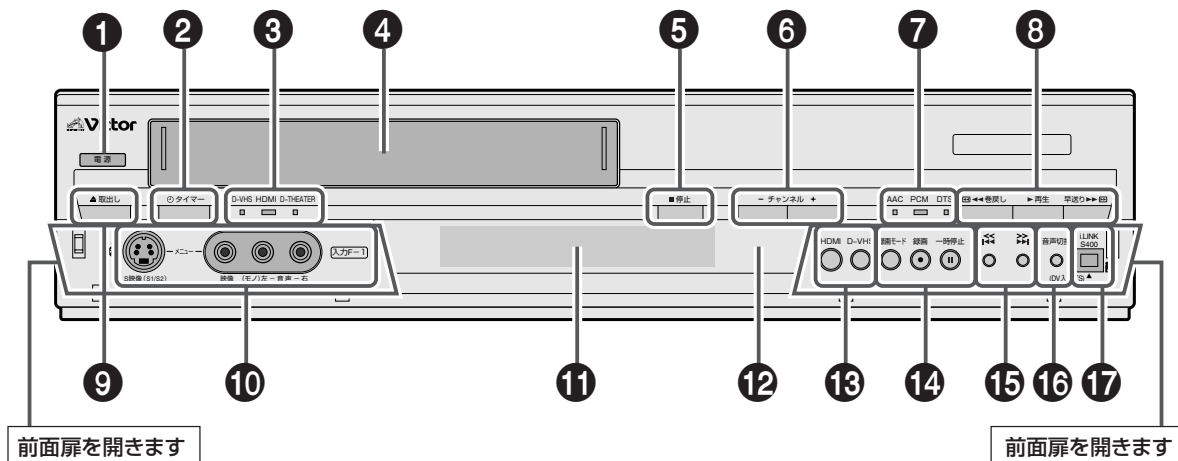
■ 落としたり衝撃を与えないでください。
■ テープの巻き取りにむらがあるとテープを傷めます。きれいに巻き直してください。
■ ケースに入れて、立てて保管してください。

各部の名称

本体前面

（☞ ページ）の中の数字は参照ページです。よりくわしい説明が記載されています。

前面扉を開きます

前面扉を開きます

❶ **[電源]ボタン**
電源を「入／切」します。

❷ **[タイマー（⏲）]ボタン**（☞**61**、**63**～**65**ページ）
録画予約を設定／解除します。
- 電源「切」で録画予約待機状態にするには、「オートタイマー」を「入」に設定します。（☞**101**ページ）

❸ **[D-VHS]ランプ**（☞**51**、**66** ページ）
D-VHS テープに D-VHS モードで録画または再生するときに点灯します。

[HDMI]ランプ（☞**36**、**66** ページ）
[HDMI出力]端子が選ばれているときに点灯します。

[D-THEATER]ランプ
D-THEATER テープを再生すると点灯します。

❹ **ビデオカセット挿入口**
ビデオカセットを入れます。

❺ **[停止]ボタン**（☞**57**、**67** ページ）
再生や録画を止めるときに押します。

❻ **[チャンネル（＋／－）]ボタン**（☞**89**ページ）
チャンネル切換、外部入力切換（I-1、L-1、L-2、F-1）、トラッキング調節などを行なうときに押します。

❼ **[AAC]ランプ**（☞**125** ページ）
MPEG2 AAC の音声（BS･110 度 CS デジタル放送）を再生すると点灯します。

[PCM]ランプ（☞**125** ページ）
リニア PCM の音声を再生すると点灯します。

[DTS]ランプ（☞**125** ページ）
DTS 音声で記録されたテープを再生すると点灯します。

❽ **[巻戻し（◀◀）]ボタン**（☞**67**、**68** ページ）
再生中に押すと、映像を見ながら巻戻しができます。停止中はテープを巻戻します。

[再生（▶）]ボタン（☞**66** ページ）
テープの再生を始めます。

[早送り（▶▶）]ボタン（☞**67**、**68** ページ）
再生中に押すと、映像を見ながら早送りができます。停止中は、テープを早送りします。

❾ **[取出し（⏏）]ボタン**（☞**67** ページ）
ビデオカセットを取り出すときに押します。

❿ **[S映像（S1/S2）／映像／音声入力F-1]端子（前面扉内）**
ビデオカメラなどからダビングしたいときに使います。

⓫ **本体表示窓**（☞**20**、**92** ページ）
ビデオの操作状態を表示します。

⓬ **リモコン受光部**（☞**21** ページ）
リモコンを操作するときは、ここに向けて操作します。

⓭ **[HDMI]ボタン（前面扉内）**
（☞**36**、**66**、**95** ページ）
映像／音声を[HDMI 出力]端子から出力するか、それ以外の端子から出力するかを切り換えるときに押します。

[D-VHS]ボタン（前面扉内）（☞**51** ページ）
D-VHSテープにS-VHS/VHS記録するときに押します。再度押すと、D-VHS モードになります。

⓮ **[録画モード]ボタン（前面扉内）**
（☞**53**、**56** ページ）
録画スピードを切り換えるときに使います。

[録画（●）]ボタン（前面扉内）
（☞**53**、**56**、**57** ページ）
録画を始めるときに押します。
録画中に繰り返し押すと、録画時間を30分単位で設定できます。

[一時停止（II）]ボタン（前面扉内）
（☞**57**、**67**、**87** ページ）
再生中や録画中に押すと、一時停止します。
再生一時停止中に繰り返し押すと、コマ送り再生ができます。

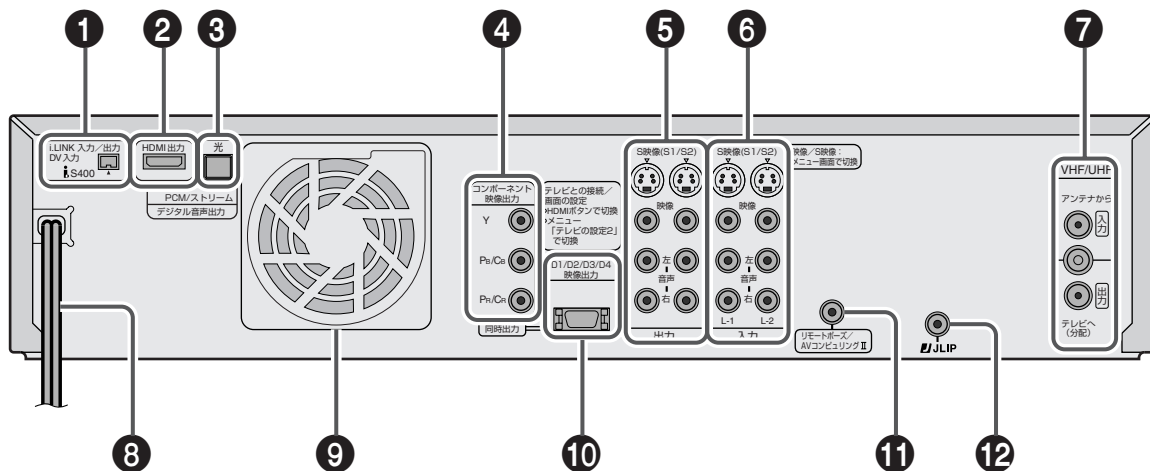
⓯ **[|◀◀／▶▶|]ボタン（前面扉内）**（☞**86**ページ）
頭出し再生をするときに押します。

[<<／>>]ボタン（前面扉内）（☞**86**ページ）
可変速再生をするときに押します。

⓰ **[音声切換]ボタン（前面扉内）**（☞**88**ページ）
聞きたい音声を選ぶときに押します。

⓱ **[i.LINK]端子（前面扉内）**
（☞**32**、**34**、**93** ページ）
デジタルビデオカメラなどからダビングしたいときや、複数のi.LINK接続が禁止されている機器をつなぐときに使います。

本体背面

（☞ ページ）の中の数字は参照ページです。よりくわしい説明が記載されています。

❶ **[i.LINK]端子**（☞**32**、**34**、**93** ページ）
地上·BS·110度CSデジタルテレビなどのi.LINK対応機器と接続します。また、D-VHS ビデオデッキからデジタルダビングするときにも使用します。S-VHS ／ VHS モードで再生時、[i.LINK]端子から信号を出力します。また、[デジタル音声出力]端子からもメニューで設定した音声を出力します。(光デジタル音声出力　☞**100** ページ)

❷ **[HDMI 出力]端子**（☞**29**、**36** ページ）
デジタル放送の 1125i、750p、525p、525i に対応したデジタルインターフェイス端子です。HDMI 端子または DVI 端子入力付きのデジタルテレビを接続します。
- [HDMI出力]端子を使用するときは、本体前面の[HDMI]ボタンを押して、HDMI 出力にします。

❸ **[光デジタル音声出力]端子**（☞**39**、**100**ページ）
AAC5.1 チャンネル / ドルビーデジタル対応デコーダー /PCM 入力を持ったアンプやサンプリングレートコンバーターを内蔵しているMDデッキなどと接続します。
メニューの「モード設定➡音声設定➡光デジタル音声出力」を「AAC・PCM」または「2CH PCM」音声出力に設定してください。
- S-VHS/VHSテープ再生時の音声も出力します。
- アナログ入力または EE（電源を入れただけの）モードのときは 2CH の PCM 音声が出力されます。

❹ **[コンポーネント映像出力]端子**（☞**30**ページ）
デジタル放送の1125i、525p、525i に対応したコンポーネント（色差出力）端子です。
コンポーネント端子の付いたハイビジョンテレビなどと接続します。
- 本機の音声出力端子とテレビを音声コードで接続してください。コンポーネント端子だけの接続では、音声はテレビから出力されません。
- 本機とテレビの接続方法をメニュー の「モード設定➡入出力設定➡テレビの設定2」を「D3·HD入力」に設定してください。（☞**37**ページ）

❺ [S映像、映像/音声出力]端子(☞31、95ページ)
テレビ(または他のAV機器)の映像/音声入力端子とつなぎます。

❻ [入力L-1/L-2]端子(☞32、34、94ページ)
i.LINK対応の地上·BS·110度CSデジタルテレビなどのS映像(または映像)/音声出力端子とつなぎます。
通常の入力端子としても使えます。
S映像と映像の入力切換はメニューの「モード設定➡入出力設定➡背面映像入力L-1/L-2」を設定してください。(☞101ページ)

❼ アンテナ入力端子(☞26ページ)
VHF/UHFアンテナを接続します。

アンテナ出力端子(☞26ページ)
テレビのアンテナ入力端子と接続します。

❽ 電源コード

❾ ファン
- 内部の温度上昇を防ぐものです。
取り外さないでください。
- ファンの周りをふさがないように設置してください。

❿ [D1/D2/D3/D4映像出力]端子(☞30ページ)
デジタル放送の1125i、750p、525p、525iに対応したコンポーネント(色差出力)端子です。デジタル放送に対応したD1～D4端子入力付きのテレビを接続します。
- 本機の音声出力端子とテレビを音声コードで接続してください。D端子だけの接続では、音声はテレビから出力されません。
- 本機とテレビの接続方法をメニューの「モード設定➡入出力設定➡テレビの設定1、2、プログレッシブモード」を設定してください。(☞36、37ページ)

⓫ [リモートポーズ/AVコンピュリンクⅡ]端子(☞102ページ)
メニューの「モード設定➡機能設定➡コントロール切換」を「リモートポーズ」または「AVコンピュリンクⅡ」に設定してください。

[リモートポーズ]端子(☞102ページ)
編集端子付きのビクター製ビデオカメラなどを接続します。くわしい説明は、接続する機器の取扱説明書をご覧ください。

[AVコンピュリンクⅡ]端子(☞102ページ)
AVコンピュリンク付きのビクター製テレビ、オーディオシステムなどを接続します。くわしい説明は、接続する機器の取扱説明書をご覧ください。

⓬ [JLIP]端子
[JLIP]端子またはRS-232C端子付きの外部機器から本機をコントロールするために使います。詳しくは、接続する機器の取扱説明書またはビクターホームページをご覧ください。

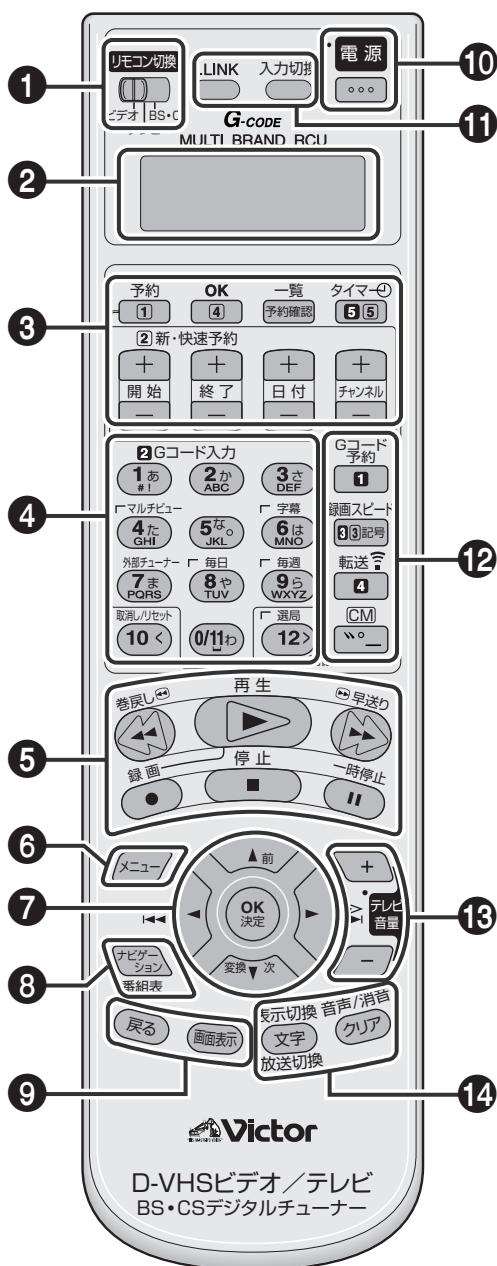
メモ

- [i.LINK]端子の[S400]表記について
i.LINK対応機器には、その機器が対応している最大データ転送速度がi.LINK端子の周辺に表記されています。i.LINKの最大データ転送速度は、約100／200／400 Mbps*が定義されており、それぞれS100、S200、S400と表記されます。最大データ転送速度が異なる機器を接続した場合や、機器の仕様により、実際の転送速度が表記と異なることがあります。

*Mbpsとは
「Mega bits per second」の略で、「メガビーピーエス」と読みます。1秒間に通信できるデータの容量を示しています。400 Mbpsならば、1秒間に400メガビットのデータを送ることができます。

各部の名称（つづき）

リモコン

（☞ ページ）の中の数字は参照ページです。よりくわしい説明が記載されています。

❶ [リモコン切換]スイッチ（☞**23**、**24** ページ）
（ビデオ用／テレビ用／ BS・CS 用）

- [ビデオ側] ：ビデオを操作します。
- [テレビ側] ：テレビを操作します。
- [BS・CS 側] ：BS／CSチューナーを操作します。

VTR A
ビデオ

TV
テレビ

BS
BSの場合

BS:CS
BS･110度CSの場合

CS
CSの場合

❷ 液晶表示窓
[リモコン切換]スイッチを切り換えると、操作できる機器を「VTR A (B、C、D)／ TV ／ BS ／ CS」と表示します。
Gコード予約をするときは、入力したGコード番号と録画スピードを表示します。

❸ 新・快速予約設定ボタン（☞**62** ページ）
録画予約を設定します。

[予約確認]ボタン（☞**64** ページ）
録画予約を確認したいときに押します。

[タイマー]ボタン（☞**61**、**63** ～ **65** ページ）
録画予約を設定／解除します。

❹ チャンネル切換ボタン／メーカー指定ボタン／Gコード入力ボタン(0～9)／文字入力ボタン(1～12)

- ビデオ、テレビ、BS ／ CS チューナーのチャンネルを切り換えます。
- お使いのテレビメーカーを指定して、本機のリモコンでテレビを操作できるようにします。（☞**22** ページ）
- お使いのBSまたはCSチューナーのメーカーを指定して、本機のリモコンでBSまたはCSチューナーを操作できるようにします。（☞**24** ページ）
- Gコード番号を入力するときに使用します。（☞**60** ページ）
- タイトルを入力するときに使用します。（☞**78** ページ）

❺ **テープ操作ボタン**（☞52、56、66、67ページ）
[巻戻し（◀◀）]、[再生（▶）]、[早送り（▶▶）]、[録画（●）]、[停止（■）]、[一時停止（❚❚）]

❻ **[メニュー]ボタン**（☞35、99ページ）
メニューを表示するときに使用します。

❼ **メニュー選択[▲／▼／◀／▶]ボタン**
- メニュー項目を選択します。（☞35、99ページ）
- 頭出し再生[❙◀◀／▶▶❙]をします。（☞86ページ）
- 可変速再生[<<／>>]をします。（☞86ページ）

❽ **[ナビゲーション／番組表]ボタン**

[ナビゲーション]ボタン（☞71ページ）
[リモコン切換]スイッチで[ビデオ]を選択したときに、録画した番組のタイトル画面が表示されます。

[番組表]ボタン（☞25ページ）
[リモコン切換]スイッチで[BS･CS]を選択したときに、CS放送の週間番組表を表示します。

❾ **[戻る]ボタン**（☞99ページ）
[戻る]ボタンは、タイトルを入力するときや、メニュー設定の操作時に使用します。

[画面表示]ボタン（☞50ページ）
本機の動作状態などを画面に表示させたくないときに押します。
もう一度押すと、表示が消えます。

❿ **[電源]ボタン**
[リモコン切換]スイッチで選択された機器の電源を、入／切します。

⓫ **[i.LINK]ボタン**（☞25ページ）
地上･BS･110度CSデジタルチューナーなどと本機をLINCするときに使います。

[入力切換]ボタン
[リモコン切換]スイッチで[テレビ]を選択したときに、テレビの入力を切り換えます。

⓬ **[Gコード予約]ボタン**（☞60ページ）
Gコード番号を入力するときに押します。

[録画スピード]ボタン（☞53、56ページ）
録画スピードを切り換えるときに使います。

[転送]ボタン（☞60ページ）
入力したGコード番号を本体に転送するときに押します。

[CM]ボタン
「CMスキップサーチ」（☞68ページ）や「オートCMカット」（☞90ページ）に使います。

⓭ **[テレビ音量（＋／－）]ボタン**
テレビの音量を調節するときに使用します。

⓮ **[表示切換／放送切換]ボタン**
- 本体表示窓やテレビ画面のカウンター表示などを切り換えます。（☞59ページ）
- デジタルチューナー内蔵テレビが受信している放送（地上放送／地上デジタル／BSデジタル放送／110度CSデジタル放送）を切り換えます。（☞25ページ）

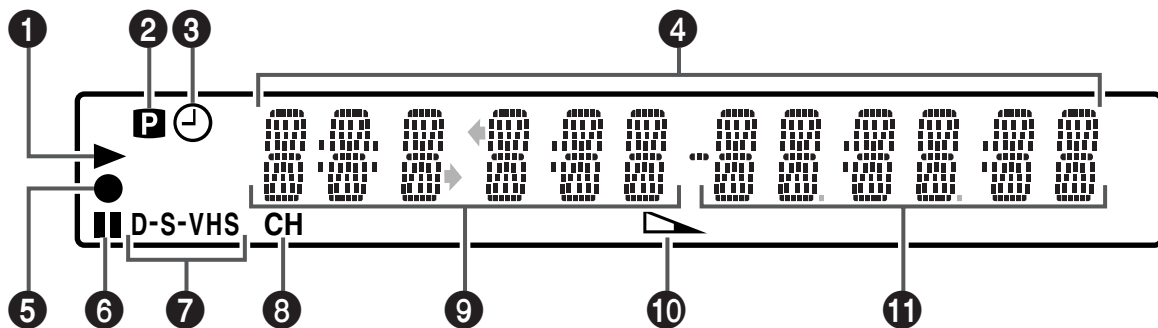
[音声／消音]ボタン（☞88ページ）
- 聞きたい音声を選びます。
- 音声を消したいときに押します。

メモ

● 表示部にTVが表示されていても、次の操作は切り換えずに行うことができます。
- **ビデオの基本操作**
  操作後TV表示に戻ります。
- **タイマー予約やGコード予約の操作**
- **メニューを呼び出す操作**

本体表示窓

D-S-VHS CH

❶ **再生表示**

再生中は点灯します。

❷ **映像出力表示**

消灯：インターレーススキャンモード

点灯：プログレッシブスキャンモード

❸ **タイマー表示**

録画予約待機中のときに点灯します。

❹ **マルチ表示部**

カセットテープの状態、プログラム表示、エラー表示、テープ番号表示、オートチャンネル表示をします。

❺ **録画表示**

点灯：録画中

点滅：ワンタッチタイマー録画中(☞57 ページ)

❻ **一時停止表示**

一時停止中のときに点灯します。

❼ **使用カセット表示**

「D-VHS」：D-VHSテープにD-VHSモードで録画または再生するときに点灯します。

「S-VHS」：S-VHSまたはS-VHS ETモードで録画または再生するときに点灯します。

「VHS」：VHS モードで録画または再生するときに点灯します。

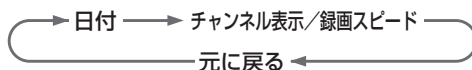
❽ **チャンネルモード表示**

テレビのチャンネルを入力として選んだときに点灯します。

❾ **日付／チャンネル／録画スピード／リモコンコード表示**

日付、チャンネル、録画スピードを表示します。また、リモコンコードを設定したときに、リモコンコードを表示します。

[表示切換]ボタンを押すと、次のように表示が切り換わります。

→ 日付 → チャンネル表示／録画スピード → 元に戻る

※：再生中は、録画スピードのみ表示されます。

S-VHS/VHS モード時

「SP」：録画スピードが「SP（標準）」のときに表示します。

「EP」：録画スピードが「EP（3 倍）」のときに表示します。

D-VHSモード時(☞53ページ)

「AUT」：録画スピードが「AUTO」のときに表示します。

「HS」：録画スピードが「HS」のときに表示します。

「STD」：録画スピードが「STD」のときに表示します。

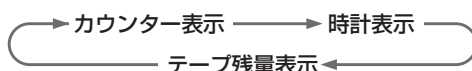
「LS3」：録画スピードが「LS3」のときに表示します。

❿ **残量表示**

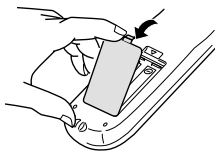
テープ残量を計算してるときや、テープ残量時間を表示中に点灯します。

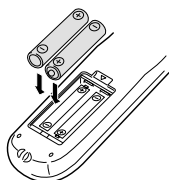
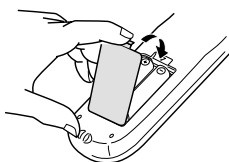
⓫ **時計／カウンター／テープ残量時間表示**

時計、カウンター、テープ残量時間を表示します。停止または録画中に[表示切換]ボタンを押すと、次のように表示が切り換わります。

→ カウンター表示 → 時計表示 → テープ残量表示

リモコンを使う前に

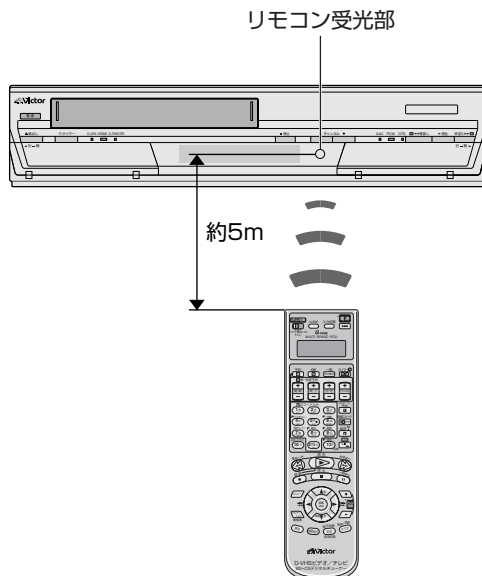
リモコンに電池を入れる

❶ 裏ブタの上部を指で手前に押しながら、外す

❷ 乾電池(単3形)2本を入れる

- ⊕/⊖の極性がリモコン内部に表示されています。極性表示に合わせ正しい向きに入れてください。
- 先に⊖側から入れてください。

❸ 裏ブタを元通りに閉める

リモコンの操作範囲

リモコンの先端を本体前面のリモコン受光部に向けて操作します。操作可能な距離は、リモコン受光部より約5m ですが、斜めから操作すると短くなります。

リモコン受光部

約5m

- リモコン受光部に直射日光などの強い光が当たっていると、動作しないことがあります。
- 操作範囲が狭くなったり、本体に近づけないと操作できなくなったときは、新しい乾電池と交換してください。
- リモコンを落としたり、強い衝撃をあたえないでください。

乾電池交換の目安は

リモコンの操作できる距離が短くなってきたら、電池が消耗しています。このようなときは、新しい乾電池に交換してください。

乾電池についてのご注意

- 付属の乾電池は動作確認用です。
- 長時間ご使用にならないときは、リモコンから乾電池を取り出しておいてください。
- リモコン使用中に不具合が生じたときは、一度乾電池を抜き、しばらくしてから再度乾電池を入れ、操作してください。

乾電池を交換するときは

- 単3乾電池をご使用ください。
- 2本とも新しいものと交換してください(使用済みのものを混ぜないでください)。
- 乾電池の⊕と⊖の向きを表示通り正しく入れてください。
- 乾電池に表示されている注意事項も合わせてお読みください。
- 交換後、[ビデオ/テレビ/BS/CS]の操作ができないときは、リモコンの設定をやり直してください。(☞**22**~**24**ページ)

リモコンの使いかた

本機のリモコンで、国内メーカー12社の地上・BS・110度CSデジタルテレビや通常のテレビを操作できます。お買い上げ時には、ビクター製テレビの操作(電源の入/切、放送切換、チャンネル切換、外部入力の切換、消音(ミュート)、音量の調節)ができるようになっています。
他社のテレビを操作できるようにするには、次の設定を行なってください。

リモコン切換スイッチ
[テレビ]側

液晶
表示窓

リモコンでビクター以外のテレビを操作する

準備
- テレビの電源を切っておきます。
- リモコン切換スイッチを[テレビ]側にします。

❶ [転送]を3秒以上押す

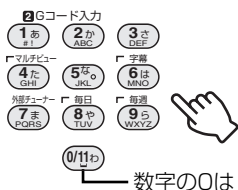
リモコン液晶表示窓

TV-01

❷ 数字ボタンを押してメーカー番号(2桁)を入力する

数字の0は[0/11]を押します。

リモコン液晶表示窓

TV-07

- 東芝製のときは[0/11]と[7]の順に押します。

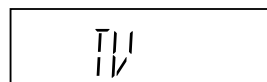
メーカー番号一覧

メーカー名	メーカー番号	メーカー名	メーカー番号	メーカー名	メーカー番号
ビクター	01	日立	06	パイオニア	11
松下	02または03	東芝	07	NEC	12
三菱	04	三洋	08または09	フナイ	13、15または16
ソニー※	05	シャープ	10	アイワ	14

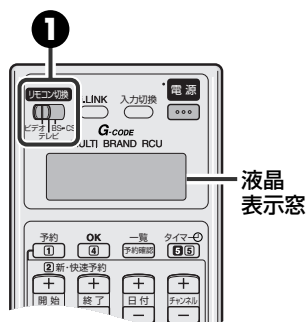
※:2002年、秋以降に発売されたソニー製BS·110度CSデジタルチューナー内蔵テレビ(＊＊HD900／＊＊HX1シリーズなど)をお使いのかたは、テレビとBS·110度CSデジタルチューナーの両方の設定が必要です。デジタルチューナーの設定は**24**ページをご覧ください。

❸ [OK]を押す

リモコン液晶表示窓

TV

❹ [電源]を押す

- [電源]ボタンを押して、設定した機器の電源が入れば、設定は完了です。テレビの設定で電源が入らないときは、もう1度、手順 ❶ から ❹ の操作をしてみてください。
- 松下製、三洋製またはフナイのテレビをお使いのときは、もうひとつのメーカー番号を入力してみてください。

本機のリモコンは、テレビも操作できます。

テレビとビデオの切り換え

❶ リモコン切換スイッチを[テレビ]または[ビデオ]にする

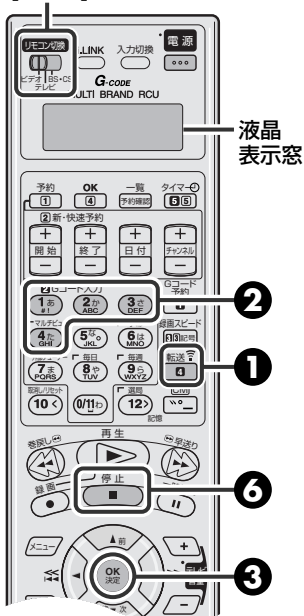
テレビを操作する場合

リモコン液晶表示窓　TV

ビデオを操作する場合

リモコン液晶表示窓　VTR A

- [テレビ]側の位置でも、ビデオの基本操作、録画予約、メニューを呼び出す操作は切り換えずに行うことができます。

リモコン切換スイッチ[ビデオ]側

液晶表示窓

2台以上のビクタービデオを操作する

準備 ● リモコン切換スイッチを[ビデオ]側にします。

❶ [転送]を3秒以上押す

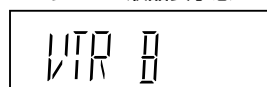
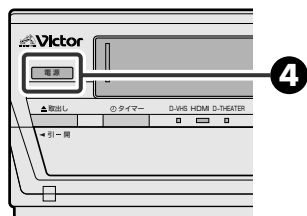
リモコン液晶表示窓　VTR A

❷ [1]から[4]のうちの1つを押す

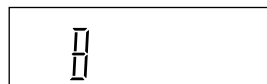
[1]から[4]　どれか1つを押す

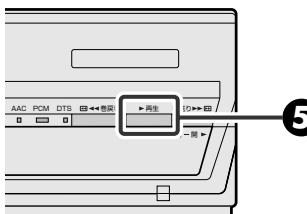
[1] ：「Aコード」に変更する
[2] ：「Bコード」に変更する
[3] ：「Cコード」に変更する
[4] ：「Dコード」に変更する

❸ [OK]を押す

リモコン液晶表示窓　VTR B

❹ 本体の[電源]を押して電源を切る

❺ 本体の[再生]を5秒以上押す

- 本体表示窓に現在設定されている本体のリモコンコードが表示されます。

本体表示窓　B

❻ 本体に向けてリモコンの[停止]を押す

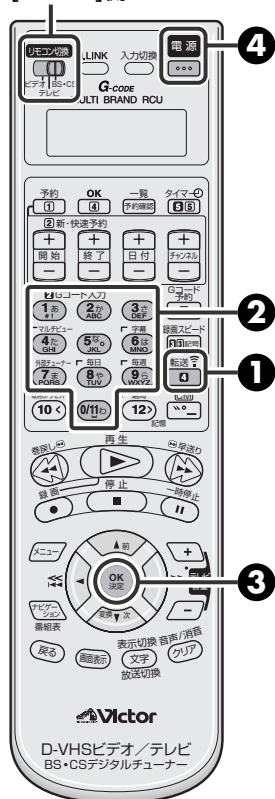
- リモコンで設定したコードが点滅して本体に設定されます。

BS/CS デジタルチューナーを操作できるようにする

お買い上げ時は、ビクター製i.LINK対応地上･BS･110度CSデジタルチューナーの操作ができます。
他社の地上･BS･110度CSデジタルチューナーまたはデジタルCSチューナーを操作できるようにするには、次の設定をしてください。
地上･BS･110度CSデジタルチューナーとデジタルCSチューナーの両方をお持ちのかたは、どちらか1台を選択してメーカー設定してください。

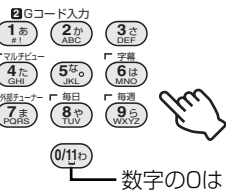
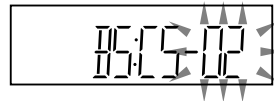
準備
- BS/CS チューナーの電源を切っておきます。
- リモコン切換スイッチを[BS・CS]側にします。

リモコン切換スイッチ
[BS･CS]側

❶ [転送]を3秒以上押す

リモコン液晶表示窓 BS:CS-01

❷ 数字ボタンを押してメーカー番号(2桁)を入力する

リモコン液晶表示窓 BS:CS-02

数字の0は[0/11]を押します。

例：お手持ちのBS･110度CSデジタルチューナーが松下製のときは、[0／11]と[2]の順に押します。

チューナー	メーカー名	メーカー番号	リモコン表示
BS･110度CS	ビクター	01, 04, 05	BSまたはBS:CS
	松下	02, 06	BS:CS
	東芝	03	BS:CS
	ソニー	07, 08※	BS:CS
	日立	09	BS:CS
CS	ビクター	11	CS
	ソニー	12	CS

※:BS･110度CSデジタルチューナー内蔵テレビをお使いのかたは、**22**ページをご覧ください。

❸ [OK]を押す

❹ [電源]を押す

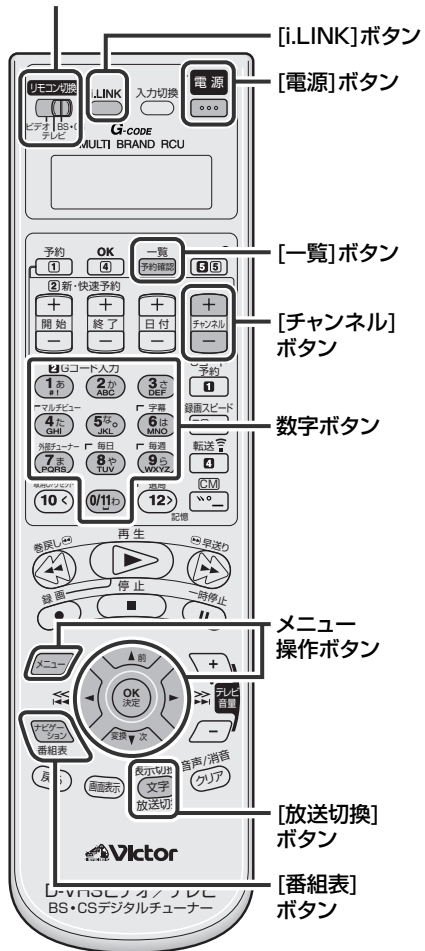
- 本機のリモコンの電源ボタンを押して、BS/CSチューナーの電源が入れば、設定は完了です。
  BS/CSチューナーの電源が入らないときは、もう1度同じ操作をしてください。

ご注意
- 地上･BS･110度CSデジタルチューナーまたはデジタルCSチューナーによっては操作できないものや、特定のボタンだけ操作できないものがあります。

メモ
- リモコンの電池をはずすと、設定が消えてしまいます。電池を交換したときなどは、もう1度メーカー設定をし直してください。

リモコンでデジタルテレビやデジタルチューナーを操作する

地上･BS･110度CSデジタルテレビをお使いのかたは、リモコン切換スイッチを[テレビ]側にします。
地上･BS･110度CSデジタルチューナーやCSデジタルチューナーをお使いのかたは、リモコン切換スイッチを[BS･CS]側にします。
操作できるデジタルチューナーは、左ページでメーカー設定した地上･BS･110度CSデジタルチューナーまたはCSデジタルチューナーのどちらか1台です。

リモコン切換スイッチ
[i.LINK]ボタン
[電源]ボタン
[一覧]ボタン
[チャンネル]ボタン
数字ボタン
メニュー操作ボタン
[放送切換]ボタン
[番組表]ボタン

ボタン	働き
[電源]ボタン	デジタルテレビまたはデジタルチューナーの電源を入／切します。
[放送切換]ボタン	押すごとに受信している放送（地上放送／地上デジタル放送／BSデジタル放送／110度CSデジタル放送）を切り換えます。
数字ボタン	チャンネルを選ぶときに使います。
[チャンネル]ボタン	チャンネルを選ぶときに使います。
[i.LINK]ボタン	デジタルテレビまたはデジタルチューナーで本機をLINCするときに使います。
[番組表]ボタン	EPG（週間番組表）を表示します。
[一覧]ボタン	予約した番組の一覧を表示します。
メニュー操作ボタン	メニューを表示します。 画面上の項目を選び、決定します。

メモ
- オンスクリーン「切」でも、次のようなときは、テレビ画面に文字を表示します。
  - ・ グレーバックのとき
  - ・ リモコンの[CM]ボタンを押したとき（☞90ページ）

アンテナとテレビを接続する

アンテナ側

アンテナコード

VHF/UHF混合のアンテナを接続する場合

VHF アンテナ　UHF アンテナ

壁のアンテナ端子

VHF/UHF別々のアンテナを接続する場合

VHF アンテナ　UHF アンテナ

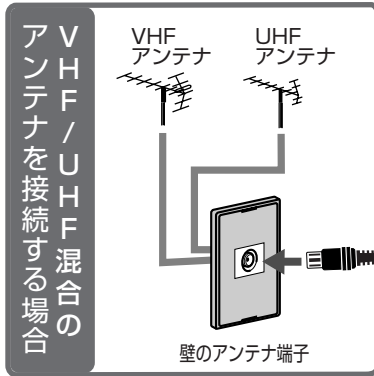
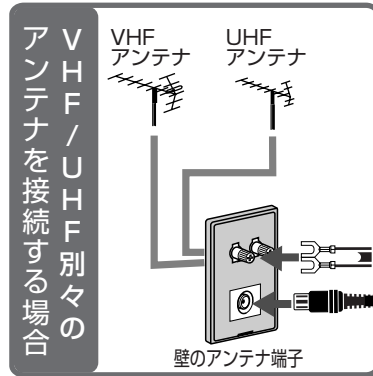
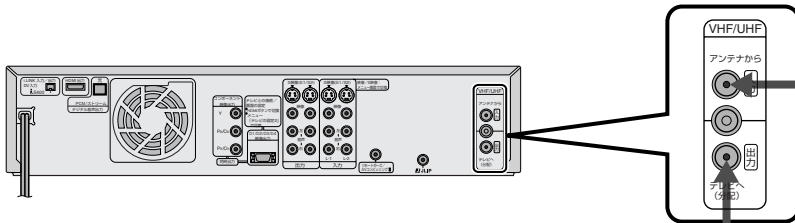
300Ωフィーダー線

VHF/UHF混合器(別売:VZ-84)

壁のアンテナ端子

アンテナ入力へ

本機背面側

VHF/UHF アンテナから 出力 テレビへ(分配)

アンテナ出力へ

アンテナコネクター(別売:VZ-71A)

テレビ側

アンテナコード　付属のアンテナコード

75ΩF型端子付テレビへ接続する場合

VHF/UHF

テレビ

付属のアンテナコード

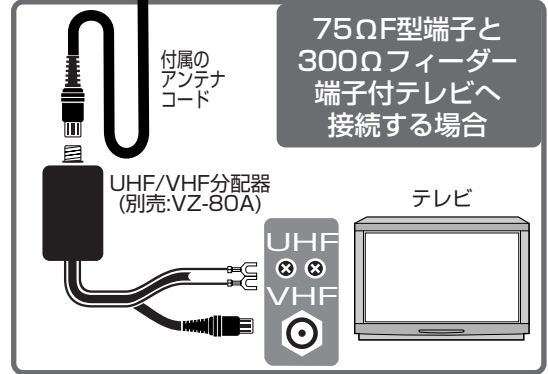
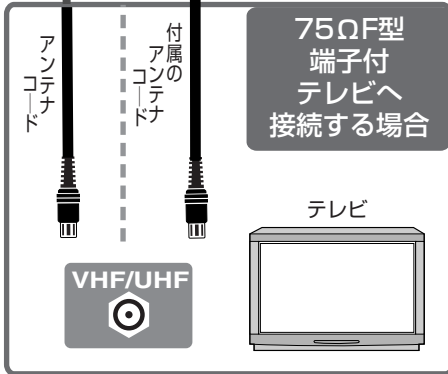
75ΩF型端子と300Ωフィーダー端子付テレビへ接続する場合

UHF/VHF分配器(別売:VZ-80A)

UHF VHF

テレビ

・接続する機器の取扱説明書もご覧ください。

メモ

- テレビに映像入力端子がないとき
  別売のRFコンバーター(RF-VD550)を最寄りのビクターサービス窓口にてお買い求めください。(☞**122**、**123**ページ)
  詳細はRFコンバーター(RF-VD550)の取扱説明書をご覧ください。
- ビデオを見るときは
  テレビで1チャンネルまたは2チャンネル(別売のRFコンバーターの ビデオチャンネル切換えスイッチで選ばれているチャンネル)を選びます。

ご注意

アンテナは

- 妨害電波をさけるために、電線や道路などからなるべく離してください。
- 風雨にさらされているので、定期的に点検・交換することをおすすめします。
- アンテナ線には、良好な映像を得るために、同軸ケーブルを使用することをおすすめします。
- アンテナ工事には、技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。

アンテナ線の接続について

アンテナ線の接続について

75Ω同軸ケーブル（プラグ付き）とフィーダー線

本機背面

UHF/VHF混合器
（別売:VZ-84）

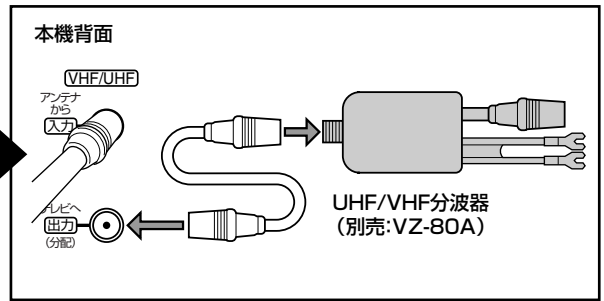
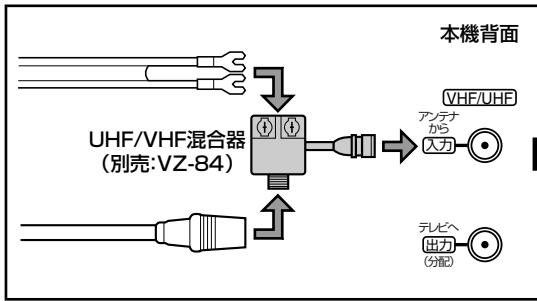
VHF/UHF
アンテナから
入力

テレビへ
出力
（分配）

本機背面

VHF/UHF
アンテナから
入力

テレビへ
出力
（分配）

UHF/VHF分波器
（別売:VZ-80A）

75Ω同軸ケーブル（プラグなし）とフィーダー線

本機背面

UHF/VHF混合器
（別売:VZ-84）

VHF/UHF
アンテナから
入力

アンテナ変換器
（別売:VZ-71A）

テレビへ
出力
（分配）

本機背面

VHF/UHF
アンテナから
入力

テレビへ
出力
（分配）

UHF/VHF分波器
（別売:VZ-81A）

75Ω同軸ケーブル（プラグなし）

本機背面

アンテナ変換器
（別売:VZ-71A）

VHF/UHF
アンテナから
入力

テレビへ
出力
（分配）

1.ケーブルを
加工する

10　5　5

あみ線を折り返す

2.カバーをあける

3.芯線をネジ止めする

4. 金具をペンチで
曲げておさえる

5.カバーをつける

本機背面

VHF/UHF
アンテナから
入力

付属のアンテナコード

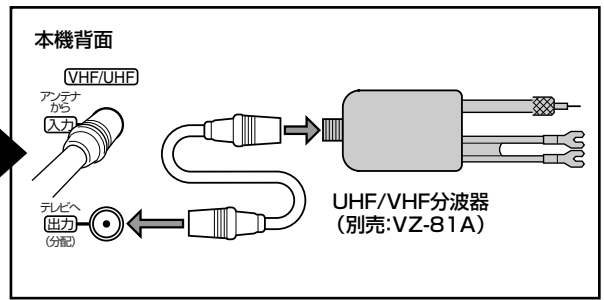
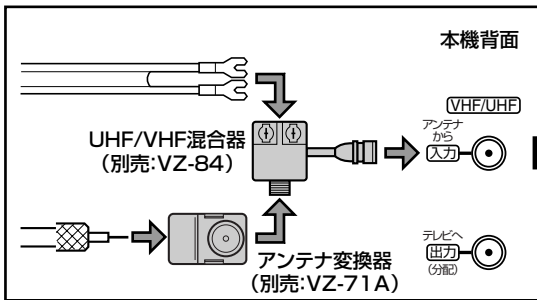
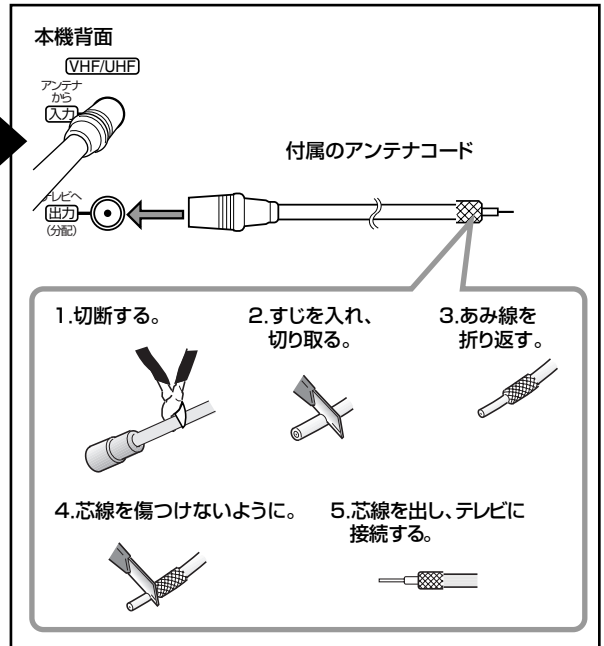
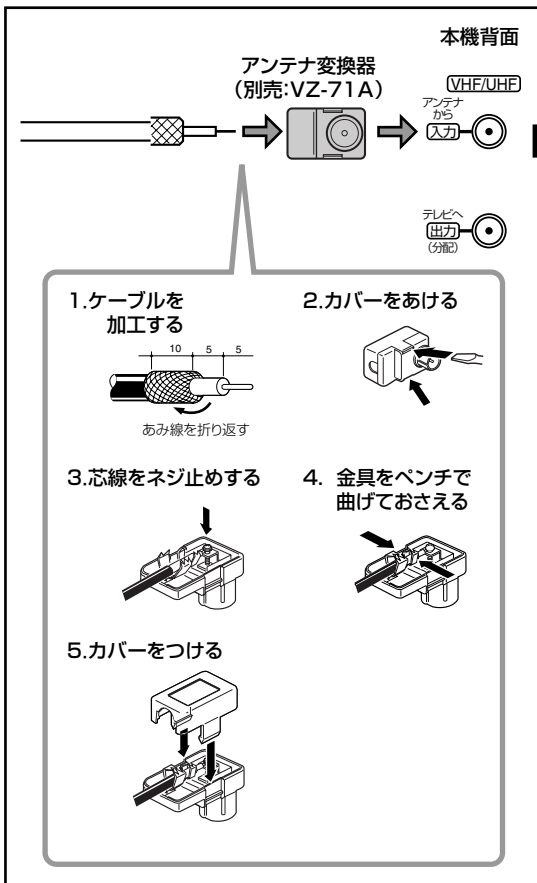
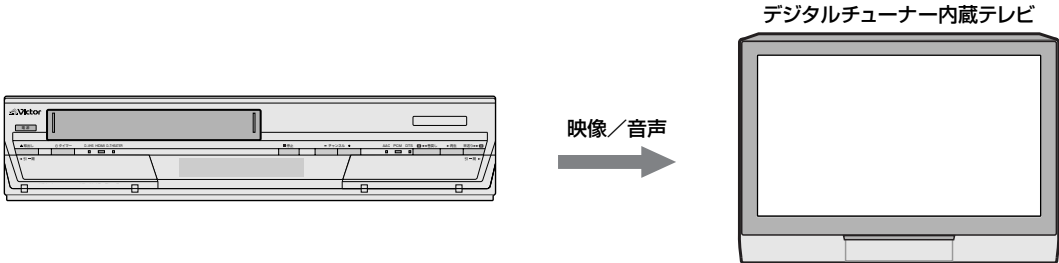
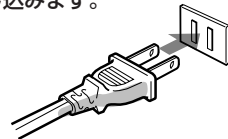
テレビへ
出力
（分配）

1.切断する。

2.すじを入れ、
切り取る。

3.あみ線を
折り返す。

4.芯線を傷つけないように。

5.芯線を出し、テレビに
接続する。

電源プラグはすべての接続が終わってから壁の
コンセントに差し込みます。

本機とテレビを接続する

ご使用のテレビの端子を確認していただき、次の手順で本機とテレビを接続してください。

- すべての機器の電源を切ってから接続してください。

デジタルチューナー内蔵テレビ

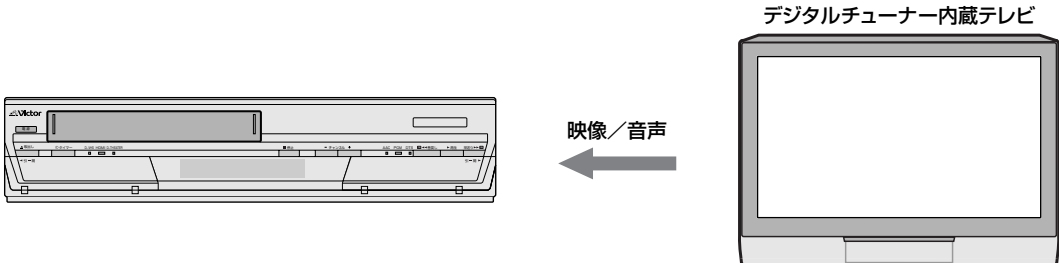
映像／音声

ビデオを見るための接続をします。❶～❻のいづれかの方法で接続してください。

HDMI 接続

❶『本機の HDMI 出力端子とテレビの HDMI 入力端子を接続する』（☞**29** ページ）

❷『本機の HDMI 出力端子とテレビの DVI 入力端子を接続する』（☞**29** ページ）

コンポーネント接続

❸『本機の D 出力端子とテレビの D 入力端子を接続する』（☞**30** ページ）

❹『本機のコンポーネント出力端子とテレビのコンポーネント入力端子を接続する』（☞**30** ページ）

S 映像／映像接続

❺『本機の S 映像出力端子とテレビの S 映像入力端子を接続する』（☞**31** ページ）

❻『本機の映像出力端子とテレビの映像入力端子を接続する』（☞**31** ページ）

デジタル放送を録画

デジタルチューナー内蔵テレビ

映像／音声

地上･BS･110 度 CS デジタル放送をビデオに録画するための接続をします。

i.LINK 接続

- 『i.LINK 対応地上･BS･110 度 CS デジタルチューナーを接続する』（☞**32** ページ）
- 『i.LINK 対応地上･BS･110 度 CS デジタルテレビを接続する』（☞**34** ページ）

メモ

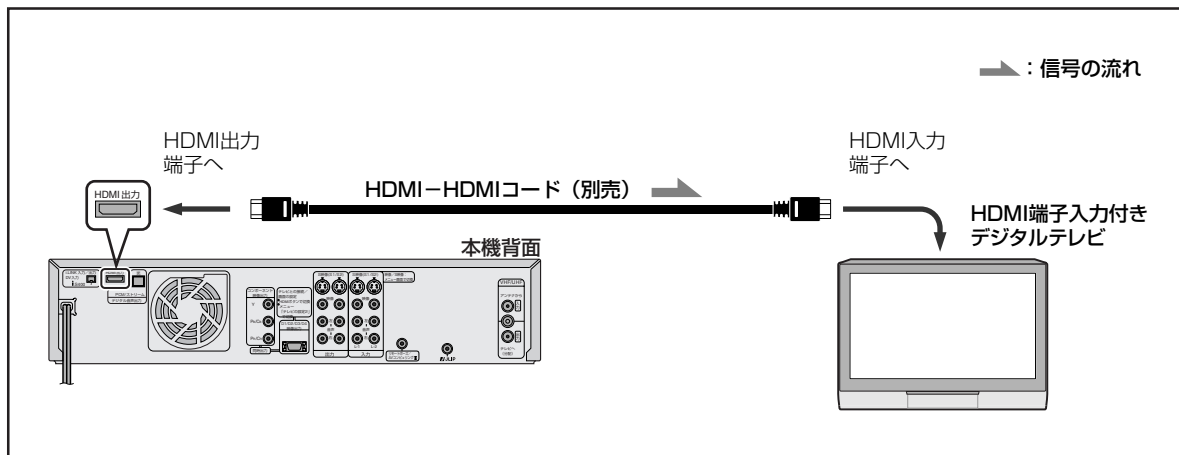
CATV、オーディオ機器を接続されるかたへ

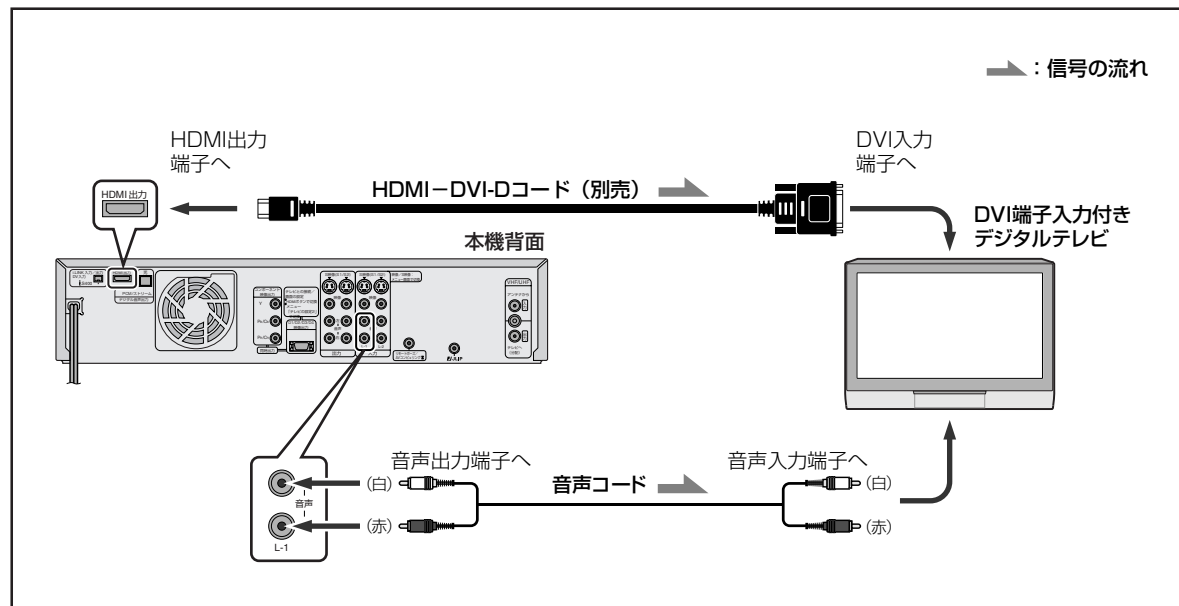
- 『CATV を接続する』（☞**38**ページ）
- 『オーディオ機器を接続する』（☞**39**ページ）

- 本機はHDMI端子、D端子、コンポーネント映像端子から同時に同じ方式の映像を出力することができます。（☞**36**、**101**ページ）

ビデオを見るための接続

すべての機器の電源を切ってから接続してください。

本機のHDMI出力端子とテレビのHDMI入力端子を接続する

本機のHDMI出力端子とテレビのDVI入力端子を接続する

- テレビの映像入力仕様に合わせて、お好みの出力映像を設定することができます。（☞**36**、**101** ページ）

メモ HDMI－HDMI接続をされるかたへ

- 本機の[HDMI出力]端子から出るデジタル音声信号は、メニューの「モード設定➡音声設定➡光デジタル音声出力」で設定した音声方式で出力されます。（☞**39**、**100**ページ）「2CH PCM」のみ対応のテレビと接続するときは、「光デジタル音声出力」を「2CH PCM」にしてください。
- 「2CH PCM」のみ対応のテレビと接続し、「光デジタル音声出力」を「2CH PCM」以外に設定するときは、アナログ音声コードもつないでください。
- HDMIの接続については、接続する機器の取扱説明書もご覧ください。

本機とテレビを接続する（つづき）

本機のD出力端子とテレビのD入力端子を接続する

：信号の流れ

D1/D2/D3/D4 映像出力

D1/D2/D3/D4
映像出力端子へ

コンポーネントビデオコード
（D-D）（別売）

D1/D2/D3/D4
映像入力端子へ

D端子付き
テレビ

本機背面

音声出力端子へ

（白）

（赤）

音声コード

音声入力端子へ

（白）

（赤）

音声

L-1

本機のコンポーネント出力端子とテレビのコンポーネント入力端子を接続する

：信号の流れ

コンポーネント
映像出力

コンポーネント
映像出力端子へ

Y （緑）

PB/CB （青）

PR/CR （赤）

コンポーネントビデオコード
（3ピンプラグ×2）（別売）

コンポーネント映像
入力端子へ

（緑）Y

（青）PB/CB

（赤）PR/CR

本機背面

テレビ

音声出力端子へ

（白）

（赤）

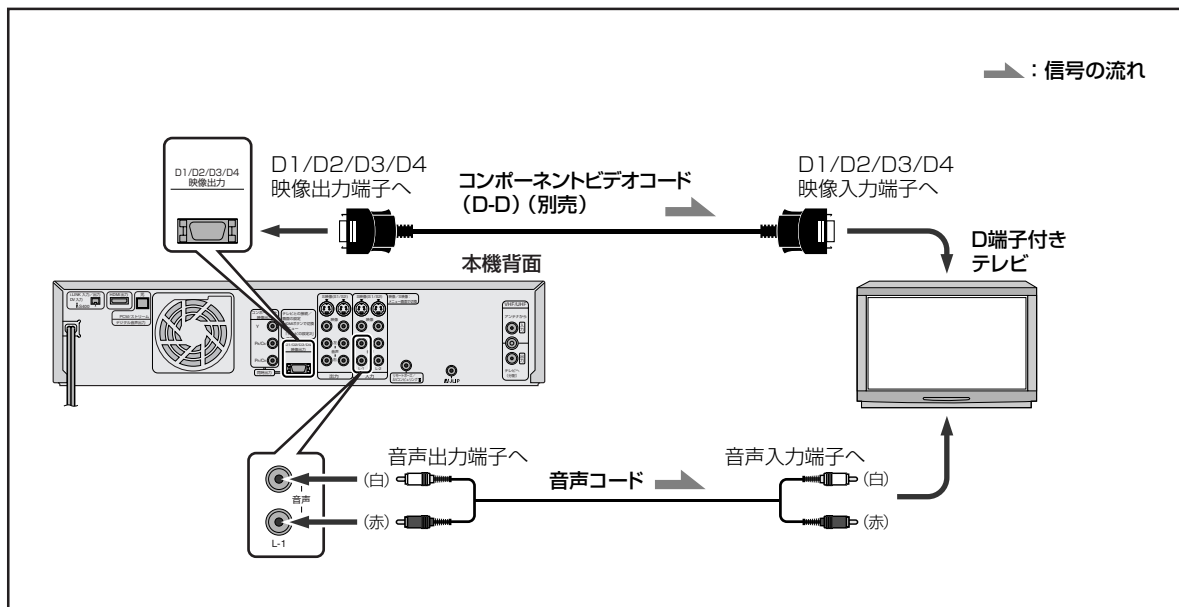
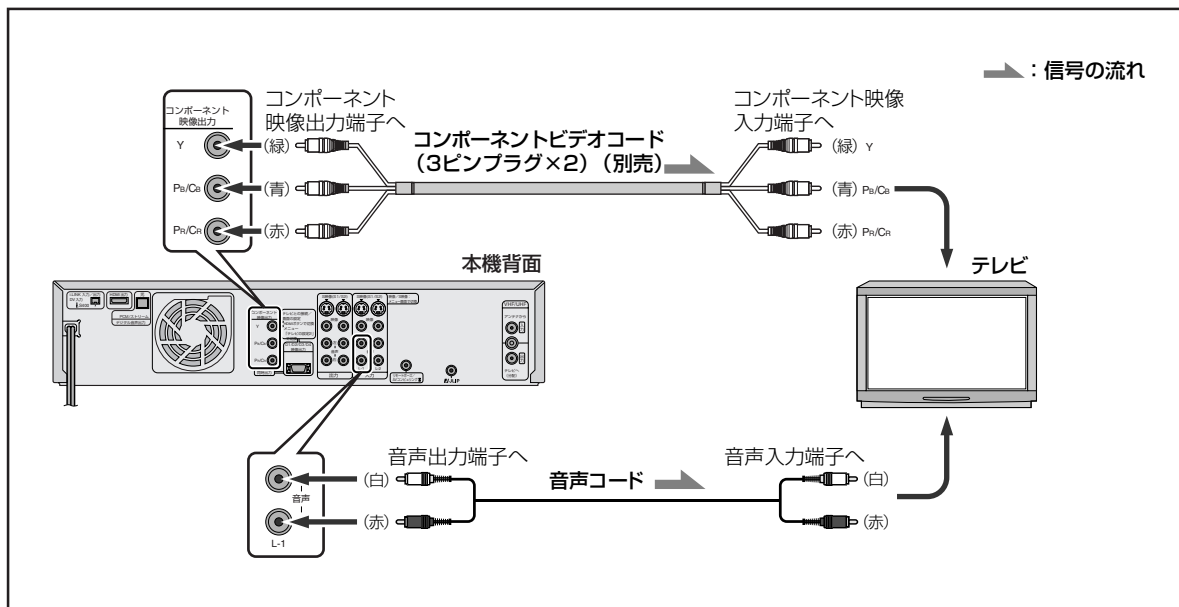
音声コード

音声入力端子へ

（白）

（赤）

音声

L-1

ご注意

- 本機とテレビをコンポーネントビデオコード（D-Dまたは3ピンプラグX2）で接続したときは、**35**～**37**ページの設定を必ず行なってください。
- 本機の[HDMI出力]端子とD端子の両方を使用し、D端子側の映像を見たいときは、本体の[HDMI]ボタンを押して[HDMI]ランプを消灯させてください。**35**～**37**ページで設定した映像フォーマットで出力します。

本機のS映像出力端子とテレビのS映像入力端子を接続する

：信号の流れ

本機背面

テレビ

S映像(S1/S2)

映像

音声

S映像
出力端子へ

S映像コード

S映像
入力端子へ

音声出力端子へ

音声コード

音声入力端子へ

(白)

(赤)

(白)

(赤)

本機の映像出力端子とテレビの映像入力端子を接続する

：信号の流れ

本機背面

テレビ

S映像(S1/S2)

映像

音声

映像／音声
出力端子へ

映像／音声
コード（別売）

映像／音声
入力端子へ

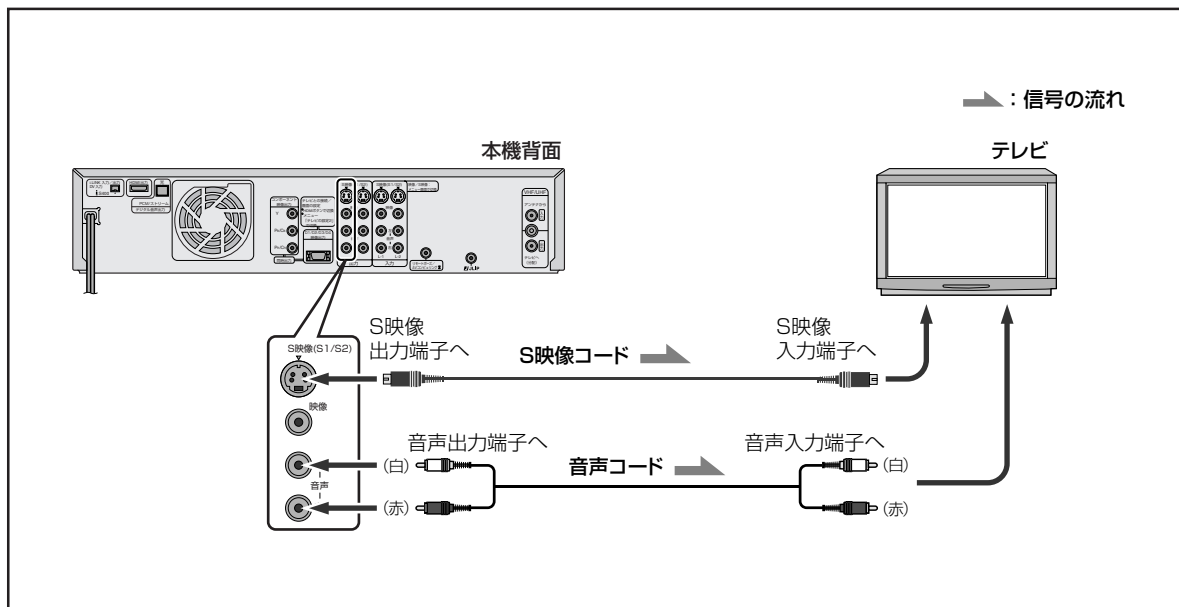
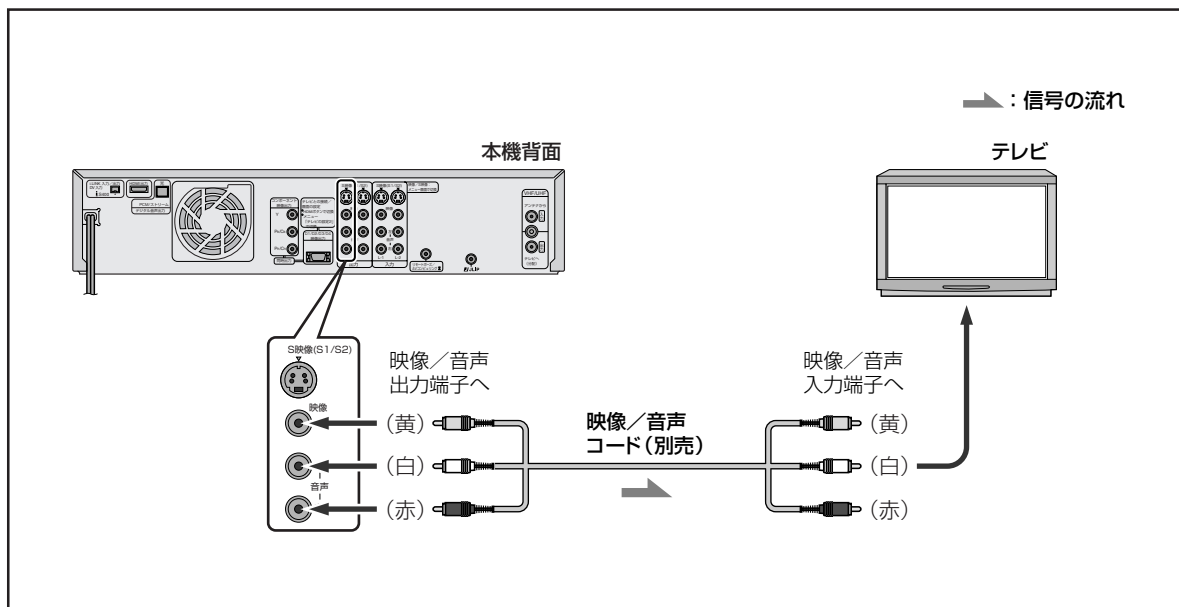
（黄）

（白）

（赤）

（黄）

（白）

（赤）

ご注意

- 本機とテレビをS映像（映像）コードで接続したときは、**35**～**37**ページの設定を必ず行なってください。

本機とテレビを接続する（つづき）

デジタル番組を録画するための接続

地上・BS・110度CSデジタル番組を録画・見るために、本機、テレビの入力端子とデジタルチューナーの出力端子をつなぎます。
すべての機器の電源を切ってから接続してください。

i.LINK 対応地上・BS・110 度 CS デジタルチューナーを接続する

：信号の流れ

右－音声－左　映像　S1/S2映像
出力1
出力2
コンポーネント映像出力
D1/D2/D3/D4映像

地上・BS・110度CS
デジタルチューナー背面

i.LINK
端子へ

（赤）（白）

S映像
出力端子へ

Irシステム
端子へ

i.LINK
コード
（別売）

S映像コード
（メニューの「モード設定➡入出力設定➡背面映像入力L-1/L-2」を「S映像」にしてください。）

Irシステム
ケーブル
（デジタル
チューナー付属）

音声
出力端子へ

S映像
入力端子へ

S映像(S1/S2)
映像
左－音声－右

i.LINK
端子へ

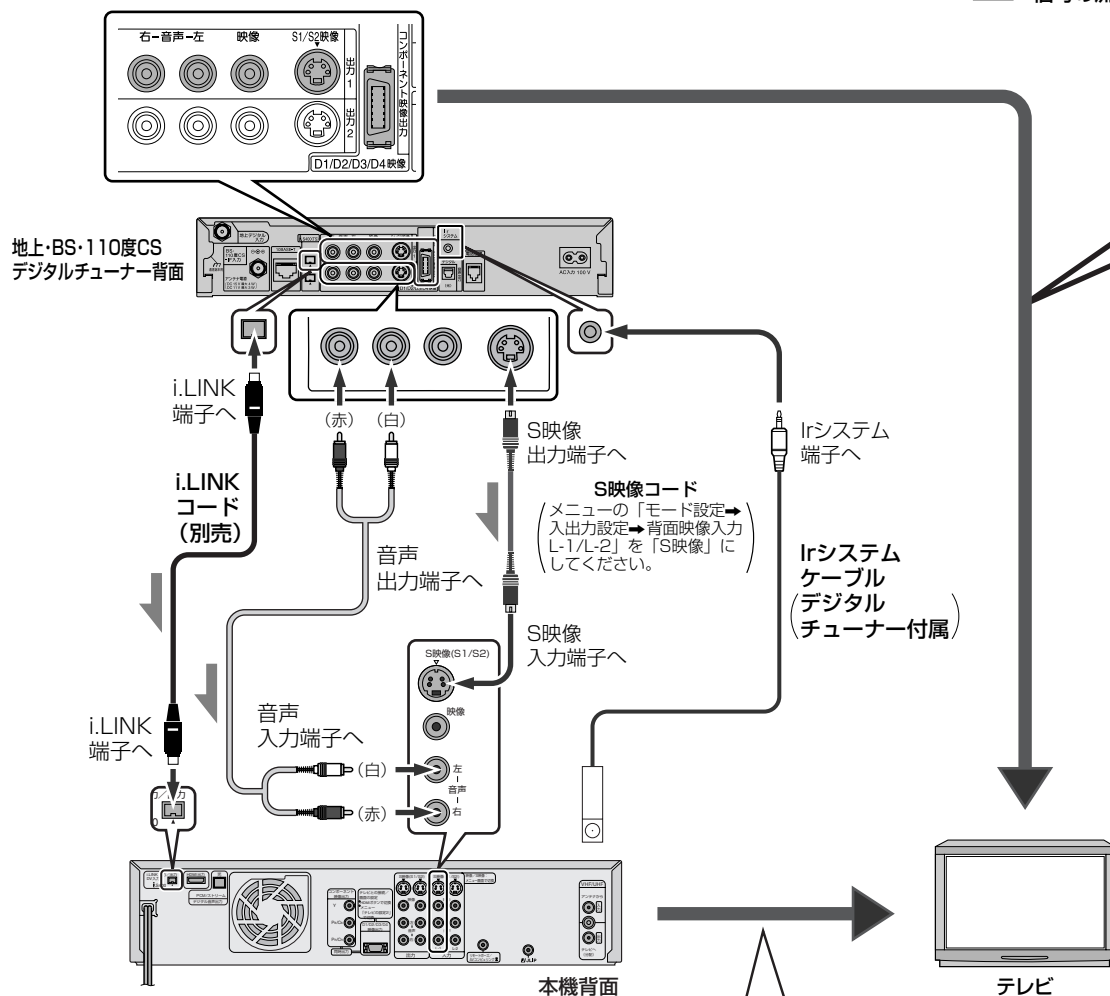
音声
入力端子へ

（白）
（赤）

本機背面

テレビ

本機の出力端子とテレビの入力端子の接続は、
29～31ページをご覧ください。

メモ

- 本機で地上波番組を録画しながら、テレビで地上･BS･110度CSデジタル放送を見たいときは、地上･BS･110度CSデジタルチューナーの映像／音声出力端子と、テレビの映像／音声入力端子を接続してください。
- 地上･BS･110度CSデジタル放送をS-VHS/VHS記録で録画予約したいときは、ビデオリモートコントローラーを使った録画予約をしてください。操作については、地上･BS･110度CSデジタルチューナーの取扱説明書をご覧ください。
- i.LINKコードは、4ピン/S400のコードをお使いください。

ご注意

- 本機の通風孔をふさがないよう、各接続機器との間をあけて設置してください。
- 画像の乱れが出たときは、本機と地上･BS･110度CSデジタルチューナーをなるべく離して設置してください。

デジタル番組を見るための接続をします。❶～❸のいずれかの方法で接続してください。

❶コンポーネントビデオコード（D-D）（別売）で接続

➡：信号の流れ

右－音声－左　映像　S1/S2映像　出力1　出力2　コンポーネント映像出力　D1/D2/D3/D4映像

コンポーネント映像出力端子へ

コンポーネント映像入力端子へ

テレビ

（白）　（赤）

音声出力端子へ

音声入力端子へ

❷S映像コードで接続

右－音声－左　映像　S1/S2映像　出力1　出力2　コンポーネント映像出力　D1/D2/D3/D4映像

S映像出力端子へ

S映像入力端子へ

テレビ

（白）　（赤）

音声出力端子へ

音声入力端子へ

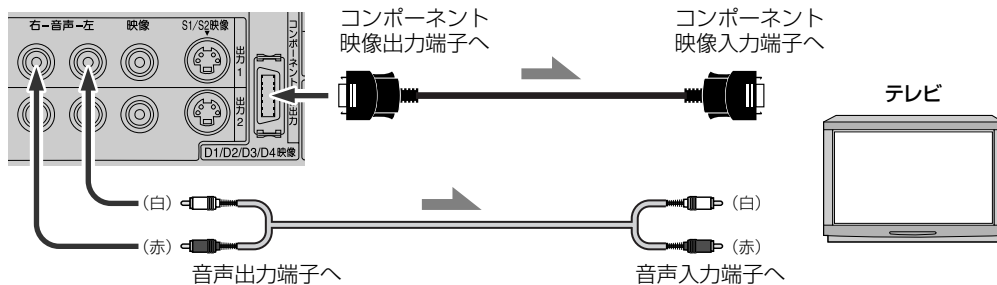
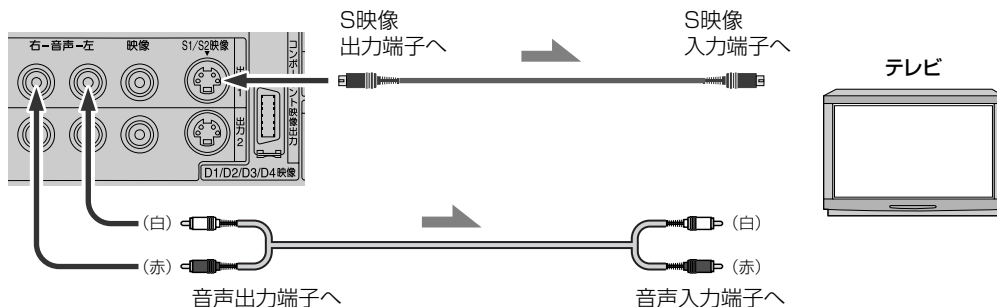
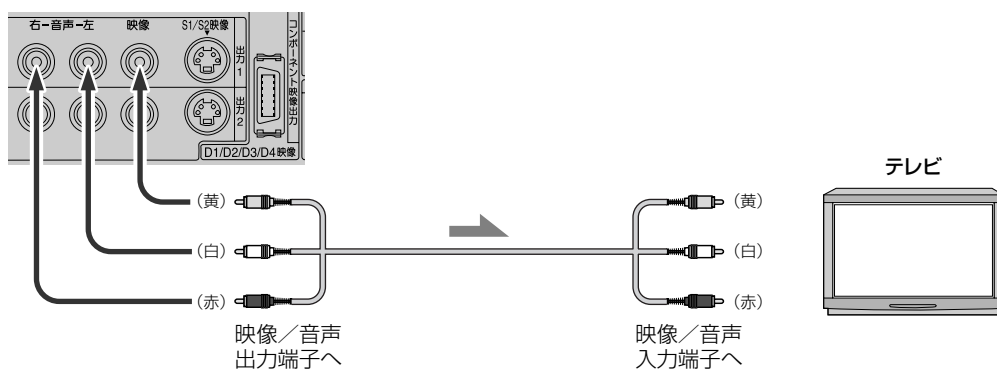
❸映像コード（別売）で接続

右－音声－左　映像　S1/S2映像　出力1　出力2　コンポーネント映像出力　D1/D2/D3/D4映像

テレビ

（黄）　（白）　（赤）

映像／音声出力端子へ

映像／音声入力端子へ

本機とテレビを接続する（つづき）

デジタル番組を録画するための接続（つづき）

地上･BS･110度CSデジタル番組を録画するために、本機の入力端子とデジタルテレビの出力端子をつなぎます。

すべての機器の電源を切ってから接続してください。

i.LINK対応地上･BS･110度CSデジタルテレビを接続する

：信号の流れ

i.LINKコード（別売）

音声コード

S映像コード

メニューの「モード設定➡入出力設定➡背面映像入力L-1/L-2」を「S映像」にしてください。

S映像入力端子へ

音声入力端子へ

ビデオリモートコントローラー（デジタルテレビ付属）

S映像出力端子へ

音声出力端子へ

i.LINK端子へ

（赤）（白）

ビデオリモートコントローラー出力端子へ

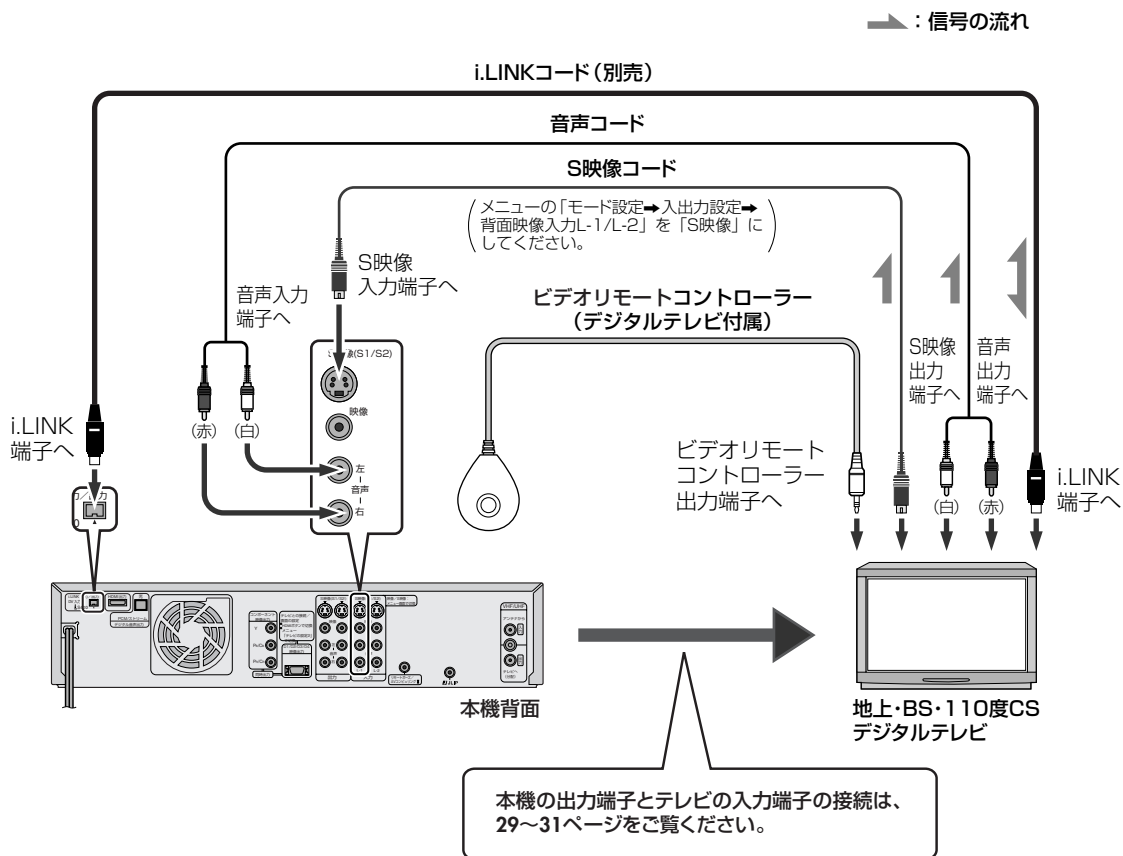
（白）（赤）

i.LINK端子へ

本機背面

地上･BS･110度CSデジタルテレビ

本機の出力端子とテレビの入力端子の接続は、29～31ページをご覧ください。

メモ

- i.LINKコードは、4ピン／S400のコードをお使いください。
- 地上･BS･110度CSデジタル放送をS-VHS/VHS記録で録画予約したいときは、ビデオリモートコントローラーを使った録画予約をしてください。（☞55ページ）操作については、地上･BS･110度CSデジタルテレビの取扱説明書をご覧ください。

ご注意

- 画像の乱れが出たときは、本機と地上･BS･110度CSデジタルテレビをなるべく離して設置してください。

テレビの画面サイズを設定する

4:3テレビをご使用のときは、画面サイズの設定が必要になります。

● 16：9（横長）テレビをご使用のときは、設定の必要はありません。

準備
- テレビの電源を入れて、本機をつないだ外部入力に切り換えます。
- リモコン切換スイッチを[ビデオ]側にします。

リモコン切換スイッチ
[ビデオ]側

❶ [メニュー]を押して「メニュー」画面を表示する

❷ [◀／▶]を押して「モード設定」を選び、[OK]を押す

❸ [◀／▶]を押して「入出力設定」を選び、[OK]を押す

❹ [▲／▼]を押して「テレビの設定１」を選び、[◀／▶]を押して「4:3テレビ」を選ぶ

● [◀／▶]ボタンを押すごとに設定が切り換わります。

「ワイドテレビ」：横長で画面が 16：9 のテレビのときに選択します。
「4：3 テレビ」：従来の４：３画面のテレビのときに選択します。

S1 映像入力端子付きの４：３テレビをお持ちのかたは、「ワイドテレビ」に設定してください。

メモ

4:3テレビをお持ちのかたへ
- 「テレビの設定1」を「ワイドテレビ」にしたときは、縦長の画像になる場合があります。

ワイドテレビをお持ちのかたへ
- 「テレビの設定1」を「4:3テレビ」にしたときは、字幕が見えなかったり、画面の端が欠ける場合があります。通常は「ワイドテレビ」に設定してください。
- 画像サイズの判別をするために、本機とテレビの接続は、D端子またはS映像端子で接続することをおすすめいたします。

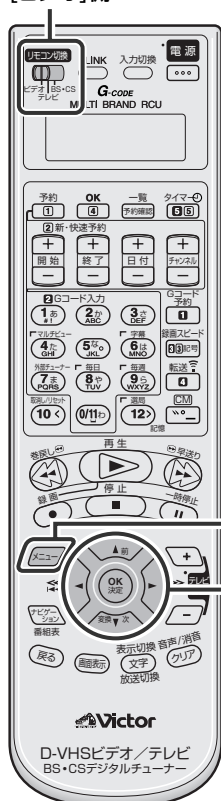
本機とテレビを接続する（つづき）

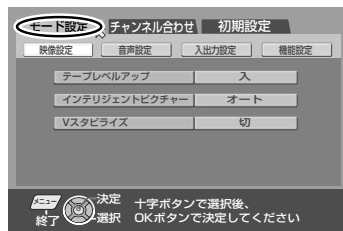
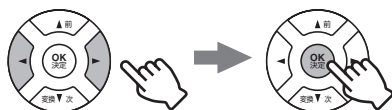
テレビとの接続を設定する

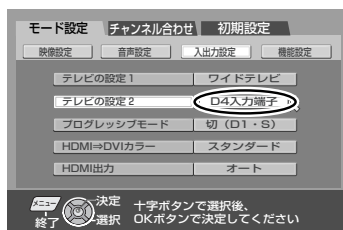
本機とテレビをコンポーネントコード(D-D または 3 ピンプラグ× 2)で接続するときに設定します。

- HDMI 接続のときは、設定の必要はありません。
- HDMI 接続されるかたは、本ページのメモをご覧ください。

準備
- テレビの電源を入れて、本機をつないだ外部入力に切り換えます。
- リモコン切換スイッチを[ビデオ]側にします。

リモコン切換スイッチ
[ビデオ]側

1 [メニュー]を押して「メニュー」画面を表示する

2 [◀／▶]を押して「モード設定」を選び、[OK]を押す

3 [◀／▶]を押して「入出力設定」を選び、[OK]を押す

4 [▲／▼]を押して「テレビの設定2」を選び、[◀／▶]を押して項目を選ぶ

- 押すごとに設定が切り換わります。

「D3・HD 入力」：テレビの D3 端子、コンポーネント端子か HD 入力端子へ接続するとき
「D4 入力端子」：テレビの D4 端子へ接続するとき
「D2 入力端子」：テレビの D2 端子へ接続するとき
「D1・S 映像」：テレビの D1 端子か S 映像（映像）端子へ接続するとき

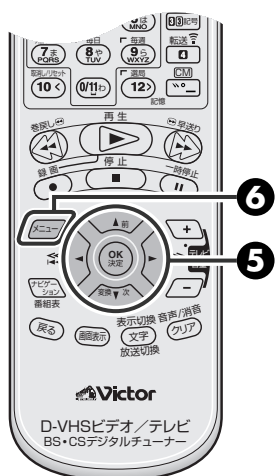
メモ

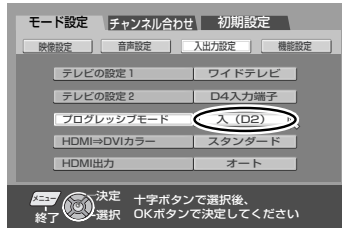
本機の[HDMI]端子出力を利用されるかたへ
- ご使用のテレビによっては、通常の映像が映らないことがあります。このようなときは、「モード設定➡入出力設定➡HDMI出力」を「RGB固定」にしてください。
- 本体の[HDMI]ボタンを押して[HDMI]ランプを消すと、メニューの「テレビの設定 1、2、プログレッシブモード」の設定に従います。

本機とテレビをHDMI－DVI コードで接続されるかたへ
- 画質･お好みの色の深さ･黒の沈み方を選ぶことができます。
「モード設定➡ 入出力設定➡HDMI⇒DVIカラー」を「スタンダード」または「エンハンス」にします。

ご注意

本機とテレビを次のように接続したときは、「テレビの設定2」を「D1･S映像」以外に設定しないでください。
- 525iのみ対応のテレビを接続したとき
- D2/D3/D4端子付きテレビとS映像(映像)コードで接続したとき

「テレビ設定2」を「D2入力端子」などに設定すると映像が映らなくなります。誤って設定したときは、電源を切ってから本体の[一時停止(II)]ボタンを5秒以上押し、再度、電源を入れてください。

5 [▲／▼]を押して「プログレッシブモード」を選び、[◄／►]を押して項目を選ぶ

モード設定 チャンネル合わせ 初期設定
映像設定 音声設定 入出力設定 機能設定
テレビの設定１ ワイドテレビ
テレビの設定２ D4入力端子
プログレッシブモード 入（D2）
HDMI⇒DVIカラー スタンダード
HDMI出力 オート
メニュー 終了 決定 選択 十字ボタンで選択後、OKボタンで決定してください

● 押すごとに設定が切り換わります。

「切（D1・S)」：D1·D2·D3·D4端子付きテレビをお使いのときに選びます。通常画質（525i）の映像を525iのまま出力します。

「入（D2)」：D3·D4端子付きテレビをお使いのときに選びます。通常画質（525i）の映像を525pにして出力します。

6 [メニュー]を押して終了する

● 「メニュー」画面が消えます。

「テレビの設定2」と「プログレッシブモード」の設定について

本機とテレビの接続	「テレビの設定２」	「プログレッシブモード」	出力映像フォーマット
本機とテレビのS映像(映像)端子またはD1端子を接続 本機とテレビのD2端子を接続	「D1・S映像」	－	全ての映像（525i/525p/750p/1125i）を525iで出力します。 ●「プログレッシブモード」の設定をする必要はありません。「テレビの設定2」の設定に従います。
	「D2入力端子」	－	525iの映像を525pにして出力します。 525pの映像を525pのまま出力します。 750pの映像を525pにして出力します。 1125iの映像を525pにして出力します。 ●「プログレッシブモード」の設定をする必要はありません。 「テレビの設定２」の設定に従います。
本機とテレビのD3端子またはコンポーネント端子を接続	「D3・HD入力」	「切（D1・S)」	525iの映像を525iのまま出力します。 525pの映像を525pのまま出力します。 750pの映像を1125iにして出力します。 1125iの映像を1125iのまま出力します。
		「入（D2)」	525iの映像を525pにして出力します。 525pの映像を525pのまま出力します。 750pの映像を1125iにして出力します。 1125iの映像を1125iのまま出力します。
本機とテレビのD4端子を接続	「D4入力端子」	「切（D1・S)」	525iの映像を525iのまま出力します。 525pの映像を525pのまま出力します。 750pの映像を750pのまま出力します。 1125iの映像を1125iのまま出力します。
		「入（D2)」	525iの映像を525pにして出力します。 525pの映像を525pのまま出力します。 750pの映像を750pのまま出力します。 1125iの映像を1125iのまま出力します。

CATVを接続する

図のように、デジタルセットトップボックスやホームターミナル（アダプター）を接続してください。
お使いのデジタルセットトップボックスやホームターミナルの取扱説明書もご覧ください。
すべての機器の電源を切ってから接続してください。

：信号の流れ

テレビ

D1/D2/D3/D4
映像入力端子へ

S映像入力
端子へ

（白）（赤）
音声入力
端子へ

コンポーネント
ビデオコード
（D−D）（別売）

S映像出力
端子へ

（白）
（赤）
音声出力端子へ

i.LINK
端子へ

S映像入力端子へ
S映像入力端子へ

（黄）（白）（赤）
（黄）（白）（赤）

映像/音声
入力端子へ

映像/音声
入力端子へ

VHF/UHFアンテナ
入力端子へ

i.LINK
コード
（別売）

D1/D2/
D3/D4
映像出力
端子へ

i.LINK
端子へ

S映像
出力
端子へ

映像/音声
出力端子へ

（黄）（白）（赤）

映像/音声
出力端子へ

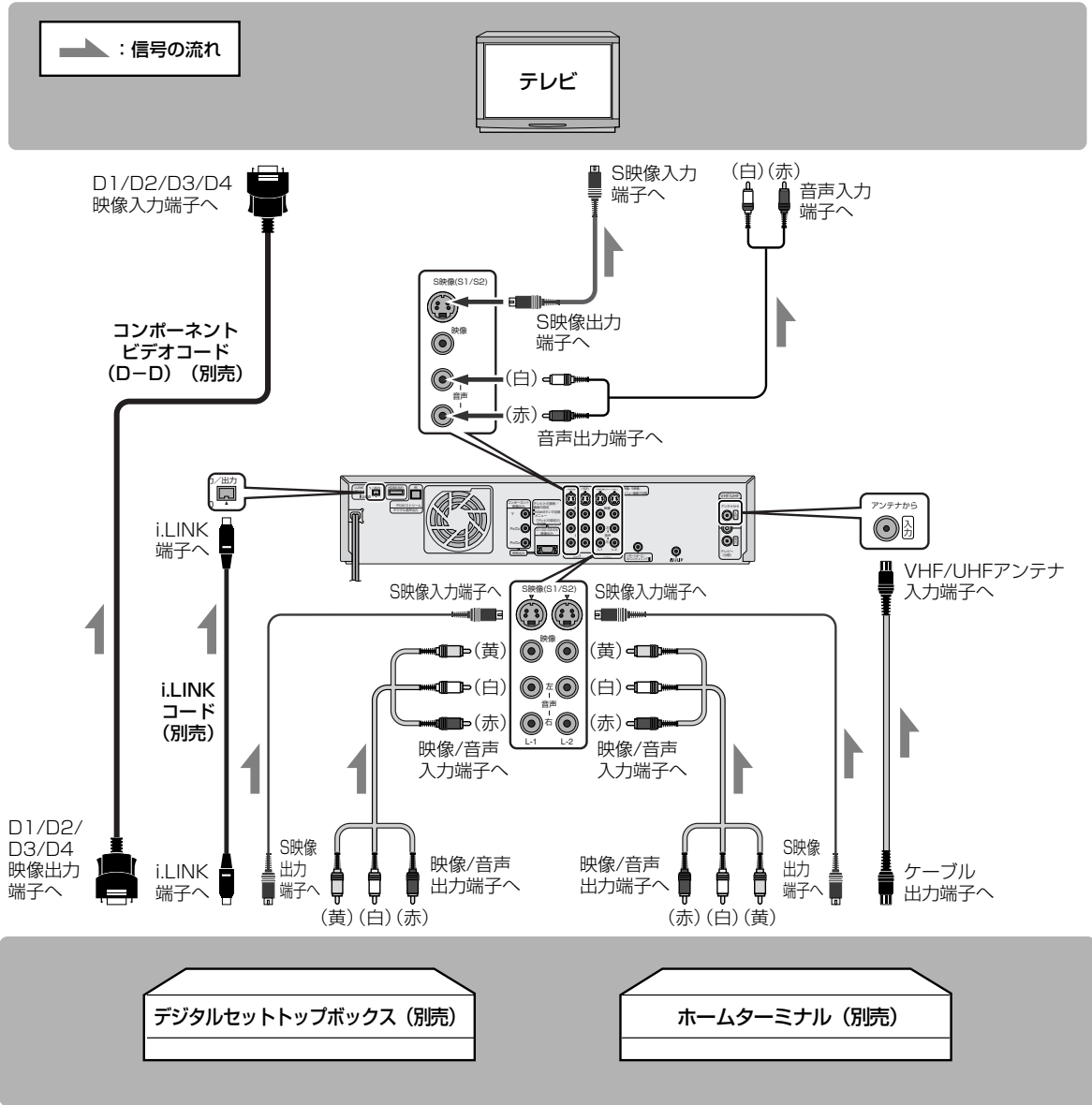
S映像
出力
端子へ

（赤）（白）（黄）

ケーブル
出力端子へ

デジタルセットトップボックス（別売）

ホームターミナル（別売）

メモ

CATV放送を受信するには

1. アンテナコード(付属)で本機のVHF/UHFアンテナ入力端子とホームターミナルまたはCATVチューナーのケーブル出力端子を接続します。
2. 受信できるCATV放送を空いているチャンネルに割り当てます。(☞**44**ページ)

CATV放送を見るときは

1. デジタルセットトップボックス、ホームターミナルで受信したいチャンネルを選びます。
2. 本機のチャンネルボタンで接続した入力を選びます。前面外部入力は「F-1」、背面外部入力は「L-1」または「L-2」を選びます。
ホームターミナルに映像／音声出力端子がない場合は、CATV放送が受信できるビデオチャンネルを選びます。

オーディオ機器を接続する

図のように、本機と AAC デコーダー内蔵アンプを接続してください。
すべての機器の電源を切ってから接続してください。

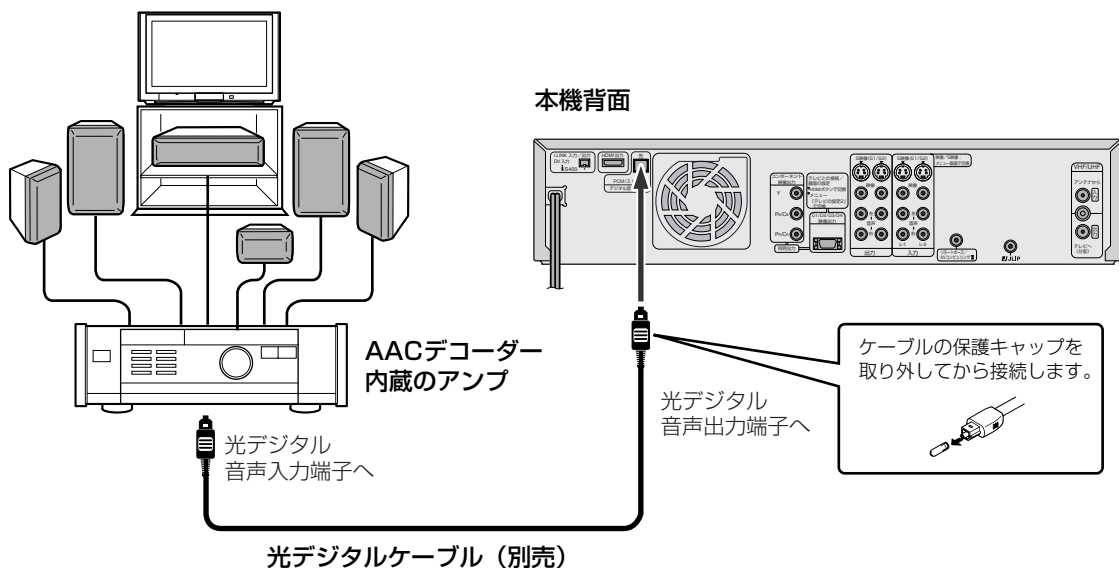
本機背面

AACデコーダー
内蔵のアンプ

ケーブルの保護キャップを
取り外してから接続します。

光デジタル
音声出力端子へ

光デジタル
音声入力端子へ

光デジタルケーブル（別売）

- メニューの「モード設定➡音声設定➡光デジタル音声出力」を「AAC・PCM」にしてください。（☞**100** ページ）
- ドルビーデジタル非対応でPCMのみ対応のAVアンプとつなぐときは、メニューの「モード設定➡音声設定➡光デジタル音声出力」を「2CH PCM」にしてください。（☞**100** ページ）
- 将来、D-Theater の DTS 音声を DTS 対応アンプに接続してお楽しみいただけます。メニューの「モード設定➡音声設定➡光デジタル音声出力」を「ストリーム」にし、リモコンの[音声／消音]ボタンで DTS 音声を選んでください。（☞**100** ページ）
  DTS 音声は、[デジタル音声出力]端子からのみ出力されます。
  アナログ音声端子からは出力されません。

メモ

- 本機の[HDMI出力]端子からは、メニューの「光デジタル音声出力」で設定した音声信号が出力されます。
  （☞**29**、**100**ページ）

受信チャンネルを設定する（一般のテレビをご覧になっているかたへ）

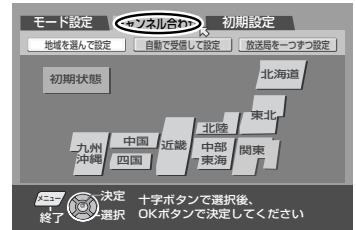
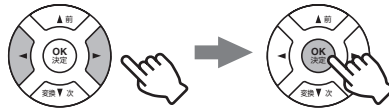
地域を選択して受信チャンネルを自動的に設定する（一括チャンネル合わせ）

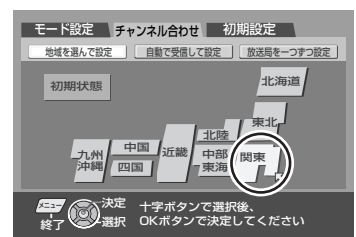
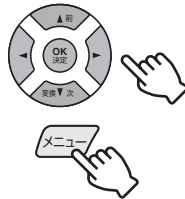
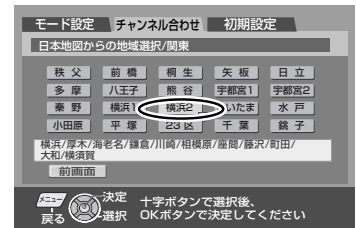
本機は画面に表示される地図と地域を選ぶと、チャンネルが自動的に設定されます。また、チャンネルが設定されると、G コード予約をするときに必要なガイドチャンネルも自動的に設定されます。
CATV 放送のチャンネルは「一括チャンネル合わせ」では、設定されません。
CATV 放送のチャンネルを本機で受信したいときは、右ページの操作をしてください。

準備
- 本機の電源を入れます。
- テレビの電源を入れて、本機をつないだ外部入力に切り換えます。
- リモコン切換スイッチを[ビデオ]側にし電源ボタンを押します。

リモコン切換スイッチ
[ビデオ]側

❶ [メニュー]を押して「メニュー」画面を表示する

❷ [◀／▶]を押して「チャンネル合わせ」を選び、[OK]を押す

❸ [◀／▶]を押して「地域を選んで設定」を選び、[OK]を押す

❹ [▲／▼／◀／▶]を押してお住まいの地域を地図から選び、[OK]を押す

❺ [▲／▼／◀／▶]を押してお住まいの都市または近隣の都市を選び、[OK]を押したあと[メニュー]を押して終了する

- [OK]ボタンを押すと、「チャンネル合わせ実行中」と表示され、自動的にチャンネルが設定されます。
- [メニュー]ボタンを押すと、「メニュー」画面が消えます。

- 不要チャンネルを飛ばす ☞42ページ
- チャンネル表示変更 ☞44ページ
- 受信チャンネルのが映りが悪い ☞46ページ

メモ

途中でやめたくなったら...
[メニュー]ボタンを押します。

初期設定に戻すには...
お買い上げ時の設定に戻すには「初期状態」を選び[OK]ボタンを押します。

受信チャンネルを設定する（CATVをご覧になっているかたへ）

受信チャンネルを自動的に設定する（オートチャンネル合わせ）

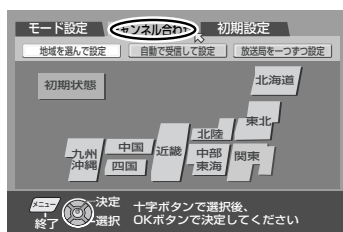
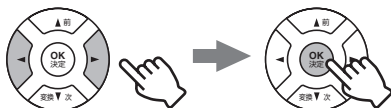
本機は受信チャンネルを自動的に設定できます。自動設定を行なった後は、ガイドチャンネルを設定してください。お住まいの地域や都市がない場合や、CATV放送を受信されている方におすすめいたします。

準備
- 本機の電源を入れます。
- テレビの電源を入れて、本機をつないだ外部入力に切り換えます。
- リモコン切換スイッチを[ビデオ]側にします。

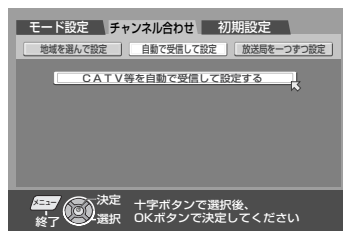
リモコン切換スイッチ
[ビデオ]側

❶,❺
❷~❹

❶ [メニュー]を押して「メニュー」画面を表示する

❷ [◀／▶]を押して「チャンネル合わせ」を選び、[OK]を押す

❸ [◀／▶]を押して「自動で受信して設定」を選び、[OK]を押す

❹ [OK]を押す

- [OK]ボタンを押すと、「自動受信検出」を行います。

❺ [メニュー]を押して終了する

- これでチャンネル設定は終了です。
- 次のような変更がないかたは、『ガイドチャンネルを設定する』（☞**48**ページ）と『日付と時刻を設定する』（☞**49**ページ）へ進んでください。
  - 不要なチャンネルを飛ばしたい：☞**42**ページ
  - チャンネル表示を変更したい：☞**44**ページ
  - 受信チャンネルの映りが悪い：☞**46**ページ

メモ

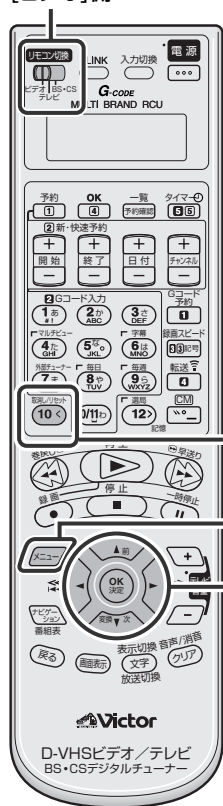
- お買い上げ時には、CATV放送のチャンネルは受信できない状態になっています。
- CATV放送は、サービスの行われている地域でのみ受信できます。
- CATV放送をご覧になるには、使用する機器ごとに受信契約が必要です。
- スクランブル方式など有料のCATV放送のときは、受信契約に加え、ホームターミナル（アダプター）が必要になります。
- ホームターミナルを使用したときは、ホームターミナル側で見たいチャンネルに合わせ、本機は前面入力端子[F-1]または、背面入力端子[L-1]にします。（映像／S映像入力切換：☞**101**ページ）
- くわしくは、CATV放送会社にお問い合わせください。

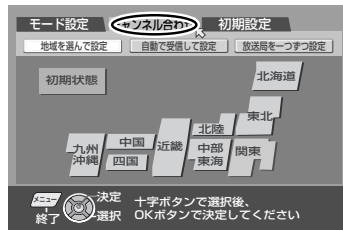
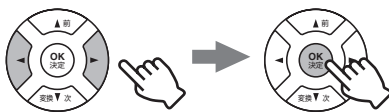
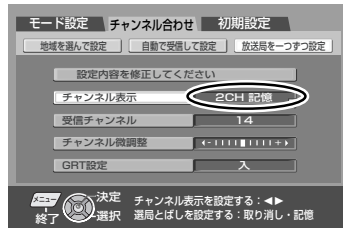
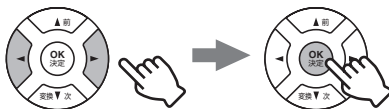
受信チャンネルを設定する（必要に応じて設定する）

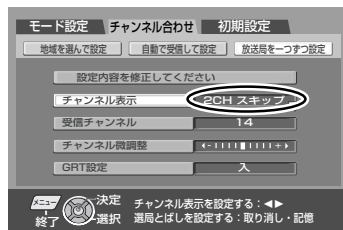
不要な放送局を受信できないようにする（チャンネルスキップ）

不要な放送局や、映りが悪すぎて見ない放送局などを飛ばしたいときに設定します。

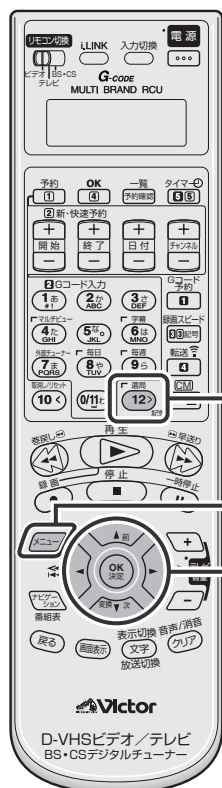
準備
- テレビの電源を入れて、本機をつないだ外部入力に切り換えます。
- リモコン切換スイッチを[ビデオ]側にします。

リモコン切換スイッチ
[ビデオ]側

❶ [メニュー]を押して「メニュー」画面を表示する

❷ [◀／▶]を押して「チャンネル合わせ」を選び、[OK]を押す

❸ [◀／▶]を押して「放送局を一つずつ設定」を選び、[OK]を押す

❹ [◀／▶]を押して飛ばしたいチャンネルを選ぶ

❺ [取り消し／リセット]を押す

❻ 他の放送局も飛ばしたいときは、手順の ❹ と ❺ をくり返す

❼ [メニュー]を押して終了する

- 「メニュー」画面が消えます。

飛ばしたチャンネルを再び記憶するには

① 左ページの手順❶～❸までを行う

② [◀ ／ ▶]ボタンを押して、受信したい放送局を選ぶ

③ [記憶]ボタンを押す

④ [メニュー]ボタンを押して、メニュー操作を終了する

[記憶]ボタン

[メニュー]ボタン

[▲/▼/◀/▶]ボタン

放送局をひとつずつ設定する

次のようなときは、放送局をひとつずつ受信できるように設定してください。

- 『一括チャンネル合わせ』(☞**40**ページ)や『オートチャンネル合わせ』(☞**41**ページ)で、受信できない放送局があるとき
- CATV放送のチャンネルを受信できるようにしたいとき

① 左ページの手順❶～❸までを行う

② [▲ ／ ▼]ボタンを押して「チャンネル表示」を選び、[◀ ／ ▶]ボタンでチャンネル表示番号を選ぶ

③ [▲ ／ ▼]ボタンを押して「受信チャンネル」を選び、[◀ ／ ▶]ボタンで受信したい放送局を選ぶ
- 他の放送局も設定するときは、手順の②、③をくり返します。

④ [メニュー]ボタンを押してメニュー操作を終了する

メモ

- チャンネル表示を変更したいときは、**44**ページをご覧ください。
- 受信の状態があまり良くないときは、微調整をしてください。(☞**46**ページ)

ご注意

- 放送局を新たに記憶させたときは、その放送局のガイドチャンネルも設定してください。(☞**48**、**120**ページ)

受信チャンネルを変更する（必要に応じて変更する）

チャンネル表示を変更する

テレビと同じチャンネル表示に合わせたいときなどに設定してください。

準備
- テレビの電源を入れて、本機をつないだ外部入力に切り換えます。
- リモコン切換スイッチを[ビデオ]側にします。

例　CATV放送の16チャンネル（C16チャンネル：本機での表示は66チャンネル）を、「7」チャンネルで見られるようにする

リモコン切換スイッチ
[ビデオ]側

D-VHSビデオ／テレビ
BS・CSデジタルチューナー

❶ [チャンネル＋／－]を押して「66チャンネル」を選ぶ

- 数字ボタンでも選べます。

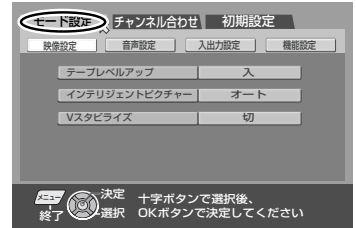
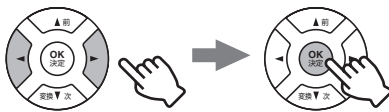
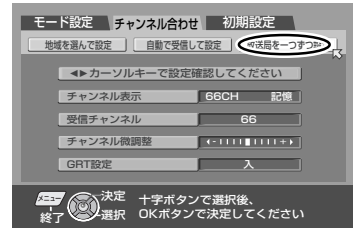
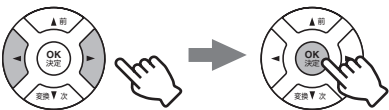
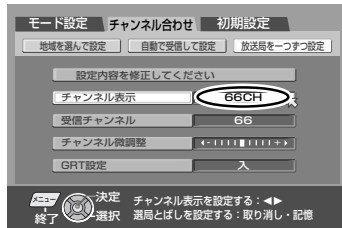
❷ [メニュー]を押して「メニュー」画面を表示する

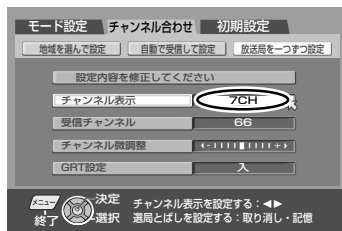
モード設定　チャンネル合わせ　初期設定
映像設定　音声設定　入出力設定　機能設定
テープレベルアップ　入
インテリジェントピクチャー　オート
Vスタビライズ　切
メニュー 終了　決定 選択　十字ボタンで選択後、OKボタンで決定してください

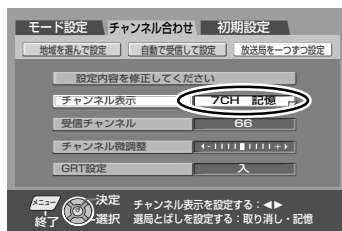
❸ [◀／▶]を押して「チャンネル合わせ」を選び、[OK]を押す

モード設定　チャンネル合わせ　初期設定
地域を選んで設定　自動で受信して設定　放送局を一つずつ設定
初期状態　北海道　東北　北陸　関東　中部 東海　近畿　中国　四国　九州 沖縄
メニュー 終了　決定 選択　十字ボタンで選択後、OKボタンで決定してください

❹ [◀／▶]を押して「放送局を一つずつ設定」を選び、[OK]を押す

モード設定　チャンネル合わせ　初期設定
地域を選んで設定　自動で受信して設定　放送局を一つずつ設定
◀▶カーソルキーで設定確認してください
チャンネル表示　66CH　記憶
受信チャンネル　66
チャンネル微調整
GRT設定　入
メニュー 終了　決定 選択　十字ボタンで選択後、OKボタンで決定してください

❺ [▲／▼]を押して「チャンネル表示」を選ぶ

❻ [◀／▶]を押して「チャンネル表示」を「7」に変える

❼ [記憶]を押してチャンネル番号を記憶する

（記憶する）

❽ [メニュー]を押して終了する

- 「メニュー」画面が消えます。
- 他のチャンネルも変更するときは、❶〜❽の手順を繰り返します。

変更された放送局を受信するには（アナーアナ変換）

アナーアナ変換とは、地上波デジタル放送にそなえて、UHF 放送のチャンネルを別のチャンネルに変更することです。

① 左ページの手順 ❷ 〜 ❹ までを行う
② [▲／▼]ボタンを押して「受信チャンネル」を選ぶ
③ [◀／▶]ボタンを押して、変更された放送局のチャンネルを選ぶ
④ [記憶]ボタンを押してチャンネルを記憶する
⑤ [メニュー]ボタンを押して、メニュー操作を終了する

受信チャンネルを変更する（必要に応じて変更する）

ゴーストの出るチャンネルや映りの悪いチャンネルを調整する

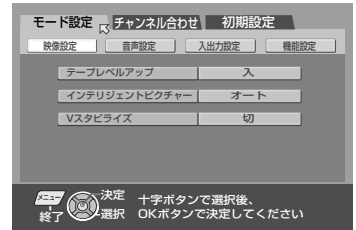
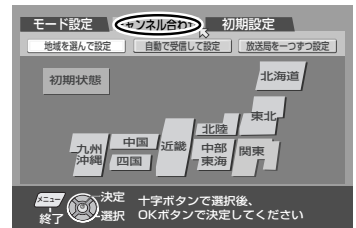
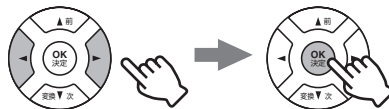
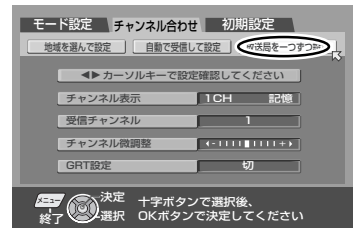
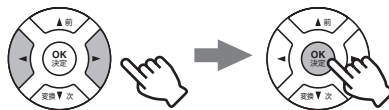
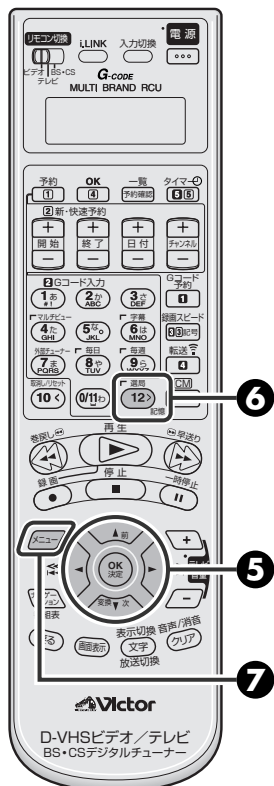
本機にはゴーストやノイズの多いチャンネルをよりクリアーに調整する機能があります。

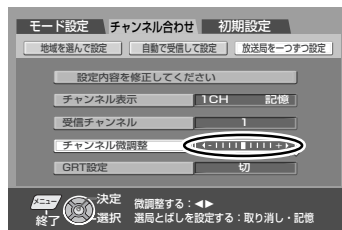
準備
- テレビの電源を入れて、本機をつないだ外部入力に切り換えます。
- リモコン切換スイッチを[ビデオ]側にします。

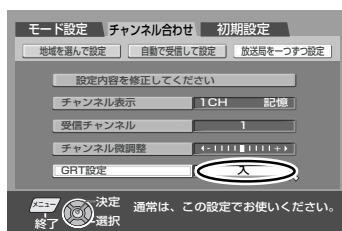
リモコン切換スイッチ
[ビデオ]側

❶ [チャンネル+／－]を押して映りの悪いチャンネルを選ぶ

- 数字ボタンでも選べます。

❷ [メニュー]を押して「メニュー」画面を表示する

❸ [◀／▶]を押して「チャンネル合わせ」を選び、[OK]を押す

❹ [◀／▶]を押して「放送局を一つずつ設定」を選び、[OK]を押す

映りの悪いチャンネルを調整するとき

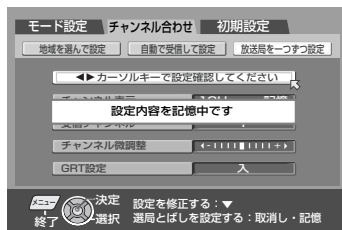
❺ [▲／▼]を押して「チャンネル微調整」を選び、[◀／▶]で映像を見ながら微調整する

ゴーストの出るチャンネルを調整するとき

⑤ [▲／▼]を押して「GRT設定」を選び、[◀／▶]を押して「入」を選ぶ

- ご購入時、「GRT設定」は「入」に設定されています。「切」に設定されているときは、「入」にしてください。

GRT 設定

「入」：ゴーストを低減するときに選択します。
「切」：ゴースト低減が不要なときに選択します。

❻ [記憶]を押して変更した内容を記憶する

（記憶する）

❼ [メニュー]を押して終了する

- メニュー画面が消えます。

Gコード®予約をするためのチャンネル設定をする（ガイドチャンネル設定）

ガイドチャンネルが正しく設定されていないと、Gコード予約ができなくなります。
次のような操作をしたときは、ガイドチャンネルを設定し直す必要があります。

- 受信チャンネルをひとつずつ設定したとき(☞**43** ページ)
- 『一括チャンネル合わせ』のあとで、新たな放送局を追加したとき(☞**43** ページ)
- チャンネル表示を変えたとき(☞**44** ページ)

準備
- テレビの電源を入れて、本機をつないだ外部入力に切り換えます。
- リモコン切換スイッチを[ビデオ]側にします。

例　テレビ神奈川（42 チャンネル）のチャンネル表示番号を「7」チャンネルに変えたとき

リモコン切換スイッチ
[ビデオ]側

数字ボタン

❶,❼

❷~❺

Victor
D-VHSビデオ／テレビ
BS・CSデジタルチューナー

❶ [メニュー]を押して「メニュー」画面を表示する

❷ [◀／▶]を押して「初期設定」を選び、[OK]を押す

❸ [◀／▶]を押して「Gコード予約の準備」を選び、[OK]を押す

モード設定	チャンネル合わせ	初期設定
時計合わせ	Gコード予約の準備	その他

年	2004年
月／日	1月1日(木)
現在時刻	ーー-- : --
ぴったりクロック	3 CH

メニュー 終了　決定 選択　十字ボタンで選択後、OKボタンで決定してください

❹ [◀／▶]を押して設定したい放送局のガイドチャンネル番号「42」を選ぶ

- 『ガイドチャンネル一覧表』を参照して入力します。(☞**120**ページ)

❺ [▼]を押したあと[◀／▶]で設定したい放送局のチャンネル表示番号を選ぶ

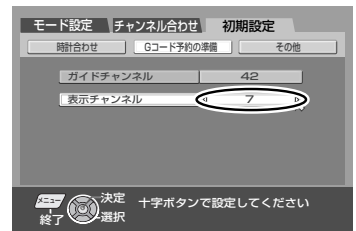
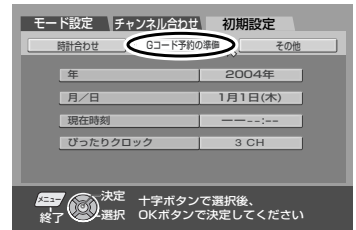
モード設定	チャンネル合わせ	初期設定
時計合わせ	Gコード予約の準備	その他

ガイドチャンネル	42
表示チャンネル	7

メニュー 終了　決定 選択　十字ボタンで設定してください

❻ 他にも設定したい放送局があるときは、手順の❹～❺をくり返す

❼ [メニュー]を押して終了する

- 「メニュー」画面が消えます。

メモ
- ガイドチャンネルとは、Gコード予約で放送局を正しく受信するために付けられた、その放送局専用の番号です。実際のチャンネルとは異なることがありますのでご注意ください。

日付と時刻を設定する

お買い上げ時には時計は設定されていません。正しい日付と時刻を設定してください。

準備
- テレビの電源を入れて、本機をつないだ外部入力に切り換えます。
- リモコン切換スイッチを[ビデオ]側にします。

例　2004年12月24日、午後8時30分に合わせる

リモコン切換スイッチ
[ビデオ]側

1 [メニュー]を押して「メニュー」画面を表示する

2 [◀／▶]を押して「初期設定」を選び、[OK]を押す

モード設定	チャンネル合わせ	初期設定
時計合わせ	Gコード予約の準備	その他
年	2004年	
月／日	1月1日(木)	
現在時刻	ーー-:--	
ぴったりクロック	3 CH	

メニュー 終了　決定 選択　十字ボタンで選択後、OKボタンで決定してください

3 [◀／▶]を押して「時計合わせ」を選び、[OK]を押す

4 年、月日、時刻を合わせる

[◀/▶]を押して「年」を合わせ[▼]を押す

▽

[◀/▶]を押して「月/日」を合わせ[▼]を押す

▽

[◀/▶]を押して「現在時刻」を合わせ[▼]を押す

モード設定	チャンネル合わせ	初期設定
時計合わせ	Gコード予約の準備	その他
年	2004年	
月／日	1月1日(木)	
現在時刻	ーー-:--	
ぴったりクロック	3 CH	

メニュー 終了　決定 選択　十字ボタンで設定してください

- [◀/▶]は押し続けると早く変わります。
  時刻：30分単位で変わります
  日付：15日単位で変わります

5 [▲／▼]を押して「ぴったりクロック」を選び、[◀／▶]を押してチャンネルを選ぶ

モード設定	チャンネル合わせ	初期設定
時計合わせ	Gコード予約の準備	その他
年	2004年	
月／日	12月24日(金)	
現在時刻	午後 8:30	
ぴったりクロック	3 CH	

メニュー 終了　決定 選択　NHK教育テレビのチャンネルに設定してください。

- 『一括チャンネル合わせ』(☞40ページ)を行なったあとは、自動的に設定されています。
- 自分で選ぶときは、NHK教育テレビを選びます。

6 [メニュー]を押して終了する

- 時計が動き始めます。

メモ

ぴったりクロックとは

- 毎日7、12、19時に、NHK教育テレビの時報が放送されているかどうかを確認し、時報が放送されると、時計の誤差を自動修正します。
- 平成15年2月現在、時報は1日1回、正午のみです。
- ぴったりクロックが働いていないと、本機の時計が正確に合わないことがあります。この状態で録画予約すると、番組の開始または終了部分がずれた状態で録画されます。ぴったりクロックが働いていないときは、時計を正確に合わせることをおすすめします。
- 高校野球シーズンなどは、時報が放送されないことがあり、現在時刻とのずれが生じます。
- 次のようなときは、ぴったりクロックは働きません。
  ・番組編成で時報が放送されていないとき
  ・本機の電源が入っているとき
  ・現在時刻とのずれが±3分以上あるとき
  ・時報のバックに音楽が入っているとき

画面表示

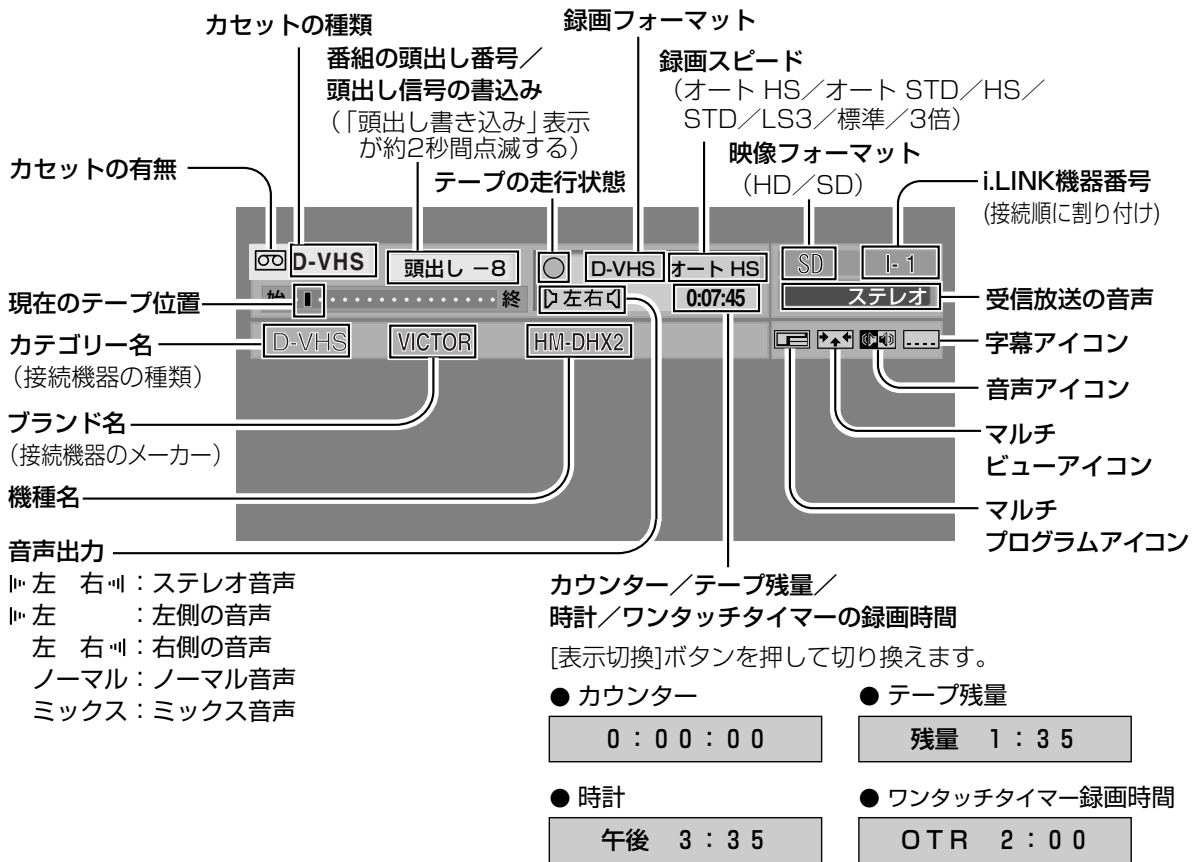
画面に出る表示で動作を確認する

リモコンの[画面表示]ボタンを押すと、現在の状態を表示します。もう一度押すと消えます。

- 左　右：ステレオ音声
- 左　　：左側の音声
- 　右：右側の音声
- ノーマル：ノーマル音声
- ミックス：ミックス音声

カウンター／テープ残量／時計／ワンタッチタイマーの録画時間

[表示切換]ボタンを押して切り換えます。

- ● カウンター　0：00：00
- ● テープ残量　残量　1：35
- ● 時計　午後　3：35
- ● ワンタッチタイマー録画時間　OTR　2：00

画面表示を出したくないときは

ダビング時、本機を再生側で使用するときは、テレビ画面に出る文字を記録しないよう「切」にします。

準備
- テレビの電源を入れて、本機をつないだ外部入力に切り換えます。
- リモコン切換スイッチを[ビデオ]側にします。

❶ [メニュー]ボタンを押して、「メニュー」画面を表示する

❷ [◀／▶]ボタンを押して「モード設定」を選び、[OK]ボタンを押す

❸ [◀／▶]ボタンを押して「機能設定」を選び、[OK]ボタンを押す

❹ [▲／▼]ボタンを押して「オンスクリーン」を選び、[◀／▶]ボタンで「切」にする

❺ [メニュー]ボタンを押して終了する

メモ
- 「オンスクリーン」を「切」にしても、次のようなときは、テレビ画面に文字を表示します。
  - ・グレーバックのとき
  - ・リモコンの[CM]ボタンを押したとき（☞**90**ページ）

使用するテープと記録方式

録画について

テープの種類	記録方式		
	D-VHS	S-VHS	VHS
D-VHS	○	○	○
S-VHS	×	○	○
VHS	×	○	○

(○:記録可能　×:不可)

- 本機は、D-VHS(MTP)方式、S-VHS方式、VHS方式で記録することができます。
- D-VHS録画をするときは、D-VHSテープをお使いください。
- S-VHS/VHS記録をするときは、D-VHSテープ、S-VHSテープ、VHSテープのどれでもお使いになれます。
- DF-480テープは、D-VHS記録・再生用です。

DF-480テープを使用する前に

D-VHS専用のクリーニングテープ(ビクターD-VHSビデオヘッドクリーナーTCL-DVS)を使って、ビデオヘッドをクリーニングしてから使用してください。

クリーニングテープの使い方

1. 本機にクリーニングテープを入れます。
2. 約30秒再生したあと、停止ボタンを押します。
3. クリーニングテープを取り出します。
4. DF-480テープで録画･再生をして、画像･音声が正常でないときは、**1**、**2**の操作を1～2回繰り返してください。

D-VHSテープの最長記録時間

「LS3」モードでの記録時間は、「STD」モードの3倍ぶんまたは「HS」モードの6倍ぶんあります。

D-VHSテープ	D-VHS記録			S-VHS/VHS記録	
	HSモード	STDモード	LS3モード	標準(SP)モード	3倍(EP)モード
DF-480	4時間(240分)	8時間(480分)	24時間(1440分)	4時間(240分)	12時間(720分)
DF-420	3.5時間(210分)	7時間(420分)	21時間(1260分)	3.5時間(210分)	10.5時間(630分)
DF-360	3時間(180分)	6時間(360分)	18時間(1080分)	3時間(180分)	9時間(540分)
DF-300	2.5時間(150分)	5時間(300分)	15時間(900分)	2.5時間(150分)	7.5時間(450分)
DF-240	2時間(120分)	4時間(240分)	12時間(720分)	2時間(120分)	6時間(360分)

D-VHSテープにS-VHS記録する場合

1. 本体の[D-VHS]ボタンを押して、[D-VHS]ランプを消灯させせます。
2. メニューの「モード設定➡機能設定➡SVHSテープ録画」が「S-VHS」になっていることを確認してください。お買い上げ時は、「S-VHS」に設定されています。
   操作のしかたは、**99**ページをご覧ください。

D-VHSテープにVHS記録する場合

1. 本体の[D-VHS]ボタンを押して、[D-VHS]ランプを消灯させせます。
2. メニューの「モード設定➡機能設定➡SVHSテープ録画」を「VHS」にしてください。
   操作のしかたは、**99**ページをご覧ください。

S-VHSテープにVHS記録する場合

メニューの「モード設定➡機能設定➡SVHSテープ録画」を「VHS」にしてください。
操作のしかたは、**99**ページをご覧ください。

VHSテープにS-VHS記録する場合

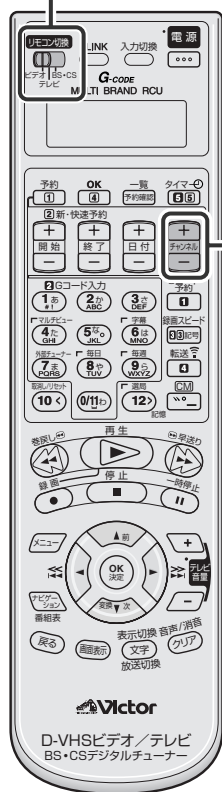
メニューの「モード設定➡機能設定➡S-VHS-ET」を「入」にしてください。
操作のしかたは、**58**ページをご覧ください。

再生について

- 本機は、D-VHS(MTP)方式、S-VHS方式、VHS方式で記録されたテープを再生することができます。
- 本機は、記録方式(D-VHS、S-VHS、VHS)を自動的に判別してテープを再生します。

デジタル番組を録画する（i.LINK 接続、アナログ接続）

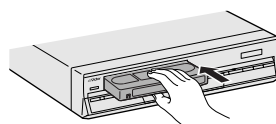
デジタル番組（地上･BS･110度CSデジタル放送）の録画は、i.LINK 接続で録画する方法と、アナログ接続（S 映像）で録画する方法があります。

録画を始めると、自動的に録画の始めにインデックスマーク（VISS：VHS Index（インデックス） Search（サーチ） System（システム））と呼ばれる信号が記録されます。（☞86 ページ）

リモコン切換スイッチ
[ビデオ]側

準備

- リモコンの準備、テレビと本機の接続が終わっていないときは、先に「設置と準備」編をご覧ください。（☞**21** ～ **39** ページ）
- テレビの電源を入れて、本機をつないだ外部入力に切り換えます。
- リモコン切換スイッチを[ビデオ]側にします。
- メニューの「モード設定➡入出力設定➡テレビの設定 1、2」を設定してください。（☞**36**、**37** ページ）

❶ つめのついたテープを入れる

- 本機の電源が自動的に入ります。
- 表示窓の[－－－－]が点滅し、数秒間テープが動き、テープ番号の検索をします。
- D-VHS テープを入れると、テレビ画面表示（☞**50**ページ）の「D-VHS」表示が点灯し、D-VHS 記録できます。
- 使用するテープと記録方式については、**51** ページをご覧ください。

テープの見える面を上にし、
中央部をゆっくり押します。

❷ 地上･BS･110度CSデジタルテレビ側で、見たい番組のチャンネルを選ぶ

- ビクター製の地上･BS･110度CSデジタルテレビをご使用の場合は、リモコン切換スイッチを[テレビ]側にしてから操作します。（☞**25** ページ）

❸ 地上･BS･110度CSデジタルテレビ側で、i.LINKの設定をする

- i.LINK接続で録画するときに設定します。i.LINKの設定については、ご使用の機器の取扱説明書をご覧ください。
- デジタルテレビ側で録画スピードを選択できるときは、「オート」または「自動」にしてください。

❹ [チャンネル＋／－]を押して外部入力(I-1またはL-1など)を選ぶ

D-VHS記録時の録画スピード（手順❺）について

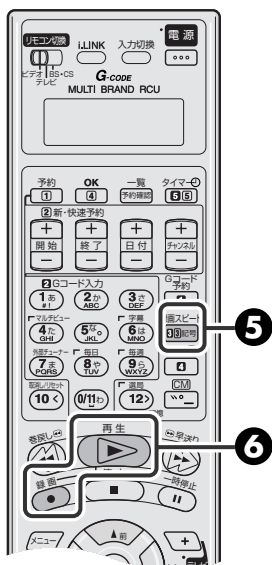
- デジタル放送をi.LINK接続で録画するとき
- デジタルハイビジョンムービー（GR-HD1）とi.LINK接続で録画するとき

「AUT(AUTO)」または「HS」モードのみ選択できます。

- DV機器とi.LINK接続で録画するとき
- デジタル放送をアナログ接続で録画するとき

「HS」、「STD」、「LS3」モードから1つ選択してください。

ご注意

- 大切な録画の場合は、必ず事前に試し撮りをして、正常に録画･録音されることを確かめてください。
- 万一本機およびテープ等の不具合により、正常に録画･録音や再生できなかった場合の内容の補償についてはご容赦ください。
- 本機で録画したテープをAACデコード機能を内蔵していないD-VHSビデオデッキで再生したとき、音声が出力されないことがあります。

❺ [録画スピード]を押して録画スピードを選ぶ

録画スピード

- 押すごとに、録画スピードが切り換わります。

接続／録画方式	録画スピード	録画スピードの説明
i.LINK接続で D-VHS録画	AUT(AUTO)	番組の情報量(転送レート)に合わせて、自動的に「HS」または「STD」モードで録画するとき
	HS	デジタルハイビジョン放送をそのまま録画するとき
アナログ接続で D-VHS録画	HS	画質と音質を量も重視するとき
	STD	画質と時間を重視するとき
	LS3	S-VHS以上の画質で「STD」の3倍長く録画するとき
アナログ接続で S-VHS/VHS録画	SP(標準)	S-VHS/S-VHS ET/VHSモードで画質を重視するとき
	EP(3倍)	S-VHS/S-VHS ET/VHSモードで3倍長く重視するとき

- i.LINK入力を選択したときは、S-VHS／VHS録画はできません。
- 下の『録画スピードの選択』についてもご覧ください。

❻ [録画]を押しながら[再生]を押す

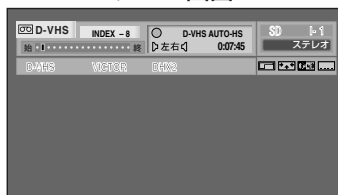
録画 を押しながら 再生

- 本体の[録画(●)]ボタンでも操作できます。
このときは、[再生(▶)]ボタンを押す必要はありません。

見る・録画・予約

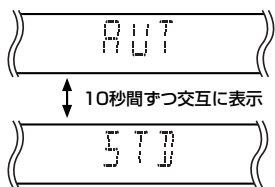
録画スピードの選択

地上･BS･110度CSデジタル放送は、番組ごとに情報量(転送レート：1125i,750p,525p,525i)が異なります。番組ごとの情報量に合わせて録画できるように、録画スピードで「AUTO(オート)」モードが選択できます。[i.LINK]端子にデジタルテレビなどを接続した場合のみ、「AUTO(オート)」モードを選択できます。

テレビ画面

録画中の本体表示窓
AUTO(オート)選択時

AUT

10秒間ずつ交互に表示

STD

録画スピード設定		AUTO※		HS	
		録画方式	録画モード	録画方式	録画モード
画像フォーマット(i.LINK入力)	マルチ番組	ビットストリーム記録	HS	ビットストリーム記録	HS
	1125i				
	750p				
	525i/525p(高レート)				
	525i/525p(低レート)		STD		
	ラジオ/データ放送				
	DV525i	選択できない		自己エンコード	HS

※：EPG録画時は、このモードになります。

マルチ番組 ： マルチビュー、マルチプログラム番組のことです。
ビットストリーム記録 ： [i.LINK]端子に入力された信号をそのままテープ上に記録することを「ビットストリーム記録」といいます。
自己エンコード ： DV機器からの入力を変換して、選択した録画モードで記録します。DV入力のときは「HS/STD/LS3」の録画モードから1つを選択できます。(☞52ページ)
ラジオ/データ放送 ： 地上･BS･110度CSデジタルテレビからの信号を入力した時の場合です。

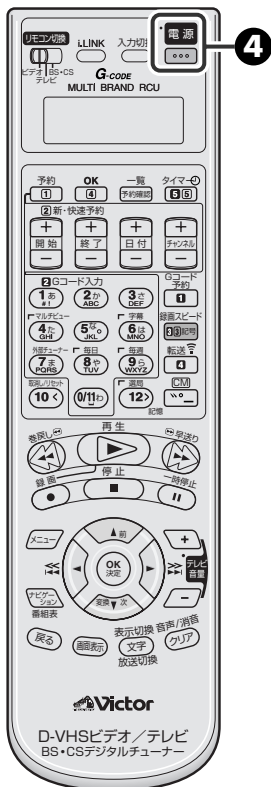
ご注意

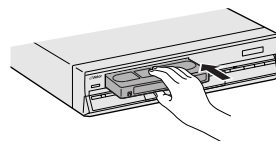
- 録画一時停止中は、チャンネルの切り換えはできますが、録画スピードの切り換えはできません。
- i.LINK入力時、モザイク画(ブロック状のノイズ)になることがあります。
- 地上･BS･110度CSデジタル放送には、著作権の保護上、録画制限のかかった番組があります。録画制限には、録画フリー･1回のみ録画可能･録画不可の3種類があります。
- マルチ番組の中に録画禁止の番組や音声放送だけの番組などが1つでもあると録画できません。本機の[i.LINK]端子では著作権保護に対応したデジタルデーターのコピー･プロテクション技術が採用されています。この技術はDTLA (Digital Transmission Licesing Administrator)というデジタル伝送における著作権保護技術の管理運用団体から許可を受けているものです。

デジタル番組を予約する

i.LINK 接続で録画予約する

準備

- 地上･BS･110 度 CS デジタルテレビなどと i.LINK 接続します。(☞**32**、**34** ページ)
- メニューの「初期設定 ➡ その他 ➡LINC」を「オート」にします。

❶ つめのついたD-VHSテープを入れる

- 本機の電源が自動的に入ります。
- 表示窓の[－－－－]が点滅し、数秒間テープが動き、テープ番号の検索をします。
- 使用するテープと記録方式については、**51** ページをご覧ください。

テープの見える面を上にし、中央部をゆっくり押します。

❷ デジタルテレビ側で番組表を表示させ、予約したい番組を選ぶ

❸ デジタルテレビ側でi.LINK録画予約をする（テレビの取扱説明書を参照）

- デジタルテレビ側で録画スピードを選択できるときは、「オート」または「自動」にしてください。

❹ [電源] を押して本機の電源を切る

- 設定した時間になると、自動的に本機とテレビの電源が入り録画が開始されます。
- テレビのi.LINK端子から本機をコントロールして録画します。

開始または終了時刻を変更して録画予約したいときは

1. D-VHS テープを入れ、D-VHS モードにしてください。
2. テレビ側で EPG 予約（ビデオリモート予約）をしてください。
3. 本機側でチャンネルを「i.LINK」に設定して録画予約してください。(☞**62**ページ)
   ･本機で録画予約した時間ぶんだけ録画します。
   ･テレビ側は、予約した時間ぶんだけ動作します。

ご注意

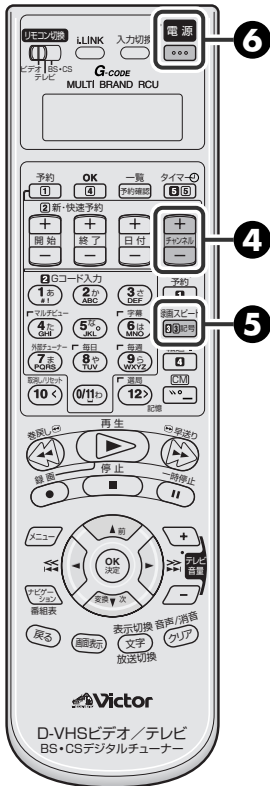
- 本機とテレビだけを i.LINK 接続してください。
  i.LINK 機器を指定して録画予約できないため、複数の機器をi.LINK 接続した場合、予約した番組が録画されないことがあります。
- 録画スピードは、「AUT（AUTO)」と「HS」のみ選択できます。
- メニューの「初期設定 ➡ その他 ➡LINC」を「オート」にしてください。(☞**96**ページ)

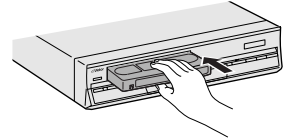
メモ

- EPG録画するときは、デジタルテレビ以外のi.LINK接続機器の電源を切っておいてください。
- 放送によっては録画できない番組があります。（メッセージが画面表示されます）
- 地上･BS･110度CSデジタル放送では、番組情報が送られてこないと、予約できないことがあります。

ビデオリモートコントローラーを使って録画予約する（アナログ接続）

準備

- 地上･BS･110度CS デジタルテレビなどとアナログ接続します。（☞**32**、**34** ページ）
- 地上･BS･110度CS デジタルテレビ付属のビデオリモートコントローラーの設置およびビデオのメーカー設定を行なってください。（くわしくは地上･BS･110度CS デジタルテレビの取扱説明書を参照）

❶ つめのついたテープを入れる

- 本機の電源が自動的に入ります。
- 表示窓の[－－－－]が点滅し、数秒間テープが動き、テープ番号の検索をします。
- 使用するテープと記録方式については、**51** ページをご覧ください。

テープの見える面を上にし、中央部をゆっくり押します。

❷ デジタルテレビ側で番組表を表示させ予約したい番組を選ぶ

❸ デジタルテレビ側でビデオリモートコントローラーを使った録画予約をする

（テレビの取扱説明書を参照）

❹ [チャンネル＋／－]を押してデジタルテレビと接続しているアナログ入力(L-1など)を選ぶ

❺ [録画スピード]を押して録画スピード「HS／STD／LS3／SP／EP」を選ぶ

- 「HS／STD／LS3」モードの場合は、アナログ信号をデジタル信号に変換して録画します。このときは、D-VHSテープを入れてください。

❻ [電源]を押して本機の電源を切る

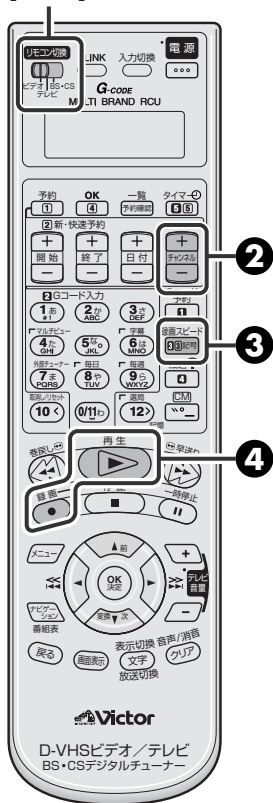
- 設定した時間になると、自動的に本機とテレビの電源が入り録画が開始されます。
- テレビ付属のビデオリモートコントローラーからビデオのリモコン信号を出力してビデオをコントロールします。

見る・録画・予約

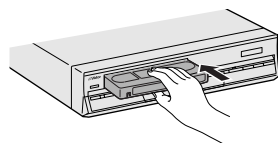
地上アナログ番組を録画する

録画する

地上・BS・110度CSデジタル放送の番組を録画するときは、**52**ページをご覧ください。
STDモードでリニアPCM音声を録音したいときは、メニューの「モード設定 ➡ 音声設定 ➡STD記録PCM音声」を「入（音質優先)」にしてください。(☞**100**ページ)

リモコン切換スイッチ
[ビデオ]側

準備
- リモコンの準備、テレビと本機の接続が終わっていないときは、先に「設置と準備」編をご覧ください。(☞**21**～**41**ページ)
- テレビの電源を入れて、本機をつないだ外部入力に切り換えます。
- リモコン切換スイッチを[ビデオ]側にします。

❶ つめのついたテープを入れる

- 本機の電源が自動的に入ります。
- 表示窓の[－－－－]が点滅し、数秒間テープが動き、テープ番号の検索をします。
- つめのないカセットを入れると、自動的に再生が始まります。
- D-VHSテープを入れると、テレビ画面表示(☞**50**ページ)の[D-VHS]表示が点灯し、D-VHS録画できます。
- S-VHS/VHSテープを入れると、本体表示窓の[SP](標準)または[EP](3倍)表示が点灯し、S-VHS/VHS記録できます。
- 『使用するテープと記録方式』については、**51**ページをご覧ください。

テープの見える面を上にし、中央部をゆっくり押します。

❷ [チャンネル＋／－]を押して番組を選ぶ

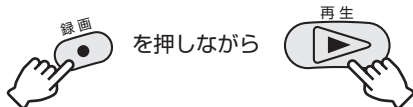
❸ [録画スピード]を押して録画スピードを選ぶ

- 押すごとに、録画スピードが切り換わります。

D-VHS記録時
- 「HS」　：画質と音質を最も重視するとき
- 「STD」　：画質と時間を重視するとき
- 「LS3」　：S-VHS以上の画質でSTDの3倍長く録画するとき

S-VHS/VHS記録時
- 「SP(標準)」：S-VHS／S-VHS ET／VHSモードで画質を重視するとき
- 「EP(3倍)」：S-VHS／S-VHS ET／VHSモードで3倍長く録画するとき

❹ [録画]を押しながら[再生]を押す

録画 を押しながら 再生

- 本体で操作するときは、[録画(●)]ボタンを押します。

ご注意
- 大切な録画の場合は、必ず事前に試し撮りをして、正常に録画・録音されていることを確かめてください。
- 万一本機およびテープ等の不具合により、正常に録画・録音や、再生ができなかった場合の内容の補償についてはご容赦ください。

メモ
リモコンの数字ボタン(0~9)でチャンネルを選ぶときは
① リモコンのリモコン切換スイッチを[ビデオ]側にします。
② 数字ボタン（0～9）を押す。
　例： 4チャンネルを選ぶときは[4]を押す。
　例： 10チャンネルを選ぶときは[1]、[0/11]と続けて押す。
　例： 外部入力を選ぶときは[0/11]を押す。強制的に「L-1」入力に切り換わります。

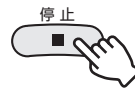
[一時停止]ボタン
[停止]ボタン

録画を一時停止する

一時停止

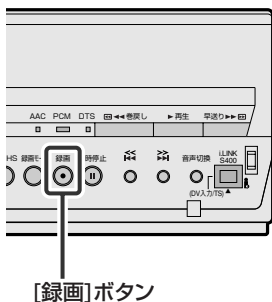
録画が一時停止されます。
本体表示窓のチャンネル表示(または時計や録画スピード表示)が点滅します。
再び録画を始めるには、[再生(►)]ボタンを押します。

録画をやめる

停止

録画時間を設定する(ワンタッチタイマー録画)

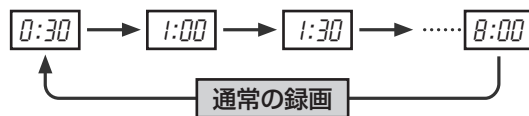
録画中に録画時間を設定できます。
録画が終わると自動的に停止し、電源が切れます。

録画中に

録画

本体のボタン

[録画]ボタン

押すごとに、録画時間(最長8時間まで)が30分単位で延長されます。表示窓に録画時間が表示さます。

0:30 → 1:00 → 1:30 → ……8:00 → 通常の録画

録画を途中でやめるには、[停止(■)]ボタンを押します。

録画中に別の番組を見る(裏番組録画)

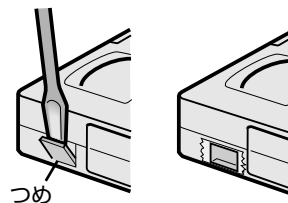
録画中に別の番組を見ることができます。録画には影響しません。

1. テレビの電源を入れる
2. テレビで見たい番組を選ぶ

誤消去を防止するために

大切な記録を誤って消したくないときは、つめ(誤消去防止用)を折って取り除いてください。セロハンテープを二重に貼って穴をふさぐとふたたび録画できます。

つめ

メモ

- 一時停止が5分以上続くと、本機は自動的に停止します。
- 録画中にテープの終わりまでくると、テープは停止します。
- ワンタッチタイマー録画中にテープの終わりまでくると、電源が切れます。
- ワンタッチタイマー録画中に、録画予約した時間と重なったときは、ワンタッチタイマー録画が優先されますのでご注意ください。
- 録画と録画のつなぎ部分で映像が乱れることがありますが、故障ではありません。
- 二カ国語放送の主音声と副音声の両方の音を録音したいときは、メニューの「モード設定➡音声設定➡二カ国語音声録音」を「主＊副」にしてください。(☞**100**ページ)
- 「モード設定➡映像設定➡テープレベルアップ」が「入」になっているときは、録画するテープの品質レベルを測定して最適な画質で録画します。くわしくは『最適な画質で録画・再生する』をご覧ください。(☞**91**ページ)

VHS テープに S-VHS の画質で録画する

VHS テープに S-VHS の画質で録画ができます。

リモコン切換スイッチ
[ビデオ]側

1. [メニュー]ボタンを押す
2. [◀／▶]ボタンを押して「モード設定」を選び、[OK]ボタンを押す
3. [◀／▶]ボタンを押して「機能設定」を選び、[OK]ボタンを押す
4. [▲／▼]ボタンを押して「S-VHS ET」を選ぶ
5. [◀／▶]ボタンを押して「入」を選ぶ
6. [メニュー]ボタンを押してメニュー操作を終了する

S-VHS ET 機能について

この機能は、VHSテープにS-VHSの画質で記録するための機能です。S-VHS ET 機能を使って録画したテープは、本機または S-VHS ET 機能を持ったビデオデッキで再生してください。

- よりよい画質で録画・再生・長期保存するためには、S-VHSテープをご利用ください。
- S-VHS ET 機能を使って録画したテープの再生は本機、もしくは S-VHS ET 機能付きのビデオデッキでお楽しみください。
- S-VHS ET 機能を使って録画したテープは、S-VHS のビデオデッキや S-VHS 簡易再生機能（SQPB）付きのビデオデッキでも再生することができます。ただし、機種によっては再生できないこともありますので、ご注意ください。
- 再生時、テープの品質によっては、ノイズが出ることがあります。
- 静止画再生やコマ送り・スロー再生を行うと、画面にノイズがでる場合があります。
- 静止画再生やコマ送り・スロー再生を頻繁に行うと、画質が劣化することがあります。これらの操作の多用は避けてください。
- お使いになるテープによっては、十分な画質が得られないことがあります。必ず事前に試し撮りをして、十分な画質で録画されることを確かめてください。
S-VHS ET 機能を使って録画するときは、次のことをお勧めします。
  - HG(ハイグレード)タイプの VHS テープをお使いください。
  - メニューの「モード設定➡映像設定➡テープレベルアップ」を「入」にしておいてください。（☞**99** ページ）
  - 映像がちらついたり、乱れたりするときは、クリーニングカセットをお使いください。（☞**12** ページ）

メモ

- 次のようなときは、S-VHS ET 機能は働きません。
  - D-VHS テープが入っているとき
  - S-VHS テープが入っているとき

テープの残り時間を調べる

テレビ画面に表示されているカウンターの表示を切り換えてテープ残量を表示させせます。

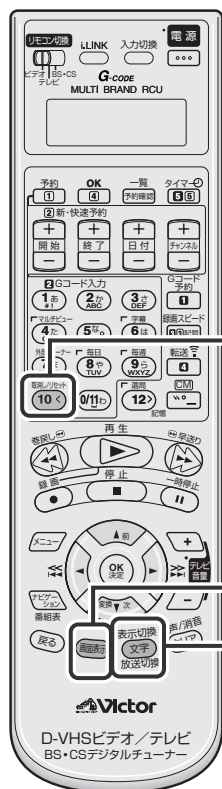
停止または録画中

1. [画面表示]を押します。

2. [表示切換]を押すごとに、テレビ画面が次のように切り換わります。

カウンター表示 → 時計表示 → テープ残量表示 →（カウンター表示）

カウンターをリセットするには[取消し／リセット]を押す

テレビ画面のカウンターが、「0:00:00」に戻ります。

[取消し/リセット]ボタン

[画面表示]ボタン

[表示切換]ボタン

D-VHSビデオ／テレビ
BS・CSデジタルチューナー

見る・録画・予約

ご注意

- 電源プラグを抜き差ししたり、停電があったときは、本体表示窓が「−−:−−」になります。

メモ

- テープの残量表示は、目安の時間であり、現在選ばれている録画スピードで計算されます。
- 使用されているテープによっては、テープの残量が正しく表示されていないことがあります。
- カウンターや残量表示などをテレビ画面に出したくないときは、メニューの「モード設定➡機能設定➡オンスクリーン」を「切」にしてください。（☞**102**ページ）
- テープの残量を計算中は、カウンターの表示が[−−:−−]になったり、点滅したりすることがあります。

G コード® 機能を使って予約する（G コード® 予約）

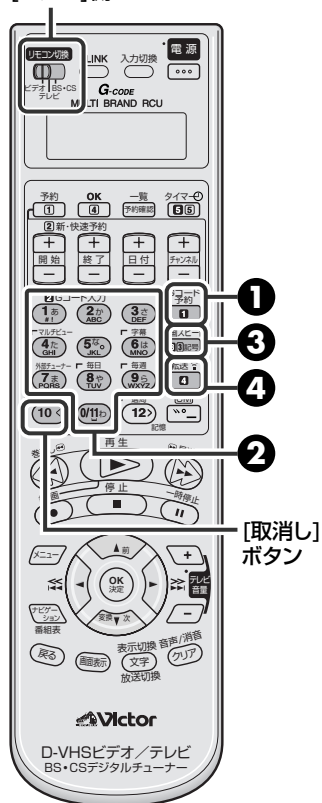
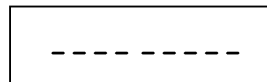
簡単な録画の予約方法です。新聞のテレビ欄などに記載されているGコード番号を使って録画を予約します。
G コード番号を使って録画を予約するためには、ガイドチャンネルが正しく設定されている必要があります。
もう 1 度、ガイドチャンネルが正しく設定されていることを確認してください。（☞48 ページ）

i.LINK 対応地上･BS･110 度 CS デジタルテレビやデジタル CS チューナーで受信したデジタル番組を予約するときは、受信機側で予約します。くわしくは、受信機側の取扱説明書をご覧ください。本機側で予約の設定は必要ありません。（☞54、55 ページ）

準備
- 時計（日付と時刻）を合わせておいてください。（☞49 ページ）
- 録画用のテープを入れて、記録方式を選びます。（☞51 ページ）

リモコン切換スイッチ
[ビデオ]側

[取消し]
ボタン

Victor
D-VHSビデオ／テレビ
BS･CSデジタルチューナー

❶ [Gコード予約] を押す

Gコード
予約

リモコン液晶表示窓

\-\-\-\- \-\-\-\-\-

❷ 数字ボタンを押してGコード番号を入力する

- 番号を間違えたときは、「取消し」を押します。

数字の0は [0/11] を押します。

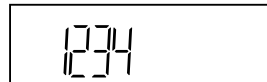
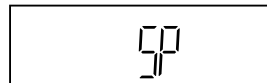
リモコン液晶表示窓

1234

❸ [録画スピード] を押して録画スピードを選ぶ

録画スピード

リモコン液晶表示窓

SP

- 押すごとに、録画スピード（SP/EP）が切り換わります。

❹ [転送] を押してGコード番号を本体へ転送する

転送

- 転送が完了するとテレビ画面に確認画面が表示されます。
  転送時に本体表示窓に[ERROR]や、テレビ画面に「Gコードナンバーが違います 確認して再度入力してください」と表示されたときは、下のメモをご覧ください。メッセージが表示されたときには、それにしたがって確認してください。

録画予約

Gコードナンバー　1 2 3 4

開始時刻	終了時刻	日付	チャンネル
午後 9:00	午後 11:45	04/12/24（金）	12CH
	録画スピード	毎週/毎日	CMカット
	STD（標準）	月ー金	しない

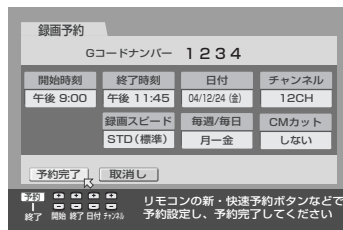
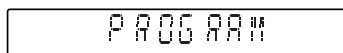
予約完了　取消し

リモコンの新・快速予約ボタンなどで予約設定し、予約完了してください

テレビ画面表示

PROGRAM

本体表示窓

メモ

途中で止めるときは
[取消し]ボタンを押します。表示している予約が削除されます。

転送時に本体表示窓に[ERROR]と表示されたときは
- 次の点を確認してください。
  - 番組の開始時刻が過ぎていないか
  - Gコード番号が正しいか（Gコード番号を入力し直してください）
  - ガイドチャンネルの設定がされているか（☞48ページ）

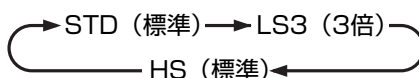
- 転送時に本体表示窓に[FULL]、テレビ画面に「予約がいっぱいです」と表示されたときは、すでに24予約分登録されています。

デジタル番組を録画予約するときは、 54、55ページをご覧ください。

❺ 必要に応じて、次の設定をする

録画スピードを変更したいときは

- 押すごとに録画スピードが切り換わります。

STD（標準）→ LS3（3倍）→ HS（標準）→

CM カットして録画したいときは

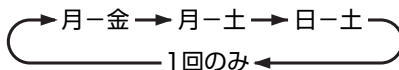
- 押すごとに、「CMカット」の「する/しない」が切り換わります。『オートCMカット』については、**90**ページをご覧ください。
- ステレオ放送の番組を録画するときは、使わないでください。

同じ番組を毎週録画したいときは

- 「毎週／毎日」の表示が「毎週○曜日」になり、もう1度押すと元に戻ります。

同じ番組を毎日録画したいときは

- 押すごとに切り換わります。

月－金 → 月－土 → 日－土 → 1回のみ →

録画終了時刻を変更したいときは

- 押すごとに、録画終了時刻が1分単位で延長（または短縮）されます。
押し続けると30分単位で延長（または短縮）されます。

❻ [OK]を押して予約を終了する

- 「録画予約を完了しました･･･」と表示され、しばらくすると元のテレビ画面に戻ります。
- 続けて、他の番組を予約するときは、手順❶～❻をくり返します。

❼ [タイマー（◴）] を押して本機を録画予約の待機状態にする

- 表示窓の[◴]が点灯し、電源が切れます。
録画開始時刻になると自動的に録画が始まり、
終了時刻になると録画が終わり、電源が切れます。
- 別の録画予約をしているときは、表示窓の[◴]は点灯し続けます。

見る・録画・予約

メモ

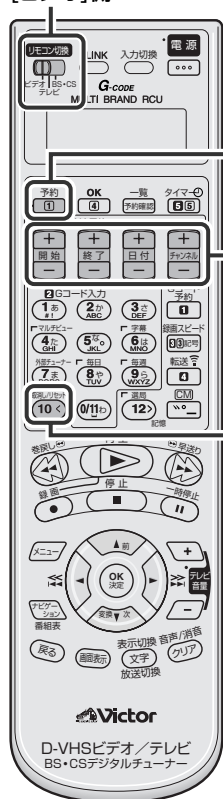
- Gコード番号で録画予約をしたときは、実際の番組よりも多少長めに録画されることがあります。
- 録画チャンネルが外部入力のときは「CMカット」の設定はできません。
- 録画予約を確実に行うために、予約設定したあとは、**64**ページの予約確認することをおすすめします。
- 「ぴったり録画」が「入」になっていると、録画スピードを「標準」に設定していても、実際の録画は「3倍」で録画されることがあります。（☞**101**ページ）
また、録画の途中で変わったときは、録画スピードの変わり目で映像が乱れます。
- D-VHS 録画時は、「ぴったり録画」と「オートCMカット」は働きません。

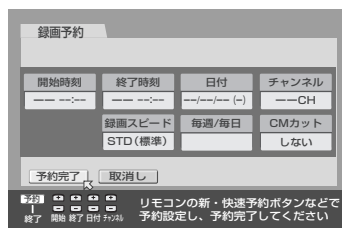
Gコード® 機能を使わずに予約する（新・快速録画予約）

録画したい番組の開始時刻、終了時刻、チャンネルなどの情報を入力して録画を予約します。

i.LINK対応地上・BS・110度CSデジタルテレビやデジタルCSチューナーで受信したデジタル番組を予約するときは、受信機側で予約します。くわしくは、受信機側の取扱説明書をご覧ください。本機側で予約の設定は必要ありません。(☞54、55ページ)

リモコン切換スイッチ
[ビデオ]側

[取消し]
ボタン

準備
- テレビの電源を入れて、本機をつないだ外部入力に切り換えます。
- 時計（日付と時刻）を合わせておいてください。(☞49ページ)
- 録画用のテープを入れて、記録方式を選びます。(☞51ページ)

❶ [予約]を押して「録画予約」画面を表示する

❷ 録画する時刻、日付、チャンネルを設定する

[開始＋／－]ボタンを押して「開始時刻」を設定します。
- [開始＋／－]ボタンを押し続けると、30分単位で変わります。

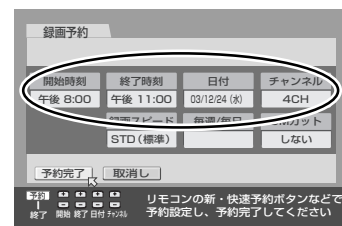
▽

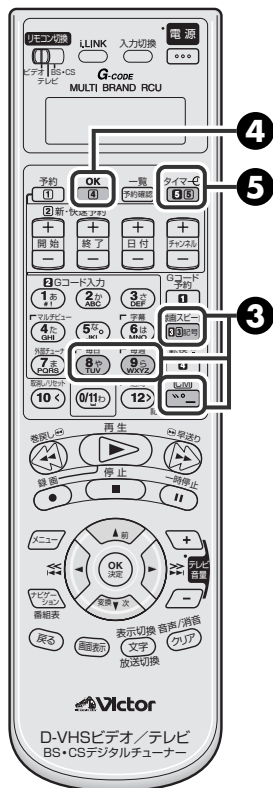
[終了＋／－]ボタンを押して「終了時刻」を設定します。
- [終了＋／－]ボタンを押し続けると、30分単位で変わります。

▽

[日付＋／－]ボタンを押して「日付」を設定します。

▽

[チャンネル＋／－]ボタンを押して「チャンネル」を選びます。
- 外部入力のときは、次のように表示されます。
  - 前面の映像入力端子：「F-1」
  - 背面の映像入力端子：「L-1」または「L-2」

メモ
- すでに予約が24個登録されていると、[予約]ボタンを押したときに、本体表示窓に[FULL]、画面に「予約がいっぱいです」と表示されます。
- 最初からやり直したいときは、[取消し]ボタンを押したあと、手順❷から行なってください。

デジタル番組を録画予約するときは、54、55ページをご覧ください。

❸ 必要に応じて次の設定をする

録画スピードを変更したいときは

録画スピード

● 押すごとに、録画スピードが切り換わります。

STD（標準）→ LS3（3倍）→ HS（標準）→

CMカットして録画したいときは

CM

● 押すごとに、「CMカット」の「する/しない」が切り換わります。
『オートCMカット』については、**90**ページをご覧ください。
● ステレオ放送の番組を録画するときは、使わないでください。

同じ番組を毎週録画したいときは

毎週

● 「毎週／毎日」の表示が「毎週○曜日」になり、もう１度押すと元に戻ります。

同じ番組を毎日録画したいときは

毎日

● 押すごとに切り換わります。

月−金 → 月−土 → 日−土 → 1回のみ →

❹ [OK]を押して予約を終了する

OK

「録画予約を完了しました･･･」と表示され、しばらくすると元のテレビ画面に戻ります。

● 続けて、他の番組を予約するときは、手順❶〜❹をくり返します。

❺ [タイマー(⏲)]を押して本機を録画予約の待機状態にする

タイマー⏲

● 表示窓の[⏲]が点灯し、電源が切れます。
これで、録画開始時刻になると、自動的に録画が始まり、終了時刻になると録画が終わり、電源が切れます。
● 別の録画予約をしているときは、表示窓の[⏲]は点灯し続けます。

見る・録画・予約

メモ

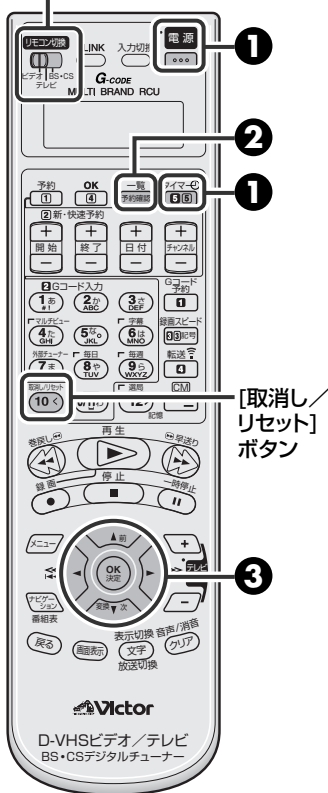
● 「ぴったり録画」が「入」になっていると、録画スピードを「標準」に設定していても、実際の録画は「3倍」で録画されることがあります。（☞**101**ページ）
また、録画の途中で変わったときは、録画スピードの変わり目で映像が乱れます。
● D-VHS録画時は、「ぴったり録画」と「CMカット」は働きません。
● 録画チャンネルが外部入力のときは「CMカット」の設定はできません。
● 録画予約を確実に行うために、予約設定したあとは、予約の確認をすることをおすすめします。（☞**64**ページ）

予約を確認・変更・取消しする

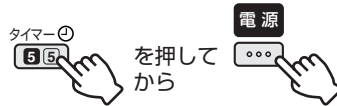
デジタルテレビやデジタルチューナー側で録画予約したときは、デジタルテレビやデジタルチューナー側で操作(予約の確認・変更・取消し)してください。

リモコン切換スイッチ[ビデオ]側

[取消し/リセット]ボタン

準備
- テレビの電源を入れて、本機をつないだ外部入力に切り換えます。
- リモコン切換スイッチを[ビデオ]側にします。

❶ [タイマー(◷)]または[電源]を押して表示窓の[◷]を消す

メニューの「オートタイマー」が「切」のとき

タイマー◷ を押してから 電源

メニューの「オートタイマー」が「入」のとき

電源

❷ [予約確認]を押して「予約確認」画面(一覧表示画面)を表示する

一覧 予約確認

- 録画予約している全番組が表示されます。
- 毎週予約は、実行されるまでは1回目の日付が表示されます。

テレビ画面表示

予約確認

日付	開始時刻 終了時刻	毎週/毎日	チャンネル	録画スピード
04/07/30(金)	午後 9:00~午後 9:54	日ー土	L-1	LS3(3倍)
04/08/03(火)	午前11:00~午前11:30		4CH	標準
04/08/30(月)	午前 8:15~午前 8:30		12CH	STD(標準)

予約確認 終了 決定 選択 十字ボタンで選択後、OKボタンで決定してください

❸ [▲/▼]を押して確認、変更または取消ししたい予約番組を選び、[OK]を押す

- 「録画予約」画面が表示されます。

録画予約

開始時刻	終了時刻	日付	チャンネル
午後 9:00	午後 9:54	04/7/30(金)	L-1
	録画モード	毎週水曜日	CMカット
	LS3 (3倍)		しない

予約完了 取消し

予約 終了 開始 終了 日付 チャンネル リモコンの新・快速予約ボタンなどで予約設定し、予約完了してください

変更したいときは

- 『Gコード機能を使わずに予約する(新・快速録画予約)』の手順❷、❸を参照してください。(☞**62**、**63**ページ)

取消したいときは

取消し/リセット 10

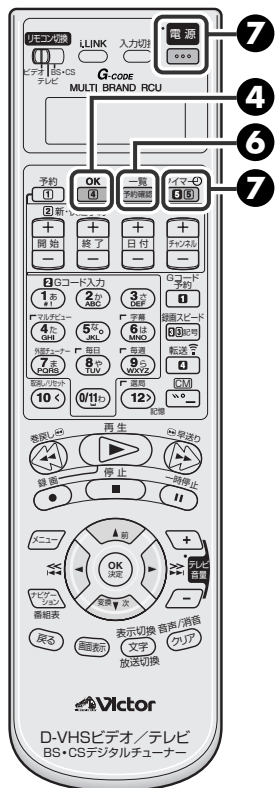
- [取消し/リセット]ボタンを押すと、表示中の録画予約が取り消されます。
- 録画予約の取消しを終了したら、手順❹へ進みます。

メモ

- **予約内容の表示を止めるには**

[予約確認]ボタンを押します。

❹ [OK]を押して「予約確認」画面に戻す

OK
4

テレビ画面表示

予約確認

日 付	開始時刻　終了時刻	毎週/毎日	チャンネル	録画スピード
03/08/03(日)	午前11:00〜午前11:30		4CH	標準
03/08/30(土)	午前 8:15〜午前 8:30		12CH	STD(標準)

予約確認 終了　決定 選択　十字ボタンで選択後、OKボタンで決定してください

❺ 必要に応じて手順❸、❹をくり返す

❻ [予約確認]を押して「予約確認」画面を消す

一覧
予約確認

❼ [タイマー(◷)]または[電源]を押して録画予約の待機状態にする

タイマー◷ 5 5　または　電 源

- 表示窓の[◷]が点灯し、電源が切れます。
- 手順❶で押したボタンと同じボタンを押してください。

予約した後で本機を使う

メニューの「モード設定➡機能設定➡オートタイマー」の設定によって、操作のしかたが異なります。（☞101ページ）

- **メニューの「モード設定➡機能設定➡オートタイマー」が「切」（お買い上げ時の設定）のときは：**
  [タイマー（◷)]ボタンを押します。
  録画予約待機が解除されます。
  （表示窓の[◷]が消えます。）
  これで、本機を通常のように操作することができます。
  本機を使い終わったら、もう1度[タイマー(◷)]ボタンを押します。
  再び表示窓の[◷]が点灯し、録画予約待機中になります。

- **メニューの「モード設定➡機能設定➡オートタイマー」が「入」のときは：**
  （リモコン切換スイッチを[ビデオ]側にしたあとで）[電源]ボタンを押すと、本機の電源が入り、録画予約待機が解除されます。
  （表示窓の[◷]が消えます。）
  これで、本機を通常のように操作することができます。
  本機を操作後、ビデオ電源を切ると、再び表示窓の[◷]が点灯し、録画予約待機中になります。

メモ

本機を使い終わったあとは

- 録画用のテープが入っていることを確認してください。
- 表示窓に[◷]が点灯していることを確認してください。

ビデオテープを再生する

再生する

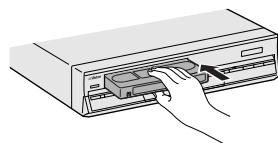
ビデオテープを再生してみましょう。

準備
- リモコンの準備、テレビと本機の接続が終わっていないときは、先に「設置と準備」編をご覧ください。(☞21 ～ 39 ページ)
- テレビの電源を入れて、本機をつないだ外部入力に切り換えます。
- リモコン切換スイッチを[ビデオ]側にします。

リモコン切換スイッチ
「ビデオ」側

❶ テープを入れる

- 本機の電源が自動的に入ります。
- 表示窓の[－－－－]が点滅し、数秒間テープが動き、テープ番号の検索をします。
  ビデオナビゲーションについては70ページをご覧ください。
- つめのないカセットを入れると、自動的に再生が始まります。
- D-VHSテープを入れると、[D-VHS]ランプが点灯します。

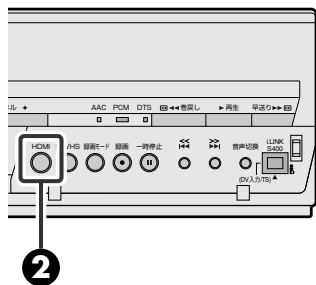
カセットの出し入れ口に手を入れないでください。手をはさまれて、けがの原因になることがあります。

テープの見える面を上にし、中央部をゆっくり押します。

❷ テレビへ出力する映像信号を選ぶ

HDMI機器への出力
- 本体の[HDMI]ボタンを押して、[HDMI]ランプを点灯させます。
- HDMIまたはDVI接続の機器が要求する信号を自動的に選んで出力します。

HDMI機器以外への出力
- 本体の[HDMI]ボタンを押して、[HDMI]ランプを消灯させます。
- メニューの「テレビの設定1、2、プログレッシブモード」で設定した映像フォーマットをD端子、コンポーネント映像端子、S映像端子に出力します。

❸ [再生]を押す

- 再生が始まります。

メモ
- 再生中や早送り中にテープの終わりまでくると、自動的にテープは巻き戻されます。
- メニューの「モード設定➡映像設定➡テープレベルアップ」が「入」になっているときは、再生するテープに合わせて、最適な映像をお楽しみいただけます。(☞99ページ)
- S-VHS／VHSモードで再生時、[i.LINK]端子から信号を出力します。また、[デジタル音声出力]端子からは、2CH PCM音声を出力します。
  (「光デジタル音声出力」 ☞100ページ)

❹ BSデジタル番組、D-Theaterテープを再生したときは、必要に応じて次の設定をする

音声切り換えをしたいときは

押すごとに、音声が切り換わります。

字幕を切り換えたいときは

押すごとに、日本語と外国語などに切り換わります。
地上·110度CSデジタル番組の再生ではご使用になれません。BSデジタル、D-Theaterテープの再生時のみ使用できます。

マルチビューのときは

押すごとに、アングルが切り換わります。

マルチプログラムのときは

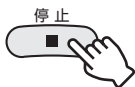
押すごとに、番組が切り換わります。

テレビ画面

マルチプログラムアイコン
音声アイコン
マルチビューアイコン
字幕アイコン

操作ボタン

[◀/▶]ボタン

再生を停止する

再生中に

再生を一時停止する

再生中に

- 再生が一時停止されて、静止画がテレビ画面に映ります。
  通常の再生に戻すには、[再生(▶)]ボタンを押します。

早送り／巻戻しをする

停止中に

早送りするときは

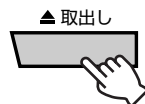
巻戻しするときは

- 早送り／巻戻しを止めるには、[停止(■)]ボタンを押します。

テープを取り出す

停止中に

- 本体のボタンでのみ操作できます。

ご注意

- i.LINK入力時に❹の操作をするときは、地上·BS·110度CSデジタルテレビ側で切り換えてください。再生中は、本機のリモコンで切り換えできます。
- マルチプログラムの頭出し再生をするときは
  ① [◀／▶]ボタンを押して、番組の頭出しをします。
  ② テレビ画面にマルチプログラムのアイコンが表示されている状態で、[チャンネル＋／－]ボタンを押して、お好みの番組を選びます。

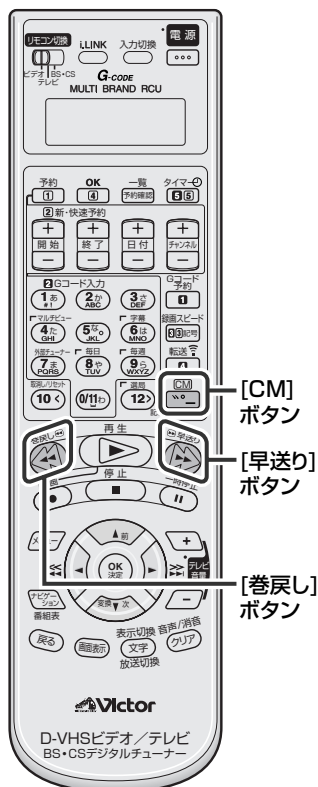
見る・録画・予約

[CM]
ボタン

[早送り]
ボタン

[巻戻し]
ボタン

映像を見ながら早送り／巻戻しする（シャトルサーチ）

D-VHSのHSモードでは6倍速、STDモードでは12倍速、LS3モードでは36倍速で再生します。
S-VHS/VHSの標準モードでは11倍速、3倍モードでは31倍速で再生します。

再生中に

早送りするときは　　巻戻しするときは

通常の再生に戻すには、[再生(►)]ボタンを押します。

コマーシャルを飛ばして再生する（CMスキップサーチ）

テープを再生中に、コマーシャル部分を30秒単位で早送りすることができます。

再生中に

- 1度押すと、早送りが始まります。その後押すごとに、早送りの時間が30秒ずつ（最長3分まで）増えていきます。
- D-VHS記録したテープでも操作できますが、出画するまでに多少時間がかかったり、画像が乱れることがあります。

ご注意

- 再生スピードが切り換わる部分では、画像が乱れることがあります。
- 他の機器でD-VHS録画したテープをシャトルサーチすると、静止画になることがあります。

メモ

- シャトルサーチ中は音声が出ません。
- 一時停止（静止画再生）が5分以上続くと、本機は自動的に停止します。

次のような症状は、本機の性能であり故障ではありません

D-VHS 記録したテープの再生について

- テープの傷や瞬間的に発生するヘッドの汚れなどによる画面の乱れが大きいため、モザイク画（ブロック状のノイズ）や灰色の画面になったり、静止画になることがあります。
- [再生（▶）]ボタンを押してから画像と音声が出るまでに時間がかかります。
- 再生スピードを変えたときは（特殊再生から通常再生にしたときなど）、画像と音声が出るまでに時間がかかります。また、数秒間は画像と音声がずれることがあります。
- 本機は、他器で記録したLS2、LS5、LS7モードのテープを再生することはできません。

D-VHS 記録したテープのシャトルサーチ画像について

- コマ送りのような画像になります。
- 画面の下半分にブロック状のノイズが出ることがあります。
- 無記録部分になると、最後の画像の静止画になります。
- 「LS3」モードでシャトルサーチを行った場合、静止画面が続いたりブロック状のノイズが出ることがあります。

静止画になる／音声が出ない

- [i.LINK]端子に、地上･BS･110度CSデジタルテレビとデジタルビデオカメラの2台以上の機器を接続して、デジタルテレビの番組を録画しているときは、デジタルビデオカメラの電源を入れないでください。デジタルビデオカメラの電源を入／切すると、一瞬静止画になったり音声が出ないことがあります。

画像／音声が乱れる

- [i.LINK]端子を使ってデジタルビデオカメラ等からダビングしたとき、画像や音声が乱れることがあります。このようなときは、本機にD-VHSテープを入れ、電源を一度切／入してから録画を始めてください。直らないときは、[i.LINK]端子を使わずに[映像／音声入力]端子からダビングしてください。

他の機器と i.LINK 接続するときは

- 2台以上の機器とi.LINK接続しているときは、本機と通信していない機器の電源は入れないでください。
- 電源を入／切すると、画像や音声が乱れることがあります。また、正常に動作できなくなることがあります。
- なるべく、本機と通信する機器のみをi.LINK接続してお使いください。

デジタルビデオカメラ（DVC）等からのダビングについて（i.LINK 端子を使って）

- モザイク画（ブロック状のノイズ）になることがあります。
- 動きの早い場面では、見ている画像が揺れることがあります。ダビングは正常に行われます。
- DVCのシャトルサーチ画像を、本機を通して見るとブロック状の色ノイズが出ることがあります。
- アフレコされたDVCテープ（4チャンネル分が記録されたテープ）などをD-VHSへダビングすると、最初の数秒間は音声が出ないことがあります。
- D-VHSテープを出し入れしたとき、一瞬音声が途切れることがあります。
- 録画スピードボタンで録画スピードを切り換えたとき、一瞬音声が途切れることがあります。

ワイドテレビでワイド画面にならない

- 本機背面のS映像出力端子に2台の機器を接続している場合、接続する機器によっては、ワイド用の識別信号が正しく出力されません。このようなときは、テレビ側で画面サイズを切り換えてください。

ビデオナビゲーションを使う

ビデオナビゲーションとは

本機で録画すると、テープにテープ番号が付けられ、番組の情報（日付、録画開始時刻、チャンネル、録画スピード）が本機のメモリーに記憶されます。地上・BS・110度CSデジタルテレビとi.LINK接続してEPG録画すると、番組タイトルやジャンルが自動的に記憶されます。番組情報を画面に表示して、見たい番組の頭出しができます。
また、日付などの代わりに、テープや番組に名前を付けたり、番組にジャンルを付けることができます。

見たい番組がどのテープに入っているかな？

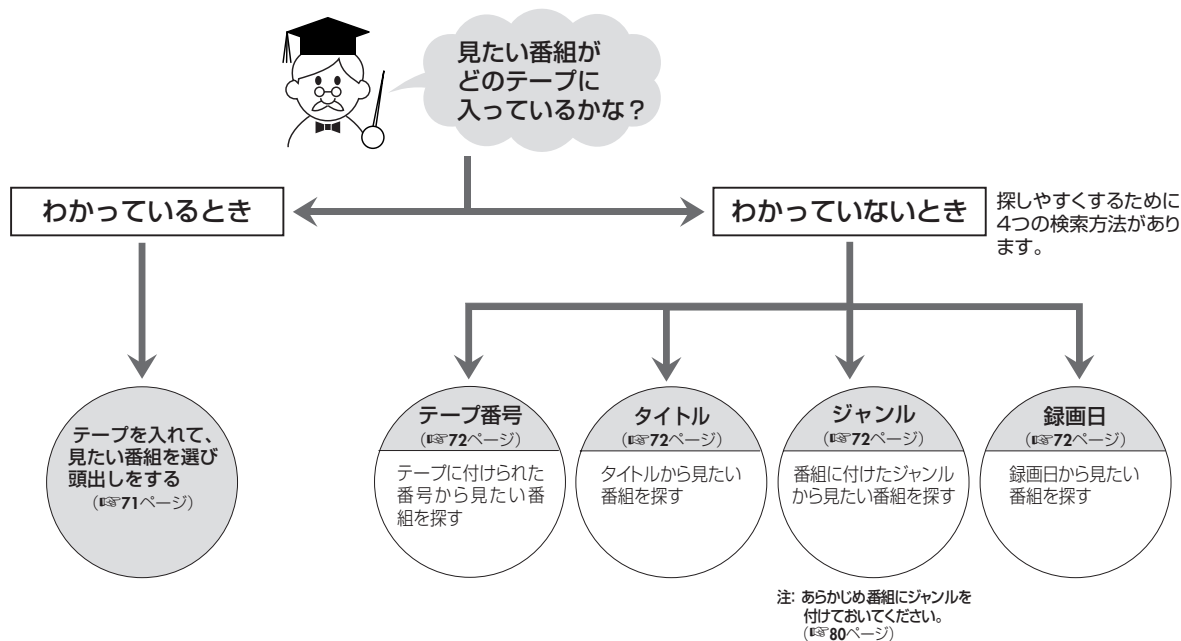
わかっているとき

- テープを入れて、見たい番組を選び頭出しをする（☞71ページ）

わかっていないとき

探しやすくするために4つの検索方法があります。

- テープ番号（☞72ページ）：テープに付けられた番号から見たい番組を探す
- タイトル（☞72ページ）：タイトルから見たい番組を探す
- ジャンル（☞72ページ）：番組に付けたジャンルから見たい番組を探す
- 録画日（☞72ページ）：録画日から見たい番組を探す

注：あらかじめ番組にジャンルを付けておいてください。（☞80ページ）

次のようなこともできます。

- ■ テープのブランク部分を探して録画したいとき　：『ブランクテープリスト』（☞74ページ）
- ■ テープタイトルを変更して新しい名前を付けたいとき　：『テープタイトル変更』（☞76ページ）
- ■ 番組タイトルを変更して新しい名前を付けたいとき　：『番組タイトル変更』（☞77ページ）
- ■ 番組のジャンルを変更したいとき　：『ジャンル変更』（☞80ページ）
- ■ 見終わった番組情報を削除したいとき　：『番組情報の削除』（☞81ページ）
- ■ 見終わったテープのすべての番組情報を削除したいとき　：『テープ情報の削除』（☞82ページ）

メモ

- 本機のメモリーに番組情報を記憶させるために必要な録画時間です。

D-VHS録画（HS）	：5分以上
D-VHS録画（STD）	：10分以上
D-VHS録画（LS3）	：30分以上
S-VHS/VHS録画（標準）	：5分以上
S-VHS/VHS録画（3倍）	：15分以上

- 番組情報は本機のメモリーに記憶されます。万一、本機のメモリーが故障して番組情報が消えた場合、復元することはできません。

ご注意

- タイトルとして日付などを記憶するため、本機で録画する前に、時計合わせをしておいてください。（☞49ページ）
- 見たいテープを探すために、本機で録画したテープには、テープ番号を記載しておいてください。
- 本機で録画したテープのみ、ビデオナビゲーション機能が使えます。（別のHM-DHX2では使えません。）
- i.LINK接続で、タイトルやジャンルが番組表と異なることがあります。このようなときは、タイトルやジャンルを変更してください。（☞76～80ページ）
- 使用するテープによっては、ビデオナビゲーション機能が正常に動作しないことがあります。

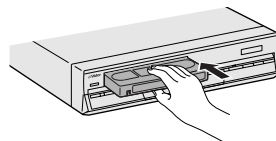
見たい番組を探す（ナビゲーション検索）

本機で録画したテープに、どのような番組内容が録画されているか今すぐ知りたいときに便利です。見たい番組を選んで、自動的に頭出しする機能です。

準備
- テレビの電源を入れて、本機をつないだ外部入力に切り換えます。
- リモコン切換スイッチを[ビデオ]側にします。

リモコン切換スイッチ
[ビデオ]側

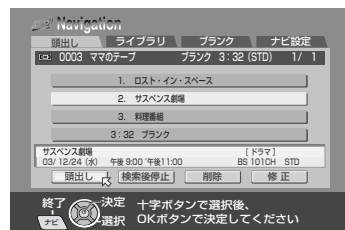
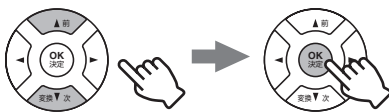
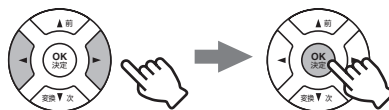
❶ 録画したテープを入れる

- 表示窓の「－－－－」が点滅し、数秒間テープが動き、テープ番号の検索をします。

テープの見える面を上にし、中央部をゆっくり押します。

❷ [ナビゲーション]を押して「ナビゲーション」画面を表示する

テープ番号　録画日時に表示される最大のブランク時間　テープタイトル　番組タイトル

テープの残り時間（目安です）　録画内容

❸ [▲／▼]を押して見たい番組を選び、[OK]を押す

❹ [◀／▶]を押して「頭出し」を選び、[OK]を押す

- 「検索後停止」を選ぶと頭出しして停止します。

メモ

- テープ番号がみつからないときは、「▭ －－－－」をテレビ画面に表示します。このとき、テープを巻戻し方向へ頭出し再生してください。（☞86ページ）
再生が始まったら[停止]ボタンを押して手順❷から操作してください。
- 手順❷で、[ナビゲーション]ボタンを押したとき、テープ内の番組情報を検索しているため、番組タイトル画面を表示するまでに、少し時間がかかることがあります。
- D-Theaterテープには、ナビゲーションに相当する情報があらかじめ入っていますので、上の操作と同じ方法でご覧になれます。
- 再生または番組の頭出し中などに、1本のテープに2つのテープ番号がみつかると、テープを取り出すときに、テープ番号を1つ（テープ番号の小さいほう）にまとめます。
- 画面に「情報を取得しています。しばらくお待ちください。」を表示したときは、[ナビゲーション]ボタンを押して表示を消します。[巻戻し]ボタンを押してテープの始めまで巻き戻したあと、もう一度[ナビゲーション]ボタンを押してください。

見たいテープを探す（テープ番号・タイトル・ジャンル・録画日検索）

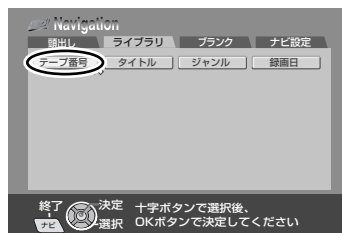
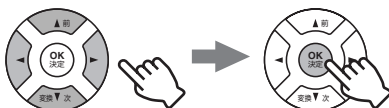
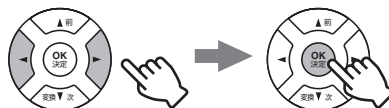
本機で録画したテープが数多くある場合、本機にテープを入れなくても、各テープにどのような番組が録画されているか知ることができます。検索のしかたは、テープ番号順、タイトル順、ジャンル別、録画日時順の４種類があります。

あらかじめ、番組にジャンルを付けておかないとジャンル検索はできません。
80ページをご覧いただき、番組にジャンルを付けてください。

準備
- テレビの電源を入れて、本機をつないだ外部入力に切り換えます。
- リモコン切換スイッチを[ビデオ]側にします。

リモコン切換スイッチ
[ビデオ]側

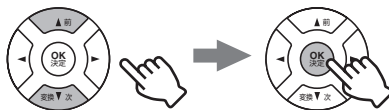
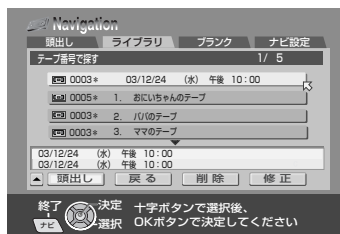
❶ [ナビゲーション]を押して「ナビゲーション」画面を表示する

❷ [▲／▼／◀／▶]を押して「ライブラリ」を選び、[OK]を押す

❸ [◀／▶]を押して頭出しする検索方法を選び、[OK]を押す

テープ番号	タイトル	ジャンル	録画日
テープ番号で検索するときに選びます。	番組またはテープタイトルで検索するときに選びます。	ジャンルで検索するときに選びます。	録画日で検索するときに選びます。

メモ
- テープタイトルは、録画された日付が自動的に、テープタイトル名として入力されます。
お好みのタイトル名に変更したいときは、タイトルの変更で入力してください。(☞76ページ)

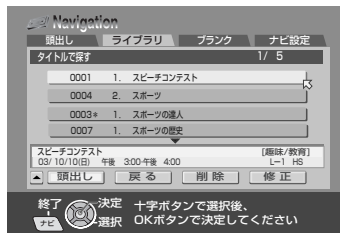
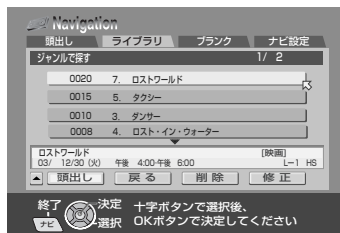
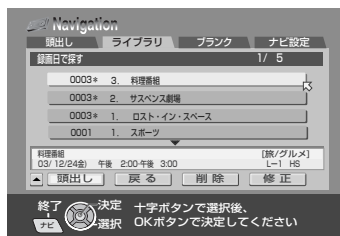
- 本機で録画したあとは、テープ番号検索をするために、テープにテープ番号を書いたラベルを貼ってください。

❹ [▲／▼]を押して探しているテープまたは番組を選び、[OK]を押す

- 見たいテープを探してください。
- マークの付いたテープまたはタイトルを選んだときは、その番号のテープを入れ、再度手順❹の操作を行なってください。
- リモコンまたはメニュー画面の[戻る]ボタンを押すと1つ前の画面に戻ります。

テープ番号検索

タイトル検索

ジャンル検索

録画日検索

[戻る]ボタン

❺ [ナビゲーション]を押して終了する

- 本機に見たい番組の入ったテープを入れ、番組の頭出しをしてください。
☞71ページをご覧ください。

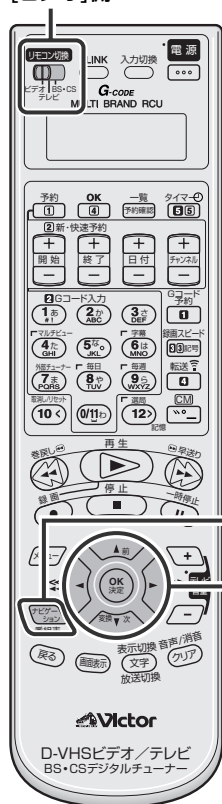
ビデオナビゲーション

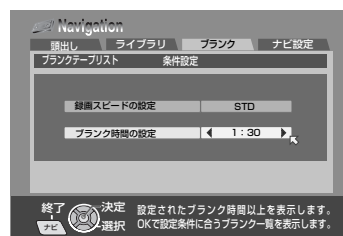
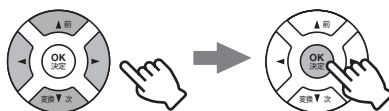
ビデオナビゲーションを使う（つづき）

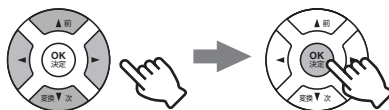
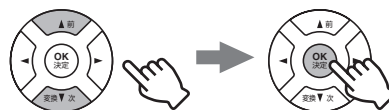
テープのブランク（空き）部分を探して録画する（ブランクテープリスト）

テープの残りのブランクや番組タイトルのブランク部分を探して録画することができます。

準備
- テレビの電源を入れて、本機をつないだ外部入力に切り換えます。
- リモコン切換スイッチを[ビデオ]側にします。

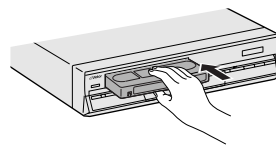
リモコン切換スイッチ
[ビデオ]側

❶ [ナビゲーション]を押して「ナビゲーション」の画面を表示する

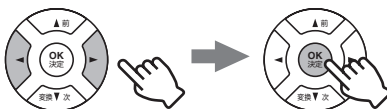
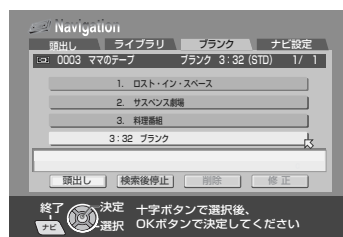
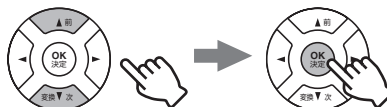
❷ [▲／▼／◀／▶]を押して「ブランク」を選び、[OK]を押す

❸ [▲／▼／◀／▶]を押して「録画スピードの設定」と「ブランク時間の設定」をしたあと、[OK]を押す

Navigation
頭出し　ライブラリ　ブランク　ナビ設定
ブランクテープリスト　条件設定
録画スピードの設定　STD
ブランク時間の設定　1：30
終了　決定　設定されたブランク時間以上を表示します。
ナビ　選択　OKで設定条件に合うブランク一覧を表示します。

❹ [▲／▼]を押して録画したいテープを探し、[OK]を押す

- ブランク時間が同じ場合は、テープ番号の大きい順に表示します。また、同じテープ番号内のブランクも、すべて表示されます。

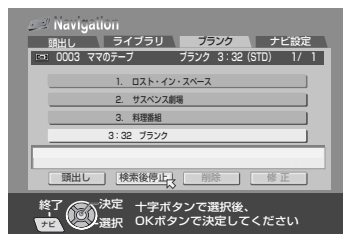
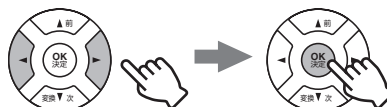
Navigation
頭出し　ライブラリ　ブランク　ナビ設定
ブランクテープリスト　1：30　STD　1/ 5
0004　01：46　ブランク
0007　01：58　ブランク
0009　02：10　ブランク
0010　03：11　ブランク
パパのテープ
03/ 12/24（水）　午後 6:00
検索後停止　頭出し　戻る
終了　決定　十字ボタンで選択後、
ナビ　選択　OKボタンで決定してください

❺ 手順❹で探したテープを入れる

- 表示窓の「－－－－」が点滅し、数秒間テープが動き、テープ番号の検索をします。

テープの見える面を上にし、中央部をゆっくり押します。

❻ [◀／▶]を押して「頭出し」を選び、[OK]を押す

❼ [▲／▼]を押して「ブランク」を選び、[OK]を押す

❽ [◀／▶]を押して「検索後停止」を選び、[OK]を押す

- ブランク部分の頭出しをして停止します。

❾ 録画する

- **52**、**56**ページをご覧になり、必要な録画操作を行なってください。

ビデオナビゲーション

テープタイトルを変更する（テープタイトル変更）

テープタイトルに名前を付けることができます。

準備
- テレビの電源を入れて、本機をつないだ外部入力に切り換えます。
- リモコン切換スイッチを[ビデオ]側にします。

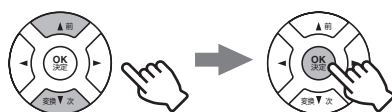
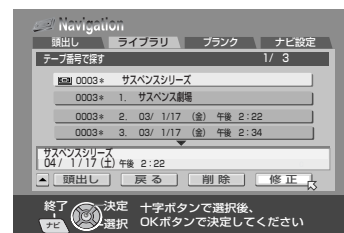
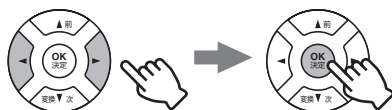
リモコン切換スイッチ
[ビデオ]側

❶,❼
❷~❻

❶ [ナビゲーション]を押して「ナビゲーション」画面を表示する

❷ [▲／▼／◀／▶]を押して「ライブラリ」を選び、[OK]を押す

❸ [◀／▶]を押して「テープ番号」を選び、[OK]を押す

❹ [▲／▼]を押して修正したい マークの付いた テープ番号を選び、[OK]を押す

マーク（テープタイトル表示）

＊マーク（現在使用中のカセット）

❺ [◀／▶]を押して「修正」を選び、[OK]を押す

❻ 変更したいタイトルを入力し、[OK]を押す
- くわしくは**78**ページをご覧ください。

❼ [ナビゲーション]を押して終了する

ご注意
- 他のビデオで録画したテープには、タイトルの入力はできません。

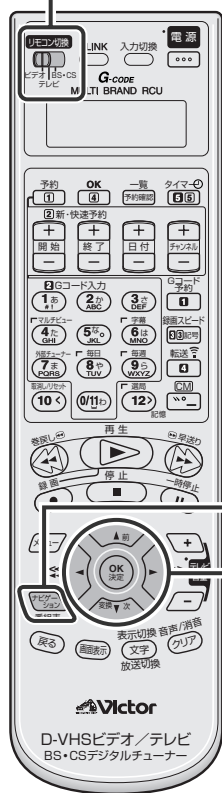
番組タイトルを変更する（番組タイトル変更）

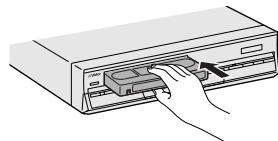
番組タイトルに名前を付けることができます。

準備
- テレビの電源を入れて、本機をつないだ外部入力に切り換えます。
- リモコン切換スイッチを[ビデオ]側にします。

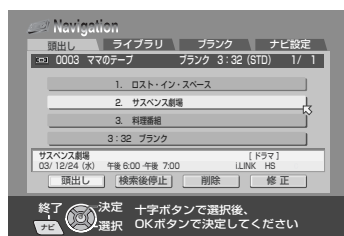
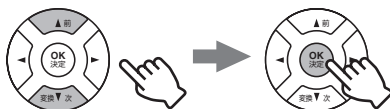
リモコン切換スイッチ
[ビデオ]側

2,6
3~5

D-VHSビデオ／テレビ
BS•CSデジタルチューナー

❶ 番組タイトルを変更したいテープを入れる

- 表示窓の「－－－－」が点滅し、数秒間テープが動き、テープ番号の検索をします。

テープの見える面を上にし、中央部をゆっくり押します。

❷ [ナビゲーション]を押して「ナビゲーション」画面を表示する

❸ [▲／▼]を押してタイトルを変更したい番組を選び、[OK]を押す

❹ [◀／▶]を押して「修正」を選び、[OK]を押す

❺ 変更したいタイトルを入力し、[OK]を押す

- くわしくは**78**ページをご覧ください。

❻ [ナビゲーション]を押して終了する

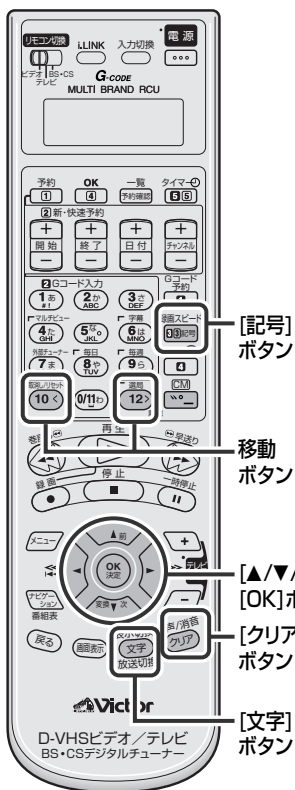
ご注意
- 他のビデオで録画したテープには、タイトルの入力はできません。

ビデオナビゲーション

ビデオナビゲーションを使う（つづき）

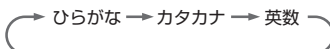
タイトルを変更する

タイトルは最大 15 文字まで入力できます。

[記号]ボタン
移動ボタン
[▲/▼/◀/▶][OK]ボタン
[クリア]ボタン
[文字]ボタン

文字入力のしかた

「ひらがな、カタカナ、英数、記号、区点」があります。
漢字に変換したいときは、右ページの手順 6 をご覧ください。

- リモコンの[文字]ボタンを押すごとに切り換わります。

ひらがな → カタカナ → 英数

- リモコンの[記号]ボタンを押すごとに切り換わります。

記号 ←→ 区点

文字入力ボタン

記号入力のしかた

1. [記号]を押して画面に記号を表示させる

2. [▲／▼／◀／▶]でお好みの記号を選び、[OK]を押す

- 記号画面右下の「次」を選んで[OK]を押すと、次ページを表示します。
「前」を選んで[OK]を押すと、前ページに戻ります。

区点入力のしかた

1. [記号]を押して画面に区点を表示させる

2. 『区点コード一覧表』(☞108〜115ページ)をご覧いただき、「区:○○、点:○○」の順に数字を押して、2ケタの数字を入力する

3. [OK]を押す

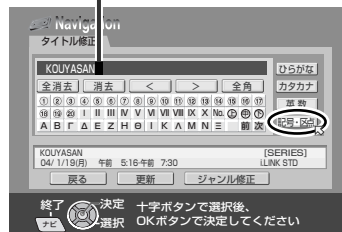
カーソル移動のしかた

左へ移動するとき　：リモコンの数字ボタンの[10(<)]を押します。

右へ移動するとき　：リモコンの数字ボタンの[12(>)]を押します。

カーソル

タイトルを消すには

1. 消したい文字にカーソルを合わせる

2. [クリア]を押す

文字を入力してみましょう !!

(例)ニッパーくん物語 ①

ニ = 5 2回押す

ッ = 4 6回押す

パ = 6 1回押す → ゛°_ 2回押す

ー = ゛°_ 1回押す

く = 2 3回押す

ん = 0/11 3回押す

7 5回押す = も

5 5回押す = の

2 1回押す → ゛°_ 1回押す = が

4 1回押す = た

9 2回押す = り

数字ボタン

[記号]ボタン

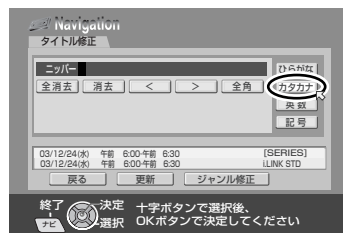
[▲/▼/◀/▶ OK/前/次/変換]ボタン

[文字]ボタン

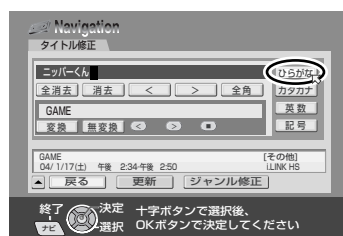
[ナビゲーション]ボタン

1. [文字]を押して「カタカナ」を選ぶ

2. [数字]を押して「ニッパー」を入力する

文字入力のミスを防ぐため、1文字入力するごとに、数字ボタンの[12 (>)]を押してください。

3. [文字]を押して「ひらがな」を選ぶ

4. [数字]を押して「くん」を入力する

5. [▶]を押して「無変換」を選び、[OK]を押す

6. [数字]を押して「ものがたり」を入力し、[変換]を押して漢字に変換する

- 該当する漢字が選択されないときは、[前]ボタンまたは[次]ボタンで選びます。

7. [OK]を押す

8. [記号]を押して画面に記号を表示させる

9. [▲/▼/◀/▶]を押して「①」を選び、[OK]を押す

10. [▲/▼/◀/▶]を押して「更新」を選び、[OK]を押す

11. [ナビゲーション]を押す
(タイトル変更終了)

ビデオナビゲーションを使う（つづき）

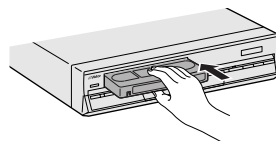
番組のジャンルを変更する（ジャンル変更）

番組にジャンルを付けることができます。

準備
- テレビの電源を入れて、本機をつないだ外部入力に切り換えます。
- リモコン切換スイッチを[ビデオ]側にします。

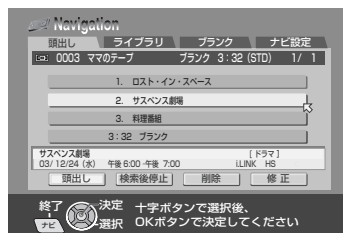
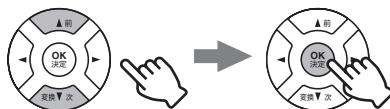
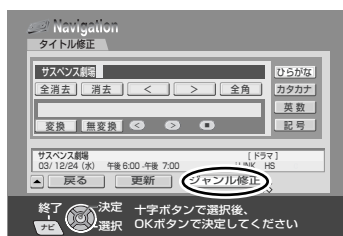
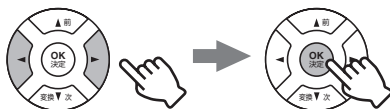
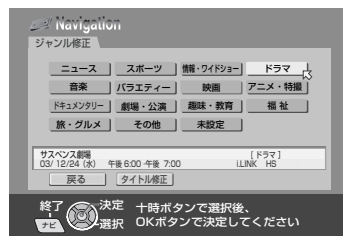
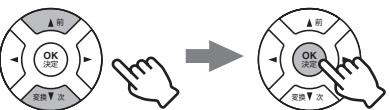
リモコン切換スイッチ
[ビデオ]側

❶ ジャンルを変更したいテープを入れる

- 表示窓の[－－－－]が点滅し、数秒間テープが動き、テープ番号の検索をします。

テープの見える面を上にし、中央部をゆっくり押します。

❷ [ナビゲーション]を押して「ナビゲーション」画面を表示する

❸ [▲／▼]を押してジャンルを変更したい番組を選び、[OK]を押す

❹ [◀／▶]を押して「修正」を選び、[OK]を押す

❺ [◀／▶]を押して「ジャンル修正」を選び、[OK]を押す

❻ [▲／▼／◀／▶]を押してジャンルを選び、[OK]を押す

❼ [ナビゲーション]を押して終了する

番組情報を削除する（番組情報の削除）

本機のメモリーに記憶された番組情報を消すことができます。

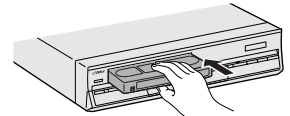
準備
- テレビの電源を入れて、本機をつないだ外部入力に切り換えます。
- リモコン切換スイッチを[ビデオ]側にします。

リモコン切換スイッチ
[ビデオ]側

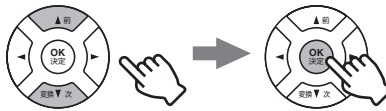
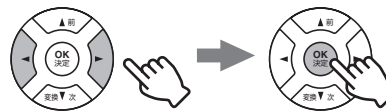
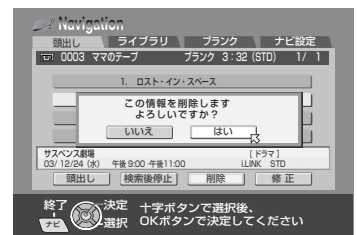
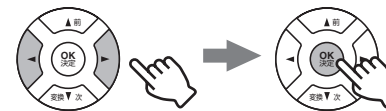
❷,❻

❸~❺

❶ 番組情報を削除したいテープを入れる

- 表示窓の[－－－－]が点滅し、数秒間テープが動き、テープ番号の検索をします。

テープの見える面を上にし、中央部をゆっくり押します。

❷ [ナビゲーション]を押して「ナビゲーション」画面を表示する

❸ [▲／▼]を押して削除したい番組を選び、[OK]を押す

❹ [◀／▶]を押して「削除」を選び、[OK]を押す

❺ [◀／▶]を押して「はい」を選び、[OK]を押す

- 番組情報は削除されますが、録画内容は削除されません。番組タイトルは「ブランク」と表示されます。

❻ [ナビゲーション]を押して終了する

ビデオナビゲーション

ビデオナビゲーションを使う（つづき）

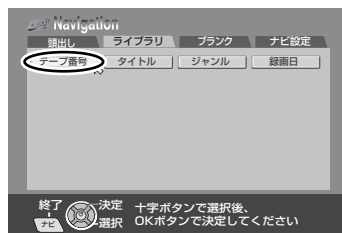
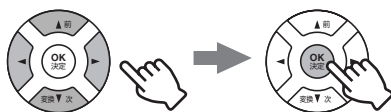
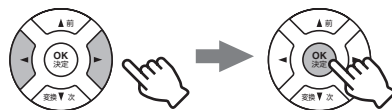
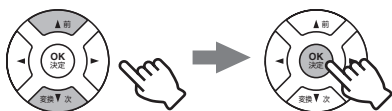
テープ情報を削除する（テープ情報の削除）

本機のメモリーに記憶された番組情報を消すことができます。

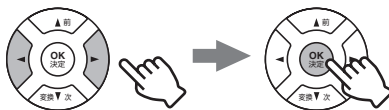
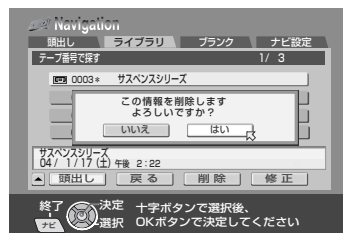
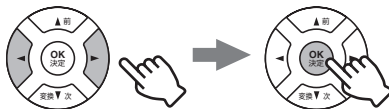
準備
- テレビの電源を入れて、本機をつないだ外部入力に切り換えます。
- リモコン切換スイッチを[ビデオ]側にします。

リモコン切換スイッチ
[ビデオ]側

❶ [ナビゲーション]を押して「ナビゲーション」画面を表示する

❷ [▲／▼／◀／▶]を押して「ライブラリ」を選び、[OK]を押す

❸ [◀／▶]を押して「テープ番号」を選び、[OK]を押す

❹ [▲／▼]を押して削除したい マークの付いた テープ番号を選び、[OK]を押す

マーク（テープタイトル表示）

「＊」マーク（現在使用中のカセット）

5 [◀／▶]を押して「削除」を選び、[OK]を押す

6 [◀／▶]を押して「はい」を選び、[OK]を押す

● 本機に記憶されたテープの情報はすべて削除されますが、録画内容は削除されません。

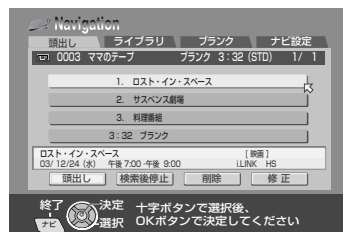
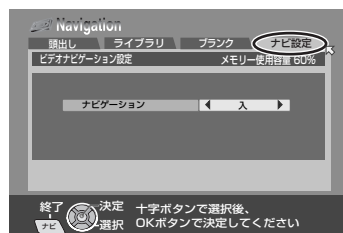
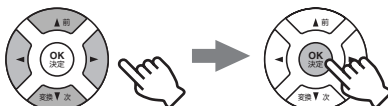
7 [ナビゲーション]を押して終了する

メモリーの確認

メモリーの使用状況を確認して、不要なタイトルを削除してください。（☞81、82ページ）

準備
- テレビの電源を入れて、本機をつないだ外部入力に切り換えます。
- リモコン切換スイッチを[ビデオ]側にします。

リモコン切換スイッチ
[ビデオ]側

❶ [ナビゲーション]を押して「ナビゲーション」画面を表示する

❷ [▲／▼／◀／▶]を押して「ナビ設定」を選び、[OK]を押す

❸ 「メモリー使用容量」を確認する

本機にメモリーされている容量を表示します。（目安です）

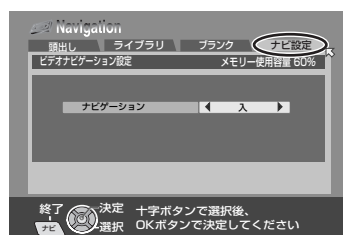
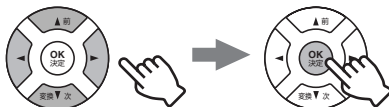
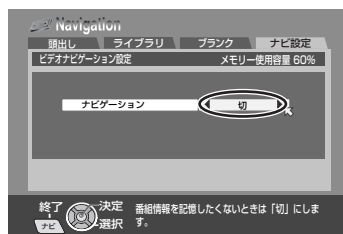
❹ [ナビゲーション]を押して終了する

本機のメモリーに番組情報を記憶させたくないときは

準備
- テレビの電源を入れて、本機をつないだ外部入力に切り換えます。
- リモコン切換スイッチを[ビデオ]側にします。

リモコン切換スイッチ
[ビデオ]側

❶ [ナビゲーション]を押して「ナビゲーション」画面を表示する

❷ [▲／▼／◀／▶]を押して「ナビ設定」を選び、[OK]を押す

❸ [▲／▼]を押して「ナビゲーション」を選ぶ

❹ [◀／▶]を押して「切」にする

❺ [ナビゲーション]を押して終了する

メモ
- テープを入れたときに、テープ番号の検索はしません。

ビデオナビゲーション

再生に便利な機能

番組（録画）の頭出しをする

本機では、録画の始めに頭出し信号（VISS）をテープに書き込みます。
この信号を使って、録画の頭出しを簡単にすることができます。
テープの何番目に見たい番組が録画されているか、わかっているときに便利です。
番組の頭出しは、前後９番目まで指定できます。

停止中に

● 押すごとに、頭出しの番号がひとつずつ増えて（減って）いきます。

D-VHS 頭出し −8
始 終

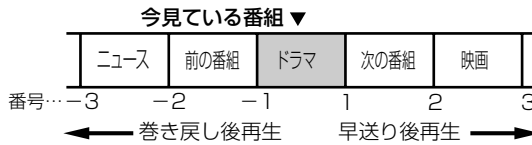
指定した頭出し番号が表示されます。
例:今見ている番組（録画）のひとつ前の番組を見たいとき

[◀／▶]ボタン

頭出し番号の指定のしかた

今見ている番組 ▼

番号…	−3	−2	−1	1	2	3
	ニュース	前の番組	ドラマ	次の番組	映画	

◀── 巻き戻し後再生　　早送り後再生 ──▶

［例］次の番組を頭出しするとき　　　　　：［▶（▶▶|）］ボタンを**1回**押す。
　　　今見ている番組を頭出しするとき：［◀（|◀◀）］ボタンを**1回**押す。
　　　ひとつ前の番組を頭出しするとき：［◀（|◀◀）］ボタンを**2回**押す。

再生スピードを変える（可変速再生）

再生中のスピードを連続して変えることができます。
S-VHS/VHS 記録したテープで操作できます。

再生中に［◀／▶（<<／>>）］を押す

● 押すごとに、再生スピードが変わります。
通常再生に戻すには[再生(▶)]ボタンを押します。
● 静止画再生中に押すと、コマ送り再生になります。

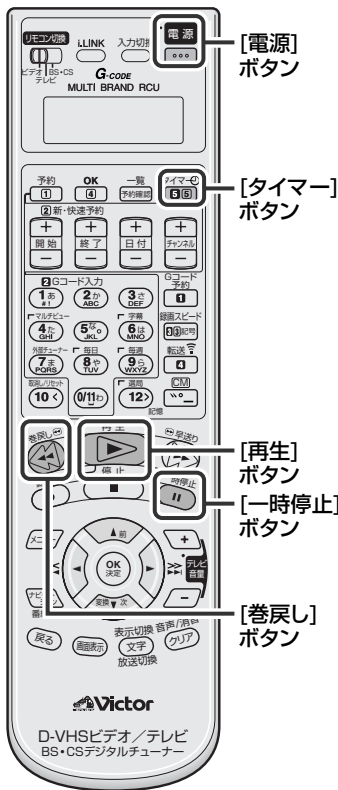
	逆転スピード再生			逆転再生	逆転スロー再生	スロー再生	通常再生	スピード再生			
標準（SP）	−11	−5	−3	−1	−1/6	1/6	1	2	3	5	11
3倍（EP）	−31	−11	−5	−1	−1/6	1/6	1	2	5	11	31

◀ 巻戻し再生 ｜ 早送り再生 ▶

メモ

再生スピードを変えたときには

● 静止画再生、コマ送り再生、スロー再生、可変速再生中は、音声が聞こえません。
● 静止画再生中やスロー再生中に映像に横すじやちらつきが出るときは、トラッキング調節を行なってください。（☞89ページ）
● 録画スピードが切り換わる部分では、画像が乱れることがあります。
● 静止画再生やスロー再生が5分以上続くと、本機は自動的に停止します。ただし、逆転スロー再生のみ、30秒で停止します。

[電源]ボタン
[タイマー]ボタン
[再生]ボタン
[一時停止]ボタン
[巻戻し]ボタン

コマ送りやスローで再生する

再生中に[一時停止]を押す

- 1度だけ押すと、一時停止になり、静止画がテレビ画面に表示されます。(静止画再生)
- 2秒以上押し続けると、スローで再生されます。(スロー再生)

一時停止中に[一時停止]を押す

- くり返し押すと、押すごとに映像が1コマずつコマ送りで再生されます。(コマ送り)

再生を止めるには、[停止(■)]ボタンを押します。

テープを繰り返し再生する (リピート再生)

[再生]を5秒以上押す

- 途中で止めるには、[停止(■)]ボタンを押します。
- 本体表示窓の[▶]が点滅して、テープの再生を50回繰り返します。
- D-VHSの「LS3」モードでは、リピート再生できません。

テープを再生中に、映像が上下に揺れるときは

「モード設定」画面の「Vスタビライズ(ビデオスタビライザー)」を「入」にしてください。映像の上下の揺れが補正されます。(☞99ページ)

テープを見終わったあとは、必ず「Vスタビライズ」を「切」に戻してください。

- 録画中、スロー再生中は、効果がありません。

その他の便利な機能 (ネクストファンクションメモリー)

再生中や、テープを見終わったときに使える便利な機能があります。
用途に合わせてお使いください。

- 停止状態にしてから次の操作を行なってください。

テープを巻戻してから再生する

- 途中まで見たテープを見直すときなどにお使いください。

巻戻し を押してから2秒以内に 再生

テープを巻戻してから電源を切る

- 留守録したテープを見終わって、お休みになるときなどにお使いください。

巻戻し を押してから2秒以内に 電源

テープを巻戻してから録画予約の待機状態にする

- 録画予約機能と合わせてお使いください。

巻戻し を押してから2秒以内に タイマー

便利な機能

聞きたい音声を選ぶ

D-VHS　VHS

二重音声放送(二カ国語放送など)やステレオ放送を録画したテープの再生中に、聞きたい音声を選ぶことができます。
メニューの「モード設定➡機能設定➡オンスクリーン」が「オート」になっているときは、選んだ音声をテレビ画面で確認することができます。(☞102ページ)
デジタル番組を録画したテープを再生するときは、66ページをご覧ください。
D-VHS記録したテープでは、ノーマル音声が記録されないため、ノーマル音声の選択はできません。また、録画中に音声を切り換えても、録画には影響しません。

[音声／消音]ボタン

音声/消音 クリア

- 押すごとに、聞こえる音声が変わります。

二重音声放送を（主音声と副音声で）録画したテープのとき

メニューの「モード選択➡音声設定➡ミックス音声」が「切」のとき(☞100ページ)

聞こえる音声	主音声+副音声	主音声	副音声	ノーマル音声(主音声)
テレビ画面の表示	左　右	左	右	ノーマル

ステレオ放送を録画したテープのとき

メニューの「モード選択➡音声設定➡ミックス音声」が「切」のとき(☞100ページ)

聞こえる音声	ステレオ音声	左音声	右音声	ノーマル音声(モノラル音声)
テレビ画面の表示	左　右	左	右	ノーマル

メニューの「ミックス音声」が「入」のとき

左右の音声（二重音声やステレオ音声）にノーマル音声がミックスして聞こえます。
(S-VHS/VHS 記録したテープのみ)

聞こえる音声	ミックス音声(左右の音声+ノーマル音声)	左音声+ノーマル音声	右音声+ノーマル音声
テレビ画面の表示	ミックス	ノーマル	ノーマル

メモ

副音声も録音したいときは

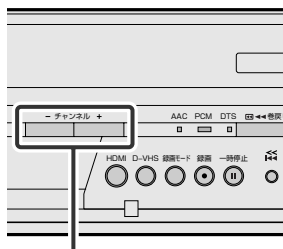
- お買い上げ時の設定では、二重音声放送を録画すると、「主音声」だけが録音されます。副音声も録音したいときは、メニューの「二カ国語音声録音」を「主＊副」にしてください。(☞100ページ)

ミックス音声について

- お買い上げ時の設定では、メニューの「ミックス音声」は「切」になっています。(☞100ページ)
- メニューの「ミックス音声」が「入」のときに、ハイファイ音声とモノラル音声に同じ音が録音されているテープを再生すると、音が歪むことがあります。
  このときは、メニューの「ミックス音声」を「切」にしてください。(☞100ページ)

再生中の映像を調節する（トラッキング調節）

トラッキングとは、テープにヘッドの位置を正確に合わせ、記録信号を読み出して行く動作のことです。
本機には、オートトラッキング機能が付いています。
テープの再生を始めると自動的にオートトラッキングが働き、映像の乱れやちらつきを調節します。
オートトラッキングで映像の乱れやちらつきがとれないときは、手動でトラッキングを調節します。

❶,❷

❶ 再生中に

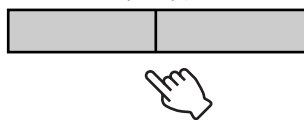
本体の[チャンネル＋／－]を同時に押して、オートトラッキングを解除する

－ チャンネル ＋

（同時に押す）

- 押すごとに、オートトラッキングの「入/切」が切り換わります。

❷ [チャンネル＋／－]を押してトラッキングを調節する

－ チャンネル ＋

静止画再生中やスロー再生中に、映像に横すじやちらつきが出るときは
① 静止画再生中は、[一時停止]ボタンを２秒以上押してスロー再生にします。
- D-VHS モードで再生時、スロー再生はできません。

② [チャンネル＋または－]ボタンを押して調節します。

静止画再生中に、映像が上下にずれるときは
[チャンネル＋または－]ボタンを押して調節します。

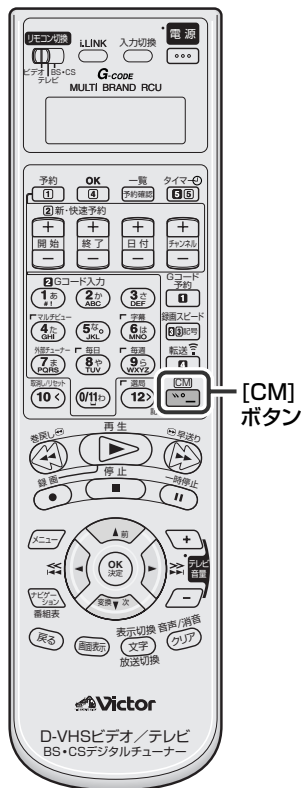
スロー再生中に、映像が上下に揺れるときは
① [一時停止]ボタンを押して静止画再生にします。
② [チャンネル＋または－]ボタンを押して調節します。
■録画状態の悪いテープの場合、十分に調節できないことがあります。

メモ
- 本機の電源を入れたり、テープを入れると、オートトラッキングが自動的に「入」になります。
- 大切な記録には標準モードをおすすめします。標準モードは3倍モードよりもヘッドによるテープ上への記録の読み書き面積が大きく、長期使用や他のビデオデッキとのテープ交換再生時でもヘッドと記録部分との位置がずれにくくなります。
121ページの『美しい画面をご覧いただくために』もご覧ください。

ご注意
- 標準モード以外で録画されたテープを他のビデオデッキで再生するとノイズが出る場合がありますので、自己録再生（録画したビデオデッキそのもので再生）することをおすすめします。
- 録画状態の極端に悪いテープや他のビデオデッキで録画したテープでは、十分にトラッキングを調節できないことがあります。
- 静止画再生中やスロー再生中の映像の乱れやちらつきは、調節しても消えないことがありますが、故障ではありません。

CMをとばして録画する（オートCMカット）

二重音声放送やモノラル放送の番組を録画中に、ステレオ放送が始まると自動的に録画を中止し、再び二重音声放送やモノラル放送が始まると、録画を再開する機能です。
通常、映画やスポーツ中継などは二重音声で放送されることが多く、逆にコマーシャルはステレオ音声で放送されることが多いので、そのことを利用した機能が『オートCMカット』です。

[CM]ボタン

停止中または録画中に[CM]を押す

「する」　：CMがカットされる
「しない」：CMがカットされない

- 押すごとに、「CMカット」の「する／しない」が切り換わり、現在の設定がテレビ画面に表示されます。
- 録画予約時も設定可能です。（☞**61**、**63**ページ）

次のような場合は正常にCMカットができません

- **ステレオ放送の番組を録画するときには、使わないでください。**
「CMカット」が「する」になっているときに、ステレオ放送の録画を始めると、本機は自動的に一時停止になります。約5分後に一時停止が解除され録画が始まります。
- モノラル放送のコマーシャルは、「CMカット」が「する」になっていても、録画されます。また タイマー予約したときに最後がCMで終わった場合、多少CMが録画されることがあります。
- 電波の弱い地域では、オートCMカットが正しく働かないことがあります。
- オートCMカットを使って、コマーシャルを飛ばして録画すると、コマーシャルの前後で本来の録画したい番組が多少欠けて録画されることがあります。
- 次のようなときは、オートCMカットが自動的に無効になります。
  - 録画中に[停止（■）]ボタンまたは[一時停止（❚❚）]ボタンを押したとき
  - 録画を始める前に[再生（►）]ボタン、[巻戻し（◄◄）]ボタン、[早送り（►►）]ボタン、[電源]ボタンを押したとき
  - 録画を始める前やCMカット中(録画一時停止中)に、チャンネルを切り換えたとき

ご注意
- D-VHS記録時は働きません。
- 地上デジタル放送／BSデジタル放送／デジタルCS放送の番組または外部入力(テープをダビングするときなど)を録画するときは、オートCMカットが働きません。

最適な画質で録画・再生する

テープレベルアップ

メニューの「テープレベルアップ」を「入」にすると、自動的に本機が録画・再生するテープの品質レベルを測定して、最適な画質で録画・再生することができます。

録画するときの動作

■ メニューの「モード設定➡映像設定➡テープレベルアップ」を「入」にします。（☞**99**ページ）

録画するビデオカセットを入れ、通常の録画の手順を行なってください。

録画が始まると、テレビ画面にテープレベルアップの確認状態が表示されます。
この画面が表示されているときに、テープに最も良い状態で録画するための品質レベルを測定しています。（測定中は録画しません）

VHS　始・・・・・・・・・・・・・・・・・・終　● VHS 標準　▷左右◁ −0:00:37
テープレベルアップ 開始 〉〉〉------- 終了

約7秒後、テープの品質レベルの測定が終了すると、録画が開始されます。

[再生] ボタン
[一時停止] ボタン
[録画] ボタン

- テープレベルアップの測定が行われるのは、次のようなときです。
  - カセットを入れた後、初めて録画するとき
  - 録画スピードを変えたとき
- メニューの「モード設定➡機能設定➡オンスクリーン」が「切」のときは、この画面は表示されません。（☞**50**、**102**ページ）

録画開始前に測定したいときは

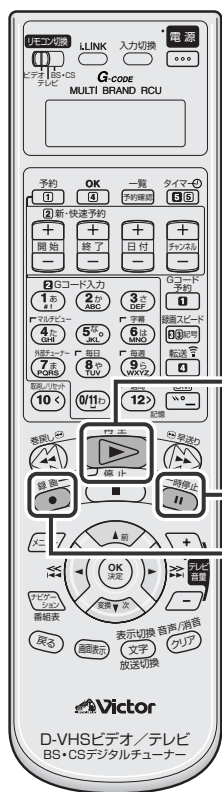
1 ［一時停止（II）］ボタンと［録画（●）］ボタンを同時に押す

一時停止　録画

本機は録画一時停止状態になり、テープの品質レベルを測定します。

2 録画したい番組が始まったら、［再生（►）］ボタンを押す

再生

録画が始まります。

再生するときの動作

■ メニューの「モード設定➡映像設定➡テープレベルアップ」を「入」にします。（☞**99**ページ）

再生するビデオカセットを入れ、通常の再生の手順を行なってください。

- オートトラッキング機能が働き、同時に再生する映像に適した画質に自動的に調整します。

メモ

テープレベルアップについて

- D-VHS記録時は働きません。
- 予約録画をするときは、最初の予約録画を始める前に、テープの品質レベルを「標準（SP）」と「3倍（EP）」モードに対して測定します。以降の予約録画開始時には測定しません。（テープを出し入れしたときは、そのたびにテープの品質レベルを測定し直します。）
- テープの品質レベルを測定中は、[一時停止（II）]ボタンは働きません。
- レンタルテープや他のビデオデッキで録画したテープを再生するときは、「テープレベルアップ」の「入／切」を切り換えてみて、よりよい画質で再生される方の設定でお使いください。

節電設定にする

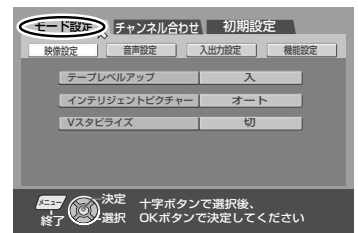
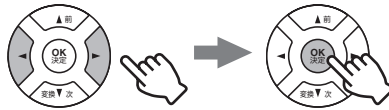
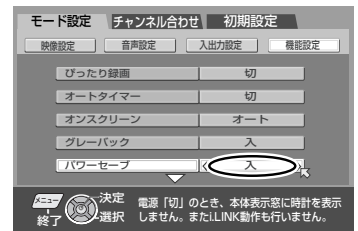
メニューの「パワーセーブ」を「入」に設定すると、本機の電源を切ったときに本体表示窓の時計表示が消え、消費電力を少なくすることができます。
ただし、i.LINK 録画予約をしたときは「入」に設定しないでください。「入」に設定すると、録画ができなくなります。（本ページのご注意をご覧ください）

準備
- テレビの電源を入れて、本機をつないだ外部入力に切り換えます。
- リモコン切換スイッチを[ビデオ]側にします。

リモコン切換スイッチ
[ビデオ]側

❶,❺
❷~❹

❶ [メニュー]を押して「メニュー」画面を表示する

❷ [◀／▶]を押して「モード設定」を選び、[OK]を押す

❸ [◀／▶]を押して「機能設定」を選び、[OK]を押す

❹ [▲／▼]を押して「パワーセーブ」を選んだあと、[◀／▶]を押して「入」にする

❺ [メニュー]を押して終了する

ご注意

- 手順 ❹で「入」にして本機の電源を切ると、i.LINK機器の認識ができません。そのため、地上・BS・110度CSデジタルテレビなどで予約した番組の録画ができません。また、分岐接続している場合、データの中継をしません。
- 手順 ❹で「入」にして本機の電源を切ったり入れたりしたときは、本体表示窓に[LOADING]を表示後、電源が入るまで数10秒かかります。
- 本機の電源が入っているときに、本体表示窓の表示を消したいときや、ブルーランプを消したいときは、**102**ページの設定メニューをご覧ください。

テープをダビングする

i.LINK（または DV）接続で D-VHS 記録する

DV端子付きのデジタルビデオカメラやD-VHSビデオデッキから本機にD-VHS記録でダビングすることができます。

すべての機器の電源を切ってから接続してください。

：信号の流れ

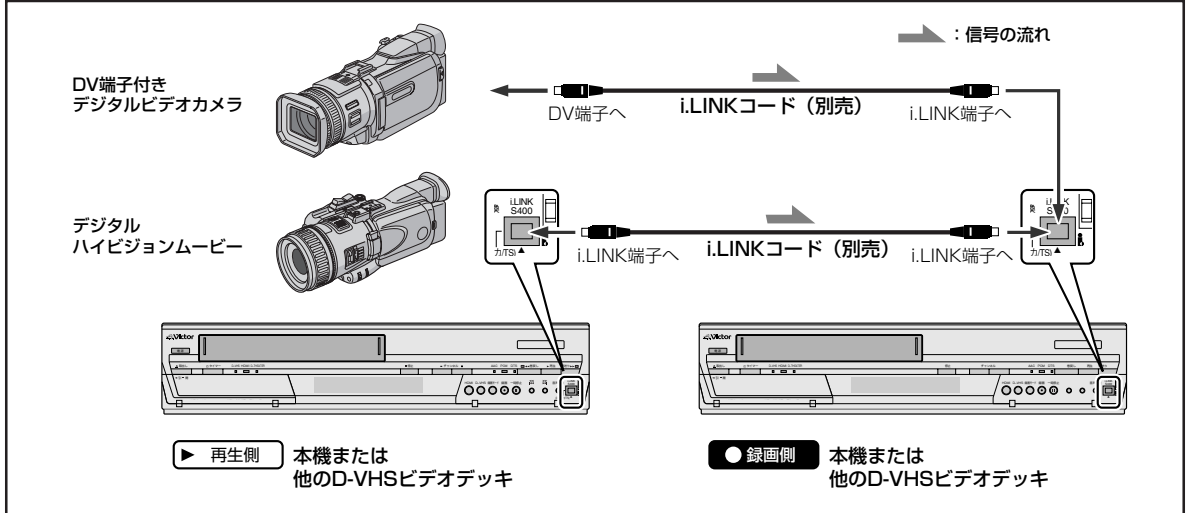
DV端子付き
デジタルビデオカメラ

DV端子へ　i.LINKコード（別売）　i.LINK端子へ

デジタル
ハイビジョンムービー

i.LINK端子へ　i.LINKコード（別売）　i.LINK端子へ

▶ 再生側　本機または
他のD-VHSビデオデッキ

● 録画側　本機または
他のD-VHSビデオデッキ

再生側

準備 ● 再生するテープを入れておきます。

❸ ダビングしたい部分の少し前から再生を始める

● 本機はDTLA(The Digital Transmission Licensing Administrator)のコピー･プロテクション技術DTCPに対応しています。したがって、コピーを1回しか許可されていない番組はダビングすることができません。(BS／CSデジタル放送からの録画が1回目のコピーにあたります)DTLAについて詳しくは、デジタルテレビなどの取扱説明書をご覧ください。また、1回のみ録画可能（コピーワンス）な番組を記録したハードディスク録画機器から本機への移動ダビング（ムーブ）については、ハードディスクレコーダーの取扱説明書をご覧ください。

録画側

準備 ● 録画用の D-VHS テープを入れておきます。

❶ 外部入力を選ぶ

● 本機の場合は、[チャンネル＋/－]ボタンを押して、接続した機器のi.LINK機器番号（「I-1」など）を選びます。(☞**52**ページ)

❷ 記録する音声を選択する

● DV機器から録画するときは、メニューの「モード設定➡ 音声設定➡ ＤＶ 音声記録」の設定をします。(☞**100**ページ)

● DV機器以外と接続したときは、録画スピードが自動的に「AUT(AUTO)」になります。
また、デジタルハイビジョンムービーと接続したときも「AUT(AUTO)」になります。

❹ 録画を始める

メモ

● 接続する機器の取扱説明書もご覧ください。
● D-VHSビデオデッキどうしでダビングする場合、録画スピードは、再生側と同じスピードで録画することをおすすめします。
● 「AUT(AUTO)」モードでダビングする場合、録画スピードが切り換わる部分で画像が静止画になったり、ブロックノイズが出る場合があります。
また、接続機器によっては、再生機側の録画スピードが「LS3」であっても、本機が「STD」モードで録画することがあります。
● DV端子付きビデオカメラからのダビングは、本機でDVフォーマットからMPEG2フォーマットに変換してD-VHS記録します。525iで記録します。
● 本機の[i.LINK]端子からDV端子付きビデオカメラへのダビングはできません。
● デジタルビデオカメラの機種によっては、i.LINKの通信ができないことがあります。このようなときは、「初期設定」メニューの「その他➡LINC」を「切」にしてください。(☞**96**ページ)
● ダビングが終わったときは、本機と他機の両方を停止させてください。
● 接続するi.LINK端子付き機器によっては、データ処理方式などの違いにより、本機と接続機器のノイズの出かたが異なる場合があります。
● ビデオカメラからのDVフォーマットの信号を本機の[i.LINK]端子に入力し、テレビで映像を見るときは、525i対応のテレビと接続してください。525iのみの出力となります。

他機で再生、本機で録画する【D-VHS/S-VHS/VHS 記録】

すべての機器の電源を切ってから接続してください。

：信号の流れ

S映像コード
（S映像端子付きのビデオをつなぐとき）

S映像入力端子へ

映像入力端子へ (黄)

映像コード（S映像端子のないビデオをつなぐとき）

(白)

音声コード

(赤)

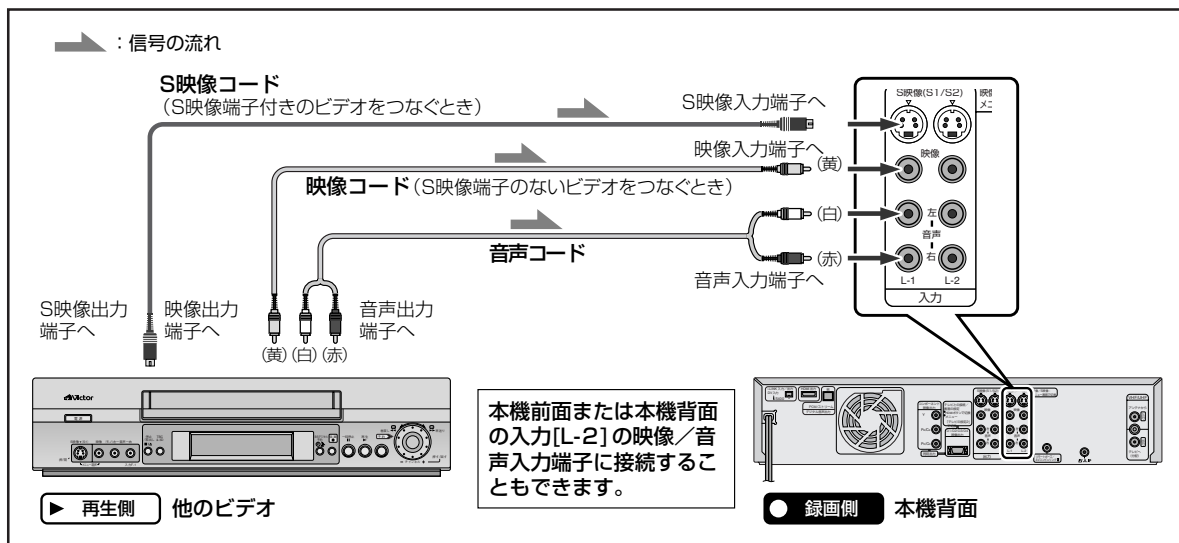
音声入力端子へ

S映像出力端子へ　映像出力端子へ　音声出力端子へ

(黄) (白) (赤)

本機前面または本機背面の入力[L-2]の映像／音声入力端子に接続することもできます。

▶ 再生側　他のビデオ

● 録画側　本機背面

他機側（再生）

準備

- 再生するテープを入れておきます。
- くわしい操作方法については、再生する機器の取扱説明書をご覧ください。

❸ ダビングしたい部分の少し前から再生を始める

あなたがビデオテープレコーダーで録画（録音）したものは、個人として楽しむなどのほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません。

本機側（録画）

準備

- 再生機を、どちらの映像入力端子（S 映像または映像）につないだかを、メニューで正しく設定してください。(☞**101**ページ)両方の端子をつなぐ必要はありません。
- 録画用のテープを入れておきます。

❶ 外部入力を選ぶ

＋ チャンネル −

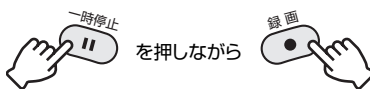
- 前面の映像/音声入力端子に再生機をつないだときは「F-1」、背面の映像/音声入力端子に再生機をつないだときは「L-1」または「L-2」を選びます。

❷ 録画一時停止状態にする

一時停止 を押しながら 録画

❹ 録画を始める

再生

メモ

- 録画一時停止が5分以上続くと、テープやビデオヘッド保護のため自動的に停止します。
- ダビングが終わったときは、再生側と本機の両方を停止させてください。
- S-VHS、VHS記録でダビングすると、画質はもとのテープより劣ります。
- 本機はDTLA(The Digital Transmission Licensing Administrator)のコピー・プロテクション技術に対応しています。したがって、コピーを1回しか許可されていない番組はダビングすることができません。(BS／CSデジタル放送からの録画が1回目のコピーにあたります)DTLAについて詳しくは、デジタルテレビなどの取扱説明書をご覧ください。また、ハードディスク録画機器から本機への移動ダビング(ムーブ)については、ハードディスクレコーダーの取扱説明書をご覧ください。

本機で再生、他機で録画する【D-VHS/S-VHS/VHS 記録】

すべての機器の電源を切ってから接続してください。

：信号の流れ

S映像出力端子へ

S映像コード（S映像端子付きのビデオをつなぐとき）

（黄）

映像コード（S映像端子のないビデオをつなぐとき）

（白）

（赤）

音声コード

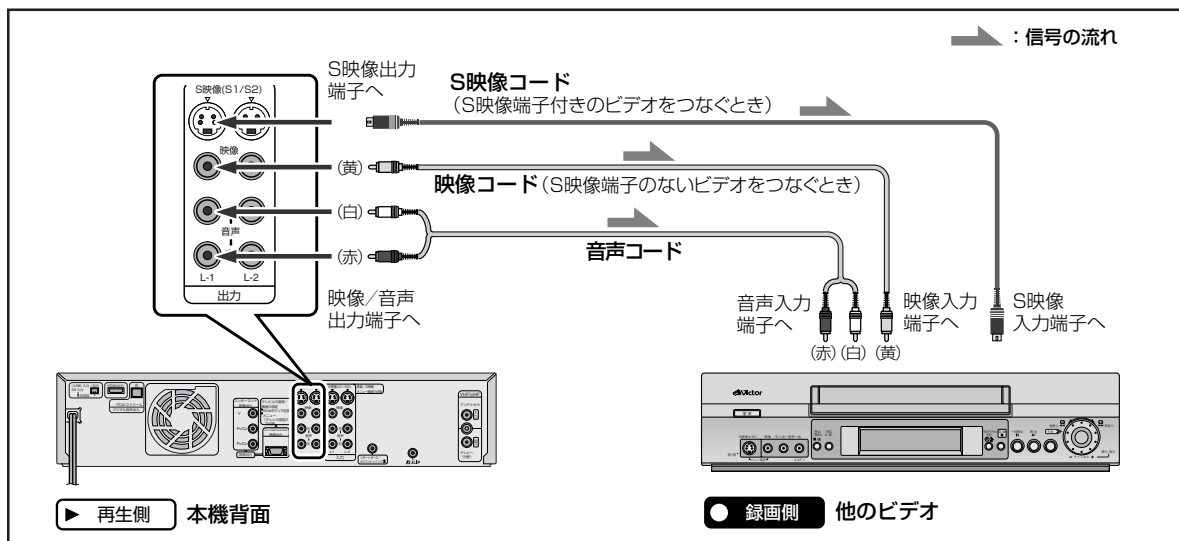
映像／音声出力端子へ

音声入力端子へ　映像入力端子へ　S映像入力端子へ

（赤）（白）（黄）

S映像(S1/S2)　映像　音声　L-1　L-2　出力

▶ 再生側　本機背面

● 録画側　他のビデオ

本機側（再生）

準備

- 再生するテープを入れておきます。
- メニューの「モード設定➡機能設定➡オンスクリーン」を「切」にしておきます。
  「オート」になっていると、本機のオンスクリーン表示が同時に録画されます。
  (☞**50** ページ)
- S-VHS/VHS モードのときのみ、メニューの「モード設定➡映像設定➡インテリジェントピクチャー」を「ダビング」にします。
  (☞**99** ページ)
- 525i 以外の番組をダビングするときは、メニューの「モード設定➡入出力設定➡テレビの設定２」を「D1・S 映像」にします。
  (☞**101** ページ)
  また、HDMIデジタル接続もしているときは、本体の[HDMI]ボタンを押して[HDMI]ランプを消灯します。

❸ ダビングしたい部分の少し前から再生を始める

再生

他機側（録画）

準備

- 録画用のテープを入れておきます。
- くわしい操作方法については、録画する機器の取扱説明書をご覧ください。

❶ 本機を接続した外部入力を選ぶ

❷ 録画一時停止状態にする

❹ 録画を始める

- 録画ができないときは、左ページのメモ欄右側をお読みください。

メモ

- S映像端子と映像端子（黄色）の両方をつなぐ必要はありませんが、他のビデオにS映像入力端子があるときは、S映像端子どうしをつないでお使いいただくと、よりきれいな映像でダビングできます。
- ダビングが終わったときは、本機と他機の両方を停止させてください。

ダビングが終わったら

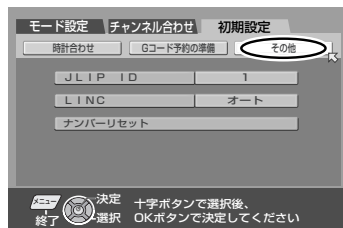
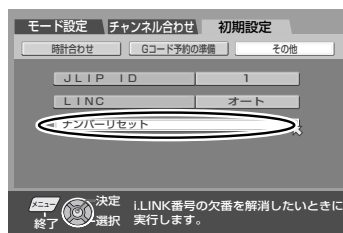
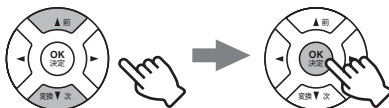
- メニューの「インテリジェントピクチャー」を「オート」（テープレベルアップが「切」のときは「スタンダード」）に戻してください。
  (☞**99**ページ)
- メニューの「オンスクリーン」を「オート」に戻してください。
  (☞**102**ページ)

接続しているi.LINK機器の番号を変更する

本機の[i.LINK]端子には、地上・BS・110度CSデジタルテレビやD-VHSビデオデッキなどを接続できます。[i.LINK]端子に接続した機器には、接続順にi.LINK機器番号が割り付けられます。i.LINK機器番号を変更したいときは、下の操作をしてください。

リモコン切換スイッチ
[ビデオ]側

❶ [メニュー]を押して「メニュー」画面を表示する

❷ [◀／▶]を押して「初期設定」を選び、[OK]を押す

❸ [◀／▶]を押して「その他」を選び、[OK]を押す

❹ [▲／▼]を押して「ナンバーリセット」を選び、[OK]を押す

- [OK]ボタンを押すと、「i.LINK番号のリセットを完了しました」を表示し、元のテレビ画面に戻ります。

❺ i.LINK機器番号を設定し直す

- 本機の[i.LINK]端子に、1台ずつ接続してください。
  接続した順に、i.LINK機器番号が自動的に割り付けられます。
- 接続機器の認識をするため、接続するときは、D-VHSビデオデッキの電源プラグは、コンセントに接続しておいてください。
  また、デジタルビデオカメラの場合は、電源を入れた状態で接続してください。

メモ

リンク(LINC)設定について

オート：本機から他のi.LINK機器を選択できます。i.LINK機器の番号を確認するときは、[チャンネル＋／―]ボタンを押して、テレビ画面に出る表示で確認してください。(☞52ページ)
通常は「オート」にします。

切：本機から他のi.LINK機器を選択できません。ただし、他のi.LINK機器またはデジタルビデオカメラなどから本機が選択された場合は通信できます。
通信しているときは、「I-1」などを表示します。

i.LINK接続機器との通信をやめたいときは手順❷の操作後、

1. [▲/▼]を押して「LINC」を選び、[◀/▶]を押して「切」にします。
2. [メニュー]ボタンを押します。(メニュー操作終了)

設定メニューの使いかた

「モード設定」メニュー画面

「映像設定」画面（☞99 ページ）

モード設定 | チャンネル合わせ | 初期設定

映像設定 | 音声設定 | 入出力設定 | 機能設定

テープレベルアップ	入
インテリジェントピクチャー	オート
Vスタビライズ	切

メニュー 終了　決定 選択　十字ボタンで選択後、OKボタンで決定してください

「機能設定」画面 1ページ目（☞101、102 ページ）

モード設定 | チャンネル合わせ | 初期設定

映像設定 | 音声設定 | 入出力設定 | 機能設定

ぴったり録画	切
オートタイマー	切
オンスクリーン	オート
グレーバック	入
パワーセーブ	切

メニュー 終了　決定 選択　十字ボタンで選択後、OKボタンで決定してください

「音声設定」画面（☞100 ページ）

モード設定 | チャンネル合わせ | 初期設定

映像設定 | 音声設定 | 入出力設定 | 機能設定

STD記録PCM音声	入（音質優先）
DV 音声記録	音声 1
光デジタル音声出力	2CH PCM
二カ国語音声録音	主
ミックス音声	切

メニュー 終了　決定 選択　十字ボタンで選択後、OKボタンで決定してください

「機能設定」画面 2ページ目（☞102 ページ）

モード設定 | チャンネル合わせ | 初期設定

映像設定 | 音声設定 | 入出力設定 | 機能設定

SVHSテープ録画	S-VHS
コントロール切換	AVコンピュリンクII
SVHS−ET	切
本体表示窓	入
ブルーランプ	オート

メニュー 終了　決定 選択　S-VHSテープにはS-VHS録画 VHSテープにはVHS録画します。

「入出力設定」画面 1ページ目（☞101 ページ）

モード設定 | チャンネル合わせ | 初期設定

映像設定 | 音声設定 | 入出力設定 | 機能設定

テレビの設定 1	ワイドテレビ
テレビの設定 2	D３・HD入力
プログレッシブモード	切（D1・S）
HDMI⇒DVIカラー	スタンダード
HDMI出力	オート

メニュー 終了　決定 選択　十字ボタンで選択後、OKボタンで決定してください

「入出力設定」画面 2ページ目（☞101 ページ）

モード設定 | チャンネル合わせ | 初期設定

映像設定 | 音声設定 | 入出力設定 | 機能設定

前面映像入力F−1	映像
背面映像入力L−1	映像
背面映像入力L−2	映像

メニュー 終了　決定 選択　映像入力端子の信号を入力します。（L−1）

その他

設定メニューの使いかた（つづき）

「チャンネル合わせ」画面

「地域を選んで設定」画面（☞40 ページ）

モード設定 チャンネル合わせ 初期設定
地域を選んで設定 自動で受信して設定 放送局を一つずつ設定
初期状態 北海道 東北 北陸 関東 中部 東海 近畿 中国 四国 九州 沖縄
メニュー 終了 決定 選択 十字ボタンで選択後、OKボタンで決定してください

「自動で受信して設定」画面（☞41 ページ）

モード設定 チャンネル合わせ 初期設定
地域を選んで設定 自動で受信して設定 放送局を一つずつ設定
ＣＡＴＶ等を自動で受信して設定する
メニュー 終了 決定 選択 十字ボタンで選択後、OKボタンで決定してください

「放送局を一つずつ設定」画面（☞42 ～ 47 ページ）

モード設定 チャンネル合わせ 初期設定
地域を選んで設定 自動で受信して設定 放送局を一つずつ設定
◀▶カーソルキーで設定確認してください

チャンネル表示	1CH 記憶
受信チャンネル	1
チャンネル微調整	◂-ıııı▮ıııı+▸
GRT設定	入

メニュー 終了 決定 選択 十字ボタンで選択後、OKボタンで決定してください

「初期設定」画面

「時計合わせ」画面（☞49 ページ）

モード設定 チャンネル合わせ 初期設定
時計合わせ Gコード予約の準備 その他

年	2004年
月／日	1月1日(木)
現在時刻	ーー--:--
ぴったりクロック	3CH

メニュー 終了 決定 選択 十字ボタンで選択後、OKボタンで決定してください

「Gコード予約の準備」画面（☞48 ページ）

モード設定 チャンネル合わせ 初期設定
時計合わせ Gコード予約の準備 その他

ガイドチャンネル	1
表示チャンネル	ーー

メニュー 終了 決定 選択 十字ボタンで選択後、OKボタンで決定してください

「その他」画面（☞102 ページ）

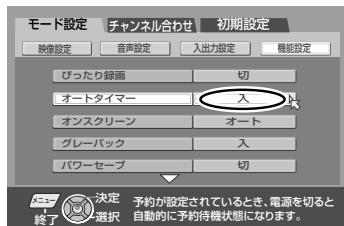
モード設定 チャンネル合わせ 初期設定
時計合わせ Gコード予約の準備 その他

ＪＬＩＰ　ＩＤ	1
ＬＩＮＣ	オート
ナンバーリセット	

メニュー 終了 決定 選択 十字ボタンで選択後、OKボタンで決定してください

お買い上げ時の設定を変える

準備
- テレビの電源を入れて、本機をつないだ外部入力に切り換えます。
- リモコン切換スイッチを[ビデオ]側にします。

例 「オートタイマー」を「入」にする。

モード設定 チャンネル合わせ 初期設定
映像設定 音声設定 入出力設定 機能設定
ぴったり録画 切
オートタイマー 入
オンスクリーン オート
グレーバック 入
パワーセーブ 切
メニュー 終了 決定 選択 予約が設定されているとき、電源を切ると自動的に予約待機状態になります。

❶ [メニュー]ボタンを押して、「メニュー」画面を表示する

❷ [◀／▶]ボタンを押して「モード設定」を選び、[OK]ボタンを押す

❸ [◀／▶]ボタンを押して「機能設定」を選び、[OK]ボタンを押す

❹ [▲／▼]ボタンを押して「オートタイマー」を選び、[◀／▶]ボタンで「入」にする

❺ 必要に応じて手順❸、❹をくり返して、他の設定も変更する
- [戻る]ボタンを押すと、1つ前の画面に戻ります。

❻ [メニュー]ボタンを押して終了する

「モード設定 / 映像設定」（S-VHS/VHS）画面の内容について

項　目	設　定　内　容	
テープレベルアップ（☞91 ページ）	テープに合わせた最適な画質で録画・再生したいときに使います。	
	入	：テープに合わせた最適な状態で録画・再生したいときに選びます。通常は「入」にしてください。
	切	：この機能を使用しないときは「切」にします。
インテリジェントピクチャー	再生する映像に合わせて、画質を変更したいときに設定します。	
	オート	：通常はこのまま使います。「テープレベルアップ」が「切」のときは、スタンダードになります。)
	ダビング	：ダビングするときに使います。
	ソフト	：レンタルビデオなどを再生するときに使います。
	シャープ	：クッキリ再生するときに使います。
	アニメ	：アニメーションなどを再生するときに使います。
V スタビライズ（☞87 ページ）	S-VHS/VHSで録画したテープ（EP:3倍モード）を再生中に、映像が上下に揺れるときに使います。（ビデオスタビライズ）	
	切	：通常は「切」にしておきます。
	入	：映像が上下に揺れるときに選びます。

□ お買い上げ時の設定状態です。

「モード設定 / 音声設定」画面の内容について

項　目	設　定　内　容	
STD記録PCM音声 （☞56ページ）	D-VHS テープに「STD」モードで録画するときに、画質または音声のどちらを優先するのかを設定します。DV 入力の時も有効です。	
	入（音質優先）	：アナログ放送またはアナログ信号を「STD」モードで録画するときの音声を従来の音声（MPEG1 レイヤー 2）に加えて PCM 音声も録音します。「HS」モードでは自動的に PCM 音声を録音します。再生時は自動的に PCM 音声で再生します。PCM 音声を再生できない場合は、従来の音声（MPEG1 レイヤー 2）に切り換わることがあります。
	切（画質優先）	：「STD」モードで録画するときの音声は従来の音声（MPEG1 レイヤー 2）で録音されます。画質を優先するときに選びます。
DV 音声記録 （☞93 ページ）	[i.LINK] 端子から入力されるデジタルビデオカメラからの音声信号は最大 4 チャンネルあります。本機ではこのうちの 2 チャンネルを選択して録画します。 DV 音声が 4 チャンネル：32kHz の場合に、どの 2 チャンネルを記録するかをここで設定します。 DV 音声が 2 チャンネル：48kHz の場合に、もともと 2 チャンネルなので、そのまま記録します。	
	音声 1	：音声 1 の 2 チャンネル（L/R）を記録します。
	音声 2	：音声 2 の 2 チャンネル（L/R）を記録します。
	フル音声	：音声 1 と音声 2 をミックスして記録します。
光デジタル音声出力 （☞39 ページ）	BS･110度CSデジタル放送の音声は MPEG2 AAC（Advanced Audio Coding）方式の音声で送られて来ます。光デジタル音声出力をそのままダイレクトに出力するか、2chPCMで出力するかを設定します。	
	2CH PCM	：MPEG2 AAC に対応した機器がない場合に選択します。D-VHS の MPEG 記録音声を PCM に変換して出力します。BS・110 度 CS デジタル放送を楽しむときは、ドルビーデジタルに対応したアンプでも、AAC に対応していないときは「2CH PCM」を選びます。
	AAC・PCM	：本機は、ドルビーデジタルで記録されたテープの再生にも対応していますので、音声にどちらかの方式が含まれているときは、[デジタル音声出力] 端子から、それぞれのビットストリーム信号が出力されます。MPEG2 AAC に対応した機器に接続するときに選択します。
	ストリーム	：DTS に対応したアンプに接続するときに選びます。
二カ国語音声録音 （☞88 ページ）	二重音声放送を録画するときに録音される音声を選びます。	
	主	：二重音声放送の主音声だけを録音します。
	主・副	：二重音声放送の主音声と副音声の両方を録音します。
ミックス音声 （☞88 ページ）	ノーマル音声とハイファイステレオ音声をミックスして再生したいときに使います。	
	切	：通常は「切」にしておきます。
	入	：ハイファイ音声とノーマル音声をミックスして再生します。

（DV 音声記録）

メニュー設定	音声モード	D-VHS L-chの音声	DVHS R-chの音声
音声1	32kHz/12bit	DV音声1 L-ch	DV音声1 R-ch
	48kHz/16bit	DV L-ch	DV R-ch
音声2	32kHz/12bit	DV音声2 L-ch	DV音声2 R-ch
	48kHz/16bit	DV L-ch	DV R-ch
フル音声	32kHz/12bit	DV音声1L+DV音声2L	DV音声1R+DV音声2R
	48kHz/16bit	DV L-ch	DV R-ch

（灰色）お買い上げ時の設定状態です。

「モード設定／入出力設定」画面の内容について

項　目	設　定　内　容	
テレビの設定 1 (☞35 ページ)	テレビの画面サイズを変更したいとき設定します。	
	ワイドテレビ	: ワイドテレビ (画面サイズ 16:9) のときに選択します。
	4:3 テレビ	: 画面サイズが 4:3 のテレビのときに選択します。
テレビの設定 2 (☞36 ページ)	テレビの D 端子またはコンポーネント端子に接続するときに設定します。	
	D3・HD 入力	: テレビに D3 端子、コンポーネント端子または HD 入力端子がある場合に選択します。525i、525p、1125i の映像フォーマットに対応しています。
	D4 入力端子	: テレビに D4 端子がある場合に選択します。 525i、525p、750p、1125iの映像フォーマットに対応しています。
	D2 入力端子	: テレビに D2 端子がある場合に選択します。 525i、525p の映像フォーマットに対応しています。
	D1・S 映像	: テレビに D1 端子がある場合または D1 端子がなくても S 端子がある場合に選択します。525i の映像フォーマットに対応しています。
プログレッシブモード (☞36 ページ)	出力映像フォーマット（525i または 525p）を設定します。	
	切（D1・S）	: 525i の映像フォーマットで出力します。 テレビに D1 端子または S 映像端子しかない場合に選択します。
	入（D2）	: 525i の映像フォーマットを 525p にして出力します。 テレビに D2/D3/D4 端子がある場合に選択します。
HDMI ⇒ DVI カラー (☞36 ページ)	テレビの DVI 端子に接続するときに設定します。	
	スタンダード	: 通常は 「スタンダード」 にしておきます。
	エンハンス	:「スタンダード／エンハンス」 設定により、お好みの映像（画質・色の深さ・黒の沈み方）を選びます。
HDMI 出力 (☞36 ページ)	本機の [HDMI 出力] 端子からの映像フォーマットを設定します。	
	オート	: 通常は 「オート」 にしておきます。
	RGB 固定	: テレビの仕様により、 正常な映像が映らないとき、「RGB 固定」 にします。
前面映像入力 F-1 (☞94 ページ)	前面映像入力 (F-1) の入力端子 (映像または S 映像) を変更したいときに設定します。	
	映像	: 前面の映像入力端子 (F-1) の信号を入力するときは 「映像」 にします。
	S 映像	: 前面の S 映像入力端子 (F-1) の信号を入力するときは 「S 映像」 にします。
背面映像入力 L-1 (☞32、34、94ページ)	背面映像入力 (L-1) の入力端子 (映像または S 映像) を変更したいときに設定します。	
	映像	: 背面の映像入力端子 (L-1) の信号を入力するときは 「映像」 にします。
	S 映像	: 背面の S 映像入力端子 (L-1) の信号を入力するときは 「S 映像」 にします。
背面映像入力 L-2 (☞32、34、94ページ)	背面映像入力 (L-2) の入力端子 (映像または S 映像) を変更したいときに設定します。	
	映像	: 背面の映像入力端子 (L-2) の信号を入力するときは 「映像」 にします。
	S 映像	: 背面の S 映像入力端子 (L-2) の信号を入力するときは 「S 映像」 にします。

（網掛け）お買い上げ時の設定状態です。

「モード設定／機能設定」画面の内容について

項　目	設　定　内　容	
ぴったり録画	録画予約実行中に、テープ残量が少なくなると、自動的に録画スピードを「3 倍（EP）」に変えるか、変えないかの設定をします。D-VHS 記録時は、ぴったり録画は働きません。	
	切	: この機能を使用しません。
	入	: 録画スピードが 「標準（SP）」 で録画予約された番組を、 最後まで標準で録画できなくなると、 途中で自動的に 「3 倍（EP）」 に切り換わり、 録画切れを防ぎます。
オートタイマー (☞64 ページ)	録画予約待機状態にする操作方法を設定します。	
	切	: 録画予約待機状態にするときは、[タイマー（⏻）] ボタンを押します。
	入	: 電源ボタンで電源を切ると、 自動的に録画予約待機状態になります。

（網掛け）お買い上げ時の設定状態です。

その他

設定メニューの使いかた（つづき）

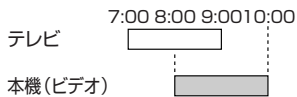
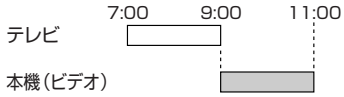
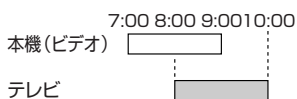
「モード設定／機能設定」画面の内容について（つづき）

項　目	設　定　内　容
オンスクリーン （☞50 ページ）	テレビ画面に操作内容を自動的に表示するか、しないかの設定をします。 常時表示したいときは、リモコンの [画面表示] ボタンを押してください。 オート：操作内容をテレビ画面に表示します。 切：操作内容をテレビ画面に表示しません。
グレーバック	放送のないチャンネルを灰色の画面（グレーバック）にするか、しないかの設定です。 入：放送のないチャンネルをグレーバックにします。 切：電波が弱く、不安定なチャンネルを受信するときは「切」を選びます。
パワーセーブ （☞92 ページ）	電源を切ったときに、本体表示窓の時計表示を消すか点灯するかを設定します。 切：点灯します。 入：消灯します。（消費電力を少なくします）
SVHS テープ録画 （☞51 ページ）	S-VHS テープに記録する方式を変えるときに使います。 S-VHS：S-VHS テープが挿入されたとき、S-VHS 録画する設定になります。 VHS：S-VHS テープを挿入しても、VHS 録画する設定になります。
コントロール切換 （☞17 ページ）	本機背面のリモートポーズ /AV コンピュリンクⅡ 端子の出力を切り換えるときに設定します AV コンピュリンクⅡ：AV コンピュリンクⅡ端子付きのアンプやテレビと接続したときに選択します。 リモートポーズ：編集端子付きのビクタービデオカメラなどと接続したときに選択します。
S-VHS ET （☞58 ページ）	VHS テープに S-VHS の画質で記録するときに設定します。 切：通常は「切」に設定しておきます 入：VHS テープに S-VHS の画質で記録します。
本体表示窓	電源を入れたときに、本体表示窓の表示を消すか点灯するかを設定します。 入：通常は「入」に設定しておきます 切：[:] 表示のみ点灯します。
ブルーランプ	本体の青色ランプを消すか点灯するかを設定します。 オート：通常は「オート」にします。 切：本体のブルーランプを消します。

（網かけ）お買い上げ時の設定状態です。

「初期設定／その他」画面の内容について

項　目	設　定　内　容
JLIP ID （☞17 ページ）	JLIP 端子付きのビデオ機器やジャンクションボックス（別売）などを使用してパソコンなどと接続して編章（別売の編集ソフトが必要）するときに設定します。 1～99：JLIP番号を1～99の中から選び設定します。
LINC （☞96 ページ）	i.LINK 機器と接続するときに設定します。 オート：本機から他のi.LINK機器を選択できます。i.LINK機器の番号を確認するときは、[チャンネル＋／－]ボタンを押して、表示窓またはテレビ画面に出る表示で確認してください。通常は「オート」にします。 切：本機から他のi.LINK機器を選択できません。ただし、他のi.LINK機器またはデジタルビデオカメラなどから本機が選択された場合は通信できます。通信しているときは、「I-1」などを表示します。一部のデジタルビデオカメラやデジタルテレビ・チューナーと接続したときに選択します。
ナンバーリセット （☞96 ページ）	i.LINK 機器番号の欠番を解消したいときや番号を変更したいときに選択します。

（網かけ）お買い上げ時の設定状態です。

故障かな？と思ったら

本機はマイコンを使用した機器です。外部からの雑音や妨害ノイズにより正常に動作しないことがあります。下記の項目を確認しても直らないときは、電源を切って電源プラグをコンセントから抜いて、再度差し込み、動作を確認してください。

症状		処置	参照ページ
電源	電源が入らない	• 電源コードがコンセントからはずれていませんか? • 本体の表示窓に[◷]が点灯していませんか?	27 65
	カウンター表示が「0:00:00」になっている（テレビ画面表示）	• 電源プラグを抜き差ししたり、停電があると、カウンター表示は「0:00:00」になります。	—
カセット	カセットが入らない	• 正しい向きで入れてください。	66
	カセットが出ない	• 録画中または本体の表示窓に[◷]が点灯していませんか？ [◷]を消してから、カセットを取り出してください。	64
再生	テレビに映像が出ない	• テレビで本機をつないだ外部入力を選んでいますか？ • メニューの「モード設定➡入出力設定➡テレビの設定1、2、プログレッシブモード」を正しく設定してください。 • 本機に５２５i の映像フォーマットのみ対応のテレビを接続し、メニューの「モード設定➡入出力設定➡テレビの設定2」を「D2入力端子」に設定しませんでしたか？ このようなときは、電源を「切」にして本体の[一時停止(⏸)]ボタンを５秒以上押してください。 その後、再度電源を「入」にして使用してください。	29～31 35～37
	映像が乱れる、ちらつく	• 本機とテレビをD端子接続でご覧になっている場合、次のようなときに、映像が乱れることがあります。 ・電波の弱いチャンネルを選んだとき ・S-VHS／VHSモードで再生したとき このようなときは、本機とテレビのＳ映像または映像端子を接続してご覧ください。 • オートトラッキング中に映像が乱れたり、ちらつきが出るときは、トラッキング調節をします。 • 再生中は、トラッキングを手動で調節してください。 • ビデオヘッドが汚れて再生画が汚くなることがあります。 別売のD-VHSヘッドクリーナーTCL-DVSで掃除してください。	— 31 89 12
	メニュー画面の文字がちらちらする	• 本機とBS／CSデジタルチューナー、本機とテレビの接続に映像コード(黄)を使っていませんか？ よりよい映像をお楽しみいただくために、本機とBS／CSデジタルチューナー、本機とテレビの接続にはコンポーネントビデオコードまたはＳ映像コードをお使いください。テレビによっては、文字のちらちらが直らないことがありますが故障ではありません。	32, 34
	ハイファイステレオ音声が出ない	• モノラルのビデオデッキやビデオカメラで録画したテープを再生してもハイファイステレオ音声は出ません。	88
	音声が出ない	• アナログ入力の音声のみ記録しませんでしたか？ アナログ入力の音声のみの記録はできません。	—
	日本語と外国語が同時に聞こえる	• [音声／消音]ボタンで聞きたい音声を選んでください。	88
	早送り／巻戻し再生中、静止画再生中に映像が乱れる	• 再生の速さを変えると、映像が乱れるときがあります。 故障ではありません。	—
	3倍モードで画面が上下に揺れる	• メニューの「モード設定➡映像設定➡Vスタビライズ」を「入」にしてください。	87, 99
	再生をやめても、ビデオ内部から動作音が聞こえる	• 再び再生したいときに出画時間を早くするため、ビデオ内部のドラムが約５分間は回転しています。故障ではありません。	—
	カウンター表示が停止する（テレビ画面表示）	• 早送り、巻戻し中にテープの未録画部分になると、カウンター表示が停止します。	—

故障かな？と思ったら（つづき）

	症　状	処　置	参照ページ
再生	i.LINK 接続でデジタルチューナーを通して、D-VHS 記録したテープを再生できない	次の入力源から録画したテープを再生し、出力されるデジタル信号をデコードできないデジタルチューナーが一部あります。 • アナログ放送またはアナログ信号を外部入力で録画したテープ • DV 入力をMPEG 変換して録画したテープ このようなときは、本機のD1/D2/D3/D4 映像出力端子からテレビのD 端子入力へ接続してご覧ください。	—
	動きの激しい画像や画面の切り換え時にモザイク状の歪みが出る	• 映像ビットレートの低い番組の時に発生します。 これは放送局側で、すでにモザイク状のノイズが発生していますので、本機の故障ではありません。	—
	再生画像が静止画および黒い画面になったり、ブロックノイズが出る	• D-VHS テープを使用しているか確認してください。 • ヘッドの清掃が必要です。別売のヘッドクリーニングテープをご使用になり、ヘッドの清掃をしてください。それでも直らないときには、お買い上げの販売店またはお近くのビクターサービスにご相談ください。 • 再生中につなぎ撮り部分（録画を停止（一時停止）し、再び録画を始めた部分）および、VHS 再生（標準/3 倍）からD-VHS 再生に切り換わる部分を再生すると、画面が出るまで少し時間がかかります。 • 映像の乱れが出たときは、本機とデジタルテレビをなるべく離して設置してください。	— 12 — 32, 34
	D-VHS テープを入れて再生しても本体の表示窓に「D-VHS」表示が点灯しない	• D-VHS モードで録画されていません。録画するときは、本体の[D-VHS]ボタンを押して、本体の表示窓に「D-VHS」表示が点灯していることを確認して録画してください。	51 52 56
	動きの激しい画像や画面の切り換え時にモザイク状の歪みが出る	• 映像ビットレートが低いとき（LS3モードで記録したとき）、モザイク状のノイズが出ることがありますが、本機の故障ではありません。	—
	HDMI接続で音声が出ない	• HDMI − DVI 接続のときは、音声コードも接続してください。 • HDMI − HDMI接続時に音声が出ないときは、テレビの音声入力仕様をご確認ください。PCM音声のみ対応のテレビと接続したときは、メニューの「光デジタル音声出力」を「2CH PCM」にしてください。また、本機の[光デジタル音声出力]端子から出力される音声も「2CH PCM」になります。	29 29, 100
録画	日本語だけ録音したい	• メニューの「モード設定➡音声設定➡二カ国語音声録音」を「主」にしてください。	100
	録画できない	• カセットのつめが付いていますか？ ついていなければセロハンテープで穴をふさいでください。	57
	希望の番組が録画できない	• チャンネルが合っていますか？ • 本機で希望のチャンネルが選べないときは、そのチャンネルを受信できるようにしてください。	116 44
録画予約	G コード予約ができない	• 日付と時刻を設定してありますか? • チャンネル表示を変更したときは、ガイドチャンネルも設定し直してください。 •『新・快速録画予約』を行なってください。CATV放送はGコード予約ができないことがあります。	49 48 62
	録画予約ができない	• 日付と時刻を設定してありますか? • カセットのつめがついていますか? • 本体の表示窓の[⊙]は点灯していますか? • 予約内容を確認してください。 • 停電があったときは正しく動作しません。	49 57 65 64 —
	本体の表示窓の[⊙]が点滅する	• 設定にまちがいがあるので、予約内容を確認して、正しく設定し直してください。	60〜65
	本体の表示窓の[⊙]と[CASS]が点滅する	• カセットが入っていません。つめの付いたカセットを入れてください。	—

	症　状	処　置	参照ページ
録画予約	本体の表示窓に[−−：−−]を表示している	• 停電がありました。もう 1 度、日付と時刻を設定してください。	49
	予約の録画が始まるまでの間、テープを見たい	• 本体の表示窓の[◷]を消してから操作します。 操作終了後は、ふたたび、[◷]を点灯させます。	65
	録画予約終了後、本体の表示窓の[◷]が点滅している	• テープの終わりまで録画すると、自動的にテープが停止し、電源が切れます。 [タイマー（◷）]ボタンを押すと[◷]は消えます。 タイマー録画するときは、予約する時間よりも余裕のあるカセットを入れてください。	—
	予約の録画中に停止するには	• [タイマー（◷）]ボタンを押して本体の表示窓の[◷]を消してから、[停止（■）]ボタンを押します。	—
	録画予約時、テレビ画面に「予約がいっぱいです」と表示される	• 録画の予約は 24 番組までしか記憶できません。 予約内容を確認し、不要な予約を取り消してから予約してください。	60, 62
	設定した予約内容が消えた	• 予約終了時刻を過ぎても実行しないものは、予約内容が取り消されます。	—
	予約の録画中に、誤って本体の[電源]ボタンを押してしまったら	• 予約の録画中に本体の[電源]ボタンを押すと、録画を停止し、電源が切れます。（リモコンの[電源]ボタンを押しても電源は切れません。） 電源が切れた際、他にも予約があるときは、ふたたび録画予約待機中になります。	—
	デジタル CS 放送の番組を録画中に停止したいときは	• デジタル CS チューナーの[電源]ボタンを押してください。 デジタルCSチューナーの電源が切れます。本機の[停止]ボタンを押します。	—
	ぴったりクロックが働かない	• 地域番号入力後、NHK 教育テレビのチャンネル表示を変更したときは、「時計合わせ」画面の「ぴったりクロック」のチャンネルも変更してください。	49
	予約した地上／BS／CS デジタル放送の番組が録画されない	• メニューの「モード設定 ➡ 機能設定 ➡ パワーセーブ」を「入」にして、本機の電源を切ると、i.LINK 機器の認識ができません。そのため、地上･BS･110 度 CS デジタルテレビ側で予約した番組の録画ができません。 「パワーセーブ」を「切」にしてください。	92, 102
	地上／BS／CSデジタルテレビと本機の予約が重なったときは	後に予約した番組は録画されません。また、先に始まる地上／BS／CS デジタルテレビの予約が、放送開始時刻に合わせて変更され、本機の予約と重なった場合も、本機の予約は録画されません。 ■部分：録画しません ●予約が重なったとき 7:00 8:00 9:00 10:00 テレビ 本機（ビデオ） 7:00 8:00 9:00 10:00 本機（ビデオ） テレビ ●デジタルテレビの予約終了時刻と本機の予約開始時刻が同じとき 7:00 9:00 11:00 テレビ 本機（ビデオ） **本機の録画予約を実行するためには、本機の予約開始時刻を 1 分遅らせてください。(☞54ページ)ただし、番組の頭は 1 分欠けます。** ●本機の予約終了時刻とデジタルテレビの予約開始時刻が同じとき 7:00 9:00 11:00 本機（ビデオ） テレビ **デジタルテレビの録画予約を実行するためには、本機の予約終了時刻を 1 分早めてください。(☞54ページ) ただし、番組の終わりは1分欠けます。** • 本機の動作状況を判別できないデジタルテレビの場合、本機が動作中でもテレビ側の指示により EPG 録画を始めることがあります。	—

故障かな？と思ったら（つづき）

	症　状	処　置	参照ページ
録画予約	本機の予約が重なったときは	●予約が重なったとき 先に始まる予約が優先され、録画終了後、次の予約を録画します。 7:00 8:00 9:00 10:00 予約1 予約2 ●予約の開始時刻が同じとき 先に予約した番組が優先されます。 7:00 9:00 10:00 予約1 予約2	—
	デジタル放送の録画予約ができない	• 地上･BS･110度CSデジタルテレビ側からのi.LINK機器の認識ができていますか？ デジタルテレビのi.LINK設定を行なってください。くわしくは、地上･BS･110度CSデジタルテレビの取扱説明書をご覧ください。 • ビデオリモートコントローラーの接続、設置が正しく行われていますか? 地上･BS･110度CSデジタルテレビの取扱説明書をご覧になり、正しく接続、設置をしてください。	—
	BS/CSデジタル番組が録画できない(黒い画面が録画される)	• デジタル放送用のアンテナを正しく接続しているか確認してください。 • BS/CSデジタル番組の以下の放送は録画できません。録画した番組が該当していないか確認してください。 1）受信契約をしていないチャンネル 2）視聴年齢制限の暗証番号が一致していない番組 3）購入していないペイ・パー・ビュー番組 4）著作者が録画を禁止している番組	—
ビデオナビゲーション	番組情報のデータが登録されない	• 番組情報データの登録数がいっぱいになっています。 いらないテープの登録内容を消してください。 •「ナビゲーション」画面を表示して「ナビ設定➡ナビゲーション」を「入」にしてください。 • 録画時間が短いときは、登録されません。	81, 82 85 70
	見たい番組が探せない	• 本機以外のビデオで録画したテープを使用しているときは、見たい番組を探すことはできません。 • 本機で録画したところまでテープを巻戻しまたは早送りしてから、[ナビゲーション]ボタンを押してください。	70 71
リモコン	リモコンが働かない	• リモコンコード(A／B／C／D)が合っていますか? • 電池が消耗していませんか?	23
	テレビが操作できない	• 電池交換をしたら、リモコンのテレビコードをお使いのテレビメーカーに合わせてください。	22
編集	ダビングできない	• 正しい外部入力を選んでいますか？ • デジタルビデオカメラとダビングするときは、本機を再生側にすることはできません。 • BS／CSデジタル番組で、1回のみ録画可能･録画不可の番組は、ダビングできません。 • 本機を再生側にした場合、本体の[HDMI]ボタンを押して[HDMI]ランプを消灯させてください。	93〜95 93 53 95
	ダビング時、本機で再生するとオンスクリーンの文字が録画される	• メニューの「モード設定➡機能設定➡オンスクリーン」を「切」にしてください。	50
	ダビング時、テレビでビデオカメラの映像が見れない	• 本機の[i.LINK]端子とビデオカメラの[DV]端子をつないでダビングする場合、本機からテレビへ出力する映像は525iフォーマットになります。525i対応のテレビと接続してください。	93
リセット	正常に動作しないときは	• 電源「切」の状態で、本体の[停止]ボタンと[D-VHS]ボタンを同時に5秒以上押してください。	—

エラーメッセージ

区分	エラーコード	メッセージ表示	内容
録画	102	「この番組は録画が禁止されています。」	• アナログ信号のみコピー禁止の番組をD-VHS記録したとき • 番組をD-VHS記録中に、アナログ信号のみコピー禁止の信号が本機に入力されたとき
	103	「この番組は録画が禁止されています。」	• デジタルコピー禁止の番組をD-VHS記録でダビングしたとき • D-VHS記録でダビング時、デジタルコピー禁止の情報が本機に入力されたとき • 本機は、DTLAなどのコピー・プロテクション技術に対応しており、デジタル録画禁止の番組は録画できません。
	104	「映像または音声がデコードできません。デジタルチューナーなどで視聴してください。」	• 本機で対応できない信号が入力されたとき • 「L-1」などのアナログ入力に切り換えて録画してください。（再生時に、デジタルチューナーなどを使用すると、視聴できる場合があります。）
	105	「デジタル信号のS-VHS/VHS録画はできません。アナログ入力に切り換えて録画してください。」	• BS/CSデジタルチューナー以外のi.LINK機器からの信号をS-VHS/VHS録画したとき • 本機のi.LINK端子は、D-VHS記録専用です。デジタル信号をアナログ信号に変換しての記録はしません。「L-1」などのアナログ入力に切り換えて録画してください。
	107	「デジタル信号のS-VHS/VHS録画はできません。アナログビデオと同じ方法で予約してください。」	• 地上･BS/CSデジタルテレビ側で、「i.LINK」を選択して予約した番組をS-VHS/VHS録画したとき • 本機のi.LINK端子は、D-VHS記録専用です。デジタル信号をアナログ信号に変換しての記録はしません。また、S-VHS/VHSテープにD-VHS記録はできません。入力切換を「L-1」などに切り換えて録画してください。
	108	「ＨＳモードで録画してください。」	• 1125iまたは750pの放送を「STD」または「LS3」モードで録画したとき/525p放送を「LS3」モードで録画したとき • 録画するには、「HS」モードを選んでください。
再生	200	「映像または音声がデコードできません。デジタルチューナーなどで視聴してください。」	• 本機で対応できない信号を再生したとき • 記録時に使用したデジタルチューナーなどで再生してください。
	201	「調整中です。しばらくお待ちください。」	• モザイク画（ブロック状のノイズ）など、正常に再生できないとき • 正常な映像を出画するために、本機が調整中です。しばらくお待ちください。
	202	「コピーの制約がある番組はSD映像（525i）で出力します。」	• 1125i、750p、525pでコピー禁止の番組を視聴または再生するときは、525iにダウンコンバートして出力します。
	203	「コピー禁止の番組でした。再生できません。」	• コピー禁止の番組を録画したテープを再生したとき • コピー禁止の番組を録画しても再生できません。
	205	「このテープは再生できません。」	• 不正と判断されるD-VHS記録したテープを再生したとき
入力信号	300	「映像または音声がデコードできません。デジタルチューナーなどで視聴してください。」	• 本機で対応できない信号方式が入力されたとき • デジタルチューナーなどで視聴してください。
	301	「i.LINK接続機器が多すぎます。詳しくは取扱説明書をお読みください。」	• 本機の[i.LINK]端子に入力された信号のデータ容量が多いとき • 本機の[i.LINK]端子に接続した地上/BS/CSデジタルテレビやデジタルビデオカメラなどの[i.LINK]端子付きの機器が多すぎます。使用しない機器の電源は切っておいてください。
	302	「コピーの制約がある番組はSD映像（525i）で出力します。」	• 1125i、750p、525pでコピー禁止の番組を視聴または再生するときは、525iにダウンコンバートして出力します。
	303	「この番組は映像信号がありません。」	• 映像が録画されていないテープ（ラジオ番組など）を再生したとき
	304	「不正な信号のため視聴できません。」	• 不正コピーと判断されるテープを再生したとき
	305	「ディスプレイが著作権保護技術に未対応のため視聴できません。」	• HDCPに対応していないテレビとHDMI接続し、HDCPの映像をテレビに出力したとき

区点コード一覧表

タイトルを入力するときにお使いください。

- 区、点の数字の小さい順に、あいうえお順で配列されています。
- 区点コード表の文字とテレビ画面の文字は多少、異なることがあります。
- 　　部分は、記号や文字はありません。
- 本機で表示できる文字は、JIS コード第 1 水準、第 2 水準に対応しています。

区＼点	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25
01		、	。	，	．	・	：	；	？	！	゛	゜	´	｀	¨	＾	￣	＿	ヽ	ヾ	ゝ	ゞ	〃	仝	々
02	◆	□	■	△	▲	▽	▼	※	〒	→	←	↑	↓	＝											
03																0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
04	ぁ	あ	ぃ	い	ぅ	う	ぇ	え	ぉ	お	か	が	き	ぎ	く	ぐ	け	げ	こ	ご	さ	ざ	し	じ	す
05	ァ	ア	ィ	イ	ゥ	ウ	ェ	エ	ォ	オ	カ	ガ	キ	ギ	ク	グ	ケ	ゲ	コ	ゴ	サ	ザ	シ	ジ	ス
06	Α	Β	Γ	Δ	Ε	Ζ	Η	Θ	Ι	Κ	Λ	Μ	Ν	Ξ	Ο	Π	Ρ	Σ	Τ	Υ	Φ	Χ	Ψ	Ω	
07	А	Б	В	Г	Д	Е	Ё	Ж	З	И	Й	К	Л	М	Н	О	П	Р	С	Т	У	Ф	Х	Ц	Ч
08	─	│	┌	┐	┘	└	├	┬	┤	┴	┼	━	┃	┏	┓	┛	┗	┣	┳	┫	┻	╋	┠	┯	┨
09																									
10																									
11																									
12																									
13																									
14																									
15																									
16	亜	唖	娃	阿	哀	愛	挨	姶	逢	葵	茜	穐	悪	握	渥	旭	葦	芦	鯵	梓	圧	斡	扱	宛	姐
17	院	陰	隠	韻	吋	右	宇	烏	羽	迂	雨	卯	鵜	窺	丑	碓	臼	渦	嘘	唄	欝	蔚	鰻	姥	厩
18	押	旺	横	欧	殴	王	翁	襖	鴬	鴎	黄	岡	沖	荻	億	屋	憶	臆	桶	牡	乙	俺	卸	恩	温
19	魁	晦	械	海	灰	界	皆	絵	芥	蟹	開	階	貝	凱	劾	外	咳	害	崖	慨	概	涯	碍	蓋	街
20	粥	刈	苅	瓦	乾	侃	冠	寒	刊	勘	勧	巻	喚	堪	姦	完	官	寛	干	幹	患	感	慣	憾	換
21	機	帰	毅	気	汽	畿	祈	季	稀	紀	徽	規	記	貴	起	軌	輝	飢	騎	鬼	亀	偽	儀	妓	宜
22	供	侠	僑	兇	競	共	凶	協	匡	卿	叫	喬	境	峡	強	彊	怯	恐	恭	挟	教	橋	況	狂	狭
23	掘	窟	沓	靴	轡	窪	熊	隈	粂	栗	繰	桑	鍬	勲	君	薫	訓	群	軍	郡	卦	袈	祁	係	傾
24	検	権	牽	犬	献	研	硯	絹	県	肩	見	謙	賢	軒	遣	鍵	険	顕	験	鹸	元	原	厳	幻	弦
25	后	喉	坑	垢	好	孔	孝	宏	工	巧	巷	幸	広	庚	康	弘	恒	慌	抗	拘	控	攻	昂	晃	更
26	此	頃	今	困	坤	墾	婚	恨	懇	昏	昆	根	梱	混	痕	紺	艮	魂	些	佐	叉	唆	嵯	左	差
27	察	拶	撮	擦	札	殺	薩	雑	皐	鯖	捌	錆	鮫	皿	晒	三	傘	参	山	惨	撒	散	桟	燦	珊
28	次	滋	治	爾	璽	痔	磁	示	而	耳	自	蒔	辞	汐	鹿	式	識	鴫	竺	軸	宍	雫	七	叱	執
29	宗	就	州	修	愁	拾	洲	秀	秋	終	繍	習	臭	舟	蒐	衆	襲	讐	蹴	輯	週	酋	酬	集	醜
30	勝	匠	升	召	哨	商	唱	嘗	奨	妾	娼	宵	将	小	少	尚	庄	床	廠	彰	承	抄	招	掌	捷
31	拭	植	殖	燭	織	職	色	触	食	蝕	辱	尻	伸	信	侵	唇	娠	寝	審	心	慎	振	新	晋	森
32	澄	摺	寸	世	瀬	畝	是	凄	制	勢	姓	征	性	成	政	整	星	晴	棲	栖	正	清	牲	生	盛
33	繊	羨	腺	舛	船	薦	詮	賎	践	選	遷	銭	銑	閃	鮮	前	善	漸	然	全	禅	繕	膳	糎	噌
34	臓	蔵	贈	造	促	側	則	即	息	捉	束	測	足	速	俗	属	賊	族	続	卒	袖	其	揃	存	孫
35	叩	但	達	辰	奪	脱	巽	竪	辿	棚	谷	狸	鱈	樽	誰	丹	単	嘆	坦	担	探	旦	歎	淡	湛
36	帖	帳	庁	弔	張	彫	徴	懲	挑	暢	朝	潮	牒	町	眺	聴	脹	腸	蝶	調	諜	超	跳	銚	長
37	邸	鄭	釘	鼎	泥	摘	擢	敵	滴	的	笛	適	鏑	溺	哲	徹	撤	轍	迭	鉄	典	填	天	展	店
38	董	蕩	藤	討	謄	豆	踏	逃	透	鐙	陶	頭	騰	闘	働	動	同	堂	導	憧	撞	洞	瞳	童	胴
39	如	尿	韮	任	妊	忍	認	濡	禰	祢	寧	葱	猫	熱	年	念	捻	撚	燃	粘	乃	廼	之	埜	嚢
40	函	箱	硲	箸	肇	筈	櫨	幡	肌	畑	畠	八	鉢	溌	発	醗	髪	伐	罰	抜	筏	閥	鳩	噺	塙

点

区＼点	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50
01	〆	○	ー	―	‐	／	＼	～	‖	｜	…	‥	‘	’	“	”	（	）	〔	〕	［	］	｛	｝	〈
02	∈	∋	⊆	⊇	⊂	⊃	∪	∩									∧	∨	¬	⇒	⇔	∀	∃		
03								A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R
04	ず	せ	ぜ	そ	ぞ	た	だ	ち	ぢ	っ	つ	づ	て	で	と	ど	な	に	ぬ	ね	の	は	ば	ぱ	ひ
05	ズ	セ	ゼ	ソ	ゾ	タ	ダ	チ	ヂ	ッ	ツ	ヅ	テ	デ	ト	ド	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	バ	パ	ヒ
06								α	β	γ	δ	ε	ζ	η	θ	ι	κ	λ	μ	ν	ξ	ο	π	ρ	σ
07	Ш	Щ	Ъ	Ы	Ь	Э	Ю	Я																а	б
08	┷	┿	┝	┰	┥	┸	╂																		
09																									
10																									
11																									
12																									
13																									
14																									
15																									
16	虻	飴	絢	綾	鮎	或	粟	袷	安	庵	按	暗	案	闇	鞍	杏	以	伊	位	依	偉	囲	夷	委	威
17	浦	瓜	閏	噂	云	運	雲	荏	餌	叡	営	嬰	影	映	曳	栄	永	泳	洩	瑛	盈	穎	頴	英	衛
18	穏	音	下	化	仮	何	伽	価	佳	加	可	嘉	夏	嫁	家	寡	科	暇	果	架	歌	河	火	珂	禍
19	該	鎧	骸	浬	馨	蛙	垣	柿	蛎	鈎	劃	嚇	各	廓	拡	撹	格	核	殻	獲	確	穫	覚	角	赫
20	敢	柑	桓	棺	款	歓	汗	漢	澗	潅	環	甘	監	看	竿	管	簡	緩	缶	翰	肝	艦	莞	観	諌
21	戯	技	擬	欺	犠	疑	祇	義	蟻	誼	議	掬	菊	鞠	吉	吃	喫	桔	橘	詰	砧	杵	黍	却	客
22	矯	胸	脅	興	蕎	郷	鏡	響	饗	驚	仰	凝	尭	暁	業	局	曲	極	玉	桐	粁	僅	勤	均	巾
23	刑	兄	啓	圭	珪	型	契	形	径	恵	慶	慧	憩	掲	携	敬	景	桂	渓	畦	稽	系	経	継	繋
24	減	源	玄	現	絃	舷	言	諺	限	乎	個	古	呼	固	姑	孤	己	庫	弧	戸	故	枯	湖	狐	糊
25	杭	校	梗	構	江	洪	浩	港	溝	甲	皇	硬	稿	糠	紅	紘	絞	綱	耕	考	肯	肱	腔	膏	航
26	査	沙	瑳	砂	詐	鎖	裟	坐	座	挫	債	催	再	最	哉	塞	妻	宰	彩	才	採	栽	歳	済	災
27	産	算	纂	蚕	讃	賛	酸	餐	斬	暫	残	仕	仔	伺	使	刺	司	史	嗣	四	士	始	姉	姿	子
28	失	嫉	室	悉	湿	漆	疾	質	実	蔀	篠	偲	柴	芝	屡	蕊	縞	舎	写	射	捨	赦	斜	煮	社
29	什	住	充	十	従	戎	柔	汁	渋	獣	縦	重	銃	叔	夙	宿	淑	祝	縮	粛	塾	熟	出	術	述
30	昇	昌	昭	晶	松	梢	樟	樵	沼	消	渉	湘	焼	焦	照	症	省	硝	礁	祥	称	章	笑	粧	紹
31	榛	浸	深	申	疹	真	神	秦	紳	臣	芯	薪	親	診	身	辛	進	針	震	人	仁	刃	塵	壬	尋
32	精	聖	声	製	西	誠	誓	請	逝	醒	青	静	斉	税	脆	隻	席	惜	戚	斥	昔	析	石	積	籍
33	塑	岨	措	曾	曽	楚	狙	疏	疎	礎	祖	租	粗	素	組	蘇	訴	阻	遡	鼠	僧	創	双	叢	倉
34	尊	損	村	遜	他	多	太	汰	詑	唾	堕	妥	惰	打	柁	舵	楕	陀	駄	騨	体	堆	対	耐	岱
35	炭	短	端	箪	綻	耽	胆	蛋	誕	鍛	団	壇	弾	断	暖	檀	段	男	談	値	知	地	弛	恥	智
36	頂	鳥	勅	捗	直	朕	沈	珍	賃	鎮	陳	津	墜	椎	槌	追	鎚	痛	通	塚	栂	掴	槻	佃	漬
37	添	纏	甜	貼	転	顛	点	伝	殿	澱	田	電	兎	吐	堵	塗	妬	屠	徒	斗	杜	渡	登	菟	賭
38	萄	道	銅	峠	鴇	匿	得	徳	涜	特	督	禿	篤	毒	独	読	栃	橡	凸	突	椴	届	鳶	苫	寅
39	悩	濃	納	能	脳	膿	農	覗	蚤	巴	把	播	覇	杷	波	派	琶	破	婆	罵	芭	馬	俳	廃	拝
40	蛤	隼	伴	判	半	反	叛	帆	搬	斑	板	氾	汎	版	犯	班	畔	繁	般	藩	販	範	釆	煩	頒

区点コード一覧表（つづき）

区＼点	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75
01	〉	《	》	「	」	『	』	【	】	＋	－	±	×	÷	＝	≠	＜	＞	≦	≧	∞	∴	♂	♀	°
02										∠	⊥	⌒	∂	∇	≡	≒	≪	≫	√	∽	∝	∵	∫	∬	
03	S	T	U	V	W	X	Y	Z	∓						a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k
04	び	ぴ	ふ	ぶ	ぷ	へ	べ	ぺ	ほ	ぼ	ぽ	ま	み	む	め	も	ゃ	や	ゅ	ゆ	ょ	よ	ら	り	る
05	ビ	ピ	フ	ブ	プ	ヘ	ベ	ペ	ホ	ボ	ポ	マ	ミ	ム	メ	モ	ャ	ヤ	ュ	ユ	ョ	ヨ	ラ	リ	ル
06	τ	υ	φ	χ	ψ	ω																			
07	в	г	д	е	ё	ж	з	и	й	к	л	м	н	о	п	р	с	т	у	ф	х	ц	ч	ш	щ
08																									
09																									
10																									
11																									
12																									
13																									
14																									
15																									
16	尉	惟	意	慰	易	椅	為	畏	異	移	維	緯	胃	萎	衣	謂	違	遺	医	井	亥	域	育	郁	磯
17	詠	鋭	液	疫	益	駅	悦	謁	越	閲	榎	厭	円	園	堰	奄	宴	延	怨	掩	援	沿	演	炎	焔
18	禾	稼	箇	花	苛	茄	荷	華	菓	蝦	課	嘩	貨	迦	過	霞	蚊	俄	峨	我	牙	画	臥	芽	蛾
19	較	郭	閣	隔	革	学	岳	楽	額	顎	掛	笠	樫	橿	梶	鰍	潟	割	喝	恰	括	活	渇	滑	葛
20	貫	還	鑑	間	閑	関	陥	韓	館	舘	丸	含	岸	巌	玩	癌	眼	岩	翫	贋	雁	頑	顔	願	企
21	脚	虐	逆	丘	久	仇	休	及	吸	宮	弓	急	救	朽	求	汲	泣	灸	球	究	窮	笈	級	糾	給
22	錦	斤	欣	欽	琴	禁	禽	筋	緊	芹	菌	衿	襟	謹	近	金	吟	銀	九	倶	句	区	狗	玖	矩
23	罫	茎	荊	蛍	計	詣	警	軽	頚	鶏	芸	迎	鯨	劇	戟	撃	激	隙	桁	傑	欠	決	潔	穴	結
24	袴	股	胡	菰	虎	誇	跨	鈷	雇	顧	鼓	五	互	伍	午	呉	吾	娯	後	御	悟	梧	檎	瑚	碁
25	荒	行	衡	講	貢	購	郊	酵	鉱	砿	鋼	閤	降	項	香	高	鴻	剛	劫	号	合	壕	拷	濠	豪
26	采	犀	砕	砦	祭	斎	細	菜	裁	載	際	剤	在	材	罪	財	冴	坂	阪	堺	榊	肴	咲	崎	埼
27	屍	市	師	志	思	指	支	孜	斯	施	旨	枝	止	死	氏	獅	祉	私	糸	紙	紫	肢	脂	至	視
28	紗	者	謝	車	遮	蛇	邪	借	勺	尺	杓	灼	爵	酌	釈	錫	若	寂	弱	惹	主	取	守	手	朱
29	俊	峻	春	瞬	竣	舜	駿	准	循	旬	楯	殉	淳	準	潤	盾	純	巡	遵	醇	順	処	初	所	暑
30	肖	菖	蒋	蕉	衝	裳	訟	証	詔	詳	象	賞	醤	鉦	鍾	鐘	障	鞘	上	丈	丞	乗	冗	剰	城
31	甚	尽	腎	訊	迅	陣	靭	笥	諏	須	酢	図	厨	逗	吹	垂	帥	推	水	炊	睡	粋	翠	衰	遂
32	績	脊	責	赤	跡	蹟	碩	切	拙	接	摂	折	設	窃	節	説	雪	絶	舌	蝉	仙	先	千	占	宣
33	喪	壮	奏	爽	宋	層	匝	惣	想	捜	掃	挿	掻	操	早	曹	巣	槍	槽	漕	燥	争	痩	相	窓
34	帯	待	怠	態	戴	替	泰	滞	胎	腿	苔	袋	貸	退	逮	隊	黛	鯛	代	台	大	第	醍	題	鷹
35	池	痴	稚	置	致	蜘	遅	馳	築	畜	竹	筑	蓄	逐	秩	窒	茶	嫡	着	中	仲	宙	忠	抽	昼
36	柘	辻	蔦	綴	鍔	椿	潰	坪	壷	嬬	紬	爪	吊	釣	鶴	亭	低	停	偵	剃	貞	呈	堤	定	帝
37	途	都	鍍	砥	砺	努	度	土	奴	怒	倒	党	冬	凍	刀	唐	塔	塘	套	宕	島	嶋	悼	投	搭
38	酉	瀞	噸	屯	惇	敦	沌	豚	遁	頓	呑	曇	鈍	奈	那	内	乍	凪	薙	謎	灘	捺	鍋	楢	馴
39	排	敗	杯	盃	牌	背	肺	輩	配	倍	培	媒	梅	楳	煤	狽	買	売	賠	陪	這	蝿	秤	矧	萩
40	飯	挽	晩	番	盤	磐	蕃	蛮	匪	卑	否	妃	庇	彼	悲	扉	批	披	斐	比	泌	疲	皮	碑	秘

区＼点	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94
01	′	″	℃	￥	＄	￠	￡	％	＃	＆	＊	＠	§	☆	★	○	●	◎	◇
02							Å	‰	♯	♭	♪	†	‡	¶					
03	l	m	n	o	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z				
04	れ	ろ	ゎ	わ	ゐ	ゑ	を	ん											
05	レ	ロ	ヮ	ワ	ヰ	ヱ	ヲ	ン	ヴ	ヵ	ヶ								
06																			
07	ъ	ы	ь	э	ю	я													
08																			
09																			
10																			
11																			
12																			
13																			
14																			
15																			
16	一	壱	溢	逸	稲	茨	芋	鰯	允	印	咽	員	因	姻	引	飲	淫	胤	蔭
17	煙	燕	猿	縁	艶	苑	薗	遠	鉛	鴛	塩	於	汚	甥	凹	央	奥	往	応
18	賀	雅	餓	駕	介	会	解	回	塊	壊	廻	快	怪	悔	恢	懐	戒	拐	改
19	褐	轄	且	鰹	叶	椛	樺	鞄	株	兜	竃	蒲	釜	鎌	噛	鴨	栢	茅	萱
20	伎	危	喜	器	基	奇	嬉	寄	岐	希	幾	忌	揮	机	旗	既	期	棋	棄
21	旧	牛	去	居	巨	拒	拠	挙	渠	虚	許	距	鋸	漁	禦	魚	亨	享	京
22	苦	躯	駆	駈	駒	具	愚	虞	喰	空	偶	寓	遇	隅	串	櫛	釧	屑	屈
23	血	訣	月	件	倹	倦	健	兼	券	剣	喧	圏	堅	嫌	建	憲	懸	拳	捲
24	語	誤	護	醐	乞	鯉	交	佼	侯	候	倖	光	公	功	効	勾	厚	口	向
25	轟	麹	克	刻	告	国	穀	酷	鵠	黒	獄	漉	腰	甑	忽	惚	骨	狛	込
26	碕	鷺	作	削	咋	搾	昨	朔	柵	窄	策	索	錯	桜	鮭	笹	匙	冊	刷
27	詞	詩	試	誌	諮	資	賜	雌	飼	歯	事	似	侍	児	字	寺	慈	持	時
28	殊	狩	珠	種	腫	趣	酒	首	儒	受	呪	寿	授	樹	綬	需	囚	収	周
29	曙	渚	庶	緒	署	書	薯	藷	諸	助	叙	女	序	徐	恕	鋤	除	傷	償
30	場	壌	嬢	常	情	擾	条	杖	浄	状	畳	穣	蒸	譲	醸	錠	嘱	埴	飾
31	酔	錐	錘	随	瑞	髄	崇	嵩	数	枢	趨	雛	据	杉	椙	菅	頗	雀	裾
32	専	尖	川	戦	扇	撰	栓	栴	泉	浅	洗	染	潜	煎	煽	旋	穿	箭	線
33	糟	総	綜	聡	草	荘	葬	蒼	藻	装	走	送	遭	鎗	霜	騒	像	増	憎
34	滝	瀧	卓	啄	宅	托	択	拓	沢	濯	琢	託	鐸	濁	諾	茸	凧	蛸	只
35	柱	注	虫	衷	註	酎	鋳	駐	樗	瀦	猪	苧	著	貯	丁	兆	凋	喋	寵
36	底	庭	廷	弟	悌	抵	挺	提	梯	汀	碇	禎	程	締	艇	訂	諦	蹄	逓
37	東	桃	梼	棟	盗	淘	湯	涛	灯	燈	当	痘	祷	等	答	筒	糖	統	到
38	縄	畷	南	楠	軟	難	汝	二	尼	弐	迩	匂	賑	肉	虹	廿	日	乳	入
39	伯	剥	博	拍	柏	泊	白	箔	粕	舶	薄	迫	曝	漠	爆	縛	莫	駁	麦
40	緋	罷	肥	被	誹	費	避	非	飛	樋	簸	備	尾	微	枇	毘	琵	眉	美

その他

区点コード一覧表（つづき）

区＼点	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25
41	鼻	柊	稗	匹	疋	髭	彦	膝	菱	肘	弼	必	畢	筆	逼	桧	姫	媛	紐	百	謬	俵	彪	標	氷
42	福	腹	複	覆	淵	弗	払	沸	仏	物	鮒	分	吻	噴	墳	憤	扮	焚	奮	粉	糞	紛	雰	文	聞
43	法	泡	烹	砲	縫	胞	芳	萌	蓬	蜂	褒	訪	豊	邦	鋒	飽	鳳	鵬	乏	亡	傍	剖	坊	妨	帽
44	漫	蔓	味	未	魅	巳	箕	岬	密	蜜	湊	蓑	稔	脈	妙	粍	民	眠	務	夢	無	牟	矛	霧	鵡
45	諭	輸	唯	佑	優	勇	友	宥	幽	悠	憂	揖	有	柚	湧	涌	猶	猷	由	祐	裕	誘	遊	邑	郵
46	痢	裏	裡	里	離	陸	律	率	立	葎	掠	略	劉	流	溜	琉	留	硫	粒	隆	竜	龍	侶	慮	旅
47	蓮	連	錬	呂	魯	櫓	炉	賂	路	露	労	婁	廊	弄	朗	楼	榔	浪	漏	牢	狼	篭	老	聾	蝋
48	弌	丐	丕	个	丱	丶	丼	丿	乂	乖	乘	亂	亅	豫	亊	舒	弍	于	亞	亟	亠	亢	亰	亳	亶
49	僉	僊	傳	僂	僖	僞	僥	僭	僣	僮	價	僵	儉	儁	儂	儖	儕	儔	儚	儡	儺	儷	儼	儻	儿
50	辧	劬	劭	劼	劵	勁	勍	勗	勞	勣	勦	飭	勠	勳	勵	勸	勹	匆	匈	甸	匍	匐	匏	匕	匚
51	咫	哂	咤	咾	咼	哘	哥	哦	唏	唔	哽	哮	哭	哺	哢	唹	啀	啣	啌	售	啜	啅	啖	啗	唸
52	圈	國	圍	圓	團	圖	嗇	圜	圦	圷	圸	坎	圻	址	坏	坩	埀	垈	坡	坿	垉	垓	垠	垳	垤
53	奸	妁	妝	佞	侫	妣	妲	姆	姨	姜	妍	姙	姚	娥	娟	娑	娜	娉	娚	婀	婬	婉	娵	娶	婢
54	屐	屏	屓	屬	屮	乢	屶	屹	岌	岑	岔	妛	岫	岻	岶	岼	岷	峅	岾	峇	峙	峩	峽	峺	峭
55	廖	廣	廝	廚	廛	廢	廡	廨	廩	廬	廱	廳	廰	廴	廸	廾	弃	弉	彝	彜	弋	弑	弖	弩	弭
56	悄	悛	悖	悗	悒	悧	悋	惡	悸	惠	惓	悴	忰	悽	惆	悵	惘	慍	愕	愆	惶	惷	愀	惴	惺
57	戞	戡	截	戮	戰	戲	戳	扁	扎	扞	扣	扛	扠	扨	扼	抂	抉	找	抒	抓	抖	拔	抃	抔	拗
58	據	擒	擅	擇	撻	擘	擂	擱	擧	舉	擠	擡	抬	擣	擯	攬	擶	擴	擲	擺	攀	擽	攘	攜	攅
59	曄	曉	曖	曚	曠	昿	曦	曩	曰	曵	曷	朏	朖	朞	朦	朧	霸	朮	朿	朶	杁	朸	朷	杆	杞
60	棔	棧	棕	椶	椒	椄	棗	棣	椥	棹	棠	棯	椨	椪	椚	椣	椡	棆	楹	楷	楜	楸	楫	楔	楾
61	檗	蘖	檻	櫃	櫂	檸	檳	檬	櫞	櫑	櫟	檪	櫚	櫪	櫻	欅	蘗	櫺	欒	欖	鬱	欟	欸	欷	盜
62	沺	泛	泯	泙	泪	洟	衍	洶	洫	洽	洸	洙	洵	洳	洒	洌	浣	涓	浤	浚	浹	浙	涎	涕	濤
63	漾	漓	滷	澆	潺	潸	澁	澀	潯	潛	濳	潭	澂	潼	潘	澎	澑	濂	潦	澳	澣	澡	澤	澹	濆
64	燹	燿	爍	爐	爛	爨	爭	爬	爰	爲	爻	爼	爿	牀	牆	牋	牘	牴	牾	犂	犁	犇	犒	犖	犢
65	瓠	瓣	瓧	瓩	瓮	瓲	瓰	瓱	瓸	瓷	甄	甃	甅	甌	甎	甍	甕	甓	甞	甦	甬	甼	畄	畍	畊
66	癲	癶	癸	發	皀	皃	皈	皋	皎	皖	皓	皙	皚	皰	皴	皸	皹	皺	盂	盍	盖	盒	盞	盡	盥
67	磧	磚	磽	磴	礇	礒	礑	礙	礬	礫	祀	祠	祗	祟	祚	祕	祓	祺	祿	禊	禝	禧	齋	禪	禮
68	筺	笄	筍	笋	筌	筅	筵	筥	筴	筧	筰	筱	筬	筮	箝	箘	箟	箍	箜	箚	箋	箒	箏	筝	箙
69	紂	紜	紕	紊	絅	絋	紮	紲	紿	紵	絆	絳	絖	絎	絲	絨	絮	絏	絣	經	綉	絛	綏	絽	綛
70	罅	罌	罍	罎	罐	网	罕	罔	罘	罟	罠	罨	罩	罧	罸	羂	羆	羃	羈	羇	羌	羔	羞	羝	羚
71	隋	腆	脾	腓	腑	胼	腱	腮	腥	腦	腴	膃	膈	膊	膀	膂	膠	膕	膤	膣	腟	膓	膩	膰	膵
72	茵	茴	茖	茲	茱	荀	茹	荐	荅	茯	茫	茗	茘	莅	莚	莪	莟	莢	莖	茣	莎	莇	莊	荼	莵
73	蕁	蘂	蕋	蕕	薀	薤	薈	薑	薊	薨	蕭	薔	薛	藪	薇	薜	蕷	蕾	薐	藉	薺	藏	薹	藐	藕
74	蝓	蝣	蝪	蠅	螢	螟	螂	螯	蟋	螽	蟀	蟐	雖	螫	蟄	螳	蟇	蟆	螻	蟯	蟲	蟠	蠏	蠍	蟾
75	襦	襤	襭	襪	襯	襴	襷	襾	覃	覈	覊	覓	覘	覡	覩	覦	覬	覯	覲	覺	覽	覿	觀	觚	觜
76	譟	譬	譯	譴	譽	讀	讌	讎	讒	讓	讖	讙	讚	谺	豁	谿	豈	豌	豎	豐	豕	豢	豬	豸	豺
77	蹇	蹉	蹌	蹐	蹈	蹙	蹤	蹠	踪	蹣	蹕	蹶	蹲	蹼	躁	躇	躅	躄	躋	躊	躓	躑	躔	躙	躪
78	遏	遐	遑	遒	逎	遉	逾	遖	遘	遞	遨	遯	遶	隨	遲	邂	遽	邁	邀	邊	邉	邏	邨	邯	邱
79	錙	錢	錚	錣	錺	錵	錻	鍜	鍠	鍼	鍮	鍖	鎰	鎬	鎭	鎔	鎹	鏖	鏗	鏨	鏥	鏘	鏃	鏝	鏐
80	陜	陟	陦	陲	陬	隍	隘	隕	隗	險	隧	隱	隲	隰	隴	隶	隸	隹	雎	雋	雉	雍	襍	雜	霍
81	顱	顴	顳	颪	颯	颱	颶	飄	飃	飆	飩	飫	餃	餉	餒	餔	餘	餡	餝	餞	餤	餠	餬	餮	餽
82	髫	鬆	鬘	鬚	鬟	鬢	鬣	鬥	鬧	鬨	鬩	鬪	鬮	鬯	鬲	魄	魃	魏	魍	魎	魑	魘	魴	鮓	鮃
83	鵝	鵞	鵤	鵑	鵐	鵙	鵲	鶉	鶇	鶫	鵯	鵺	鶚	鶤	鶩	鶲	鷄	鷁	鶻	鶸	鶺	鷆	鷏	鷂	鷙
84	堯	槇	遙	瑤	凜	熙																			

区＼点	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50
41	漂	瓢	票	表	評	豹	廟	描	病	秒	苗	錨	鋲	蒜	蛭	鰭	品	彬	斌	浜	瀕	貧	賓	頻	敏
42	丙	併	兵	塀	幣	平	弊	柄	並	蔽	閉	陛	米	頁	僻	壁	癖	碧	別	瞥	蔑	箆	偏	変	片
43	忘	忙	房	暴	望	某	棒	冒	紡	肪	膨	謀	貌	貿	鉾	防	吠	頬	北	僕	卜	墨	撲	朴	牧
44	椋	婿	娘	冥	名	命	明	盟	迷	銘	鳴	姪	牝	滅	免	棉	綿	緬	面	麺	摸	模	茂	妄	孟
45	雄	融	夕	予	余	与	誉	輿	預	傭	幼	妖	容	庸	揚	揺	擁	曜	楊	様	洋	溶	熔	用	窯
46	虜	了	亮	僚	両	凌	寮	料	梁	涼	猟	療	瞭	稜	糧	良	諒	遼	量	陵	領	力	緑	倫	厘
47	郎	六	麓	禄	肋	録	論	倭	和	話	歪	賄	脇	惑	枠	鷲	亙	亘	鰐	詫	藁	蕨	椀	湾	碗
48	从	仍	仄	仆	仂	仗	仞	仭	仟	价	伉	佚	估	佛	佝	佗	佇	佶	侈	侏	侘	佻	佩	佰	侑
49	兀	兒	兌	兔	兢	竸	兩	兪	兮	冀	冂	囘	册	冉	冏	冑	冓	冕	冖	冤	冦	冢	冩	冪	冫
50	匣	匯	匱	匳	匸	區	卆	卅	丗	卉	卍	凖	卞	卩	卮	夘	卻	卷	厂	厖	厠	厦	厥	厮	厰
51	唳	啝	喙	喀	咯	喊	喟	啻	啾	喘	喞	單	啼	喃	喩	喇	喨	嗚	嗅	嗟	嗄	嗜	嗤	嗔	嘔
52	垪	垰	埃	埆	埔	埒	埓	堊	埖	埣	堋	堙	堝	塲	堡	塢	塋	塰	毀	塒	堽	塹	墅	墹	墟
53	婁	媚	媼	媾	嫋	嫂	媽	嫣	嫗	嫦	嫩	嫖	嫺	嫻	嬌	嬋	嬖	嬲	嫐	嬪	嬶	嬾	孃	孅	孀
54	嶌	峪	崋	崕	崗	嵜	崟	崛	崑	崔	崢	崚	崙	崘	嵌	嵒	嵎	嵋	嵬	嵳	嵶	嶇	嶄	嶂	嶢
55	弸	彁	彈	彌	彎	弯	彑	彖	彗	彙	彡	彭	彳	彷	徃	徂	彿	徊	很	徑	徇	從	徙	徘	徠
56	愃	愡	惻	惱	愍	愎	慇	愾	愨	愧	慊	愿	愼	愬	愴	愽	慂	慄	慳	慷	慘	慙	慚	慫	慴
57	拑	抻	拏	拿	拆	擔	拈	拜	拌	拊	拂	拇	抛	拉	挌	拮	拱	挧	挂	挈	拯	拵	捐	挾	捍
58	攤	攣	攫	攴	攵	攷	收	攸	畋	效	敖	敕	敍	敘	敞	敝	敲	數	斂	斃	變	斛	斟	斫	斷
59	杠	杙	杣	杤	枉	杰	枩	杼	杪	枌	枋	枦	枡	枅	枷	柯	枴	柬	枳	柩	枸	柤	柞	柝	柢
60	楮	椹	楴	椽	楙	椰	楡	楞	楝	榁	楪	榲	榮	槐	榿	槁	槓	榾	槎	寨	槊	槝	榻	槃	榧
61	欹	飮	歇	歃	歉	歐	歙	歔	歛	歟	歡	歸	歹	歿	殀	殄	殃	殍	殘	殕	殞	殤	殪	殫	殯
62	涅	淹	渕	渊	涵	淇	淦	涸	淆	淬	淞	淌	淨	淒	淅	淺	淙	淤	淕	淪	淮	渭	湮	渮	渙
63	濤	濟	濕	濬	濔	濘	濱	濮	濛	瀉	瀋	濺	瀑	瀁	瀏	濾	瀛	瀚	潴	瀝	瀘	瀟	瀰	瀾	瀲
64	犧	犹	犲	狃	狆	狄	狎	狒	狢	狠	狡	狹	狷	倏	猗	猊	猜	猖	猝	猴	猯	猩	猥	猾	獎
65	畉	畛	畆	畚	畩	畤	畧	畫	畭	畸	當	疆	疇	畴	疊	疉	疂	疔	疚	疝	疥	疣	痂	疳	痃
66	盧	盪	盬	盻	眈	眇	眄	眩	眤	眞	眥	眦	眛	眷	眸	睇	睚	睨	睫	睛	睥	睿	睾	睹	瞎
67	禳	禹	禺	秉	秕	秧	秬	秡	秣	稈	稍	稘	稙	稠	稟	禀	稱	稻	稾	稷	穃	穗	穉	穡	穢
68	篋	篁	篌	篏	箴	篆	篝	篩	簑	簔	篦	篥	籠	簀	簇	簓	篳	篷	簗	簍	篶	簣	簧	簪	簟
69	綺	綮	綣	綵	緇	綽	綫	總	綢	綯	緜	綸	綟	綰	緘	緝	緤	緞	緻	緲	緡	縅	縊	縣	縡
70	羣	羯	羲	羹	羮	羶	羸	譱	翅	翆	翊	翕	翔	翡	翦	翩	翳	翹	飜	耆	耄	耋	耒	耘	耙
71	膾	膸	膽	臀	臂	膺	臉	臍	臑	臙	臘	臈	臚	臟	臠	臧	臺	臻	臾	舁	舂	舅	與	舊	舍
72	荳	荵	莠	莉	莨	菴	萓	菫	菎	菽	萃	菘	萋	菁	菷	萇	菠	菲	萍	萢	萠	莽	萸	蔆	菻
73	藝	藥	藜	藹	蘊	蘓	蘋	藾	藺	蘆	蘢	蘚	蘰	蘿	虍	乕	虔	號	虧	虱	蚓	蚣	蚩	蚪	蚋
74	蟶	蟷	蠎	蟒	蠑	蠖	蠕	蠢	蠡	蠱	蠶	蠹	蠧	蠻	衄	衂	衒	衙	衞	衢	衫	袁	衾	袞	衵
75	觝	觧	觴	觸	訃	訖	訐	訌	訛	訝	訥	訶	詁	詛	詒	詆	詈	詼	詭	詬	詢	誅	誂	誄	誨
76	貂	貉	貅	貊	貍	貎	貔	豼	貘	戝	貭	貪	貽	貲	貳	貮	貶	賈	賁	賤	賣	賚	賽	賺	賻
77	躡	躬	躰	軆	躱	躾	軅	軈	軋	軛	軣	軼	軻	軫	軾	輊	輅	輕	輒	輙	輓	輜	輟	輛	輌
78	邵	郢	郤	扈	郛	鄂	鄒	鄙	鄲	鄰	酊	酖	酘	酣	酥	酩	酳	酲	醋	醉	醂	醢	醫	醯	醪
79	鏈	鏤	鐚	鐔	鐓	鐃	鐇	鐐	鐶	鐫	鐵	鐡	鐺	鑁	鑒	鑄	鑛	鑠	鑢	鑞	鑪	鈩	鑰	鑵	鑷
80	雕	雹	霄	霆	霈	霓	霎	霑	霏	霖	霙	霤	霪	霰	霹	霽	霾	靄	靆	靈	靂	靉	靜	靠	靤
81	餾	饂	饉	饅	饐	饋	饑	饒	饌	饕	馗	馘	馥	馭	馮	馼	駟	駛	駝	駘	駑	駭	駮	駱	駲
82	鮑	鮖	鮗	鮟	鮠	鮨	鮴	鯀	鯊	鮹	鯆	鯏	鯑	鯒	鯣	鯢	鯤	鯔	鯡	鰺	鯲	鯱	鯰	鰕	鰔
83	鷓	鷸	鷦	鷭	鷯	鷽	鸚	鸛	鸞	鹵	鹹	鹽	麁	麈	麋	麌	麒	麕	麑	麝	麥	麩	麸	麪	麭
84																									

その他

区点コード一覧表（つづき）

区＼点	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75
41	瓶	不	付	埠	夫	婦	富	冨	布	府	怖	扶	敷	斧	普	浮	父	符	腐	膚	芙	譜	負	賦	赴
42	篇	編	辺	返	遍	便	勉	娩	弁	鞭	保	舗	鋪	圃	捕	歩	甫	補	輔	穂	募	墓	慕	戊	暮
43	睦	穆	釦	勃	没	殆	堀	幌	奔	本	翻	凡	盆	摩	磨	魔	麻	埋	妹	昧	枚	毎	哩	槙	幕
44	毛	猛	盲	網	耗	蒙	儲	木	黙	目	杢	勿	餅	尤	戻	籾	貰	問	悶	紋	門	匁	也	冶	夜
45	羊	耀	葉	蓉	要	謡	踊	遥	陽	養	慾	抑	欲	沃	浴	翌	翼	淀	羅	螺	裸	来	莱	頼	雷
46	林	淋	燐	琳	臨	輪	隣	鱗	麟	瑠	塁	涙	累	類	令	伶	例	冷	励	嶺	怜	玲	礼	苓	鈴
47	腕																								
48	佯	來	侖	儘	俔	俟	俎	俘	俛	俑	俚	俐	俤	俥	倚	倨	倔	倪	倥	倅	伜	俶	倡	倩	倬
49	决	冱	冲	冰	况	冽	凅	凉	凛	几	處	凩	凭	凰	凵	凾	刄	刋	刔	刎	刧	刪	刮	刳	刹
50	厶	參	簒	雙	叟	曼	燮	叮	叨	叭	叺	吁	吽	呀	听	吭	吼	吮	吶	吩	吝	呎	咏	呵	咎
51	嗷	嘖	嗾	嗽	嘛	嗹	噎	噐	營	嘴	嘶	嘲	嘸	噫	噤	嘯	噬	噪	嚆	嚀	嚊	嚠	嚔	嚏	嚥
52	墫	墺	壞	墻	墸	墮	壅	壓	壑	壗	壙	壘	壥	壜	壤	壟	壯	壺	壹	壻	壼	壽	夂	夊	夐
53	孑	孕	孚	孛	孥	孩	孰	孳	孵	學	斈	孺	宀	它	宦	宸	寃	寇	寉	寔	寐	寤	實	寢	寞
54	嶝	嶬	嶮	嶽	嶐	嶷	嶼	巉	巍	巓	巒	巖	巛	巫	已	巵	帋	帚	帙	帑	帛	帶	帷	幄	幃
55	徨	徭	徼	忖	忻	忤	忸	忱	忝	悳	忿	怡	恠	怙	怐	怩	怎	怱	怛	怕	怫	怦	怏	怺	恚
56	慯	慥	慱	慟	慝	慓	慵	憙	憖	憇	憬	憔	憚	憊	憑	憫	憮	懌	懊	應	懷	懈	懃	懆	憺
57	搜	揑	掖	掎	掀	掫	捶	掣	掏	掉	掟	掵	捫	捩	掾	揩	揀	揆	揣	揉	插	揶	揄	搖	搴
58	旃	旆	旁	旄	旌	旒	旛	旙	无	旡	旱	杲	昊	昃	旻	杳	昵	昶	昴	昜	晏	晄	晉	晁	晞
59	柮	枹	柎	柆	柧	檜	栞	框	栩	桀	桍	栲	桎	梳	栫	桙	档	桷	桿	梟	梏	梭	梔	條	梛
60	樮	榑	榠	榜	榕	榴	槞	槨	樂	樛	槿	權	槹	槲	槧	樅	榱	樞	槭	樔	槫	樊	樒	櫁	樣
61	殲	殱	殳	殷	殼	毆	毋	毓	毟	毬	毫	毳	毯	麾	氈	氓	气	氛	氤	氣	汞	汕	汢	汪	沂
62	湲	湟	渾	渣	湫	渫	湶	湍	渟	湃	渺	湎	渤	滿	渝	游	溂	溪	溘	滉	溷	滓	溽	溯	滄
63	灑	灣	炙	炒	炯	烱	炬	炸	炳	炮	烟	烋	烝	烙	焉	烽	焜	焙	煥	煕	熈	煦	煢	煌	煖
64	獏	默	獗	獪	獨	獰	獸	獵	獻	獺	珈	玳	珎	玻	珀	珥	珮	珞	璢	琅	瑯	琥	珸	琲	琺
65	疵	疽	疸	疼	疱	痍	痊	痒	痙	痣	痞	痾	痿	痼	瘁	痰	痺	痲	痳	瘋	瘍	瘉	瘟	瘧	瘠
66	瞋	瞑	瞠	瞞	瞰	瞶	瞹	瞿	瞼	瞽	瞻	矇	矍	矗	矚	矜	矣	矮	矼	砌	砒	礦	砠	礪	硅
67	穩	穐	穰	穹	穽	窈	窗	窕	窘	窖	窩	竈	窰	窶	竅	竄	窿	邃	竇	竊	竍	竏	竕	竓	站
68	簷	簫	簽	籌	籃	籔	籏	籀	籐	籘	籟	籤	籖	籥	籬	籵	粃	粐	粤	粭	粢	粫	粡	粨	粳
69	縒	縱	縟	縉	縋	縢	繆	繦	縻	縵	縹	繃	縷	縲	縺	繧	繝	繖	繞	繙	繚	繹	繪	繩	繼
70	耜	耡	耨	耿	耻	聊	聆	聒	聘	聚	聟	聢	聨	聳	聲	聰	聶	聹	聽	聿	肄	肆	肅	肛	肓
71	舐	舖	舩	舫	舸	舳	艀	艙	艘	艝	艚	艟	艤	艢	艨	艪	艫	舮	艱	艷	艸	艾	芍	芒	芫
72	葭	萪	萼	蕚	蒄	葷	葫	蒭	葮	蒂	葩	葆	萬	葯	葹	萵	蓊	葢	蒹	蒿	蒟	蓙	蓍	蒻	蓚
73	蚌	蚶	蚯	蛄	蛆	蚰	蛉	蠣	蚫	蛔	蛞	蛩	蛬	蛟	蛛	蛯	蜒	蜆	蜈	蜀	蜃	蛻	蜑	蜉	蜍
74	衽	袵	衲	袂	袗	袒	袮	袙	袢	袍	袤	袰	袿	袱	裃	裄	裔	裘	裙	裝	裹	褂	裼	裴	裨
75	誡	誑	誄	誦	誚	誣	諄	諍	諂	諚	諫	諳	諧	諤	諱	謔	諠	諢	諷	諞	諛	謌	謇	謚	諡
76	贄	贅	贊	贇	贏	贍	贐	齎	贓	賍	贔	贖	赧	赭	赱	赳	趁	趙	跂	趾	趺	跏	跚	跖	跌
77	輦	輳	輻	輹	轅	轂	輾	轌	轉	轆	轎	轗	轜	轢	轣	轤	辜	辟	辣	辭	辯	辷	迚	迥	迢
78	醵	醴	醺	釀	釁	釉	釋	釐	釖	釟	釡	釛	釼	釵	釶	鈞	釿	鈔	鈬	鈕	鈑	鉞	鉗	鉅	鉉
79	鑽	鑚	鑼	鑾	钁	鑿	閂	閇	閊	閔	閖	閘	閙	閠	閨	閧	閭	閼	閻	閹	閾	闊	濶	闃	闍
80	靦	靨	勒	靫	靱	靹	鞅	靼	鞁	靺	鞆	鞋	鞏	鞐	鞜	鞨	鞦	鞣	鞳	鞴	韃	韆	韈	韋	韜
81	駻	駸	騁	騏	騅	駢	騙	騫	騷	驅	驂	驀	驃	騾	驕	驍	驛	驗	驟	驢	驥	驤	驩	驫	驪
82	鰉	鰓	鰌	鰆	鰈	鰒	鰊	鰄	鰮	鰛	鰥	鰤	鰡	鰰	鱇	鰲	鱆	鰾	鱚	鱠	鱧	鱶	鱸	鳧	鳬
83	靡	黌	黎	黏	黐	黔	黜	點	黝	黠	黥	黨	黯	黴	黶	黷	黹	黻	黼	黽	鼇	鼈	皷	鼕	鼡
84																									

区＼点	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94
41	阜	附	侮	撫	武	舞	葡	蕪	部	封	楓	風	葺	蕗	伏	副	復	幅	服
42	母	簿	菩	倣	俸	包	呆	報	奉	宝	峰	峯	崩	庖	抱	捧	放	方	朋
43	膜	枕	鮪	柾	鱒	桝	亦	俣	又	抹	末	沫	迄	侭	繭	麿	万	慢	満
44	爺	耶	野	弥	矢	厄	役	約	薬	訳	躍	靖	柳	薮	鑓	愉	愈	油	癒
45	洛	絡	落	酪	乱	卵	嵐	欄	濫	藍	蘭	覧	利	吏	履	李	梨	理	璃
46	隷	零	霊	麗	齢	暦	歴	列	劣	烈	裂	廉	恋	憐	漣	煉	簾	練	聯
47																			
48	俾	俯	們	倆	偃	假	會	偕	偐	偈	做	偖	偬	偸	傀	傚	傅	傴	傲
49	剏	剄	剋	剌	剞	剔	剪	剴	剩	剳	剿	剽	劍	劔	劒	剱	劈	劑	辨
50	呟	呱	呷	呰	咒	呻	咀	呶	咄	咐	咆	哇	咢	咸	咥	咬	哄	哈	咨
51	嚮	嚶	嚴	囂	嚼	囁	囃	囀	囈	囎	囑	囓	囗	囮	囹	圀	囿	圄	圉
52	夛	梦	夥	夬	夭	夲	夸	夾	竒	奕	奐	奎	奚	奘	奢	奠	奧	奬	奩
53	寥	寫	寰	寶	寳	尅	將	專	對	尓	尠	尢	尨	尸	尹	屁	屆	屎	屓
54	幀	幎	幗	幔	幟	幢	幤	幇	幵	并	幺	麼	广	庠	廁	廂	廈	廐	廏
55	恁	恪	恷	恟	恊	恆	恍	恣	恃	恤	恂	恬	恫	恙	悁	悍	惧	悃	悚
56	懋	罹	懍	懦	懞	懶	懺	懴	懿	懽	懼	懾	戀	戈	戉	戍	戌	戔	戛
57	搆	搓	搦	搶	攝	搗	搨	搏	摧	摯	摶	摎	攪	撕	撓	撥	撩	撈	撼
58	晝	晤	晧	晨	晟	晢	晰	暃	暈	暎	暉	暄	暘	暝	曁	暹	曉	暾	暼
59	梃	檮	梹	桴	梵	梠	梺	椏	梍	桾	椁	棊	椈	棘	椢	椦	棡	椌	棍
60	樓	橄	樌	橲	樶	橸	橇	橢	橙	橦	橈	樸	樢	檐	檍	檠	檄	檢	檣
61	沍	沚	沁	沛	汾	汨	汳	沒	沐	泄	泱	泓	沽	泗	泅	泝	沮	沱	沾
62	溲	滔	滕	溏	溥	滂	溟	潁	漑	灌	滬	滸	滾	漿	滲	漱	滯	漲	滌
63	煬	熏	燻	熄	熕	熨	熬	燗	熹	熾	燒	燉	燔	燎	燠	燬	燧	燵	燼
64	瑕	琿	瑟	瑙	瑁	瑜	瑩	瑰	瑣	瑪	瑶	瑾	璋	璞	璧	瓊	瓏	瓔	珱
65	瘡	瘢	瘤	瘴	瘰	瘻	癇	癈	癆	癜	癘	癡	癢	癨	癩	癪	癧	癬	癰
66	碎	硴	碆	硼	碚	碌	碣	碵	碪	碯	磑	磆	磋	磔	碾	碼	磅	磊	磬
67	竏	竕	竡	竢	竦	竭	竰	笂	笏	笊	笆	笳	笘	笙	笞	笵	笨	笶	筐
68	粲	粱	粮	粹	粽	糀	糅	糂	糘	糒	糜	糢	鬻	糯	糲	糴	糶	糺	紆
69	繻	纃	緕	繽	辮	繿	纈	纉	續	纒	纐	纓	纔	纖	纎	纛	纜	缸	缺
70	肚	肭	冐	肬	胛	胥	胙	胝	胄	胚	胖	脉	胯	胱	脛	脩	脣	脯	腋
71	芟	芻	芬	苡	苣	苟	苒	苴	苳	苺	莓	范	苻	苹	苞	茆	苜	茉	苙
72	蓐	蓁	蓆	蓖	蒡	蔡	蓿	蓴	蔗	蔘	蔬	蔟	蔕	蔔	蓼	蕀	蕣	蕘	蕈
73	蛹	蜊	蜴	蜿	蜷	蜻	蜥	蜩	蜚	蝠	蝟	蝸	蝌	蝎	蝴	蝗	蝨	蝮	蝙
74	裲	褄	褌	褊	褓	襃	褞	褥	褪	褫	襁	襄	褻	褶	褸	襌	褝	襠	襞
75	謖	謐	謗	謠	謳	鞫	謦	謫	謾	謨	譁	譌	譏	譎	證	譖	譛	譚	譫
76	跛	跋	跪	跫	跟	跣	跼	踈	踉	跿	踝	踞	踐	踟	蹂	踵	踰	踴	蹊
77	迪	迚	邇	迴	逅	迹	迺	逑	逕	逡	逍	逞	逖	逋	逧	逶	逵	逹	迸
78	鉤	鉈	銕	鈿	鉋	鉐	銜	銖	銓	銛	鉚	鋏	銹	銷	鋩	錏	鋺	鍄	錮
79	闌	闕	闔	闖	關	闡	闥	闢	阡	阨	阮	阯	陂	陌	陏	陋	陷	陜	陞
80	韭	齏	韲	竟	韶	韵	頏	頌	頸	頤	頡	頷	頽	顆	顏	顋	顫	顯	顰
81	骭	骰	骼	髀	髏	髑	髓	體	髞	髟	髢	髣	髦	髯	髫	髮	髴	髱	髷
82	鳬	鴉	鴈	鳫	鴃	鴆	鴪	鴦	鶯	鴣	鴟	鵄	鴕	鴒	鵁	鴿	鴾	鵆	鵈
83	鼬	鼾	齊	齒	齔	齣	齟	齠	齡	齦	齧	齬	齪	齷	齲	齶	龕	龜	龠
84																			

その他

受信チャンネル一覧表

一括チャンネル合わせの地域表

お住まいの地域が表中に記載されていないときは、受信できるテレビ局をひとつずつ設定してください。（☞43ページ）また、表中のガイドチャンネルとは、各テレビ放送局に付けられた、放送局専用の番号です。
Gコード予約をするために必要になります。（実際のチャンネルとは異なる場合があります。）

この表の見かた

本機でのチャンネル表示番号

	地域	放送局名・受信チャンネル／ガ		
		1	2	
都道 府県名	地域名 （対応都市）	放送局名 受信チャンネル／ガイドチャンネル	放送局名 受信チャンネル／ガイドチャンネル	受信チャン

映らないときは、お近くの地域も試してください。

（2004年6月現在）

	地　域	放送局名・受信チャンネル/ガイドチャンネル											
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
ー	初期設定	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
北海道	札幌（江別）	北海道放送 1/1		NHK総合 3/80		札幌テレビ 5/5			北海道文化 27/27		北海道テレビ 35/35	テレビ北海道 17/17	NHK教育 12/90
	小樽		NHK教育 2/90		北海道テレビ 4/35			札幌テレビ 7/5	北海道文化 26/27	北海道放送 9/1		NHK総合 11/80	テレビ北海道 24/17
	旭川		NHK教育 2/90	北海道文化 37/27		北海道テレビ 39/35		札幌テレビ 7/5		NHK総合 9/80		北海道放送 11/1	テレビ北海道 33/17
	名寄			北海道文化 26/27	NHK総合 4/80		札幌テレビ 6/5		北海道テレビ 24/35		北海道放送 10/1		NHK教育 12/90
	稚内		NHK教育 30/90	北海道文化 26/27		北海道テレビ 24/35		札幌テレビ 22/5		NHK総合 28/80	北海道放送 10/1		
	室蘭		NHK教育 2/90	北海道文化 37/27		北海道テレビ 39/35		札幌テレビ 7/5		NHK総合 9/80		北海道放送 11/1	テレビ北海道 29/17
	苫小牧		NHK教育 49/90	北海道文化 53/27		北海道テレビ 61/35		札幌テレビ 57/5		NHK総合 51/80		北海道放送 55/1	テレビ北海道 47/17
	函館		北海道文化 27/27		NHK総合 4/80		北海道放送 6/1		北海道テレビ 35/35		NHK教育 10/90	テレビ北海道 21/17	札幌テレビ 12/5
	帯広		北海道文化 32/27		NHK総合 4/80		北海道放送 6/1		北海道テレビ 34/35		札幌テレビ 10/5		NHK教育 12/90
	釧路		NHK教育 2/90	北海道文化 41/27		北海道テレビ 39/35		札幌テレビ 7/5		NHK総合 9/80		北海道放送 11/1	
	網走	北海道放送 1/1		NHK総合 3/80		札幌テレビ 5/5			北海道文化 27/27		北海道テレビ 35/35		NHK教育 12/90
	北見		NHK教育 2/90	北海道文化 59/27		北海道テレビ 61/35		札幌テレビ 7/5		NHK総合 9/80		北海道放送 53/1	
青森	青森（弘前）	青森放送 1/1		NHK総合 3/80	青森朝日 34/34	NHK教育 5/90							青森テレビ 38/38
	八戸		岩手めんこい 29/33		青森朝日 31/34			NHK教育 7/90		NHK総合 9/80		青森放送 11/1	青森テレビ 33/38
	むつ				NHK総合 4/80		青森朝日 56/34		青森テレビ 58/38		青森放送 10/1		NHK教育 12/90
岩手	盛岡				NHK総合 4/80		岩手放送 6/6		NHK教育 8/90	岩手朝日 31/20	テレビ岩手 35/35		岩手めんこい 33/33
	釜石		NHK総合 2/80				テレビ岩手 58/35		岩手めんこい 60/33	岩手朝日 62/20	岩手放送 10/6		NHK教育 12/90
	二戸		岩手放送 2/6			NHK総合 5/80			岩手めんこい 29/33	岩手朝日 61/20	テレビ岩手 37/35		NHK教育 12/90
宮城	仙台	東北放送 1/1		NHK総合 3/80		NHK教育 5/90		東日本放送 32/32		宮城テレビ 34/34			仙台放送 12/12
	石巻	東北放送 59/1		NHK総合 51/80		NHK教育 49/90		東日本放送 61/32		宮城テレビ 55/34			仙台放送 57/12
	気仙沼		NHK総合 2/80		東北放送 4/1		仙台放送 6/12	東日本放送 43/32		宮城テレビ 37/34	NHK教育 10/90		
秋田	秋田		NHK教育 2/90			秋田朝日 31/31				NHK総合 9/80		秋田放送 11/11	秋田テレビ 37/37
	大館				NHK総合 4/80	秋田朝日 59/31	秋田放送 6/11		NHK教育 8/90				秋田テレビ 57/37
	大曲		NHK教育 43/90			秋田朝日 41/31				NHK総合 45/80		秋田放送 47/11	秋田テレビ 51/37
山形	山形		さくらんぼテレビ 30/30		NHK教育 4/90		テレビユー山形 36/36		NHK総合 8/80		山形放送 10/10		山形テレビ 38/38
	鶴岡（酒田））	山形放送 1/10	さくらんぼテレビ 24/30	NHK総合 3/80			NHK教育 6/90		テレビユー山形 22/36				山形テレビ 39/38
	米沢		さくらんぼテレビ 60/30		NHK教育 50/90		テレビユー山形 56/36		NHK総合 52/80		山形放送 54/10		山形テレビ 58/38
福島	福島（郡山）		NHK教育 2/90		テレビユー福島 31/31		福島中央 33/33			NHK総合 9/80	福島放送 35/35	福島テレビ 11/11	
	いわき		テレビユー福島 62/31		NHK総合 4/80		福島中央 58/33		福島テレビ 8/11		NHK教育 10/90		福島放送 60/35
	会津若松	NHK総合 1/80		NHK教育 3/90	テレビユー福島 47/31		福島テレビ 6/11		福島中央 37/33		福島放送 41/35		

	地域	放送局名・受信チャンネル/ガイドチャンネル											
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
茨城	水戸（勝田）	NHK総合 44/80		NHK教育 46/90	日本テレビ 42/4		TBS 40/6		フジテレビ 38/8		テレビ朝日 36/10		テレビ東京 32/12
茨城	日立	NHK総合 52/80		NHK教育 50/90	日本テレビ 54/4		TBS 56/6		フジテレビ 58/8		テレビ朝日 60/10		テレビ東京 62/12
栃木	宇都宮1	NHK総合 29/80		NHK教育 27/90	日本テレビ 25/4		TBS 23/6		フジテレビ 21/8		テレビ朝日 19/10	とちぎテレビ 31/23	テレビ東京 17/12
栃木	宇都宮2	NHK総合 51/80		NHK教育 49/90	日本テレビ 53/4		TBS 55/6		フジテレビ 57/8		テレビ朝日 41/10	とちぎテレビ 31/23	テレビ東京 44/12
栃木	矢板	NHK総合 40/80		NHK教育 30/90	日本テレビ 36/4		TBS 42/6		フジテレビ 45/8		テレビ朝日 59/10	とちぎテレビ 33/23	テレビ東京 61/12
群馬	前橋（伊勢崎・高崎）	NHK総合 52/80		NHK教育 50/90	日本テレビ 54/4	群馬テレビ 48/48	TBS 56/6	放送大学 40/16	フジテレビ 58/8		テレビ朝日 60/10		テレビ東京 62/12
群馬	桐生	NHK総合 51/80		NHK教育 57/90	日本テレビ 53/4	群馬テレビ 41/48	TBS 55/6	放送大学 40/16	フジテレビ 35/8		テレビ朝日 59/10		テレビ東京 61/12
埼玉	さいたま（三郷・越谷・狭山・草加・所沢・新座・上尾・朝霞・入間・岩槻・浦和・大宮・春日部・川口・川越）	NHK総合 1/80	MXテレビ 14/14	NHK教育 3/90	日本テレビ 4/4	放送大学 16/16	TBS 6/6		フジテレビ 8/8		テレビ朝日 10/10	テレビ埼玉 38/38	テレビ東京 12/12
埼玉	熊谷1	NHK総合 33/80		NHK教育 35/90	日本テレビ 25/4		TBS 23/6		フジテレビ 21/8		テレビ朝日 19/10	テレビ埼玉 28/38	テレビ東京 17/12
埼玉	熊谷2	NHK総合 51/80		NHK教育 35/90	日本テレビ 53/4		TBS 55/6		フジテレビ 57/8		テレビ朝日 59/10	テレビ埼玉 30/38	テレビ東京 61/12
埼玉	秩父	NHK総合 14/80		NHK教育 49/90	日本テレビ 16/4		TBS 18/6		フジテレビ 29/8		テレビ朝日 38/10	テレビ埼玉 47/38	テレビ東京 44/12
千葉	千葉（我孫子・市川・市原・浦安・柏・木更津・佐倉・流山・習志野・野田・船橋・松戸・八千代）	NHK総合 1/80	MXテレビ 14/14	NHK教育 3/90	日本テレビ 4/4	放送大学 16/16	TBS 6/6		フジテレビ 8/8		テレビ朝日 10/10	千葉テレビ 46/46	テレビ東京 12/12
千葉	銚子	NHK総合 51/80		NHK教育 49/90	日本テレビ 53/4		TBS 55/6		フジテレビ 57/8		テレビ朝日 59/10	千葉テレビ 39/46	テレビ東京 61/12
東京	23区（昭島・青梅・小金井・小平・立川・調布・東久留米・東村山・日野・府中・武蔵野・三鷹）	NHK総合 1/80	MXテレビ 14/14	NHK教育 3/90	日本テレビ 4/4	放送大学 16/16	TBS 6/6	テレビ埼玉 38/38	フジテレビ 8/8	テレビ神奈川 42/42	テレビ朝日 10/10	千葉テレビ 46/46	テレビ東京 12/12
東京	八王子	NHK総合 33/80	MXテレビ 40/14	NHK教育 29/90	日本テレビ 35/4		TBS 37/6		フジテレビ 31/8		テレビ朝日 45/10		テレビ東京 62/12
東京	多摩	NHK総合 49/80	MXテレビ 61/14	NHK教育 47/90	日本テレビ 51/4		TBS 53/6		フジテレビ 55/8		テレビ朝日 57/10		テレビ東京 59/12
神奈川	*横浜 1（横浜の一部）	NHK総合 52/80		NHK教育 50/90	日本テレビ 54/4		TBS 56/6		フジテレビ 58/8		テレビ朝日 60/10	テレビ神奈川 48/42	テレビ東京 62/12
神奈川	*横浜 2（横浜・厚木・海老名・鎌倉・川崎・相模原・座間・藤沢・町田・大和・横須賀）	NHK総合 1/80	MXテレビ 14/14	NHK教育 3/90	日本テレビ 4/4	放送大学 16/16	TBS 6/6		フジテレビ 8/8		テレビ朝日 10/10	テレビ神奈川 42/42	テレビ東京 12/12
神奈川	平塚（茅ヶ崎）	NHK総合 33/80		NHK教育 29/90	日本テレビ 35/4		TBS 37/6		フジテレビ 39/8		テレビ朝日 41/10	テレビ神奈川 31/42	テレビ東京 43/12
神奈川	秦野	NHK総合 47/80		NHK教育 49/90	日本テレビ 51/4		TBS 53/6		フジテレビ 55/8		テレビ朝日 57/10	テレビ神奈川 61/42	テレビ東京 59/12
神奈川	小田原	NHK総合 52/80		NHK教育 50/90	日本テレビ 54/4		TBS 56/6		フジテレビ 58/8		テレビ朝日 60/10	テレビ神奈川 46/42	テレビ東京 62/12
山梨	甲府	NHK総合 1/80		NHK教育 3/90		山梨放送 5/5		テレビ山梨 37/37					
長野	長野 1		NHK総合 44/80	長野朝日 50/20		テレビ信州 40/30		長野放送 42/38		NHK教育 46/90		信越放送 48/11	
長野	長野 2		NHK総合 2/80	長野朝日 20/20		テレビ信州 30/30		長野放送 38/38		NHK教育 9/90		信越放送 11/11	
長野	松本		NHK総合 44/80	長野朝日 50/20		テレビ信州 48/30		長野放送 42/38		NHK教育 46/90		信越放送 40/11	
長野	飯田			NHK教育 3/90	NHK総合 4/80	テレビ信州 42/30	信越放送 6/11		長野放送 40/38		長野朝日 44/20		
長野	岡谷・諏訪				NHK総合 4/80	テレビ信州 59/30	信越放送 6/11		NHK教育 8/90	長野放送 47/38	長野朝日 61/20		
新潟	新潟（長岡）			新潟テレビ21 21/21	テレビ新潟 29/29	新潟放送 5/5			NHK総合 8/80		新潟総合TV 35/35		NHK教育 12/90
新潟	上越	NHK教育 1/90		NHK総合 3/80	テレビ新潟 27/29		新潟テレビ21 37/21		新潟総合TV 33/35		新潟放送 10/5		
富山	富山	北日本放送 1/1		NHK総合 3/80					富山テレビ 34/34		NHK教育 10/90		チューリップTV 32/32
富山	高岡	北日本放送 50/1		NHK総合 48/80					富山テレビ 44/34		NHK教育 46/90		チューリップTV 42/32
石川	金沢（小松）		石川テレビ 37/37		NHK総合 4/80		北陸放送 6/6		NHK教育 8/90		テレビ金沢 33/33		北陸朝日 25/25
石川	七尾	テレビ金沢 57/33		北陸朝日 59/25		NHK教育 5/90		石川テレビ 55/37		NHK総合 9/80		北陸放送 11/6	
福井	福井			NHK教育 3/90			北陸放送 6/6			NHK総合 9/80		福井放送 11/11	福井テレビ 39/39
福井	敦賀						NHK総合 6/80		福井放送 8/11		福井テレビ 38/39		NHK教育 12/90

ご注意

＊ 横浜市にお住まいのかたは、通常は「横浜２」をお選びください。
「横浜２」ではうまく受信できないときに、「横浜１」をお選びください。

その他

受信チャンネル一覧表（つづき）

映らないときは、お近くの地域も試してください。

	地域	放送局名・受信チャンネル/ガイドチャンネル											
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
岐阜	岐阜（大垣）	東海テレビ 1/1		NHK総合 39/80		中部日本放送 5/5		中京テレビ 35/35		NHK教育 9/90	岐阜放送 37/37	名古屋テレビ 11/11	テレビ愛知 25/25
	高山		NHK教育 2/90		NHK総合 4/80		中部日本放送 6/5	中京テレビ 26/35	東海テレビ 8/1		岐阜放送 38/37		名古屋テレビ 12/11
	中津川				NHK総合 4/80		名古屋テレビ 6/11	中京テレビ 26/35	中部日本放送 8/5		東海テレビ 10/1	岐阜放送 28/37	NHK教育 12/90
静岡	静岡（清水・焼津）		NHK教育 2/90	静岡第1 31/31		静岡朝日 33/33		テレビ静岡 35/35		NHK総合 9/80		静岡放送 11/11	
	浜松		静岡第1 30/31		NHK総合 4/80		静岡放送 6/11		NHK教育 8/90		静岡朝日 28/33		テレビ静岡 34/35
	富士（富士宮）		NHK教育 54/90	静岡第1 27/31		静岡朝日 29/33		テレビ静岡 39/35		NHK総合 52/80		静岡放送 41/11	
	三島・沼津		NHK教育 51/90	静岡第1 61/31		静岡朝日 57/33		テレビ静岡 59/35		NHK総合 53/80		静岡放送 55/11	
	島田	NHK総合 1/80		NHK教育 3/90		静岡放送 5/11		静岡第1 48/31			静岡朝日 50/33		テレビ静岡 58/35
	藤枝	NHK総合 42/80		NHK教育 44/90		静岡放送 40/11		静岡第1 24/31			静岡朝日 26/33		テレビ静岡 38/35
愛知	名古屋	（安城・一宮・岡崎・春日井・刈谷・小牧・瀬戸・半田）											
		東海テレビ 1/1		NHK総合 3/80		中部日本放送 5/5	岐阜放送 37/37	中京テレビ 35/35	三重テレビ 33/33	NHK教育 9/90		名古屋テレビ 11/11	テレビ愛知 25/25
	豊橋（豊川）	東海テレビ 56/1		NHK総合 54/80		中部日本放送 62/5		中京テレビ 58/35		NHK教育 50/90		名古屋テレビ 60/11	テレビ愛知 52/25
	豊田	東海テレビ 57/1		NHK総合 53/80		中部日本放送 55/5		中京テレビ 59/35		NHK教育 51/90		名古屋テレビ 61/11	テレビ愛知 49/25
三重	津	（鈴鹿・松坂・四日市）											
		東海テレビ 1/1		NHK総合 31/80		中部日本放送 5/5		中京テレビ 35/35		NHK教育 9/90	三重テレビ 33/33	名古屋テレビ 11/11	テレビ愛知 25/25
	伊勢	東海テレビ 57/1		NHK総合 53/80		中部日本放送 55/5		中京テレビ 47/35		NHK教育 49/90	三重テレビ 59/33	名古屋テレビ 61/11	
	名張	東海テレビ 62/1		NHK総合 52/80		中部日本放送 60/5		中京テレビ 54/35		NHK教育 50/90	三重テレビ 58/33	名古屋テレビ 56/11	
滋賀	大津		NHK総合 28/80		毎日放送 36/4		朝日放送 38/6	京都テレビ 34/34	関西テレビ 40/8		読売テレビ 42/10	びわ湖放送 30/30	NHK教育 46/90
	彦根		NHK総合 52/80		毎日放送 54/4		朝日放送 58/6		関西テレビ 60/8		読売テレビ 62/10	びわ湖放送 56/30	NHK教育 50/90
京都	京都（宇治）		NHK総合 2/80	京都テレビ 34/34	毎日放送 4/4	テレビ大阪 19/19	朝日放送 6/6		関西テレビ 8/8		読売テレビ 10/10		NHK教育 12/90
	舞鶴		NHK総合 51/80		毎日放送 53/4	京都テレビ 57/34	朝日放送 55/6		関西テレビ 59/8		読売テレビ 61/10		NHK教育 49/90
	福知山		NHK総合 50/80		毎日放送 54/4	京都テレビ 56/34	朝日放送 58/6		関西テレビ 60/8		読売テレビ 62/10		NHK教育 52/90
大阪	大阪	（池田・和泉・茨木・門真・河内長野・岸和田・堺・吹田・大東・高槻・豊中・富田林・寝屋川・羽曳野・東大阪・枚方・松原・守口・八尾）											
			NHK総合 2/80	サンテレビ 36/36	毎日放送 4/4		朝日放送 6/6		関西テレビ 8/8	テレビ大阪 19/19	読売テレビ 10/10		NHK教育 12/90
兵庫	神戸		NHK総合 28/80	サンテレビ 36/36	毎日放送 31/4		朝日放送 41/6		関西テレビ 43/8		読売テレビ 47/10	テレビ大阪 19/19	NHK教育 45/90
	神戸灘		NHK総合 52/80	サンテレビ 62/36	毎日放送 54/4		朝日放送 56/6		関西テレビ 58/8		読売テレビ 60/10	テレビ大阪 19/19	NHK教育 50/90
	川西		NHK総合 29/80	サンテレビ 33/36	毎日放送 35/4		朝日放送 37/6		関西テレビ 39/8		読売テレビ 41/10		NHK教育 31/90
	三木		NHK総合 44/80	サンテレビ 36/36	毎日放送 34/4		朝日放送 38/6		関西テレビ 40/8		読売テレビ 42/10		NHK教育 46/90
	姫路		NHK総合 50/80	サンテレビ 56/36	毎日放送 54/4		朝日放送 58/6		関西テレビ 60/8		読売テレビ 62/10		NHK教育 52/90
	明石（加古川）		NHK総合 51/80	サンテレビ 55/36	毎日放送 53/4		朝日放送 57/6		関西テレビ 59/8		読売テレビ 61/10	テレビ大阪 19/19	NHK教育 49/90
奈良	奈良（橿原）		NHK総合 2/80	テレビ大阪 19/19	毎日放送 4/4	NHK奈良 51/−	朝日放送 6/6	京都テレビ 34/34	関西テレビ 8/8	サンテレビ 36/36	読売テレビ 10/10	奈良テレビ 55/55	NHK教育 12/90
	五條		NHK総合 43/80	奈良テレビ 41/55	毎日放送 33/4		朝日放送 35/6		関西テレビ 37/8		読売テレビ 39/10		NHK教育 45/90
和歌山	和歌山		NHK総合 32/80	テレビ和歌山 30/30	毎日放送 42/4		朝日放送 44/6		関西テレビ 46/8		読売テレビ 48/10		NHK教育 26/90
	海南・田辺		NHK総合 50/80	テレビ和歌山 56/30	毎日放送 54/4		朝日放送 58/6		関西テレビ 60/8		読売テレビ 62/10		NHK教育 52/90
鳥取	鳥取	日本海テレビ 1/1		NHK総合 3/80	NHK教育 4/90				山陰中央 24/34		山陰放送 22/10		
島根	松江	日本海テレビ 30/1					NHK総合 6/80		山陰中央 34/34		山陰放送 10/10		
	浜田		NHK総合 2/80	日本海テレビ 54/1		山陰放送 5/10			山陰中央 58/34	NHK教育 9/90			
岡山	岡山(倉敷)	TVせとうち 23/23		NHK教育 3/90		NHK総合 5/80	瀬戸内海放送 25/33	岡山放送 35/35		西日本放送 9/9		山陽放送 11/11	
	津山		NHK総合 2/80		TVせとうち 56/23		瀬戸内海放送 62/33	山陽放送 7/11		西日本放送 58/9		岡山放送 60/35	NHK教育 12/90
	笠岡1		NHK総合 2/80		NHK教育 4/90	TVせとうち 19/23	山陽放送 6/11			西日本放送 17/9	瀬戸内海放送 21/33	岡山放送 60/35	
	笠岡2		NHK総合 2/80		NHK教育 4/90	TVせとうち 22/23	山陽放送 6/11			西日本放送 34/9	瀬戸内海放送 55/33	岡山放送 60/35	

	地域	放送局名・受信チャンネル/ガイドチャンネル											
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
広島	広島	テレビ新広島 31/31		NHK総合 3/80	中国放送 4/4			NHK教育 7/90		広島ホームTV 35/35			広島テレビ 12/12
	福山	テレビ新広島 54/31		NHK教育 3/90		NHK総合 5/80		中国放送 7/4		広島ホームTV 57/35		広島テレビ 11/12	
	尾道	NHK総合 1/80			広島ホームTV 24/35			NHK教育 7/90	テレビ新広島 26/31		中国放送 10/4		広島テレビ 12/12
	呉	NHK教育 1/90			広島ホームTV 24/35	広島テレビ 5/12			テレビ新広島 26/31	中国放送 9/4		NHK総合 11/80	
山口	山口 (徳山・防府)	NHK教育 1/90				山口朝日 28/28		テレビ山口 38/38		NHK総合 9/80		山口放送 11/11	
	下関	NHK教育 41/90		TXN九州 23/19	山口放送 4/11	山口朝日 21/28		テレビ山口 33/38		NHK総合 39/80	テレビ西日本 10/9		
	宇部1	NHK教育 14/90				山口朝日 31/28		テレビ山口 20/38		NHK総合 16/80	テレビ西日本 10/9	山口放送 18/11	
	宇部2	NHK教育 55/90				山口朝日 24/28		テレビ山口 44/38		NHK総合 58/80	テレビ西日本 10/9	山口放送 61/11	
	岩国1	NHK教育 1/90				山口朝日 28/28		テレビ山口 22/38		NHK総合 9/80		山口放送 11/11	
	岩国2	NHK教育 1/90				山口朝日 28/28		テレビ山口 62/38		NHK総合 9/80		山口放送 11/11	
徳島	徳島	四国放送 1/1		NHK総合 3/80	毎日放送 4/4		朝日放送 6/6		関西テレビ 8/8		読売テレビ 10/10		NHK教育 38/90
香川	高松	TVせとうち 19/23		NHK教育 39/90		NHK総合 37/80	瀬戸内海放送 33/33	岡山放送 31/35		西日本放送 41/9		山陽放送 29/11	
	丸亀	TVせとうち 16/23		NHK教育 40/90		NHK総合 44/80	瀬戸内海放送 42/33	岡山放送 22/35		西日本放送 20/9		山陽放送 18/11	
愛媛	松山		NHK教育 2/90		あいテレビ 29/29		NHK総合 6/80		愛媛放送 37/37	愛媛朝日 25/25	南海放送 10/10	テレビ新広島 31/31	広島ホームTV 35/35
	新居浜		NHK総合 2/80		NHK教育 4/90		南海放送 6/10		愛媛放送 36/37	愛媛朝日 14/25		あいテレビ 27/29	
	今治		NHK教育 30/90		あいテレビ 27/29		NHK総合 32/80		愛媛放送 36/37	愛媛朝日 17/25	南海放送 34/10		
	宇和島	NHK教育 1/90			あいテレビ 34/29		NHK総合 6/80		愛媛放送 32/37	愛媛朝日 16/25	南海放送 10/10		
高知	高知				NHK総合 4/80		NHK教育 6/90		高知放送 8/8		テレビ高知 38/38		高知さんさんテレビ 40/40
福岡	福岡	九州朝日 1/1		NHK総合 3/80	RKB毎日 4/4		NHK教育 6/90			テレビ西日本 9/9		TXN九州 19/19	福岡放送 37/37
	久留米	九州朝日 57/1		NHK総合 46/80	RKB毎日 48/4		NHK教育 54/90			テレビ西日本 60/9		TXN九州 14/19	福岡放送 52/37
	大牟田	九州朝日 58/1		NHK総合 53/80	RKB毎日 61/4		NHK教育 50/90			テレビ西日本 55/9		TXN九州 19/19	福岡放送 43/37
	北九州		九州朝日 2/1	TXN九州 23/19	福岡放送 35/37		NHK総合 6/80		RKB毎日 8/4		テレビ西日本 10/9		NHK教育 12/90
	行橋		九州朝日 57/1	TXN九州 19/19	福岡放送 43/37		NHK総合 49/80		RKB毎日 60/4		テレビ西日本 54/9		NHK教育 46/90
佐賀	佐賀		NHK教育 40/90	九州朝日 57/1	RKB毎日 48/4	TXN九州 14/19		サガテレビ 36/36	テレビ西日本 60/9	NHK総合 38/80		熊本放送 11/11	福岡放送 52/37
長崎	長崎	NHK教育 1/90		NHK総合 3/80		長崎放送 5/5		長崎国際 25/25		長崎文化 27/27		テレビ長崎 37/37	
	佐世保		NHK教育 2/90		長崎国際 17/25		長崎文化 31/27		NHK総合 8/80		長崎放送 10/5		テレビ長崎 35/37
	諫早1	NHK教育 45/90		NHK総合 47/80		長崎放送 49/5		長崎国際 20/25		長崎文化 24/27		テレビ長崎 42/37	
	諫早2	NHK教育 45/90		NHK総合 59/80		長崎放送 62/5		長崎国際 32/25		長崎文化 56/27		テレビ長崎 39/37	
熊本	熊本(八代)		NHK教育 2/90	熊本朝日 16/16		熊本県民 22/22		テレビ熊本 34/34		NHK総合 9/80		熊本放送 11/11	
大分	大分(別府)			NHK総合 3/80		大分放送 5/5		テレビ大分 36/36		大分朝日 24/24			NHK教育 12/90
	中津			NHK総合 48/80		大分放送 51/5		テレビ大分 37/36		大分朝日 17/24			NHK教育 45/90
宮崎	宮崎(都城)						テレビ宮崎 35/35		NHK総合 8/80		宮崎放送 10/10		NHK教育 12/90
	延岡		NHK教育 2/90		NHK総合 4/80		宮崎放送 6/10		テレビ宮崎 39/35				
鹿児島	鹿児島	南日本放送 1/1		NHK総合 3/80		NHK教育 5/90		鹿児島放送 32/32		鹿児島テレビ 38/38		鹿児島読売 30/30	
	阿久根		鹿児島読売 17/30		鹿児島放送 23/32		鹿児島テレビ 35/38		NHK総合 8/80		南日本放送 10/1		NHK教育 12/90
	鹿屋		NHK教育 2/90		NHK総合 4/80		南日本放送 6/1		鹿児島放送 31/32		鹿児島テレビ 33/38		鹿児島読売 25/30
沖縄	那覇(沖縄)		NHK総合 2/80			琉球朝日 28/28			沖縄テレビ 8/8		琉球放送 10/10		NHK教育 12/90

ガイドチャンネル一覧表

（2004年6月現在）

地方	地域	放送局	ガイドチャンネル
	全国共通	NHK総合	80
		NHK教育	90
北海道・東北	北海道	北海道放送（HBC）	1
		札幌テレビ（STV）	5
		テレビ北海道（TVH）	17
		北海道文化（UHB）	27
		北海道テレビ（HTB）	35
	青森	青森放送（RAB）	1
		青森朝日（ABA）	34
		青森テレビ（ATV）	38
	岩手	岩手放送（IBC）	6
		岩手朝日（IAT）	20
		めんこい（MIT）	33
		テレビ岩手（TVI）	35
	秋田	秋田放送（ABS）	11
		秋田朝日（AAB）	31
		秋田テレビ（AKT）	37
	宮城	東北放送（TBC）	1
		仙台放送（OX）	12
		東日本放送（KHB）	32
		宮城テレビ（MMT）	34
	山形	山形放送（YBC）	10
		さくらんぼテレビ（SAY）	30
		テレビュー山形（TUY）	36
		山形テレビ（YTS）	38
	福島	福島テレビ（FTV）	11
		テレビュー福島（TUF）	31
		福島中央（FCT）	33
		福島放送（KFB）	35
関東・甲信越	関東	日本テレビ（NTV）	4
		TBSテレビ（TBS）	6
		フジテレビ（CX）	8
		テレビ朝日（ANB）	10
		テレビ東京（TX）	12
		東京メトロポリタン（MXテレビ）	14
		放送大学	16
		テレビ埼玉（TVS）	38
		テレビ神奈川（TVK）	42
		千葉テレビ（CTC）	46
		群馬テレビ（GTV）	48
		とちぎテレビ（TTV）	23
	新潟	新潟放送（BSN）	5
		新潟テレビ21（NT21）	21
		テレビ新潟（TNN）	29
		新潟総合（NST）	35
	長野	信越放送（SBC）	11
		長野朝日（ABN）	20
		テレビ信州（TSB）	30
		長野放送（NBS）	38
	山梨	山梨放送（YBS）	5
		テレビ山梨（UTY）	37
中部	静岡	静岡放送（SBS）	11
		静岡第一（SDT）	31
		静岡朝日テレビ（SATV）	33
		テレビ静岡（SUT）	35
	中京	東海テレビ（THK）	1
		中部日本放送（CBC）	5
		名古屋テレビ（NBN）	11
		テレビ愛知（TVA）	25
		三重テレビ（MTV）	33
		中京テレビ（CTV）	35
		岐阜放送（GBS）	37
	富山	北日本放送（KNB）	1
		チューリップTV（TUT）	32
		富山テレビ（T34）	34
	石川	北陸放送（MRO）	6
		北陸朝日（HAB）	25
		テレビ金沢（KTK）	33
		石川テレビ（ITC）	37
	福井	福井放送（FBC）	11
		福井テレビ（FTB）	39
関西・中国	関西	毎日放送（MBS）	4
		朝日放送（ABC）	6
		関西テレビ（KTV）	8
		読売テレビ（YTV）	10
		テレビ大阪（TVO）	19
		テレビ和歌山（WTV）	30
		びわ湖放送（BBC）	30
		京都テレビ（KBS）	34
		サンテレビ（SUN）	36
		奈良テレビ（TVN）	55
	岡山	西日本放送（RNC）	9
		山陽放送（RSK）	11
		テレビせとうち（TSC）	23
		瀬戸内海放送（KSB）	33
		岡山放送（OHK）	35
	広島	中国放送（RCC）	4
		広島テレビ（HTV）	12
		テレビ新広島（TSS）	31
		広島ホーム（HOME）	35
	鳥取島根	日本海テレビ（NKT）	1
		山陰放送（BSS）	10
		山陰中央（TSK）	34
	山口	山口放送（KRY）	11
		山口朝日（YAB）	28
		テレビ山口（TYS）	38
四国	香川	西日本放送（RNC）	9
		山陽放送（RSK）	11
		テレビせとうち（TSC）	23
		瀬戸内海放送（KSB）	33
		岡山放送（OHK）	35
	愛媛	南海放送（RNB）	10
		愛媛朝日（EAT）	25
		あいテレビ（ITV）	29
		愛媛放送（EBC）	37
	徳島	四国放送（JRT）	1
	高知	高知放送（RKC）	8
		テレビ高知（KUTV）	38
		さんさんテレビ（KSS）	40
九州	福岡	九州朝日（KBC）	1
		RKB毎日（RKB）	4
		テレビ西日本（TNC）	9
		TXN九州（TVQ）	19
		福岡放送（FBS）	37
	大分	大分放送（OBS）	5
		大分朝日（OAB）	24
		テレビ大分（TOS）	36
	佐賀	サガテレビ（STS）	36
	長崎	長崎放送（NBC）	5
		長崎国際（NIB）	25
		長崎文化（NCC）	27
		テレビ長崎（KTN）	37
	熊本	熊本放送（RKK）	11
		熊本朝日（KAB）	16
		熊本県民（KKT）	22
		テレビ熊本（TKU）	34
	宮崎	宮崎放送（MRT）	10
		テレビ宮崎（UMK）	35
	鹿児島	南日本放送（MBC）	1
		鹿児島読売テレビ（KYT）	30
		鹿児島放送（KKB）	32
		鹿児島テレビ（KTS）	38
	沖縄	沖縄テレビ（OTV）	8
		琉球放送（RBC）	10
		琉球朝日（QAB）	28
	BS放送／CS放送／CATV	日本テレビケーブルニュース	40
		CSN1ムービーチャンネル	49
		チャンネルNECO	50
		ゴルフネットワーク	51
		BS1	71
		BS3	72
		BS5 WOWOW	73
		BS7 NHK衛星第1	74
		BS9 ハイビジョン放送	75
		BS11 NHK衛星第2	76
		BS13	77
		BS15	78
		CNN	81
		MTV	82
		スター・チャンネル	83
		スペースシャワーTV	84
		スポーツ・アイ	85
		衛星劇場	86
		GAORA（ガオラ）	87
		ホームチャンネル	88
		スカイ・A	89
		BBC	91
		ファミリー劇場	92
		スーパーチャンネル	93
		ザ・ゴルフ・チャンネル	94
		朝日ニュースター	99

保証とアフターサービスについて（よくお読みください）

保証書（別添）

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき内容をよくお読みの後大切に保管してください。保証期間は、お買い上げの日から１年間です。

補修用性能部品の最低保有期間

当社は、ビデオカセットレコーダーの補修用性能部品を、製造打ち切り後、最低８年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。この製品の製造時期は、本体の背面に表示されています。

ご不明な点や修理に関するご相談は

お買い上げの販売店または最寄りの「ビクターサービス窓口」（**122**～**123** ページ）にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは

103～**107** ページに従って調べていただき、なお異常のあるときは、電源を切り、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

万一本機およびビデオカセット等の不具合により、正常に録画・録音ができなかった場合の内容の補償については、ご容赦ください。

保証期間中は

修理の際は保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って販売店及び、ビクターサービスが修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容

品　名	デジタルハイビジョンビデオ
型　名	HM-DHX2
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご　住　所	付近の目印等も合わせて お知らせください。
お　名　前	
電　話　番　号	（　　）　　ー

修理料金のしくみ

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器設備費、一般管理費が含まれています。

＋

部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。

＋

出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

愛情点検　●長年ご使用のビデオカセットレコーダーの点検をぜひ！

熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用の度合により部品が劣化し、故障したり、時には安全性を損なって事故につながることもあります。

このような症状はありませんか

- ●再生しても映像や音声が出ない。
- ●電源プラグ、コードが異常に熱い。
- ●異常な臭いや音がする。
- ●水や異物が入った。
- ●その他の異常や故障がある。

➡ ご使用を中止　故障や事故防止のため、電源を切り、必ず販売店に点検をご相談ください。

美しい画面をご覧いただくために

本機は非常に高い精度を必要とする機械です。長い間ご使用になるうち、機械部分が汚れたり、摩耗したりすると性能が維持できなくなります。美しい画面でお楽しみいただくために、およそ1,000時間をめどに点検整備されることをおすすめいたします。
トラッキングのずれたビデオデッキで記録されたテープは、正常なビデオデッキで再生するとノイズが出たり、画や音が出なくなることがあります。
いつも正しいトラッキング状態を保つためには、ときどき他のビデオデッキで録画されたテープ（レンタルテープなど）を再生し、ノイズが出ないことを確認することをおすすめします。

サービス窓口案内

ビクター製品のアフターサービスはお買い上げの販売店へご用命ください

ご贈答品等で保証書記載のお買い上げ販売店にアフターサービスをご依頼になれない場合は、機種名をご確認の上、最寄りの「ご相談窓口」にご相談ください。

●修理についてのご相談窓口

ビクターサービスエンジニアリング株式会社

●略号について　S.C.はサービスセンターの略称です。
S.S.はサービスステーションの略称です。
T.C.はテクニカルセンターの略称です。

都府県名	拠点名	TEL	〒	所在地
北海道				
北海道	札幌S.C.	(011)898-1180	004-0005	札幌市厚別区厚別東五条1丁目2-29
	旭川S.C.	(0166)61-3659	070-8012	旭川市神居二条3-2-15
	北見S.S.	(0157)25-8557	090-0037	北見市山下町4-7-19
	釧路S.S.	(0154)24-0797	085-0005	釧路市松浦町3-3
	帯広S.S.	(0155)24-4493	080-0806	帯広市東6条南12-11
	函館S.S.	(0138)52-5324	040-0001	函館市五稜郭町4-16函館五稜郭MFビル1F
東北				
青森	青森S.C.	(017)723-2261	030-0844	青森市桂木4-6-17
	八戸S.S.	(0178)44-4521	031-0803	八戸市諏訪2-2-36
	弘前S.S.	(0172)28-0165	036-8084	弘前市高田1-13-1
岩手	盛岡S.C.	(019)637-0121	020-0835	盛岡市津志田9地割24-1
	水沢S.S.	(0197)22-2773	023-0815	水沢市天文台通り3-12
秋田	秋田S.C.	(018)824-3189	010-0953	秋田市山王中園町4-1
	大館S.S.	(0186)43-0980	017-0874	大館市美園町5-6
	横手S.S.	(0182)32-8873	013-0064	横手市赤坂字大道向3-6
宮城	仙台S.C.	(022)287-0151	984-0011	仙台市若林区六丁の目西町7-13
山形	山形S.C.	(023)642-0279	990-2412	山形市松山3-12-18
	酒田S.S.	(0234)26-7145	998-0842	酒田市亀ヶ崎6-6-1
福島	郡山S.C.	(024)952-6331	963-0205	郡山市堤1-3
	いわきS.S.	(0246)27-7991	973-8409	いわき市内郷御台境町鶴巻6-1
関東・甲信越				
新潟	新潟S.C.	(025)242-3431	950-0084	新潟市明石1-2-19
	長岡S.S.	(0258)24-8391	940-0012	長岡市下下条2-1366-1
	上越S.S.	(025)545-1734	942-0081	上越市五智1-11-2
長野	長野S.C.	(026)221-6583	380-0913	長野市川合新田962-1
	松本S.S.	(0263)25-9165	390-0828	松本市庄内2-4-21
群馬	前橋S.C.	(027)255-5921	371-8543	前橋市大渡町1-10-1 日本ビクター㈱前橋工場第2棟1F
栃木	宇都宮S.C.	(028)638-1639	321-0953	宇都宮市東宿郷3-5-22
茨城	水戸S.C.	(029)246-1560	310-8528	水戸市元吉田町1030 日本ビクター㈱水戸工場技術棟1F
	土浦S.S.	(029)821-8756	300-0813	土浦市富士崎1丁目10-1
山梨	甲府S.S.	(055)237-4016	400-0864	甲府市湯田2-11-5
千葉				
千葉	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	**(03)5803-2888**	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	千葉S.C.	(043)246-2588	261-0001	千葉市美浜区幸町2-1-1
	柏S.C.	(04)7175-4322	277-0863	柏市豊四季512-10-67
	浦安S.S.	(047)353-6189	279-0001	浦安市当代島2-13-27

都府県名	拠点名	TEL	〒	所在地
東京				
東京	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	**(03)5803-2888**	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	本郷S.C.	(03)5684-8254	113-0033	東京都文京区本郷3-14-7ビクター本郷ビル1F
	秋葉原S.S.	(03)3251-2128	101-0021	東京都千代田区外神田1-6-6
	練馬S.C.	(03)3993-7520	176-0014	東京都練馬区豊玉南1-19-1
	大田S.C.	(03)3727-9385	145-0062	東京都大田区北千束2-20-6
	八王子S.C.	(0426)46-6914	192-0045	東京都八王子市大和田町2-9-6
	【業務用機器専門】のご相談窓口			
	CSセンター	(03)3874-5231	110-0003	東京都台東区根岸5-4-3
埼玉				
埼玉	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	**(03)5803-2888**	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	大宮S.C.	(048)654-5241	331-0814	さいたま市北区東大成町2-658-1
	熊谷S.S.	(048)553-5105	361-0057	行田市城西2-7-39ツインハイツ石山B
神奈川				
神奈川	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	**(03)5803-2888**	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	横浜S.C.	(045)651-0403	231-0028	横浜市中区翁町1-3-1
	川崎S.C.	(044)975-1879	216-0024	川崎市宮前区南平台3-2（第2石原ビル）
	平塚S.C.	(0463)36-2160	254-0065	平塚市南原2-4-5
	相模原S.C.	(042)776-2052	229-0004	相模原市古淵3-7-4
	横浜T.C.	(046)234-4500	243-0401	海老名市東柏ヶ谷6-19-26
静岡				
静岡	静岡S.C.	(054)282-4141	422-8043	静岡市中田本町62-31 中田ビル1階
	沼津S.S.	(055)922-1557	410-0041	沼津市筒井町6-5
	浜松S.S.	(053)421-3441	435-0041	浜松市北島町785
東海・北陸				
愛知	名古屋S.C.	(0568)25-3235	481-0041	西春日井郡西春町九之坪鴨田121-1
	三河S.C.	(0564)51-5931	444-0833	岡崎市柱曙3-10-12
	豊橋S.S.	(0532)64-0815	440-0028	豊橋市多米東町１丁目1-1
岐阜	岐阜S.S.	(058)274-1947	500-8367	岐阜市宇佐南3-1-28
三重	三重S.S.	(0593)52-0841	510-0076	四日市市堀木2-15-2
	津S.S.	(059)229-7780	514-0815	津市大字藤方485-18
富山	富山S.C.	(076)425-2397	939-8211	富山市二口町4丁目1-3
石川	金沢S.C.	(076)269-4821	921-8062	金沢市新保本4丁目65-17
福井	福井S.S.	(0776)53-6916	910-0843	福井市西開発3-211

所在地、電話番号が変更になる場合がございますので、あらかじめご了承ください。　0404

都府県名	拠点名	TEL	〒	所在地
		近畿		
滋賀	滋賀S.S.	(077)582-5812	524-0033	守山市浮気町268
京都	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大阪S.C.	**(06)6304-5731**	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	京都S.C.	(075)644-0247	612-8401	京都市伏見区深草下川原町31番地の1
京都北部	福知山S.S.	(0773)22-8664	620-0059	福知山市厚東町145-2
奈良	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大阪S.C.	**(06)6304-5731**	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	奈良S.C.	(0742)35-0935	630-8115	奈良市大宮町六丁目3-10 藤本ビル1階
大阪	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大阪S.C.	**(06)6304-5731**	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	大阪S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	堺S.C.	(072)254-2881	591-8032	堺市百舌鳥梅町3丁21-2 伊助ハイツ
	【業務用機器専門】のご相談窓口			
	ﾒﾝﾃﾅﾝｽｾﾝﾀｰ	(06)6304-6715	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
和歌山	和歌山S.S.	(073)472-6799	640-8323	和歌山市太田430-8
	田辺S.S.	(0739)22-9976	646-0031	田辺市湊1581-12
兵庫中東部	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大阪S.C.	**(06)6304-5731**	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	神戸S.C.	(078)252-0562	651-0086	神戸市中央区磯上通3-2-16
兵庫西部	姫路S.S.	(0792)34-3833	670-0975	姫路市中地南町11-1

都府県名	拠点名	TEL	〒	所在地
		中国		
岡山	岡山S.C.	(086)243-1566	700-0926	岡山市西古松西町8-23
広島	広島S.C.	(082)243-9839	730-0825	広島市中区光南3-9-17
	福山S.S.	(084)931-6984	721-0973	福山市南蔵王町3-5-15
山口	山口S.C.	(083)973-3708	754-0022	吉敷郡小郡町花園町5-28
	徳山S.S.	(0834)27-1331	745-0042	周南市野上町2-35
	下関S.S.	(0832)51-1040	751-0852	下関市熊野町2-14-23
		四国		
香川	高松S.C.	(087)866-1200	761-8057	高松市田村町205-1
徳島	徳島S.C.	(088)622-7387	770-8052	徳島市沖浜2-37
高知	高知S.S.	(088)882-0546	781-8122	高知市高須新町4-1-43
愛媛	松山S.C.	(089)923-0372	791-8015	松山市中央1-4-12
	宇和島S.S.	(0895)20-1018	798-0087	宇和島市坂下津甲407-40
		九州・沖縄		
福岡佐賀	福岡S.C.	(092)431-1261	812-0011	福岡市博多区博多駅前4-16-1
	久留米S.S.	(0942)39-3495	830-0038	久留米市西町字神浦1-1192
	北九州S.C.	(093)921-3981	802-0064	北九州市小倉北区片野2-15-12
長崎	長崎S.C.	(095)862-5522	852-8021	長崎市城山町9-13
	佐世保S.S.	(0956)33-5568	857-1166	佐世保市木風町1467-2
大分	大分S.C.	(097)543-1422	870-0820	大分市西大道三丁目1番1号
熊本	熊本S.C.	(096)353-4536	861-4101	熊本市近見8-1-10
宮崎	宮崎S.S.	(0985)24-5401	880-0032	宮崎市霧島町3-59
	延岡S.S.	(0982)35-7077	882-0857	延岡市惣領町24-3
鹿児島	鹿児島S.C.	(099)282-8818	890-0034	鹿児島市田上7丁目9-8
沖縄	沖縄S.C.	(098)898-3631	901-2224	沖縄県宜野湾市真志喜1-13-16
		山陰		
山陰ビクター販売（株）				
島根	松江S.C.	(0852)31-8900	690-0825	松江市学園1丁目16-39
鳥取	鳥取S.S.	(0857)23-2151	680-0911	鳥取市千代水1丁目22-1

技術解説

デジタル放送とD-VHS

いま VHS ビデオを取り巻く環境は大きく変わろうとしています。その代表がテレビ放送のデジタル化です。

日本におけるデジタル放送は 1996 年の CS 放送（現スカイパーフェクTV!）から始まり、1997年にはディレクTV が放送を開始し、2000 年 12 月より BS デジタル放送が開始されています。

放送のデジタル化は高画質・高音質、多チャンネル化、多機能化だけでなく、資源として有限な電波の効率的な使用という側面も持っています。

放送の変化にあわせて進化･発展を遂げてきたVHSは、その資産を引き継ぎつつ放送のデジタル化への対応が求められています。

また、デジタル放送では映像や音声に限らず様々なデータも送られてきます。このようなデジタル放送情報の全てをデジタル信号のまま記録でき、しかも膨大な数の VHS アナログ記録の映像も再生できるビデオ、それが D-VHS です。

本機にはアナログ信号のデジタル録画・再生を可能にするMPEG2 エンコーダー/デコーダーを搭載しています。

D-VHSはアナログからデジタルへのスムーズな受け渡しを実現し、ホームビデオという 20 世紀に定着した家庭の映像文化を21世紀へ継続していく 次世代のホームビデオです。

放送方式変換

（フォーマット変換　ダウン／アップコンバート）

HD映像（1125i/750p方式）を、SD映像（525i）に変換したりすることを「ダウンコンバート」といい、525i の映像を 525p の映像にしたりすることを「アップコンバート」といいます。

テレビに映せる信号に限りがあるとき、例えば、D1端子付きテレビには、D3の1125iは映せなかったり、525i専用のVHSビデオデッキには、1125iが録画できなかったりする場合に、本機やデジタルチューナー、ハイビジョンムービーに内蔵されるこの変換機能が役に立ちます。

最近の放送は、同じ内容をSD、HD両方で行なったりします。本機は録画時に自動的に放送をそのまま録れる「オートモード」（録画スピードが自動で選ばれる）を搭載しています。再生時には映像フォーマットを 525i にダウンコンバートや、525i から 525p へアップコンバートができます。

HDCP

HDCP（High-Bandwidth Digital Content Protection）は、DVIを経由して送信されるデジタルコンテンツの不正コピー防止を目的とする著作権保護用システムのことをいいます。

ディスプレイのDVI端子の中にはHDCPに対応していないものがあります。その場合、著作権保護されたD-VHSやDVDの映像を見ることはできません。

HDMI

HDMI（High-Definition Multimedia Interface）は、PC用ディスプレイなど多くの採用例があるデジタルインターフェイスのDVI（Digital Visual Interface）を元に、下位互換を持ちながらAV機器向けに機能を追加した次世代デジタルインターフェイス規格です。HDMIは、1本のケーブルで高解像度の映像とマルチチャンネル･オーディオ（音声）を、圧縮しないでデジタル転送できます。データ転送速度は最高5Gbit/secです。

本機は1125i/750p/525p/525i映像と、2ch-PCM/AAC/ドルビーデジタル/DTSストリーム音声の出力に対応しています。また、MPEG2のコンポーネント映像Y･PB･PR信号を、DVI用RGB信号にして出力することができます。

本機はデジタル画像信号の暗号化方式「HDCP」にも対応しています。

HDMI（High-Definition Multimedia Interface）とHDMIロゴ「HDMI」は、HDMI Licensing, LLCの商標です。

i.LINK (アイリンク)

i.LINKとは、i.LINK端子を持つ機器間で、デジタル映像やデジタル音声などのデータを双方向でやりとりしたり、他機をコントロールしたりするためのデジタルシリアルインターフェースです。

i.LINKは、IEEE (Institute of Electrical and Electronics Engineers) 1394－1995およびその拡張仕様を示す呼称です。i.LINK と i.LINK ロゴ「i」はソニー株式会社の商標です。

MPEG2

MPEG2 とは、Moving Picture Experts Group（メディア統合系動画像圧縮の国際基準）Phase2 の略です。

MPEG2 は従来の圧縮方法と違い、高画質を維持したまま高圧縮する技術です。むだなデータを省くために 1 コマ 1 コマの画像がそれほど変化しない事を前提に動きの予測をしながら圧縮しています。具体的にはフレーム情報の相関性を利用してフレーム間圧縮と、DCT（離散コサイン変換）によるフレーム内圧縮の組み合わせで効率良く圧縮してゆきます。

D-VHS は、デジタル放送の MPEG-TS（トランスポート･ストリーム）デジタル信号を i.LINK で入力し、そのまま D-VHS 信号の形式でテープに記録します。よって、放送局と同じ画質と音声をご家庭でお楽しみいただけます。

MPEG2 AAC

BS·CS110度デジタル放送では、MPEG2 AACフォーマットの音声方式を採用しています。非常に高い圧縮率で放送衛星から送られてきますが高音質のデジタルサウンドです。
本機とMPEG2 AACデコーダを搭載したAVアンプを光デジタルケーブルで接続し、スピーカー6本「フロントL,RとセンターL、リアーL、RとLFE (Low Frequency Enhancement)」を接続することにより、映画館で聞いている様な臨場感あふれるリアルなデジタルサウンドをお楽しみいただけます。
本機には、MPEG2 AACデコーダーが内蔵されているのでACCアナログ2ch音声出力が可能です。
AACとは、Advanced Audio Codingの略です。

リニアPCM音声

アナログ音声をデジタル記録するときに、従来のD-VHSではMPEG1 LAYER2方式で圧縮記録を行っていました。
本機では、それに加えて圧縮せずにパルス信号におきかえて記録するPCM録音(48kHz、16bit、1536kbps)機能を搭載しています。
HS/STDモードの高画質映像と一緒に高音質で録画/再生することができます。(音声だけの入力は記録できません。
通常は、HS/STDモードでは384kbbs、LS3モードでは256kbbsにMPEG圧縮しています。

ドルビーデジタル

ドルビーラボラトリーズが開発したデジタル音声の圧縮技術です。5-1チャンネル「フロントL/R、センター、リアーL/R、LFE (Low Frequency Effect)」のサラウンド音声まで対応しています。
ドルビーデジタルで記録されたテープを再生した場合、デジタル音声出力端子からドルビーデジタルのビットストリームが出力されます。メニューの「モード設定➡音声設定➡光デジタル音声出力」を「AAC・PCM」に切り換えてください。
米国では、デジタル放送にドルビーデジタル音声を採用しています。また、D-Theater規格では通常の放送やDVDの約2倍の情報量（576 kbps～640 kbps）のソフト制作を可能にしています。

ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー、Pro Logic及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
非公開機密著作物。著作権1992－1997年ドルビーラボラトリーズ。不許複製。

DTS

DTS(Digital Theater System)は、米国のデジタル·シアター·システムズ社が開発した劇場用サラウンドシステム音声です。ドルビーデジタルと同様に6チャンネル(5.1ch)のマルチチャンネルを独立再生する音声符号化方式を採用しています。映画用としては、フィルムから音声を分離してCD-ROMに記録し、映像フレームと同期させて再生します。ドルビーデジタルよりも低い圧縮率を採用しているため、クリアーで厚みのある高音質を再現できます。
また、DTS音声は、D-Theaterのオプション規格として採用されています。
本機はDTSデコーダーを搭載していませんので、本機の[デジタル音声出力]端子にDTSデコーダ内蔵アンプを接続します。メニューの「モード設定➡音声設定➡光デジタル音声出力」を「ストリーム」に設定し、[音声／消音]ボタンでDTS音声を選びます。[デジタル音声出力]端子からデジタル音声ストリームを出力します。アナログ音声端子からは出力されません。

DTSとDTSロゴ「dts DIGITAL OUT」は、Digital Theater Systems社の商標です。

その他

アイリンク
i.LINKについて

i.LINK接続

i.LINKは、[i.LINK]端子を装備した機器間で、ケーブル1本でデジタル映像信号やデジタル音声、他機制御信号を双方向でやりとりできるデジタルシリアルインターフェースです。
複数のi.LINK接続をして機器間のデータをやりとりする場合、直接接続した機器だけでなく、他の機器を通してつながれている機器に対しても、双方で操作やデータのやりとりができます。
i.LINK接続はつないだ順に機器が認識されて機器番号（接続した機器固有の番号）を割り付けていきます。

- ビデオデッキは電源プラグがコンセントに接続していれば電源を入れなくても、i.LINK接続しただけで認識されます。
- デジタルビデオカメラの場合は、i.LINK接続後にデジタルビデオカメラ本体の電源を入れたときに認識されます。本機では、4ピンタイプの[i.LINK]端子を使用してMPEG2圧縮（☞124ページ）された映像信号とオーディオ、制御信号を入出力します。また、デジタルビデオカメラのDV出力からのDV圧縮信号の入力端子として使用しています。
- メニューの「モード設定➡機能設定➡パワーセーブ」を「入」（☞92ページ）にして、本機の電源を切ると、i.LINK機器の認識ができません。そのため、地上･BS･110度CSデジタルテレビ側で予約した番組の録画ができません。また、分岐接続している場合、データの中継をしません。

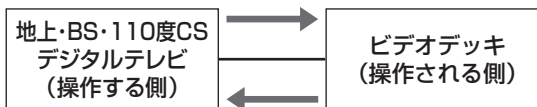
メモ
- 接続しているi.LINK機器が選択できないときは、初期設定メニューの「その他 ➡ LINC」を「切」にしてください。（☞96ページ）
- 接続した機器を認識しないときは、i.LINKコードを抜き差ししてください。

LINC（リンク）

i.LINK対応地上･BS･110度CSデジタルテレビ（i.LINK対応機器を操作する側）は、i.LINKコードで接続されている機器のうち1台だけを操作できます。「LINCする」とは、相手の機器を1台選ぶことを意味します。地上･BS･110度CSデジタルテレビと相手の機器との間で次のようなやりとりが行われます。

例）ビデオデッキをLINCするとき

① 「これから操作してもいいですか？」とデジタルテレビがビデオデッキに信号を送る

地上･BS･110度CS デジタルテレビ（操作する側）	⇄	ビデオデッキ（操作される側）

② 「了解です」とビデオデッキがデジタルテレビに信号を送る

この呼びかけ･返答のやりとりが行われ、i.LINK対応機器のLINCが完了して、初めてi.LINK対応機器を操作することができます。
LINCとは、Logical Interface Connection（ロジカル・インターフェース・コネクション：「論理的な接続を行う」の意）の略です。

i.LINK接続のオンスクリーン表示について

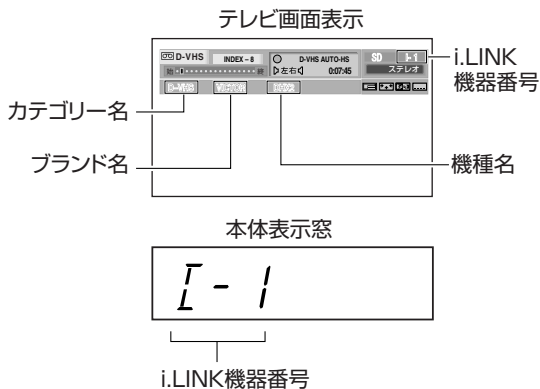
テレビ画面表示

D-VHS　INDEX－8　D-VHS AUTO-HS　0:07:45　ステレオ
D-VHS　VICTOR　DHX2

カテゴリー名　ブランド名　機種名　i.LINK機器番号

本体表示窓

I－1

i.LINK機器番号

i.LINK接続すると、接続機器を本機が認識し、認識した機器を表示します。

ブランド名　：接続した機器の製造メーカーを表示します。
機種名　：接続した機器の機種名を表示します。
カテゴリー名　：接続した機器の種類を表示します。
D-VHS（D-VHSビデオデッキ）
DV（デジタルビデオカメラやDVデッキ）
チューナー（デジタル衛星放送チューナーまたはデジタル地上波放送チューナー）
地上･BS･110度CSデジタルテレビの場合は、カテゴリー名が表示されないことがあります。
i.LINK機器番号　：接続した順番に本機が自動的に割り付けてゆきます。この番号は取り外して再度接続しても、本機のメモリーに記憶されるために同じ番号で認識されます。別の番号にしたいときは、初期設定メニューの「その他➡ナンバーリセット」を選択して新たに接続し直してください。（☞96ページ）

i.LINK接続時の動作について

メモ
- [チャンネル＋／－]ボタンでi.LINK端子からの入力（I-1など）を選択したとき、出画するまでに多少時間がかかったり、画像が乱れることがあります。

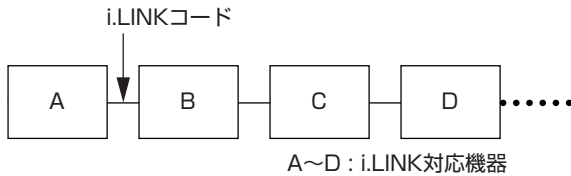
ご注意
- 他のi.LINK機器から本機が選択されたとき、または、本機の[i.LINK]端子に多くの機器が接続されているとき、データ容量が多すぎて、i.LINK機器の選択ができないことがあります。
- デジタルテレビ／デジタルチューナーから初めて録画予約するときや、i.LINKコードをつなぎ変えたときは、一度録画テストを行なってください。
- 移動（ムーブ）機能を備えた機器から本機へダビングする場合、ダビング開始後すぐに本機の出力映像をテレビで確認してください。映像が出ないときは、正しくダビングできていませんので、停止させてください。

i.LINK の接続方法について

i.LINK 対応の機器は、デイジー・チェーン（数珠つなぎ）にしてi.LINK コードで接続します。

i.LINKコード

A B C D ……

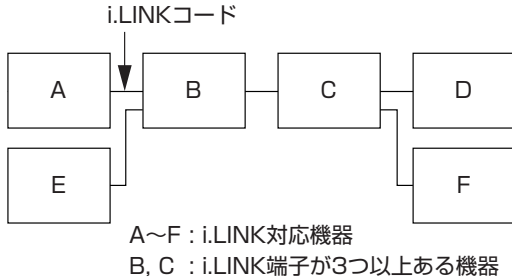
A〜D : i.LINK対応機器

データをやりとりする機器の間に他の機器が接続されていても双方向での通信が可能です。
また、入力されたMPEG2やDV信号をそのまま次の機器に接続する「リピーター機能」があります。

i.LINK の分岐接続について

もし、[i.LINK]端子を3つ以上搭載する機器があれば、途中で分岐接続を行えます。

i.LINKコード

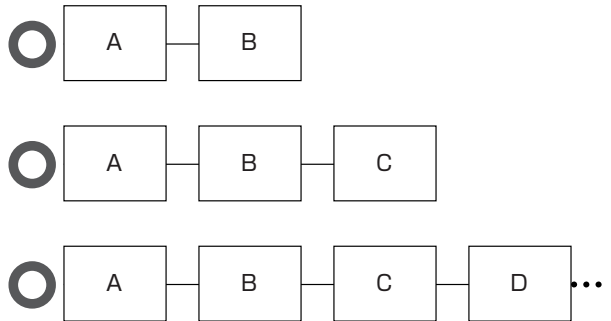
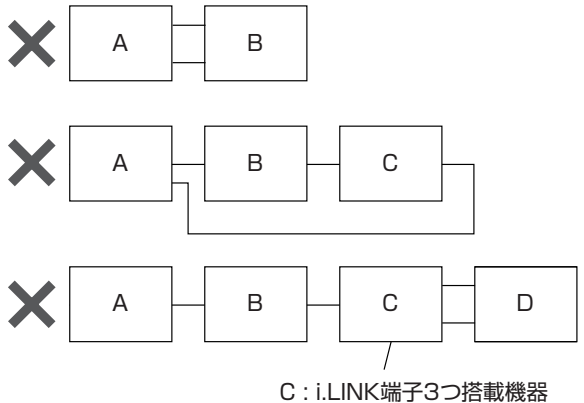
A B C D
E F

A〜F : i.LINK対応機器
B, C : i.LINK端子が3つ以上ある機器

- i.LINK 接続は本機を含めて63 台まで接続可能です。ただし分岐接続の場合は最長経路で17台まで接続できます。
- パソコンや一部の機器では、電源が切られているとデータを中継しない場合があります。
  また、メニューの「モード設定 ➡ 機能設定 ➡ パワーセーブ」を「入」にしているときも、データを中継しません。(☞92 ページ)
  接続機器の取扱説明書もお読みください。
- 本機の[i.LINK]端子の最大データ転送速度は400Mbps（1秒間に約400Mビット）です。最大データ転送速度は、転送速度の異なる機器を接続した場合や、仕様により、転送速度が遅くなる場合があります。
- i.LINK コードは、S200またはS400と表示された4ピンのコードを使用してください。S100は使用しないでください。

i.LINK の接続例について

正しい接続例と悪い接続例を記します。デジタル信号は接続したすべての機器に流れます。デジタル信号を出力した機器に信号が戻らないように、接続します。決して接続がループ（輪）にならないようにしてください。

正しい接続（A〜D : i.LINK対応機器）
接続がループしていません。

○ A B
○ A B C
○ A B C D …

悪い接続（A〜D : i.LINK対応機器）
接続がループになっています。

✕ A B
✕ A B C
✕ A B C D

C : i.LINK端子3つ搭載機器

i.LINKは、IEEE (Institute of Electrical and Electronics Engineers) 1394 − 1995 およびその拡張仕様を示す呼称です。i.LINK とi.LINK ロゴ「i」はソニー株式会社の商標です。

その他

別売品のご案内

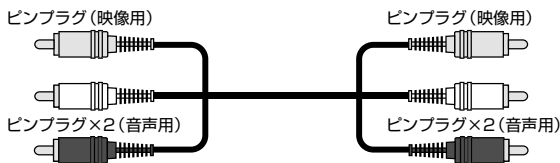
映像／音声用接続コード

S映像コード
・S端子の接続

Sプラグ（S映像用）　Sプラグ（S映像用）

VC-S110G（1m）	希望小売価格	1,000円（税別）
VC-S120G（2m）	希望小売価格	1,200円（税別）
VC-S110E（1m）	希望小売価格	2,200円（税別）
VC-S120E（2m）	希望小売価格	2,600円（税別）

映像／音声コード
・ビデオとステレオAVテレビとの接続

ピンプラグ（映像用）　ピンプラグ（映像用）
ピンプラグ×2（音声用）　ピンプラグ×2（音声用）

VX-17G（1m）	希望小売価格	1,300円（税別）
VX-18G（2m）	希望小売価格	1,500円（税別）
VX-410E（1m）	希望小売価格	2,500円（税別）
VX-420E（2m）	希望小売価格	2,800円（税別）

モノラルミニプラグコード

ミニプラグ　ミニプラグ

CN-120A（1.5 m）	希望小売価格	500円（税別）
CN-125A（3 m）	希望小売価格	800円（税別）

i.LINKコード
・i.LINK端子付デジタルビデオ機器同士を接続する場合

i.LINKプラグ（4ピン）　i.LINKプラグ（4ピン）
400Mbpsのデータ転送可能

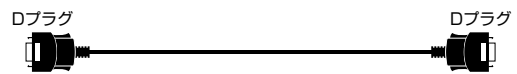
VX-DV110E（1m）	希望小売価格	3,000円（税別）
VX-DV120E（2m）	希望小売価格	4,000円（税別）

光デジタルケーブル
・光角型端子付CDプレーヤーを光角型端子付アンプに接続する場合

光角型プラグ　光角型プラグ

XN-110SA（1m）	希望小売価格	2,000円（税別）
XN-120SA（2m）	希望小売価格	2,400円（税別）

コンポーネントビデオコード（D-D）
・D端子付BS/CSデジタルチューナーやテレビを接続する場合

Dプラグ　Dプラグ

VX-DS110（1m）	希望小売価格	3,500円（税別）
VX-DS120（2m）	希望小売価格	4,000円（税別）

コンポーネントビデオコード（3ピンプラグ×2）

Y（緑）　（緑）Y
PB/CB（青）　（青）PB/CB
PR/CR（赤）　（赤）PR/CR

VX-D110E（1m）	希望小売価格	3,700円（税別）
VX-D120E（2m）	希望小売価格	4,700円（税別）

アンテナコード

UHF／VHFアンテナコード
・ビデオとテレビアンテナ入力端子などの接続用

F型プラグ　F型プラグ

VX-22A（1m）	希望小売価格	900円（税別）
VX-23A（2m）	希望小売価格	1,000円（税別）

CS／BSアンテナコード
・BSビデオとBSテレビアンテナ入力端子などの接続用

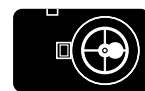
F型プラグ　F型プラグ

VX-CS110（1m）	希望小売価格	2,200円（税別）
VX-CS120（2m）	希望小売価格	2,500円（税別）

映像／アンテナコード用変換アダプター

アンテナコード変換用アダプター

VZ-71A	希望小売価格	600円（税別）

アンテナコード変換用アダプター（CS/BS用）

VZ-CS72	希望小売価格	1,200円（税別）

※HDMI-HDMIコード、HDMI-DVI-D変換コードは、市販品のコードをお使いください。

主な仕様

- **電源** .... AC100 V 50/60 Hz
- **消費電力** .... 32 W

待機時消費電力*	11.4 W
待機時消費電力: パワーセーブ「切」時	13.5 W
待機時消費電力: パワーセーブ「入」時	3.2 W

*省エネ法に定める待機時消費電力です。

- **外形寸法** .... 435 mm x 96 mm x 376 mm
  .... (幅×高さ×奥行き)
- **質量** .... 5.1 kg
- **許容動作温度** .... ＋5 ℃ ～＋40 ℃
- **許容相対湿度** .... 35 %～80 %
- **許容保存温度** .... −20 ℃ ～＋60 ℃
- **使用カセット** .... D VHS、S VHS、VHSマークのついたビデオカセット

ビデオ（映像）/オーディオ（音声）【D-VHS】

- **ヘッド数** 5個:デジタル用 4個:映像用 2個:Hi-Fi音声用
- **フォーマット** .... D-VHS方式(MTP) MPEG2 HS/STD/LS3モード
  音声方式ーエンコード
  MPEG1 レイヤー2
  量子化16 bit サンプリング周波数48 kHz
  リニアPCM音声
  量子化16 bit サンプリング周波数48 kHz
  音声方式ーデコード
  MPEG1 レイヤー2/MPEG2AAC/
  Dolby Digital/リニアPCM
- **トラック構成** .... テープスピード　HSモード　33.4 mm/sec
  STDモード:16.67 mm/sec
  LS3モード:5.55 mm/sec
  ヘッドアジマス　± 30°
  ドラム回転数　1800 rpm
  トラッキング方式　CTLトラック方式
- **記録仕様** .... メインデータ入力レート　28.2 Mbps (HS)
  14.1 Mbps(STD)
  4.7 Mbps(LS3)
- **インターフェース** IEEE1394デジタルインターフェース準拠
  DTCPデジタルコピープロテクション対応
  DV入力/MPEG-TS入出力 S400

ビデオ(映像)【S-VHS/VHS】

- **録画・再生方式** 回転2ヘッドヘリカルスキャン輝度信号FM方式
  色信号低域変換直接記録方式
- **映像信号** .... NTSC日米標準信号
- **CATV チャンネル対応表**

送信チャンネル	チャンネル表示	送信チャンネル	チャンネル表示	送信チャンネル	チャンネル表示
C13	63	C30	80	C47	97
C14	64	C31	81	C48	98
C15	65	C32	82	C49	99
C16	66	C33	83	C50	100
C17	67	C34	84	C51	101
C18	68	C35	85	C52	102
C19	69	C36	86	C53	103
C20	70	C37	87	C54	104
C21	71	C38	88	C55	105
C22	72	C39	89	C56	106
C23	73	C40	90	C57	107
C24	74	C41	91	C58	108
C25	75	C42	92	C59	109
C26	76	C43	93	C60	110
C27	77	C44	94	C61	111
C28	78	C45	95	C62	112
C29	79	C46	96	C63	113

- 仕様および外観は、改良のため、予告なく変更することがありますのでご了承ください。
- このビデオは日本国内のみ使用できます。
  外国では放送方式、電源が異なりますので使用できません。
  This video cassette recorder is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.
- 本商品は「外国為替および外国貿易法」で定められた規制貨物に該当します。本商品を国外へ持ち出すときは日本国政府の許可が必要です。

ハイファイオーディオ(音声)【S-VHS/VHS】

- **録音方式** .... VHSステレオハイファイ方式
- **周波数特性** .... 20 Hz ～ 20 kHz
- **ダイナミックレンジ** .... 90 dB以上
- **ワウ・フラッター** .... 0.005 %以下
- **チャンネルセパレーション** .... 60 dB以上

ノーマルオーディオ(音声)【S-VHS/VHS】

- **録音方式** .... リニアトラック
- **音声トラック** .... 1チャンネル(モノラル)

チューナー(テレビ受信)

- **受信方式** .... 周波数シンセサイザー方式
- **音声多重受信方式** .... インターキャリア方式
- **受信チャンネル** .... VHF　1 ～ 12チャンネル
  UHF　13 ～ 62チャンネル
  CATV C13(63)~C63(113)チャンネル

タイマー(タイマー予約・時計)

- **タイマー予約** 1年間24番組予約
- **時計** .... 12時間(午前・午後)方式
- **停電補償時間** 約10分

接続端子

- **アンテナ** .... 75 Ω F型コネクター　VHF/UHF一軸
- **S映像** .... 入力 Y p-p : 0.8 ～ 1.2 V　75Ω
  C p-p : 0.2 ～ 0.4 V　75Ω
  出力 Y p-p : 1.0 V　75Ω
  C p-p : 0.29 V　75Ω
- **映像** .... 入力 p-p : 0.5~2.0 V 75 Ω(ピンジャック)
  出力 p-p : 1.0 V　75Ω(ピンジャック)
- **音声** .... 入力−8 dBs 50 kΩ(ピンジャック)
  モノ(左)対応
  出力 −8 dBs 1kΩ(ピンジャック)
- **i.LINK** 4ピン S400
  MPEG2入/出力用、DV入力用
- **D1/D2/D3/D4映像出力** ... Y p-p : 1.0 V 75Ω
  Cb/Cr、PB/PR p-p : 0.7 V　75Ω
  D4/D3/D2/D1からメニュー選択
  コピープロテクション対応
- **コンポーネント映像出力** ... Y p-p : 1.0 V 75Ω(ピンジャック)
  Cb/Cr、PB/PR p-p : 0.7 V　75Ω(ピンジャック)
- **HDMI出力** .... 19ピン、HDCP対応
  映像:1125i/750p/525p/525i
  (DVI-Dとの互換は保証するものでは在りません)
  音声:2CH PCM/BITSTREAM
- **JLIP** .... φ3.5 mm(サービス用)
- **AVコンピュリンクⅡ** .... φ3.5 mm
- **光デジタル音声出力** .... −18 dbm、660 nm
  MPEG2 AAC・Dolby Digital・PCM/2CH PCM変換/ビットストリーム
  ダイレクトからメニュー選択

テープ走行

- **早送り/巻戻し時間** ...... 約65秒(DF-240／T-120テープ使用時)
  テープによっては早送り/巻戻しに時間がかかる場合があります。

376
387
435
96
前面扉を開けたとき

（単位：mm）

その他

索引

ア行

カ行

サ行

タ行

ナ行

ハ行

マ行

ラ行

ワ行

数字・アルファベット

その他

アンケートおよびユーザー登録のお願い

このたびは、ビクター商品をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。
今後のよりよい商品の開発に反映させるために、アンケートおよびユーザー登録にご協力をお願いいたします。

●下記アドレスのホームページより、ご回答ください。

http://www.victor.co.jp/reg/dvd/

なお、同梱されているはがき（ご愛用者カード）でも回答していただけます。
この場合、ユーザー登録によるお客様登録番号（ID）の発行はいたしません。

※お客様の個人情報は当社の責任で厳重に保管し、お客様の同意なく、お客様の個人情報を第三者に提供または開示はいたしません。

<table>
<tr><th colspan="2">ご相談や修理は</th></tr>
<tr><td colspan="2">ビクター製品についてのご相談や修理のご依頼は、
お買い上げの販売店にご相談ください。
転居されたり、贈答品などでお困りの場合は、下記の相談窓口にご相談ください。</td></tr>
<tr><td>修理などのアフターサービスに関するご相談
ビクターサービスエンジニアリング株式会社</td><td>お買い物相談や製品についての全般的なご相談
お客様ご相談センター</td></tr>
<tr><td>122～123ページをご覧ください。</td><td>フリーダイヤル 0120−2828−17
携帯電話・PHS・FAXなどからのご利用は
電話 (03) 5684−9311
FAX (03) 5684−9317
〒113-0033　東京都文京区本郷3-14-7　ビクター本郷ビル</td></tr>
</table>

ビクターインターネットホームページアドレス　http://www.victor.co.jp/

日本ビクター株式会社
AV&マルチメディアカンパニー
〒221-8528　横浜市神奈川区守屋町3-12

© 2004 Victor Company of Japan, Limited

0604MNH-SW-VM